

brother

刺しゅうミシン

PR-620

取扱説明書

安全にお使いいただくために

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書をご覧になり各機能や正しい使い方を十分にご理解の上、末永くご愛用ください。

また本書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

警告： 感電を避けるために

1. 長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お使いになった後やミシン本体を掃除する前にも、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意： やけど、火災、感電およびけがなどを防ぐために

1. お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。
2. ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
3. 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店、または お客様 Sew 談室（フリーダイヤル0120-332-392）にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
4. ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から5cm以上離してお使いください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
5. 換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。
6. 屋外での使用は避けてください。
7. スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
8. 電源を切るには、電源スイッチを○の位置に合わせ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
9. 電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードをひっぱって抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
10. ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
11. 常に正規の針板をご使用ください。針折れの原因となります。
12. 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
13. 針の交換など設定を変更するときは、必ず電源スイッチを○の位置に合わせ、本体の電源スイッチを切ってから行ってください。
14. 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原因となります。
15. このミシンはお子様のご使用向けにつくられたものではありませんので、ご使用の際は、充分な管理のもとで行ってください。
16. お子様が玩具として遊んでケガをしないよう、十分注意してください。
17. キャリッジの近くなど、ミシン本体にある隙間に指を近づけないでください。ケガの原因となります。

取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品はパソコンに接続して使用することができる、最も優れた職業用刺しゅう機です。本製品の性能を十分に楽しんで頂くために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お使いになる前にお読みください。

安全にお使いいただくために

1. ミシン操作中は、針から目を離さないでください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ ミシンを使用したあと
 - ・ 針や他の部品を交換するとき
 - ・ 運転中に停電したとき
 - ・ 本製品の整備を行なうとき
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
3. 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

末永くご愛用いただくために

1. 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシン内部の温度が上がり、ミシン本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。
2. ミシン本体を掃除するときは、必ず中性洗剤か中性石鹸をお使いください。ベンジン、シンナー、磨き粉などは本製品を傷つける原因となりますので、使用しないでください。
3. 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店、または **お客様 Sew[®] 談室**（フリーダイヤル0120-332-392）にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
4. 上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

修理または調節するときは

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に、本書の「トラブルチェック」（P.194）の項目を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または **お客様 Sew[®] 談室**（フリーダイヤル0120-332-392）にご連絡ください。

ブラザー工業のホームページでは、この商品に関する様々な情報を掲載しております。
(URL) <http://www.brother.co.jp>

ライセンス契約書

重要！：必ずお読みください

本製品に含まれている刺しゅうデータ（以下、「刺しゅうデータ」）に関する著作権は、ブラザー工業株式会社（以下、「ブラザー」）もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件に従い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。

なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされます。

1. ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅう機上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅうを縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅう機上で刺しゅうデータを使用することはできません。
2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。
 - ・ バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
 - ・ ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
 - ・ 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
 - ・ 営利目的で改変すること。
 - ・ ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ（例：©Disney）を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作権そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。

〒467-8562 名古屋市瑞穂区河岸1丁目1-1

ブラザー工業株式会社

P&Hカンパニー 総合企画部

警告ラベルについて

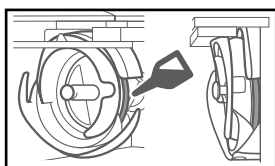
ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

1

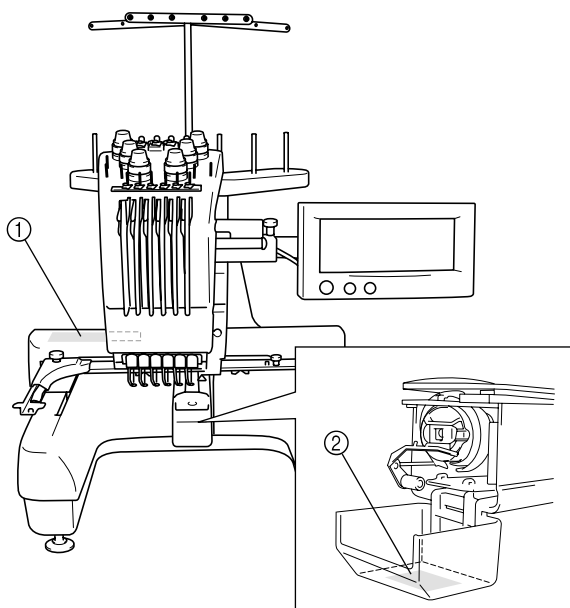
	⚠ ATENÇÃO	⚠ ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ	⚠ 注意	⚠ 危険
	O carro de transporte pode causar ferimentos. Não coloque as mãos sobre o trilho do carro de transporte.	Движущаяся каретка может быть причиной травмы. Не кладите руки на пути движения каретки.	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。 ケガの原因になります。	在绣花机的导轨或绣花框移动时，为避免造成伤害，请不要将手或物品靠近。

2

ラベルの場所



毎日で使用になる前に、釜のレース部に1滴注油してください。



取り扱い上の注意

著作権について

ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するもの（「© Disney」等の他社著作権表示が付されているものを除きます）については、これらのデータを用いて縫製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用（販売・譲渡等を含みます）いただけます。

ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、（縫製された刺しゅうではなく）このデータ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾いたしません。

また、当社以外の第三者の著作権表示が付されたもの（特に人気キャラクター）については、営利用または業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

刺しゅうカード（別売）について

- ・ 分解したり改造しないでください。
- ・ 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
- ・ 水・溶剤類・飲み物など、液体で濡らさないでください。
- ・ 強い静電気、電氣的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- ・ 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度差の激しい場所、スピーカ等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
- ・ 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- ・ 刺しゅうカードは、収納ケースに入れて保管してください。
- ・ 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- ・ 一部使用できない刺しゅうカードがあります。ご了承ください。
- ・ 外国で売られている刺しゅうカードは、使用できませんのでご了承ください。
- ・ 刺しゅうカードは、必ず  または刺しゅうカードの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。（P.116 参照）

USB メディア（市販品）について

- ・ 分解したり改造しないでください。
 - ・ 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
 - ・ 水・溶剤類・飲み物など、液体で濡らさないでください。
 - ・ 強い静電気、電氣的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
 - ・ 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度差の激しい場所、スピーカ等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
 - ・ 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、マシンから取り出さないでください。
 - ・ USB メディア内のデータは、誤操作や事故などで消失・破損することがあります。重要なデータは、バックアップをお勧めします。
 - ・ USB メディアの種類によっては、このマシンで使用できないことがあります。使用可能なUSB メディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ（<http://www.brother.co.jp>）でご確認ください。
 - ・ USB メディアは、必ず  またはUSB メディアの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。（P.121 参照）
 - ・ USB メディアは、差し込んだ後 5 秒以上経過してから抜いてください。
- この他、お買い求めの USB メディアに付属の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

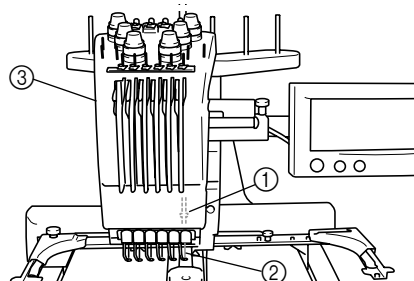
- 本製品および本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中には® および™等のマークは明記しておりません。

製品のしくみと特長

6本針ミシンの縫製について

このミシンは、それぞれ違う色の糸を通した6本の針を替えながら自動的に糸色を替え、刺しゅうをぬいます。

針を上下に動かす機械部分を「針棒」と呼び、それらは針棒ケースに納められています。針棒は右から順に1番針棒、2番針棒、3番針棒、4番針棒、5番針棒、6番針棒と呼びます。



- ① 1番針棒
- ② 1番の針
- ③ 針棒ケース

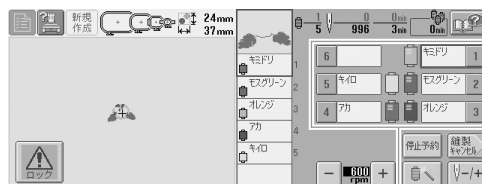
どの針にどの糸色をかけるかは、ミシンが自動的に割り当てます。すでに糸がかけられている場合は、糸のかけ替えが最小限ですむように、同じ糸色は現在かけられている針棒に割り当てられます。したがって、針棒番号順にぬっていくとは限らず、ぬい順に従いミシンが自動的にその糸色がかけられた針を選びぬっていきます。



お知らせ

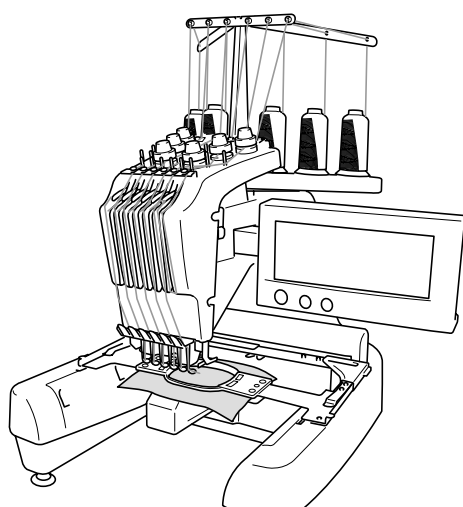
- 1番針棒から2番、3番と順にぬうとは限りません。

糸色の針棒への割り当ては、液晶画面上で指示されます。その指示に従って、糸をかけます。

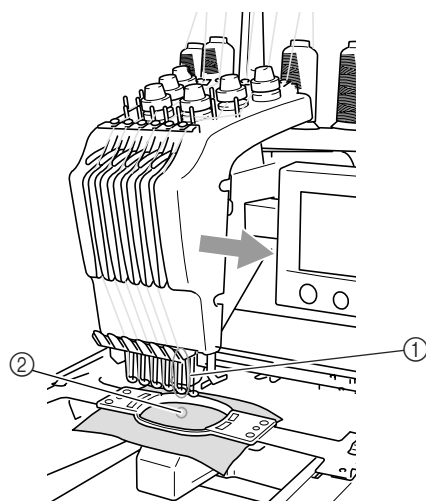


- ① このようにかける糸が指示されます。

各針棒番号によって、上糸をかけるときに指定されている糸立棒、糸調子つまみ、天びん、糸道があります。



縫製は、6本の針で同時にぬうのではなく、縫製位置にある1本の針でぬいます。ぬい順に従い、針棒ケースが左右に動いてその色がかけられた針棒・針が縫製位置に移動します。



① 縫製位置の針
針が② 針板の針穴の上に位置します。

ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、ぬい始め／ぬい終わりの糸の処理や糸替え（縫製する針を交替）をしながら縫製し、ぬい終わると止まります。7色以上の糸色が使われている模様の場合は、糸こま交換が必要になったときにミシンは止まり、その指示が表示されます。

1 本針ミシンとの違い

■ 6色以下の刺しゅう模様は糸こま交換不要

1本針ミシンは、糸色が変わるごとに糸こまを交換し、上糸をかけ直す必要がありました。このミシンは、6色以下の刺しゅう模様は糸こま交換も上糸のかけ直しも必要ありませんし、糸替回数が7回以上でも6色以内であれば、前にぬった針に自動的に戻ってぬいます。

■ 自動縫製で縫製時間も短縮

7色以上の刺しゅう模様の場合の糸こま交換以外は、ミシンをスタートした後は、押えの上げ下げやぬい始め／ぬい終わりの糸の処理、糸交換は、ミシンが自動的に行います。糸替えや糸始末をミシンがしてくれるので、縫製時間も短くなります。

■ ぬい始め／ぬい終わりの糸処理不要

ぬい始め／ぬい終わりの余分な糸端が出ないようにぬわれるので、めんどうな糸の始末はしなくて済みます。

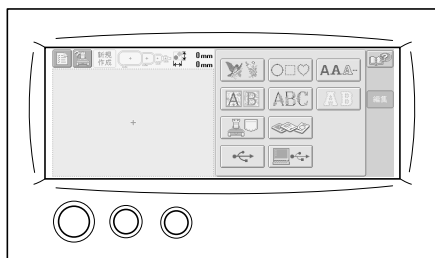
■ 縫製位置は枠を移動して決定

1本針ミシンでは、多くの場合、刺しゅう模様を刺しゅう枠の中心に配置し、縫製したい位置の中心を刺しゅう枠の中心に合わせて布地に張り、ぬいました。このミシンでも、この方法で希望する位置にぬうことはできますが、刺しゅう枠を移動して縫製位置を決めると、より容易に位置決めができます。また、位置を気にせずに布地を枠に張ることができ、枠をミシンにセットした後でも自由に位置を決めることができます。

その他の特長

■ 見やすく、使いやすい液晶画面

大きなカラー液晶画面を採用、刺しゅう模様の色確認もより仕上がりに近い状態で確認できます。また、この画面はタッチパネルになっており、ここに表示されるキーを押して操作します。



■ 安全設計

ミシンロック機構の採用で、誤操作によるケガを防ぎます。通常、ミシンはスタートできない（ロックされた）状態になっており、ロック解除キーを押して、ロックを解除するとミシンをスタートできる状態になります。ミシンロックの状態は、スタート／ストップスイッチが色を変えてお知らせします。

赤色点灯



緑色点滅



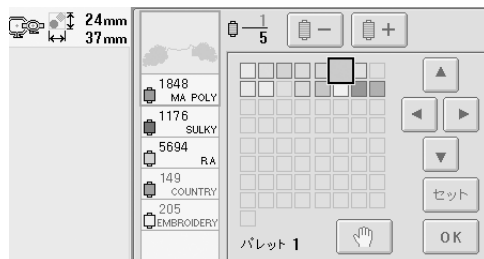
■ 内蔵糸色情報の選択

内蔵された糸色情報を見ることができるので、目的に合った糸色を簡単に選ぶことができます。

1770 MA POLY	1369 MA RAYON	1176 SULKY	9091 RA
1951 MA POLY	1137 MA RAYON	1024 SULKY	5694 RA
1637 MA POLY	1037 MA RAYON	1037 SULKY	5678 RA
1980 MA POLY	1068 MA RAYON	1187 SULKY	5860 RA

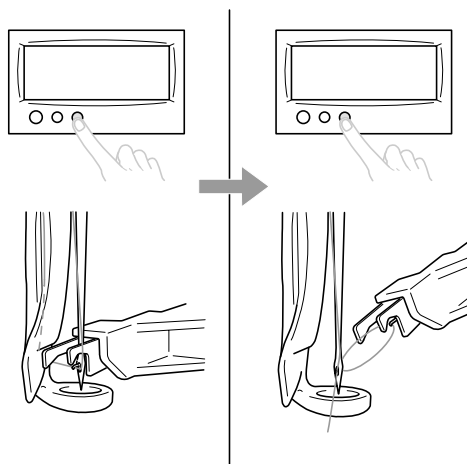
■ 糸色情報表示機能採用で、より実際の色に近い色で表示

他社糸メーカーの糸色と糸番号をミシンに記憶。その糸ライブラリーから、自由を選んで自分で色パレットを作ることができます。このパレットを使って模様の色を変えれば、お手持ちの糸色だけでの色糸表示が可能になります。また刺しゅう模様の表示も、より実際の色に近い色で表現されます。



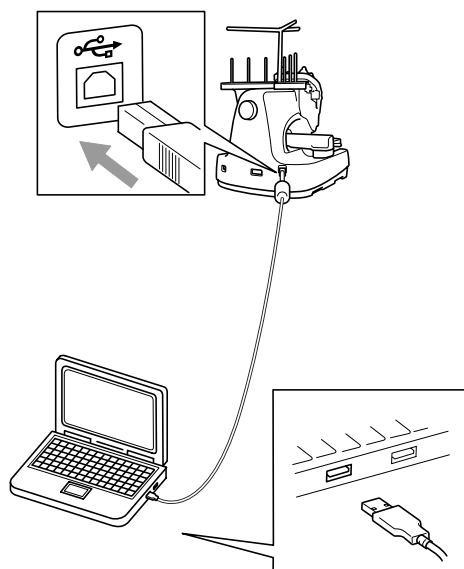
■ 自動針穴糸通し装置

自動針穴糸通し装置で簡単に糸を針に通すことができます。



■ USB コネクタ (B タイプ) を標準搭載

付属の USB ケーブルでパソコンと接続すれば、パソコンから模様を呼び出すことができます。



お願い

- パソコンと接続するときは、必ず付属の USB ケーブルを使用してください。

こんなことができます

最大ヨコ300mm × タテ200mmの刺しゅうができます。別売の帽子枠を使えば、帽子にも刺しゅうができます。

■ 内蔵模様の充実

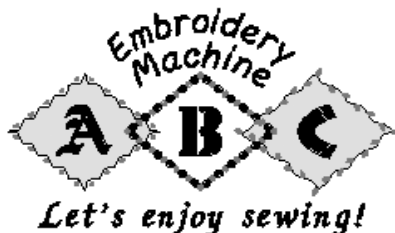
ミシンに内蔵されている文字やワンポイント模様、枠模様のほか、別売の刺しゅうカードを使っていろいろなワンポイント模様の刺しゅうができます。



■ 刺しゅうの編集

文字や模様を組み合わせたり、文字の配列を変えたりして自由にアレンジできます。

同じ模様を繰り返してぬうこともできます。



この本の読み方

この本は次のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 ミシンの準備

ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

第2章 使ってみましょう【チュートリアル】

電源を入れるところから、1つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追って説明します。実際に操作しながら読んで、使い方をマスターしましょう。

第3章 その他の基本操作

7色以上の模様をぬう場合など2章とは違う想定での操作や、針を交換したいときなど状況に応じた操作を、ケース別に説明します。

必要に応じてお読みください

第4章 縫製設定

縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

第5章 模様の選択／編集／記憶

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

第6章 基本設定とヘルプ機能

ミシンの設定キー、使い方キー、ヘルプキーの使い方を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面で操作のしかたなどを調べたりします。

第7章 付録

刺しゅうぬいいろいろなテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れ、困ったときの対処方法などを紹介します。

知りたいことを調べるには

■ 本で調べる

タイトルから

各章で説明されている内容を左記で確認し、目次で調べます。

基本手順は、2章の最初のページにタイトル一覧があります。右端のマークで該当ページを見つけることができます。

キーワードから

巻末に索引があります。キーワードを探して、参照ページをご覧ください。

画面から

P.54～62に液晶画面に表示される主な画面の表示やキーを、一覧でまとめて説明しています。詳しい説明は参照ページをご覧ください。

状況から

P.63にいろいろな場合を想定し、その対応方法を示しています。詳しい説明は参照ページをご覧ください。

■ ミシンで調べる

このミシンにはヘルプ機能があります。

使い方がわからないとき

ミシンの使い方キーを押して、調べます。ミシンの使い方キーの使い方は、P.155をご覧ください。

画面上のキーの使い方がわからないとき

ヘルプキーを押して、調べます。ヘルプキーの使い方は、P.157をご覧ください。

目次

安全にお使いいただくために	i
ライセンス契約書	iii
警告ラベルについて	iv
取り扱い上の注意	v
著作権について	v
刺しゅうカード（別売）について	v
USB メディア（市販品）について	vi
製品のしくみと特長	vii
6 本針ミシンの縫製について	vii
1 本針ミシンとの違い	viii
その他の特長	ix
こんなことができます	x
この本の読み方	xi
必ずお読みください	xi
必要に応じてお読みください	xi
知りたいことを調べるには	xi

1 ミシンの準備 1

各部の名前とはたらき	2
前面	2
右側面・背面	3
操作パネル	3
付属品を確認してください	4
付属品	4
下糸巻き装置と付属品	5
別売オプション	6
ミシンの設置のしかた	7
設置・移動に関する注意	7
設置に適した場所	8
ミシンを据え付ける	9
操作パネルの位置を調整する	10
糸案内を準備する	11
糸立台を準備する	12
台枠をセットする	12

2 使ってみましょう 【チュートリアル】 15

使用上の注意	16
電源に関する注意	16
針に関する注意	17
正しい針の見分け方	17
ボビンに関する注意	17
上糸に関する注意	18
布地に関する注意	18
画面に関する注意	18

基本手順	19
1. 下糸をセットする	20
ボビンケースを取り出す	20
下糸巻き装置の取り付け	21
電源と接続する	21
下糸を巻く	22
ボビンをセットする	25
ボビンケースをセットする	25
2. 電源を入れる	26
画面の見方	27
操作画面の流れ	28
3. 模様を選ぶ	29
ワンポイント模様を選ぶ	30
4. 模様の編集	31
縫製設定画面に進む	31
5. 縫製設定	32
6. 仕上がりイメージを確認する	33
仕上がりイメージの見方	33
7. 刺しゅう枠に布地を張る	34
布地の張り方	34
8. 刺しゅう枠をミシンにセットする	36
刺しゅう枠のセットのしかた	36
9. 縫製範囲を確認する	38
縫製画面に進む	38
10. 上糸をセットする	39
針棒と糸色を確認する	39
上糸をかける	41
糸を針穴に通す	45
11. 刺しゅうをぬう	47
ミシンをスタートする	47
途中でミシンをストップするには	49
12. 糸調子を確認する	50
13. 刺しゅう枠、布地を外す	51
刺しゅう枠の外し方	51
布地の外し方	51
14. 電源を切って終了する	52
画面早見一覧	54
キー表示について	54
各画面共通表示	54
模様選択画面の見方	55
模様一覧画面の見方	56
編集画面の見方	57
縫製設定画面の見方	59
縫製画面の見方	61
わからないことがあるときの参考	63
専門用語	63
模様	64
刺しゅう	64

3 その他の基本操作 65

前回電源を切る前の操作の続きをするには	66
針を交換する	67
刺しゅう枠を上手に使うには	69
刺しゅう枠の種類と用途	69
布地に接着芯を貼る	70
布地の張り方	71
特大枠、大枠の布地の張り方	71
刺しゅうシートを使う	72
布地が大きい／小さいときは	73
刺しゅう枠の位置と動きについて	74
思い通りの位置にぬうには	76
角度を調整する	77
7色以上の模様をぬうときは	79
糸こま交換が必要かどうかを確認するには	79
糸こま交換を指示されたときは	81
糸こま交換表示について	81
簡単な糸こま交換のしかた	82
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは	83
上糸が切れたとき	83
下糸が切れた／なくなったとき	84
始めまたは途中からぬいたいときは	85
停止後、途中からぬうときは	87
糸調子を調整する	89
下糸の調子を調整する	89
上糸の調子を調整する	90

4 縫製設定 91

自動止めぬい設定	92
ぬい始め／終わり位置設定	93
斜めに繰り返しぬいをする	94
縫製最高速度設定	95
糸替え時停止設定	96
次の糸替え時に停止する	96
縫製前にポーズ位置を指定する	96
一時的針棒設定	98
手動針棒設定	100

5 模様の選択／編集／記憶 103

刺しゅうデータに関する注意	104
刺しゅう模様を選ぶ	106
基本的な模様の選び方	106
ワンポイント	108
装飾アルファベット	109
花アルファベット	110

アプリケーションファベット	111
枠模様	112
アルファベット	113
ミシンに記憶した刺しゅう模様	115
刺しゅうカード（別売）	116
パソコン（USB）	118
USBメディア（市販品）	121
刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）	123
模様を組み合わせる	123
編集する模様を選ぶ	124
位置を移動する	124
左右反転する	125
上下反転する	125
大きさを変える	125
回転する	126
文字の配列を変更する	127
文字間隔を変更する	128
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ）	129
1文字ずつ色を変える	130
模様の色を変える	131
模様を削除する	132
刺しゅう模様全体を編集する（縫製設定画面）	133
全て回転する	133
繰り返し模様をつくる	134
模様の色を変える	135
組み合わせの編集	136
刺しゅう模様を記憶する	140
ミシンに記憶する	140
記憶できないときは	140
USBメディア（市販品）	142

6 基本設定とヘルプ機能 143

設定キーの使い方	144
設定画面の見方	144
画面の明るさを調整する	146
ブザー音を設定する	146
言語を切り替える	147
長さの単位を切り替える	147
ガイド表示を切り替える	147
糸色表示を切り替える	149
糸色の詳細を表示する	150
ユーザーパレットを設定する	151
渡り糸切り／DST設定	153
小ピッチのステッチを削除する	154
糸残り量を設定する	154
ミシンの使い方キーの使い方	155
ヘルプキーの使い方	157

7 付録 159

アップリケぬい	160
アップリケ模様のぬい方	160
枠模様を使ってアップリケをするには (1)	161
枠模様を使ってアップリケをするには (2)	162
豆知識	164
内蔵模様で糸調子を確認する	164
布地のラインに合わせて模様をぬう	165
色パレットについて	167
タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータの色について	167
きれいな刺しゅうに仕上げるために	168
糸	168
接着芯	169
枠張りのテクニック	170
布／接着芯の適合表	171
工業用枠 (別売) をセットするには	172
帽子枠 (別売) を使う	173
帽子枠と付属品	173
帽子の種類	174
布地に関する注意	174
帽子枠を使うための準備	175
帽子枠のセットのしかた	180
台枠の取り付け方	184
刺しゅうデータ作成上の注意	186
お手入れ	187
画面の汚れの掃除	187
本体表面の掃除	187
釜の掃除	187
針板まわりの掃除	188
ボビンケースの掃除	189
ミシンに注油する	190
困ったとき	193
トラブルチェック機構	193
トラブルチェック	194
エラーメッセージ	202
画面が見にくいときは	208
キーを押しても反応しないときは	208
仕様	210
本体仕様	210
索引	211

1

ミシンの準備

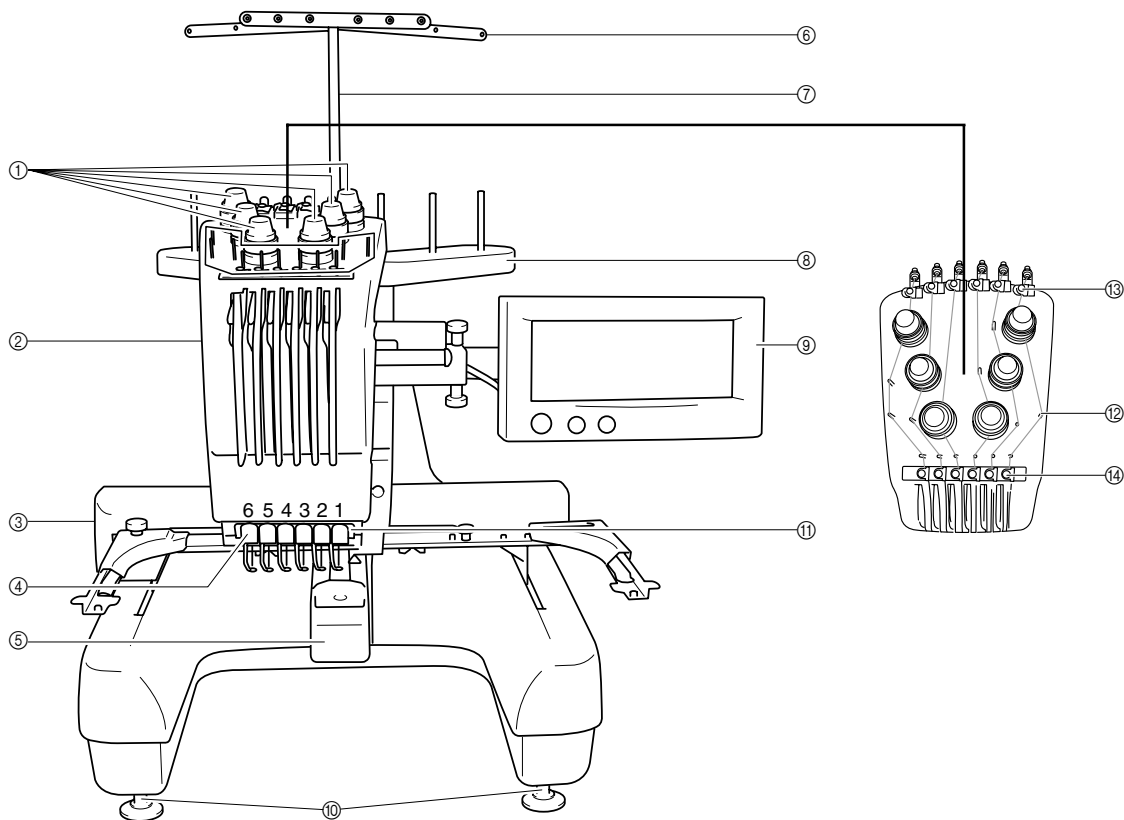
箱を開けたら、まずP.4の「付属品を確認してください」をご覧ください、付属品が揃っているか確認してください。全て揃っていることが確認できたら、ミシンを準備します。
ここでは、ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

各部の名前とはたらき	2
前面 / 2	右側面・背面 / 3
操作パネル / 3	
付属品を確認してください	4
付属品 / 4	下糸巻き装置と付属品 / 5
別売オプション	6
ミシンの設置のしかた	7
設置・移動に関する注意 / 7	設置に適した場所 / 8
ミシンを据え付ける / 9	操作パネルの位置を調整する / 10
糸案内を準備する / 11	糸立台を準備する / 12
台枠をセットする / 12	

各部の名前とはたらき

ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、名前を覚えておきましょう。

前面



① 糸調子つまみ

上糸の糸調子を調整します。

② 針棒ケース

左右に動いて、針を縫製位置に移動します。

③ キャリッジ

ここに刺しゅう枠をセットします。電源を入れたとき、縫製中などに左右前後に動きます。

④ 下糸案内

⑤ 釜カバー／釜

ここを開けて、釜にボビンの入ったボビンケースをセットします。

⑥ 糸案内

⑦ 糸案内支持棒

⑧ 糸立台

糸こまを6本立てます。

⑨ 操作パネル

⑩ レベル座

ここで脚の高さを調節します。

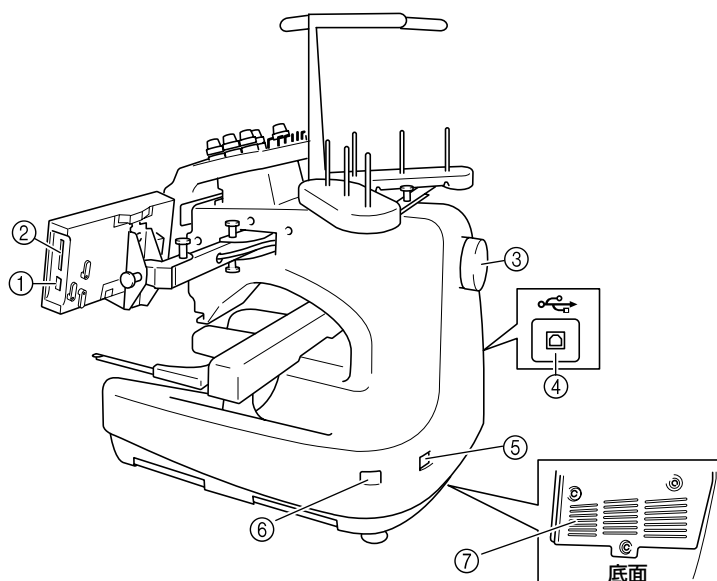
⑪ 針もととライト

⑫ 糸案内ピン

⑬ 上糸案内

⑭ 中糸案内

右側面・背面



① USB コネクタ (A タイプ)

USB メディア (市販品) を差し込みます。

② 刺しゅうカード差し込み口

刺しゅうカード (別売) を差し込みます。

③ プーリー

回すと針が上下に動きます。プーリーは反時計回りに回してください。

④ USB コネクタ (B タイプ)

刺しゅう模様をコンピュータからミシンへ書き込むとき、USB ケーブルの端子を差し込みます。

⑤ 電源コードジャック

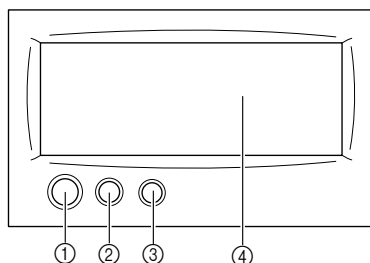
電源コードを差し込みます。

⑥ 電源スイッチ

電源を入れたり (I 側) 切ったり (O 側) するスイッチです。

⑦ 換気口

操作パネル



① スタート/ストップスイッチ

ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、スイッチの状態・色が変わります。

赤色の点灯: スタート不可能な状態のとき

緑色の点滅: スタート可能な状態のとき

緑色の点灯: 縫製中

消灯 : 電源が入っていないとき

② 糸切りスイッチ

上糸と下糸を切るときに押します。

③ 自動針穴糸通しスイッチ

針に糸を通すときに押します。

④ 液晶画面 (タッチパネル)

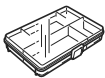
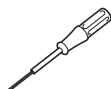
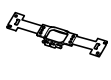
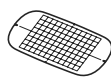
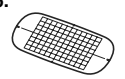
ここに表示されるキーを押して模様の選択、編集などをしたり、情報の確認をします。

付属品を確認してください

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

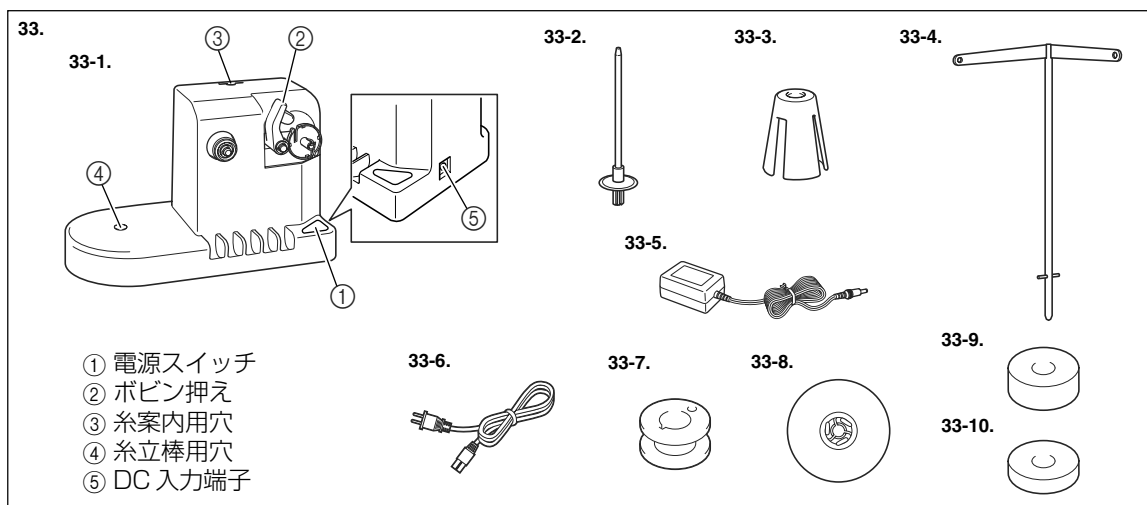
付属品

このミシンには以下のものが付属されております。付属品は必ずこのミシン専用の付属品を使用してください。

1. 	2. 	3. 
4. 	5. 	6. 
7. 	8. 	9. 
10. 	11. 	12. 
13. 	14. 	15. 
16. 	17. 	18. 
19. 	20. 	21. 
22. 	23. 	24. 
25. 	26. 	27. 
28. 	29. 	30. 
31. 	32. 	33. 

No.	部品名	部品番号
1	付属品ケース	XC6482-051
2	ミシン針セット (2 セット)	XC6469-001
3	ボビン (6 個)	XC6368-051
4	糸こまネット (6 個)	S34455-000
5	リッパー	X54243-001
6	ししゅうはさみ	XC1807-121
7	ピンセット	XC6542-051
8	タッチペン	XA9940-001
9	針交換ツール	XC4957-051
10	針板カバー	XC6499-151
11	プラスドライバー	XC6543-051
12	小型ドライバー	X55468-051
13	針交換ドライバー	XC5159-051
14	Z 型ドライバー	XC6545-051
15	針板ドライバー	XC1074-051
16	スパナ	XC6159-051
17	油差し	XZ0206-051
18	ミシンブラシ	X59476-051
19	下糸おもり	XC5974-151
20	USB ケーブル	XD1851-051
21	刺しゅう枠 (特大枠) ヨコ 300mm × タテ 200mm	XC5954-051
22	刺しゅう枠 (大枠) ヨコ 180mm × タテ 130mm	XC5959-051
23	刺しゅう枠 (中枠) ヨコ 100mm × タテ 100mm	XC5964-051
24	刺しゅう枠 (小枠) ヨコ 60mm × タテ 40mm	XC5969-051
25	刺しゅうシート (特大) ヨコ 300mm × タテ 200mm	XC5704-051
26	刺しゅうシート (大) ヨコ 180mm × タテ 130mm	XC5721-051
27	刺しゅうシート (中) ヨコ 100mm × タテ 100mm	XC5759-051
28	刺しゅうシート (小) ヨコ 60mm × タテ 40mm	XC5761-051
29	取扱説明書	XD1139-051
30	操作早見表	XD0765-051
31	糸こまフェルト	XC7134-051
32	糸こま押え (6 個)	130012-054
33	下糸巻き装置と付属品 (P.5 参照)	XC6290-060

下糸巻き装置と付属品

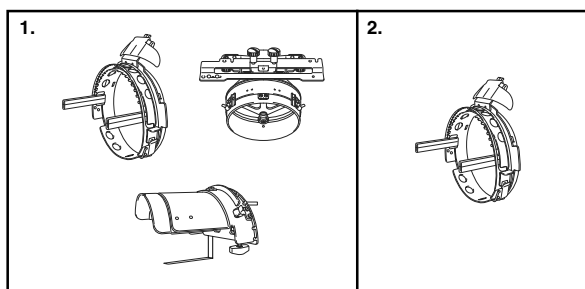


No.	部品名	部品番号
33-1	下糸巻き装置	XC6598-051
33-2	下糸立棒	XC5949-051
33-3	糸こまクッション	XA0679-050
33-4	糸案内	XC6644-051
33-5	AC アダプター	XC6643-051

No.	部品名	部品番号
33-6	電源コード	X53459-151
33-7	金属ボビン (5 個)	100376-053
33-8	糸こま押え	130012-054
33-9	下糸おもり (L タイプ)	XC5974-151
33-10	下糸おもり (S タイプ)	XC6631-051

別売オプション

オプション品として、以下の製品を用意しています。



No.	部品名	部品番号
1	帽子枠セット	XC7609-054
2	帽子枠	XC7610-054



お願い

- 外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。

3. 刺しゅうカード



No.	部品名	部品番号
1	ABCのスケッチブック	X57515-101
2	花に囲まれて暮らす	X57518-001
3	クリスマス	XA4791-002
4	レース	XA5580-101
5	レースコレクション	XD1208-001
6	ファンシーワーク	XA7787-001
7	ファークアート	XA8366-001
8	ベアコレクション	XA8502-001
9	ガーデニング	XC0804-001

No.	部品名	部品番号
10	キルトライン	XC0926-001
11	レッドワーク	XC4240-001
12	POP MIX	XC4808-001
13	ホームデココレクション	XC7040-001
14	クロスステッチコレクション1	XC7083-001
15	クロスステッチコレクション2	XC7542-001
16	クロスステッチコレクション3	XD0153-001
17	和模様のコレクション	XD0122-001
18	オリジナルカード(ブランクカード)	XC0962-001



お知らせ

- オプション品・部品については、部品番号をご確認の上、販売店にお問い合わせください。

ミシンの設置のしかた

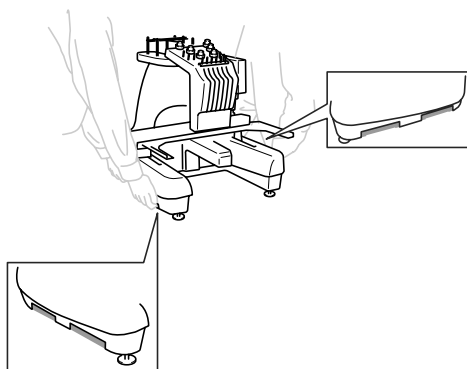
ミシン本体を設置します。正しく設置しないと振動や騒音が大きくなったり、刺しゅうがきれいにぬい上がらないことがあります。別売の専用テーブル（あっせん品）もあります。

設置・移動に関する注意

！ 注意



- ミシンの使用温度は5～40℃です。低温や高温はミシンの誤動作の原因となります。
- 直射日光の当たらない環境で使用してください。直射日光はミシンの誤動作の原因となります。
- しっかりとした机や台の上にレベル座を接地させて、ミシンがガタつかないように設置してください。
- ミシンの下に物を入れて、ミシン底面後方の換気口をふさがないでください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。ミシン内部の温度が上がり故障・火災の原因となります。
- ミシン本体の重さは約37kgあります。運搬や設置は、必ず2人以上で行ってください。
- 必ず底部の指定箇所を持って、持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落したりして、ケガの原因となります。

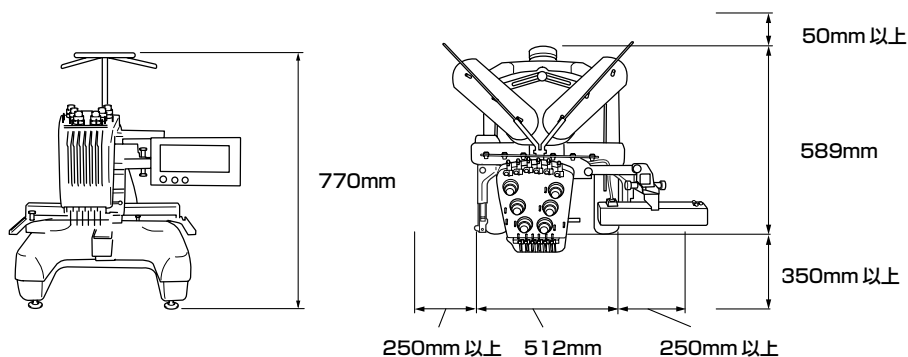


- 雷が発生しているときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。雷はミシンの誤動作・故障の原因となります。
- 設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤ってスタート／ストップスイッチを押すと、ミシンが作動してケガの原因となります。
- 潤滑油やグリスを扱うときは、保護眼鏡や保護手袋等を使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす原因となります。また潤滑油やグリスを飲んだり食べたりしないでください。下痢・おう吐することがあります。子供の手の届かないところに置いてください。

設置に適した場所

ミシンは、次のような場所に設置してください。

- ・ 本体と壁の間に 50mm 以上のすき間をあける
- ・ ミシン本体が十分置けるスペースのある場所
- ・ 刺しゅう枠の稼動範囲には物を置かない
- ・ コンセントから直接電源をとれる場所
- ・ 机の上など、水平で安定した場所
- ・ ミシン本体の重さ(約 37kg)に耐えられる場所
- ・ 底面後方の換気口をふさがない



注意



● 誤動作や故障の原因となるため、次のような場所には設置しないでください。

水などの液体のかかる場所

直射日光の当たる場所

ほこりの多い場所

刺しゅう枠の稼動範囲に物が置いてある

底面後方の換気口をふさいでいる

十分なスペースがない場所

安全のために：
ミシン本体の重さは約 37kg あります。不安定な台や机には設置しないでください。

タコ足配線はしない

ぐらついた台

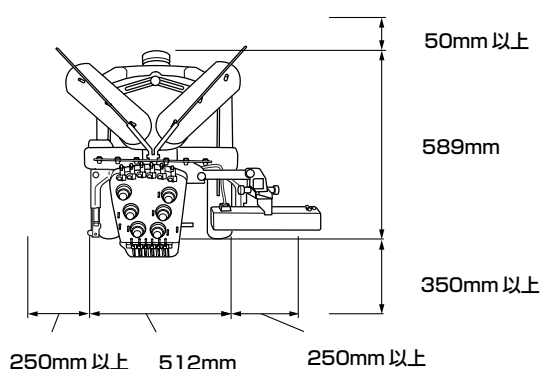
極端に高温または低温になる場所(使用環境は 5℃から 40℃です)

ミシンを据え付ける

脚を調節し、ガタつかないようにミシン本体を据え付けます。

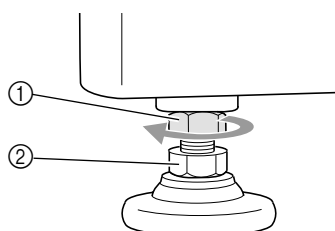
- 1 ミシンに取り付けられている保護テープや保護材を、すべて取り外してあることを確認します。

- 2 設置スペースを確保して、ミシンを設置します。



- 3 ガタつかないように脚を調節します。

調整したい脚のナットを、付属のスパナでゆるめます。

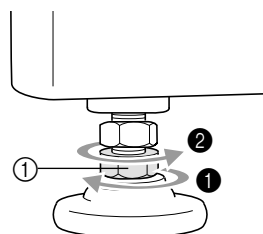


- ① ナット
- ② レベル座のナット

▶ レベル座が回るようになります。

- 4 レベル座のナットを、付属のスパナで回します。

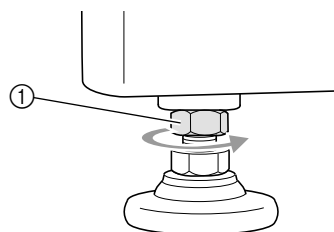
脚は、①の方向に回すと伸び、②の方向に回すと縮みます。



- ① レベル座のナット

● 4本の脚のレベル座がしっかりと接地するように調節します。

- 5 脚の長さが調節できたら、ナットを付属のスパナで締めます。



- ① ナット

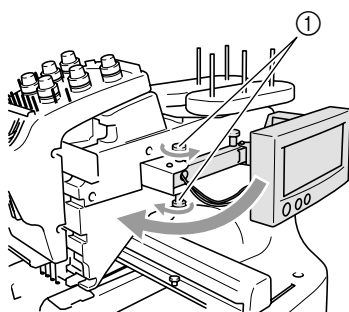
- 6 4角を押してみて、ガタつきがないか確認します。

ガタつくときは、再度手順③から⑤を行い、脚を調整します。

操作パネルの位置を調整する

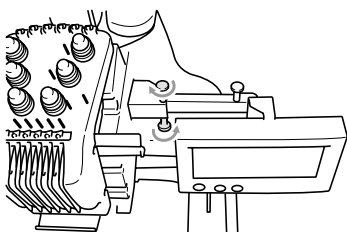
操作パネルの向きや角度を調整して、使いやすい位置にします。

- 1 上下のつまみボルトをゆるめて、操作パネルを手前に引き寄せます。



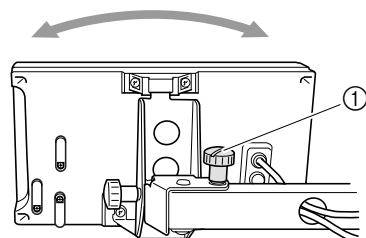
① つまみボルト

- 2 使いやすい位置に操作パネルを合わせたら、つまみボルトを締めます。



- 3 向きを調整します。

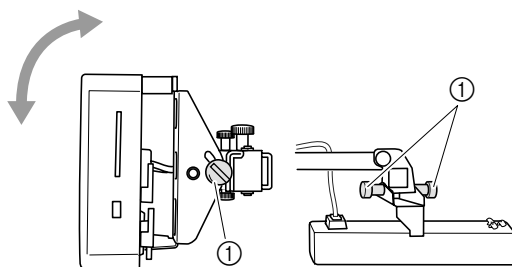
つまみボルトをゆるめて使いやすい向きにし、つまみボルトを締めます。



① つまみボルト

- 4 角度を調整します。

左右のつまみボルトをゆるめて使いやすい角度にし、つまみボルトを締め付けます。



① つまみボルト



お願い

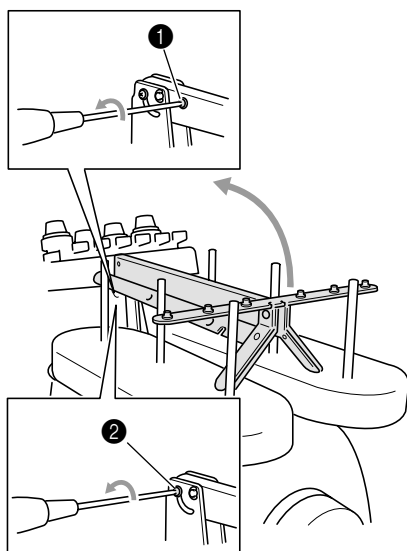
- つまみボルトをゆるめたり締めたりするときは、付属の針板ドライバーを使用してください。

糸案内を準備する

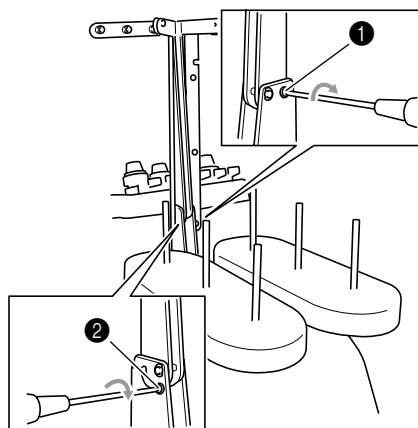
糸案内を立てます。付属のプラスドライバーを用意します。

- 1** プラスドライバーで糸案内支持棒の左の2本のネジをゆるめ、糸案内をを起こします。

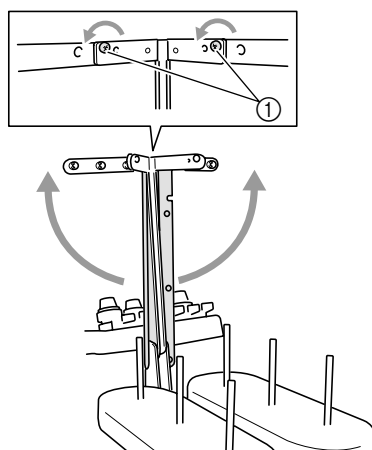
①のネジは外し、②のネジは3～4回、回してゆるめます。



- 2** 糸案内を垂直になるまで起こし、左の②のネジを締めます。①で外した①のネジで、糸案内支持棒の右から固定します。

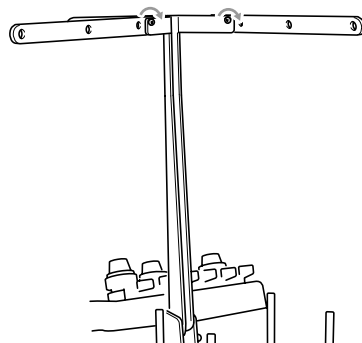


- 3** プラスドライバーで左右の糸案内のネジをゆるめ、水平になるように糸案内を持ち上げます。



① ネジ

- 4** 左右の糸案内のネジを締めます。



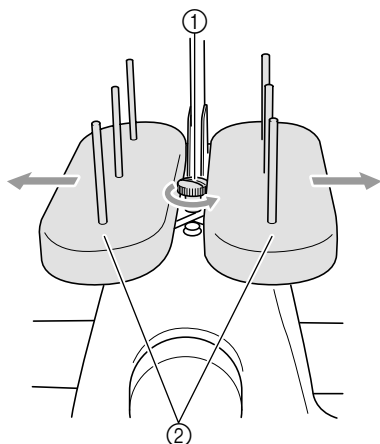
お願い

- 各ネジのゆるめ方が弱いと、糸案内支持棒、糸案内を動かすことができません。無理に動かさないで、ネジを十分ゆるめてから動かしてください。
- 各ネジを締めるときは、糸案内支持棒、糸案内が固定されるよう、確実に締めてください。

糸立台を準備する

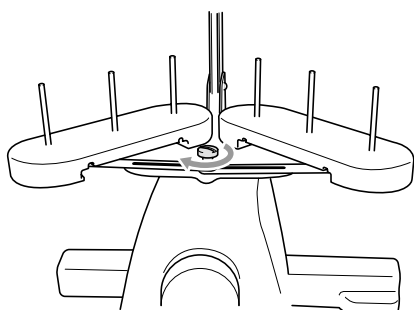
糸立台を縫製位置で固定します。

- 1 つまみボルトをゆるめて、糸立台を左右に開きます。



① つまみボルト
② 糸立台

- 2 いっぱいまで開いたら、つまみボルトを締め付けます。

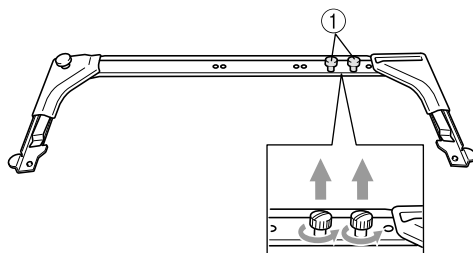


▶ 糸立台が開いた状態で固定されます。

台枠をセットする

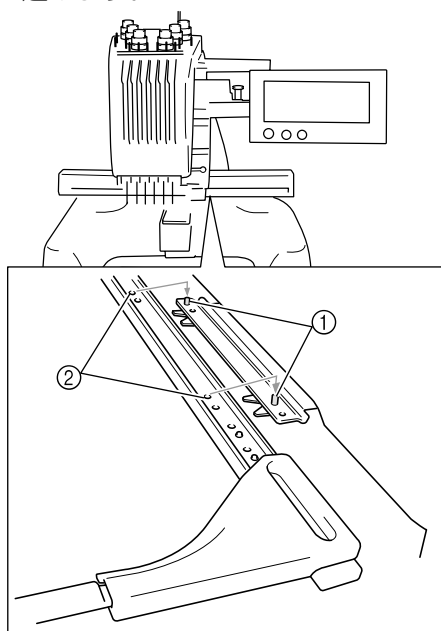
キャリッジに台枠をセットします。

- 1 台枠の2本のつまみボルトを外します。



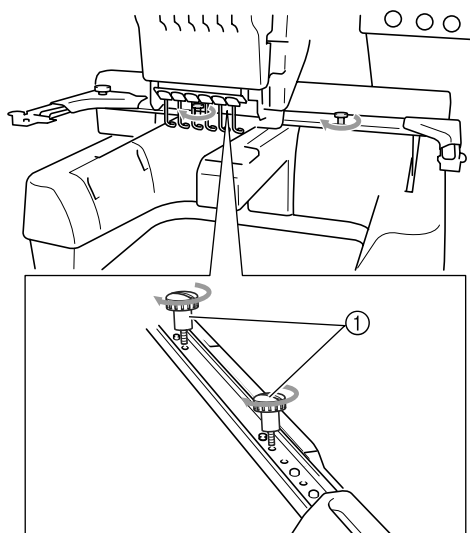
① つまみボルト

- 2 台枠の穴をXキャリッジのピンに差し込みます。



① Xキャリッジのピン
② 台枠の穴

3 つまみボルトで台枠を固定します。



① 手順①で外したつまみボルトを使用してください。



お願い

- つまみボルトをゆるめたり締めたりするときは、付属の針板ドライバーを使用してください。

これで、ミシンの準備は完了しました。

2

使ってみましょう 【チュートリアル】

電源を入れるところから、1つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追って説明します。実際に操作しながら、使い方をマスターしましょう。

使用上の注意	16
基本手順	19
画面早見一覧	54
わからないことがあるときの参考	63

下糸をセットする	1
電源を入れる	2
模様を選ぶ	3
模様の編集	4
縫製設定	5
仕上がりイメージを確認する	6
刺しゅう枠に布地を張る	7
刺しゅう枠をミシンにセットする	8
縫製範囲を確認する	9
上糸をセットする	10
刺しゅうをぬう	11
糸調子を確認する	12
刺しゅう枠、布地を外す	13
電源を切って終了する	14

使用上の注意

このミシンを正しく使っていただくために守っていただきたいポイントを説明します。

電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説明します。

！ 警告



- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
 - ・ ミシンを使用したあと
 - ・ 運転中に停電したとき
 - ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - ・ 雷が鳴りはじめたとき

！ 注意



- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お近くの販売店またはお客様 Sew[®] 談室 フリーダイヤル 0120-332-392 にご連絡ください。
- 長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

針に関する注意

針を取り扱うときの注意を説明します。以下の注意を守らないと、針が折れて飛び散るなど大変危険です。よく読んで必ず守ってください。

！ 注意



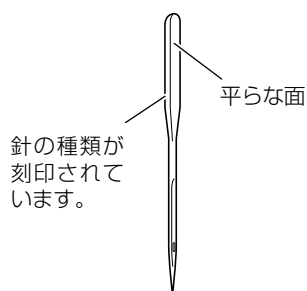
- このミシンは一般の刺しゅう針を使用するように設計されています。工場推奨針はオルガン社製の“HAX 130 EBBR”です。その他の針を使用すると、針折れや糸切れ、自動針穴糸通し装置などの故障の原因となります。



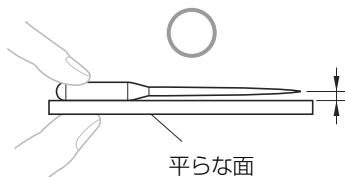
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

正しい針の見分け方

針が曲がった状態で使用すると、途中で折れてしまうことがあり非常に危険です。針の平らな面を平らな板に合わせ、針と板のすき間が平行である針を使用してください。曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。(P.67「針を交換する」参照)

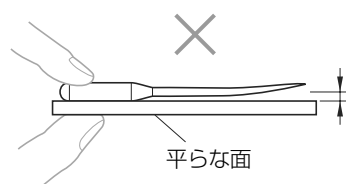


■ 良い針



■ 悪い針

すき間が平行でない場合は、針が曲がっています。その針は使用しないでください。



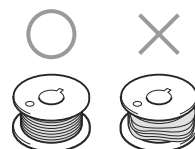
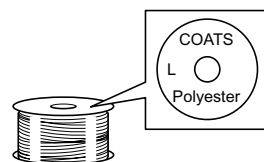
ボビンに関する注意

ボビンに関して気をつけなければいけないことを説明します。

！ 注意



- 必ず、金属ボビン（部品コード：100376-053）または使い捨てボビン（推奨：COATS 社製、L タイプ）を使用してください。他のボビンを使用すると、ケガ・故障の原因となります。
- 下糸は正しく巻かれたものを使用してください。糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。
- 下糸を巻く時は、必ず付属の下糸巻き装置を使用してください。(P.5「下糸巻き装置と付属品」、P.21「下糸巻き装置の取り付け」、「電源と接続する」、P.22「下糸を巻く」参照)
- 下糸を巻く時は、綿またはポリエステル糸（＃90～120）を使用してください。



上糸に関する注意

上糸に関して気をつけなければいけないことを説明します。



お願い

- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸（den 120 x 2、#50）を使用してください。
- 糸によっては、糸切れ、糸調子不良が発生する場合があります。そのような場合は、糸を交換してください。

布地に関する注意

布地に関して気をつけなければいけないことを説明します。



注意



- 刺しゅうができる布地の厚さは、約 1mm までです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
- 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささりにくなり、針が折れたり、曲がったりするおそれがありますのでご注意ください。



お願い

- 薄地、伸びる布地などぬいにくい布地には、接着芯を貼ってください。（P.70「布地に接着芯を貼る」参照）
- 大きな布地に刺しゅうするときは、布地がキャリッジに巻き込まれないように注意してください。

画面に関する注意

液晶画面の取り扱いに関する注意を説明します。



お願い

- 画面は指、または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったりしますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。（P.208「画面が見にくいときは」参照）
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性によるもので、故障ではありません。約 10 分で通常の明るさになります。
- 画面を正面以外から見ると、色が変化したり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。

基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。
操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

手順	操 作	チュートリアル 参照ページ	使用上の注意 参照ページ
1	下糸をセットします。	P.20	P.17
2	電源を入れます。	P.26	P.16, 18
3	刺しゅう模様を選びます。	P.29	
4	刺しゅう模様を編集します。	P.31	
5	縫製のしかたを設定します。	P.32	
6	仕上がりイメージを確認します。	P.33	
7	刺しゅう枠に布地を張ります。	P.34	P.18
8	刺しゅう枠をセットします。	P.36	
9	縫製範囲を確認します。	P.38	
10	上糸をセットします。	P.39	P.18
11	スタート/ストップスイッチを押し、ぬいます。 (ぬい終わると、自動的にミシンは停止します。)	P.47	
12	糸調子を確認します。	P.50	
13	刺しゅう枠・布地を外します。	P.51	
14	電源を切って終了します。	P.52	

例) ワンポイント模様



次のページから、左の模様を例にして各手順を説明します。
ただし、模様の編集や縫製のしかたの設定はしないで進めます。模様の編集は P.123 を、縫製のしかたの設定は P.91 を参照してください。
P.54～62 に、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーの説明を、一覧でまとめて説明しています。クイックリファレンスとしてご活用ください。

P.16～18 に、基本操作に関する使用上の注意をまとめて記載してあります。ミシンを正しく使っていただくための重要な注意事項です。必ず読んでください。

1. 下糸をセットする

購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。ボビンに関する注意については、P.17を参照してください。



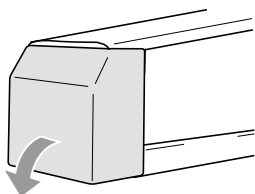
お願い

- ボビンを交換する度に、ボビンケースを掃除してください。(P.194「ボビンケースの掃除」参照)

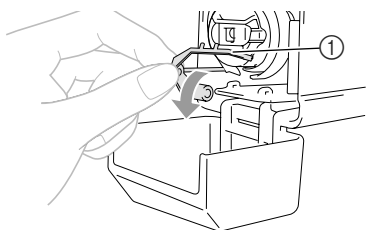
ボビンケースを取り出す

1 釜カバーを開けます。

手前に引きます。



2 ピッカーを手前に引きます。



① ピッカー

ボビンが取り出しやすくなるように、釜から離します。



お願い

- ピッカーはぬい始める時や糸を切る時に、糸を固定するための装置です。

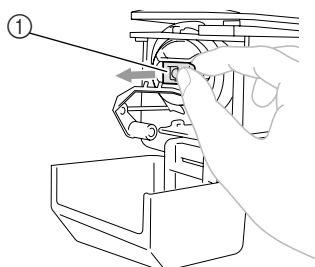


注意



- ピッカーが動く範囲は決まっています。無理に動かさないでください。

3 ボビンケースのつまみを持って、ボビンケースを取り出します。



① つまみ

■ ミシンに注油する

ボビンケースを取り出したら、ここで注油をしてください。レース部に注油が必要です。注油のしかたについては、P.190「ミシンに注油する」を参照してください。



お願い

- ミシンを初めて使うときは、必ず注油をしてから動かしてください。

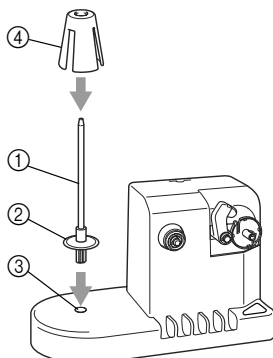
次に、下糸巻き装置を取り付け、金属ボビンに下糸を巻きます。

下糸巻き装置の取り付け

下糸立棒、糸こまクッション、糸案内を下糸巻き装置に取り付けます。

1 下糸立棒と糸こまクッションを立てます。

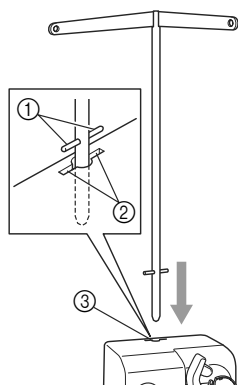
受皿側を下にして、糸立棒用穴へ垂直に差し込んだ後、糸こまクッションを差し込みます。



- ① 下糸立棒
- ② 受皿
- ③ 糸立棒用穴
- ④ 糸こまクッション

2 糸案内を立てます。

糸案内のピンと糸案内用穴の切り欠きを合せて、垂直に差し込みます。



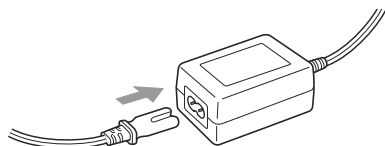
- ① 糸案内のピン
- ② 糸案内用穴の切り欠き
- ③ 糸案内用穴

- 奥までしっかりと差し込み、ふらつきがないことを確認してください。

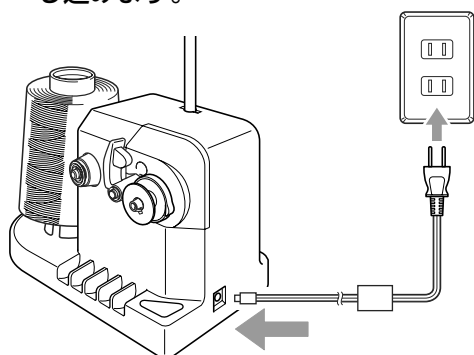
電源と接続する

電源についての注意は、P.16を参照してください。

1 電源コードのジャックをACアダプターに挿入します。



2 ACアダプターのプラグを下糸巻き装置のDC入力端子につなぎ、電源プラグを家庭用電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



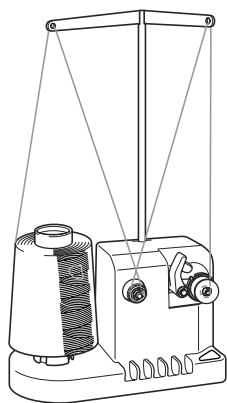
- ACアダプターのプラグは、下糸巻き装置のDC入力端子にしっかりと差し込んでください。

！ 注意

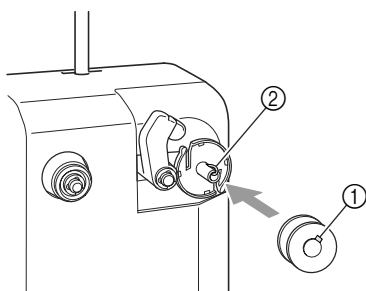
- 必ず、付属のACアダプターを使用してください。これ以外のACアダプターを使用すると、故障の原因となります。
- ACアダプターを接続したり、外したりするときは、作動していないことを確認してから行ってください。
- ご使用にならないときは、電源コンセントから抜いてください。

下糸を巻く

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。下糸は、綿またはポリエステル糸（＃90～120）を使用してください。

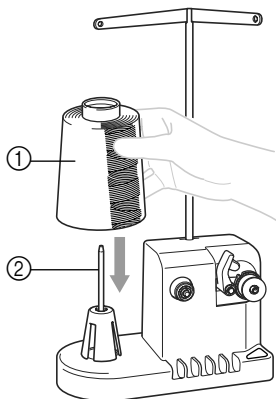


- 1** ボビンのミゾを下糸巻き台のバネに合わせ、ボビンを取り付けます。



- ① ボビンのミゾ
② 下糸巻き台のバネ

- 2** 下糸立棒に糸こまを立てます。



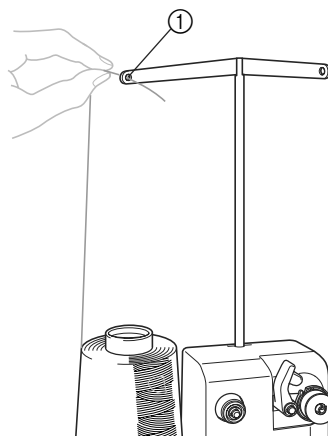
- ① 糸こま
② 下糸立棒



お願い

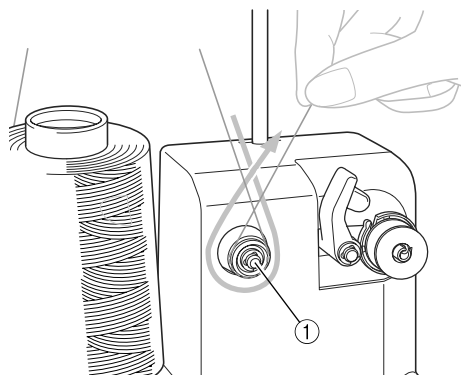
- 小さい糸こまを使う場合は、糸こまクッションを取り外してから糸こまを立て、糸こま押えを差し込んでください。

- 3** 糸案内の左の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



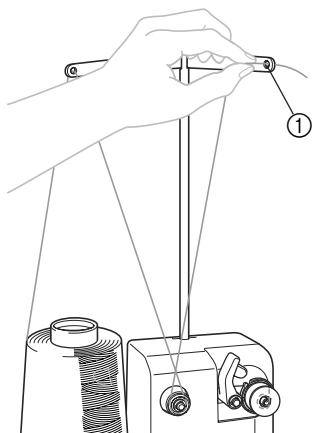
- ① 糸案内の穴

- 4** 図のように、糸を調子皿に巻きつけます。糸が調子皿にきちんとかかっていることを確認します。



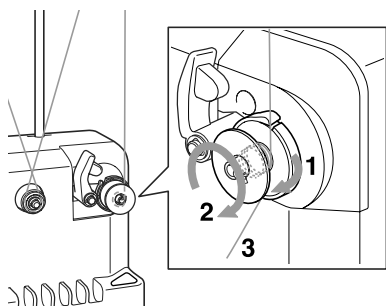
- ① 調子皿

- 5** 糸案内の右の穴に、手前から後方に向かって糸を通します。

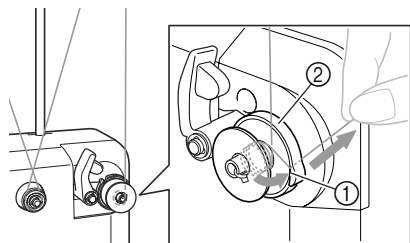


① 糸案内の穴

- 6** 図のように、時計回りに4～5回、糸を巻きつけます。



- 7** 下糸巻き台の案内ミゾに糸の端を通して渡し、糸を引きます。カッターが糸を切ります。

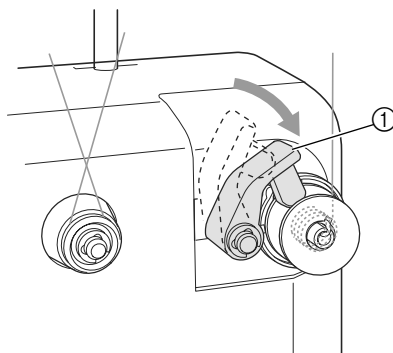


① 案内ミゾ
② 下糸巻き台

お願い

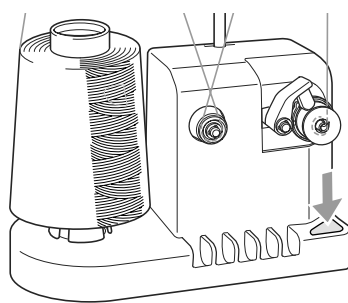
- 必ず手順に従ってください。糸がカッターで切られずにボビンが巻かれると、ボビンがゆっくりと動いている時に下糸がボビンの周りでもつれ、針が折れることがあります。

- 8** ボビン押えをカチッと音がするまでスライドさせます。



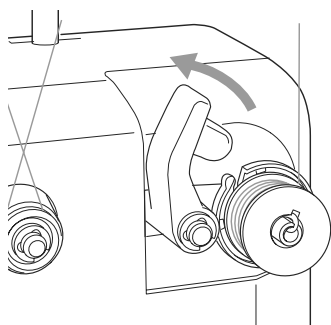
① ボビン押え

- 9** 電源スイッチを押し、下糸を巻きます。

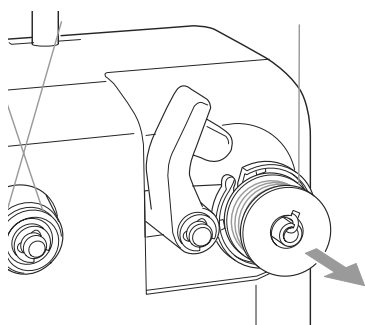


▶ 下糸を巻き始めます。

- 10** 巻き終わると、自動的にボビンの回転が止まり、ボビン押えが元の位置へ戻ります。



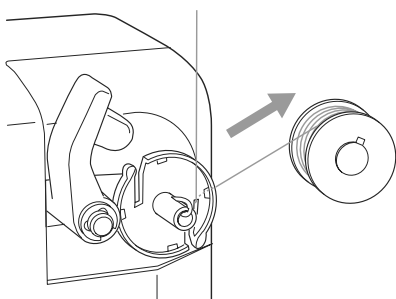
- 11** ボビンを外します。



お願い

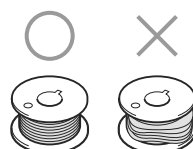
- ボビンを外すときは、下糸巻き台をひっぱらないようにしてください。下糸巻き台が緩んだり外れたりして、下糸巻き装置が破損するおそれがあります。

- 12** 糸を下糸巻き台の案内ミゾに通して引き、カッターで糸を切ります。

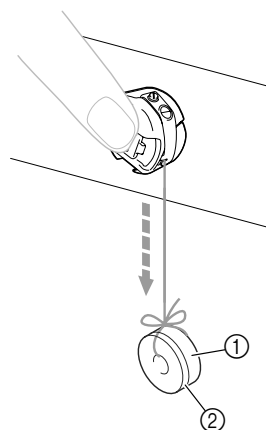


！ 注意

- 下糸がボビンにきちんと巻かれたことを確認してください。正しく巻かれていないボビンを使うと、針が折れたり糸調子がおかしくなったりする原因となります。



- ボビンを交換するときは、毎回必ずボビンケースを掃除してください。ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲に、糸のワックスやゴミがたまると、糸調子不良の原因となります。掃除のしかたは、P.193「ボビンケースの掃除」を参照してください。
- ボビンを交換するときは、毎回必ず糸調子を確認してください。金属ボビンを使用する場合は、下糸おもりのLタイプ(部品番号：XC5974-151)とSタイプ(部品番号：XC6631-051)の両方を使って確認してください。下糸の調整のしかたは、P.89「下糸の調子进行调整する」を参照してください。



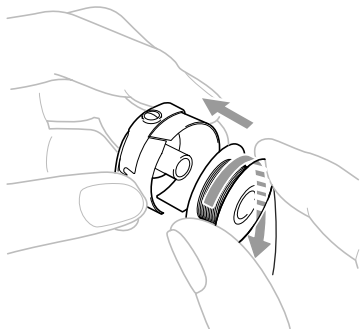
- ① 下糸おもり(Lタイプ)
② 下糸おもり(Sタイプ)

■ 巻いている途中で止まってしまったら

糸立棒に絡むなどして糸が送られなくなると、下糸巻き装置は自動的に止まります。このようなときは、糸を正しくかけ直して巻き直してください。

ボビンをセットする

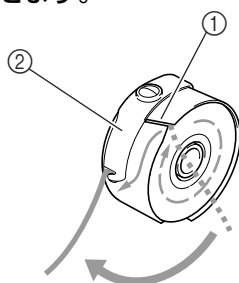
1 ボビンをボビンケースに入れます。



お願い

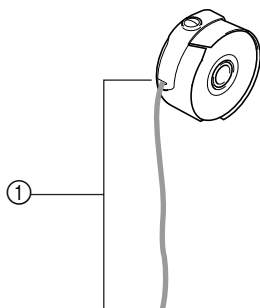
- 巻き方向が図のようになっていることを確認してください。逆向きにボビンを入れると、下糸の空転が増え、縫製に不具合が生じることがあります。

2 糸を切りミソから調子バネの下へ、すべり込ませます。



- ① 切りミソ
- ② 調子バネ

3 糸を調子バネの糸穴から引き出します。

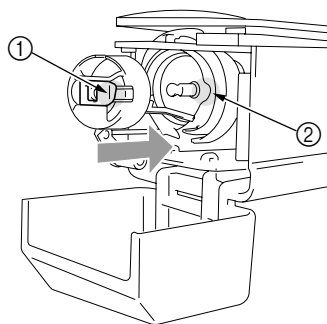


- ① 糸端を 50mm ほど引き出します。
- 下糸調子の調整の仕方は、P.89「下糸の調子进行调整する」を参照してください。

ボビンケースをセットする

1 ボビンケースを釜に取り付けます。

図のように、釜の凹部とボビンケースの凸部を合わせて、押し込みます。

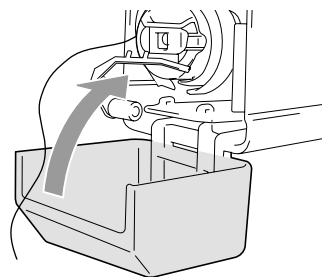


- ① 凸部
- ② 凹部

- カチッと音がするまで、奥まで押し込んでください。



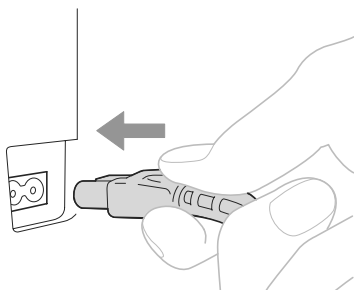
2 釜カバーを閉めます。



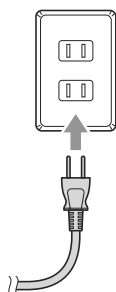
2. 電源を入れる

電源コードを用意し、電源を入れます。電源に関する注意については、P.16 を参照してください。

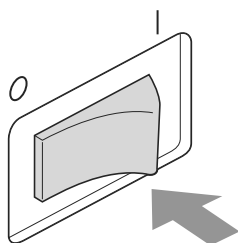
- 1 電源コードを電源コードジャックに差し込みます。



- 2 電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



- 3 本体右側面の電源スイッチの右側 (I側) を押します。



▶ ブザーがピッと1回鳴り、液晶画面が点灯します。

- 4 オープニング画面の後、次の画面が表示されたら、**OK** を押します。



▶ 模様選択画面が表示され、スタート/ストップスイッチが赤く点灯します。

- 5 キャリッジが初期設定の位置に移動します。

- 1 番針棒が縫製位置にない場合は、針棒ケースが動いて、1 番針棒が縫製位置に移動します。

! 注意



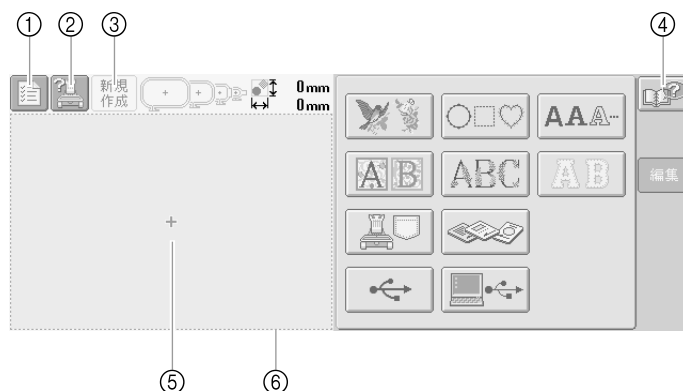
- キャリッジに手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。

🔔 お知らせ

- このミシンは、縫製途中で中断し電源を切っても、次に電源を入れたときに続きからぬうことができます。その場合は電源を入れたとき、続きをぬうか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。(P.87「停止後、途中からぬうときは」参照)

画面の見方

電源スイッチを入れ、**OK** を押すと、模様選択画面が表示されます。ここからは、操作パネル上での操作に入ります。液晶画面の取り扱いに関する注意は、P.18 を参照してください。
次回から、電源スイッチを入れて表示される画面は、前回電源スイッチを切ったときの終了のしかたによって異なります。(P.66 参照)

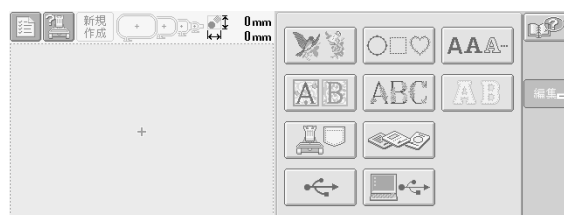


番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		設定キー	ミシンの設定を変更するときに押します。	P.144
②		ミシンの 使い方キー	使い方を確認するときに押します。	P.155
③		新規作成 キー	今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	
④		ヘルプキー	操作方法が分からないときなど、困ったときに押すと、解決方法を調べることができます。	P.157
⑤		模様表示 エリア	選択した模様が表示されます。⑥は特大枠の縫製範囲を示します。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他のディスプレイの設定はミシンの設定画面で設定できます。	P.147

※ ここで説明している設定キー以外のキーは、これから説明する画面で常に表示され、その機能を使うことができます。設定キーは、縫製画面では使うことができません。

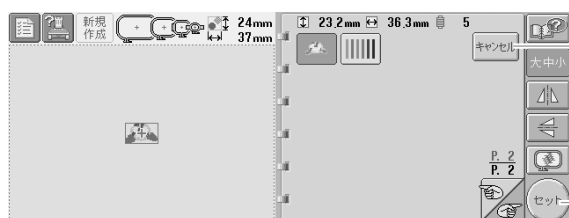
操作画面の流れ

基本的な操作画面の流れは次のとおりです。



- 1** 模様選択画面で、模様の種類を選びます。(P.29, 55 参照)

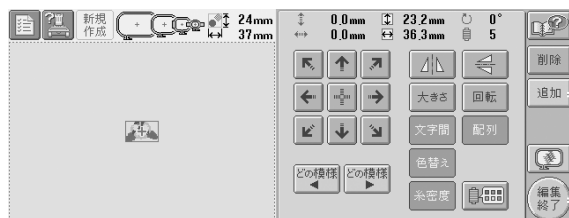
編集画面に進みます。
模様を選んでいないときは、押すことはできません。



- 2** 模様一覧画面で、模様を選びます。(P.29, 56 参照)

模様選択画面に戻ります。

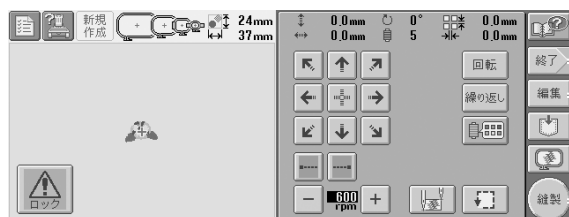
編集画面に進みます。



- 3** 編集画面で、個々の模様の編集をします。(P.31, 57 参照)

模様選択画面に戻り、模様を追加できます。

縫製設定画面に進みます。

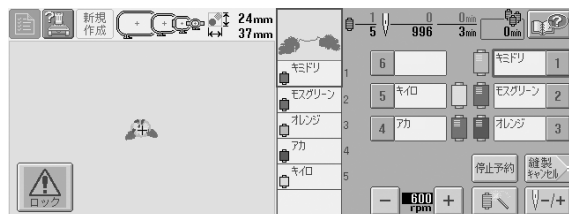


- 4** 縫製設定画面で、組み合わせをしている場合の模様全体の編集や縫製設定、縫製範囲の確認などをします。(P.32, 59 参照)

終了して、模様選択画面に戻ります。

編集画面に戻ります。

縫製画面に進みます。



- 5** 縫製画面で、針棒にかける糸色を確認し、上糸をかけます。

ロック解除キー () を押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わり、ミシンがスタートできる状態になります。縫製が終わると、縫製画面に戻ります。(P.39, 61 参照)

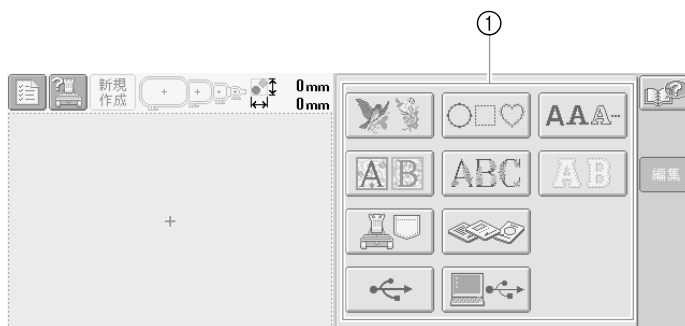
縫製設定画面に戻ります。

3. 模様を選ぶ

ここでは、内蔵ワンポイント模様の最終ページの模様を選びます。

模様選択画面で模様のカテゴリー（種類）を選びます。

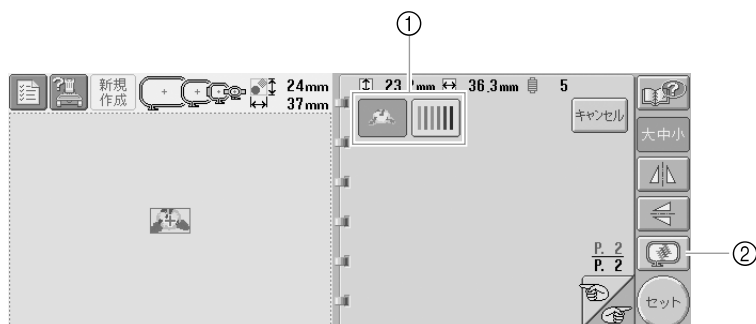
模様選択画面（画面の見方は P.55 参照）



① カテゴリーキー

模様一覧画面で目的の模様を探し、模様を選びます。

模様一覧画面（画面の見方は P.56 参照）

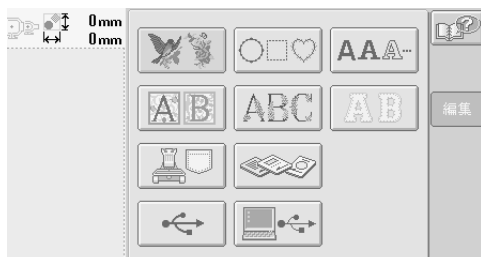


① 模様キー

② 仕上がりイメージを確認するときに押します。

ワンポイント模様を選ぶ

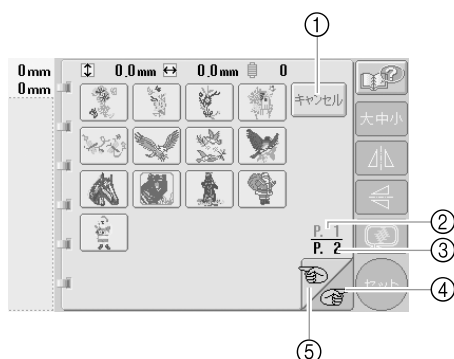
- 1  を押して、ワンポイント模様を選びます。



▶ ワンポイント模様一覧が表示されます。

- 2  を押して、目的のページを表示します。

ここでは最後のページを表示します。



- ワンポイント模様をやめて別の模様を選びたいとき：

- ① キャンセルキー

ここを押すと、模様選択画面に戻ります。

- 複数のページがあるとき：

- ② 現在開いているページナンバー

- ③ 総ページ数

- ④ 次のページヘキー

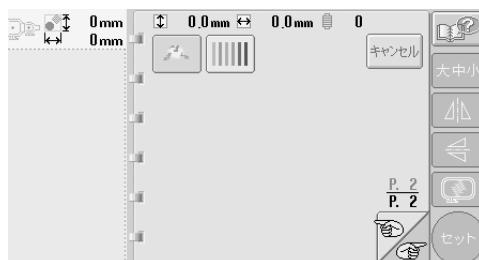
ここを押すと、次のページが表示されます。最後のページの場合は、1ページが表示されます。

- ⑤ 前のページヘキー

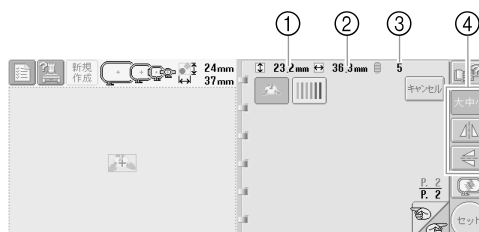
ここを押すと、前のページが表示されます。1ページの場合は、最後のページが表示されます。

- 3 選びたい模様を押します。

ここでは  を押します。



▶ 模様表示エリアに、模様が表示されます。



- 模様を選ぶと、

- ① 模様の縦の長さ

- ② 模様の横の長さ

- ③ 色替え数

が表示されます。

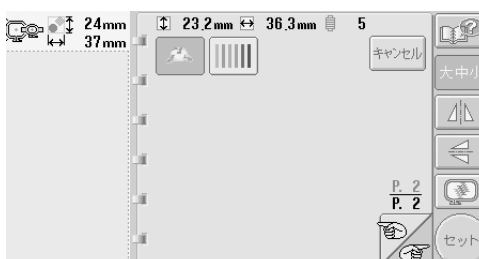
のキーで、模様の大きさを変更したり、反転したりすることができます。模様の種類によって、できることが違います。（P.125「左右反転する」「上下反転する」「大きさを変える」参照）

- ③ の色替え数は、使用する糸色数とは異なります。同じ糸色でも、2度ぬう場合は「2」と表示されます。

- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

- 4  を押して、選んだ模様の仕上がりイメージを確認します。

- 5  を押して、次の画面に進みます。



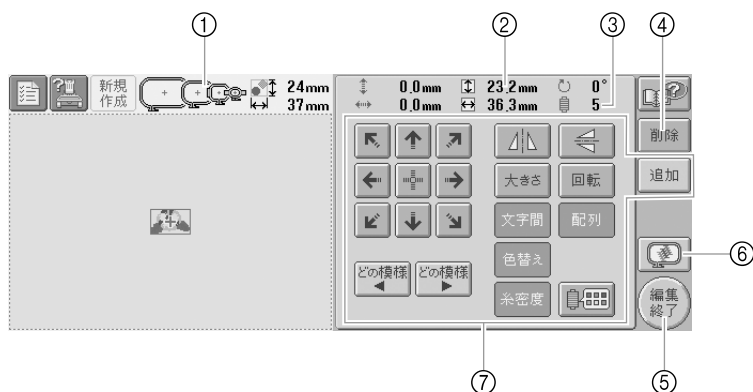
これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

4. 模様の編集

模様一覧画面で **セット** を押すと、編集画面が表示されます。この画面で模様を編集することができます。

編集画面（画面の見方は P.57 参照）



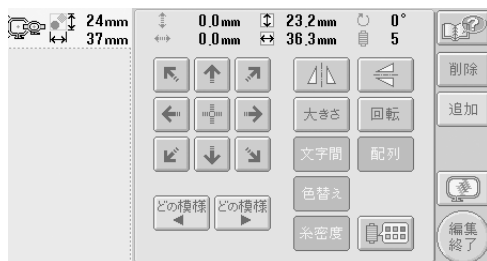
- ① 選んだ模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。
- ② 選んだ模様の高さを示します。
上段が縦の長さ、下段が横の長さです。
- ③ 選んだ模様の色替え数を示します。
- ④ まちがえて模様を選んでしまった場合など、模様を削除したいときに押します。模様が何も選ばれていない状態になると、模様選択画面に戻ります。

- ⑤ 次の画面に進むときに押します。
- ⑥ 仕上がりイメージを確認するときに押します。
- ⑦ 編集する場合はこれらのキーを使います。

このチュートリアルでは、模様の編集は行いません。編集操作は何もしないで、次の画面に進みます。

縫製設定画面に進む

- 1 **編集終了** を押します。



▶ 縫製設定画面に進みます。

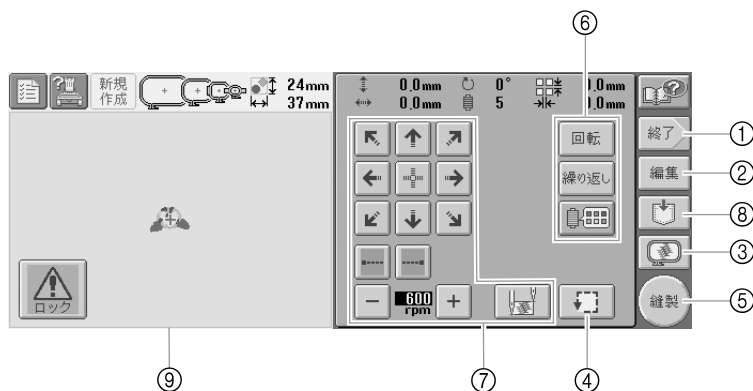
お知らせ

- 編集画面で操作を中断し電源を切っても、次に電源を入れたときに引き続き操作をすることができます。その場合は電源を入れたとき、前回の続きの操作をするか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。（P.66「前回電源を切る前の操作の続きをするには」参照）

5. 縫製設定

編集画面で **編集終了** を押すと、縫製設定画面が表示されます。この画面で模様全体の編集と縫製のしかたを設定をすることができます。また、縫製位置の確認、模様の記憶も、この画面で行います。

縫製設定画面（画面の見方は P.59 参照）



- ① 最初からやり直す場合に押します。
- ② 編集画面に戻る場合に押します。
- ③ 仕上がりイメージを確認するときに押します。
- ④ 縫製範囲を確認するときに押します。
- ⑤ 次の画面に進むときに押します。
- ⑥ 編集する場合はこれらのキーを使います。

- ⑦ 縫製のしかたを設定する場合はこれらのキーを使います。
- ⑧ 模様を記憶する場合はこのキーを使います。
- ⑨ 縫製設定画面から、模様表示エリアの刺しゅう枠ガイドはセットされている刺しゅう枠の大きさで表示されます。

このチュートリアルでは、縫製設定は行いません。次の手順に進みます。



お知らせ

- 縫製設定画面に進んだときに正位置にない刺しゅう枠をセットしてある場合は、縫製設定画面が表示されると同時に刺しゅう枠が動き、正位置に移動します。（P.74「刺しゅう枠の位置と動きについて」参照）



お知らせ

- 縫製設定画面で操作を中断し電源を切っても、次に電源を入れたときに引き続き操作をすることができます。その場合は電源を入れたとき、前回の続きの操作をするか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。（P.66「前回電源を切る前の操作の続きをするには」参照）

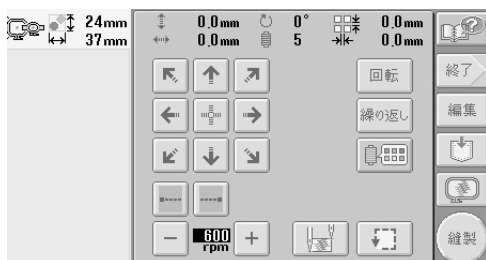
6. 仕上がりイメージを確認する

模様仕上がりイメージを、よりぬい上りに近い画像で確認します。

仕上がりイメージの見方

希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたときのイメージで見えます。

1 を押します。

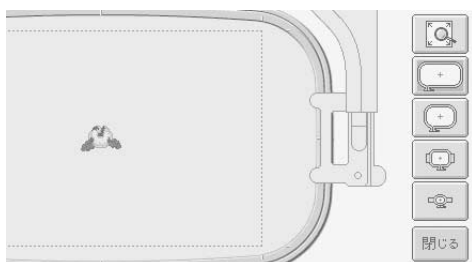


▶ イメージが表示されます。



- ① 押すと、各々の大きさの刺しゅう枠で表示されます。グレーで白抜きに表示されている刺しゅう枠は選ぶことはできません。
- ② 押すと、模様を拡大して見ることができます。

2 を押して、元の画面に戻ります。



お知らせ

- 編集画面でもイメージを確認することができます。

使ってみよう

1

2

縫製設定

5

6

仕上がりイメージを確認する

12

13

14

7. 刺しゅう枠に布地を張る

ぬう模様が決まったら、使用可能な刺しゅう枠を確認し、その枠に布地を張ります。
刺しゅう枠に布地を張る前に、薄い布地や伸びる布地は刺しゅう芯を貼っておいてください(P.70「布地に接着芯を貼る」参照)。布地に関する注意については、P.18を参照してください。



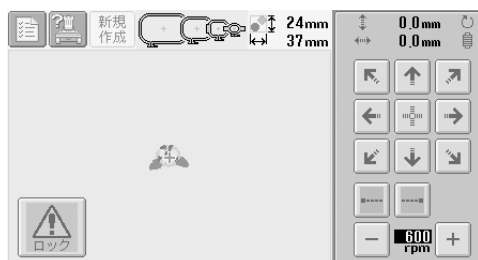
お願い

- 布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。次の手順にしたがい、布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。

布地の張り方

1 刺しゅう枠を選びます。

画面に表示されている刺しゅう枠を確認し、使用できる刺しゅう枠を選びます。



使用できる刺しゅう枠は濃く (), 使用できない刺しゅう枠は薄く () 表示されます。

■ 刺しゅう枠の種類

4種類の大きさの刺しゅう枠が同梱されています。それぞれの用途については、P.69「刺しゅう枠を上手に使うには」を参照してください。

画面表示	名称	縫製範囲
	特大枠	ヨコ 300mm × タテ 200mm
	大枠	ヨコ 180mm × タテ 130mm
	中枠	ヨコ 100mm × タテ 100mm
	小枠	ヨコ 60mm × タテ 40mm



注意



- 誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガ・故障の原因となります。



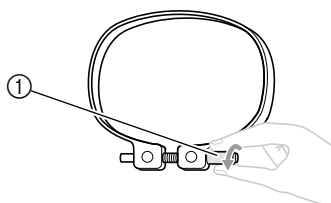
お願い

- ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠が全て表示されますが、できるだけ刺しゅう模様の大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが発生することがあります。(P.69「刺しゅう枠を上手に使うには」参照)

■ 小枠に布地を張る

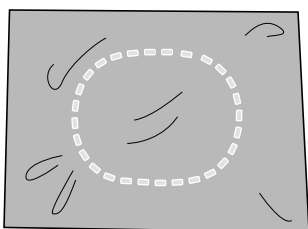
ここでは、小枠に布地を張ります。
中枠に張る場合も、同様の手順で布地を張ってください。
特大枠、大枠に張る場合は、P.71「布地の張り方」を参照してください。

2 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



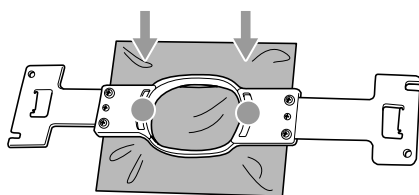
① 調節ネジ

3 外枠の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。



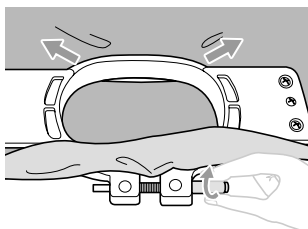
- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

4 内枠ではさみます。

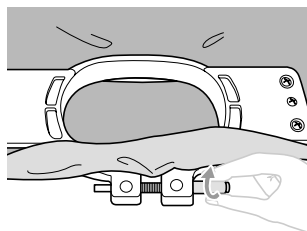


- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

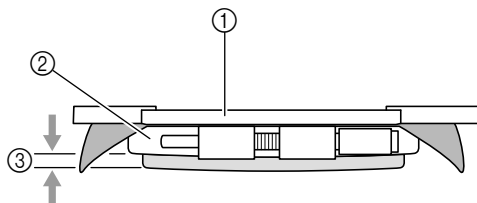
5 調節ネジを軽く締め、布地の端を引っ張ります。



6 調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのないことを確認します。

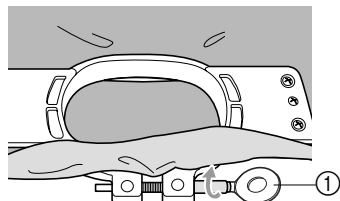


- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。
- 内枠の下部が外枠より下がるように、できるだけしっかりとほめてください。



- ① 内枠
- ② 外枠
- ③ 内枠の下部

- 調節ネジは付属の針板ドライバーで、しっかりと締め付けることもできます。



① 針板ドライバー

布地の種類によって、その布地に適した張り方や刺しゅう芯の使い方があります。ちょっとした工夫が、刺しゅうをきれいに仕上げます。いろいろ試してみましょう。(P.170「枠張りのテクニク」参照)

お知らせ

- このミシンは、別売の帽子枠も使用できます。(P.173「帽子枠(別売)を使う」参照)

8. 刺しゅう枠をミシンにセットする

刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットします。

！ 注意



- 刺しゅう枠を正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、ケガの原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。

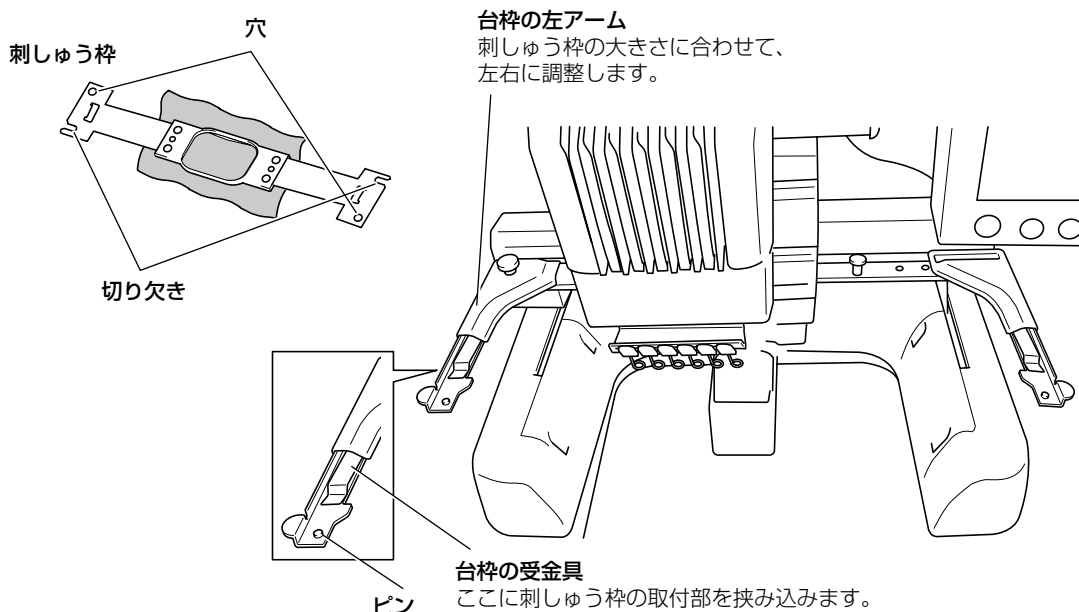


お願い

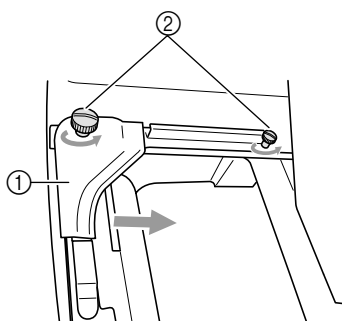
- 刺しゅう枠をセットする前に、下糸残量が十分あることを確認してください。

刺しゅう枠のセットのしかた

セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わせてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、小枠をセットします。



- 1** 台枠の2本のつまみボルトをゆるめます。
つまみボルトがきつすぎるときは、付属の針板ドライバーを使用してください。



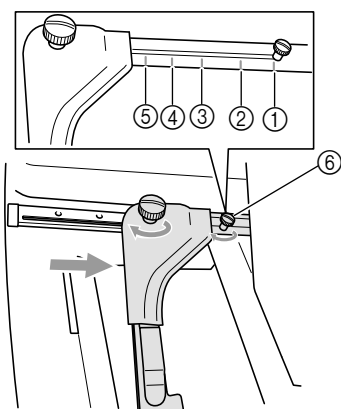
- ① 左アーム
② つまみボルト

▶ 台枠の左アームが移動できるようになります。

- つまみボルトは、2～3回、回してゆるめるだけで、外さないでください。

- 2** 左アームを移動し、セットする刺しゅう枠のマークを右のネジに合わせ、つまみボルトを締めます。

ここでは、⑤のマークを合わせます。



- ① 特大枠のマーク
② 大枠のマーク
③ 中枠のマーク
④ 工業用枠のマーク

(工業用枠を使用時は、ミシンは縫製範囲を認識することができません。必ず、ためしキーで縫製範囲の確認をしてください。工業用枠をセットするには、台枠の右アームも移動する必要があります。詳しくは、P.172を参照してください。)

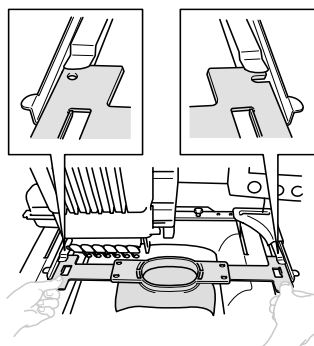
- ⑤ 小枠のマーク
⑥ マークを合わせるネジ

お願い

- 付属の針板ドライバーで、2本のつまみボルトをしっかりと締め付けてください。つまみボルトが締まっていないと、ミシンが誤った枠のサイズを認識します。

▶ 台枠の準備ができました。

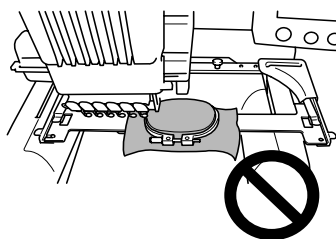
- 3** 刺しゅう枠を水平に持って、刺しゅう枠の取付部を左右同時に台枠の受金具に合わせ、挟み込ませます。



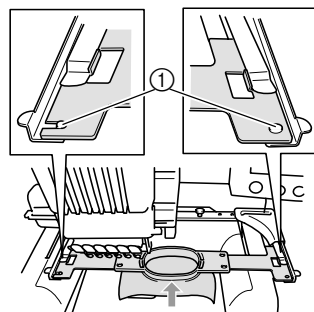
- 刺しゅう枠は内枠面を上にします。

お願い

- 外枠面を上にはセットしないでください。



- 4** そのまま奥へ刺しゅう枠を押し込みます。

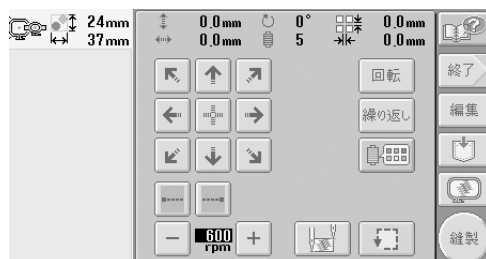


- ① 左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

9. 縫製範囲を確認する

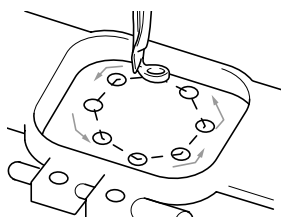
刺しゅうしたい場所とずれていないか、枠に当たっていないか、縫製範囲を確認します。
刺しゅう枠が正位置にない場合は、刺しゅう枠が正位置に移動してから縫製位置が示されます。

1 を押します。



▶ 押えが下がり、刺しゅう枠が動いて、縫製範囲を示します。

2 模様が内接する8角形の角を、縫製位置にある針の下で示します。



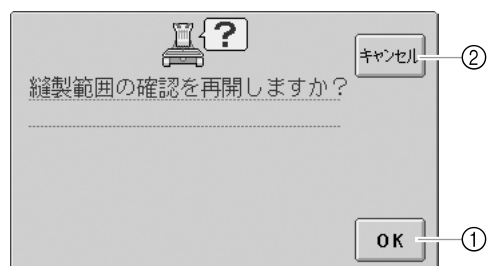
刺しゅう枠の動きをよく見て、刺しゅうしたい場所とずれていないか、刺しゅう枠と重なっていないか、確認してください。

■ 枠の移動を止めながら確認する／確認を中止する

しっかり確認したい位置で刺しゅう枠を一時停止したり、縫製確認を中止したりすることができます。

3 刺しゅう枠を止めたい位置で、再度 を押します。

▶ 動作は一時停止し、次の画面が表示されます。



① 押すと、動作を再開します。

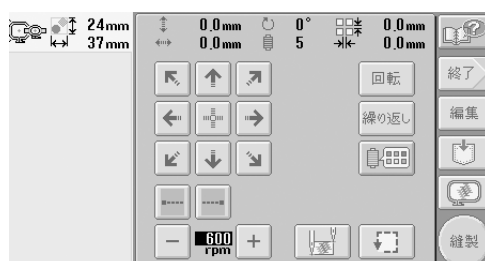
② 押すと、縫製確認を中止します。

4 動作を再開するときは、 を押します。中止するときは、 を押します。

縫製画面に進む

縫製設定画面で必要な操作が終わったら、縫製画面に進みます。

1 を押します。



▶ 縫製画面が表示されます。

10. 上糸をセットする

縫製画面で、何番の針棒にどの糸色を通すか確認し、上糸を通します。

針棒と糸色を確認する

縫製設定画面で **縫製** を押すと、縫製画面が表示され、上糸をセットする（次回からは糸こまを交換する）ように指示画面が表示されます。ここで、糸色を確認します。

縫製画面（画面の見方は P.61 参照）



- ① 1 番針棒の糸替え表示
- ② 2 番針棒の糸替え表示
- ③ 3 番針棒の糸替え表示
- ④ 4 番針棒の糸替え表示
- ⑤ 5 番針棒の糸替え表示
- ⑥ 6 番針棒の糸替え表示
- ⑦ 糸こま交換指示画面（P.81 参照）
この画面が表示されたときは、糸こま交換が必要です。 **閉じる** ⑧を押してこの画面を閉じないと、縫製に進むことはできません。

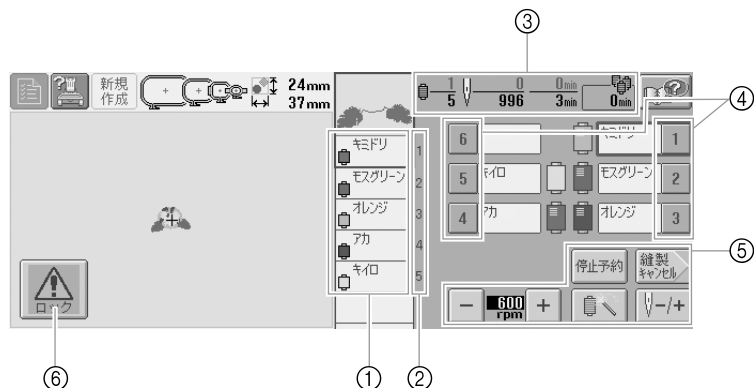
各針棒番号の横に示されている糸色名の糸を、その番号の針棒にかけます。ここでは、
 1 番針棒にキミドリ
 2 番針棒にモスグリーン
 3 番針棒にオレンジ
 4 番針棒にアカ
 5 番針棒にキイロ
 の糸をかけます。

1

閉じるを押します。

▶ 現在の糸色割り当てがミシンに記憶され、糸こま交換指示画面が閉じます。

● 縫製画面では糸色の確認の他に、総針数や時間などの確認や、縫製に関する設定ができます。



- ① 糸色のぬい順を示します。
- ② 左のぬい順表示の糸色が割り当てられている針棒番号を示します。
- ③ 色替え数、針数、縫製時間、次の糸こま交換までの時間を示します。
- ④ 押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸を通すときに使います。

- ⑤ 縫製に関する設定をする場合や縫製設定画面に戻る場合に使います。
- ⑥ ミシンをスタートするとき、このキーを押してミシンロックを解除してから、スタート/ストップスイッチを押します。

注意



- 縫製画面で  (ロック解除キー) を押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンはスタートできる状態になります。上糸をかけているときや針穴に糸を通しているときは、誤ってミシンを起動しないよう注意してください。ケガの原因になります。

上糸をかける

刺しゅう用の糸を使用し、1 番針棒から順に糸をかけていきます。

 → 基本操作 →  →  (3ページへ) →  の順にキーを押すと、上糸かけの手順を動画で見ることができます。(P.155 参照)

！ 注意



- 上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸が切れたり、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



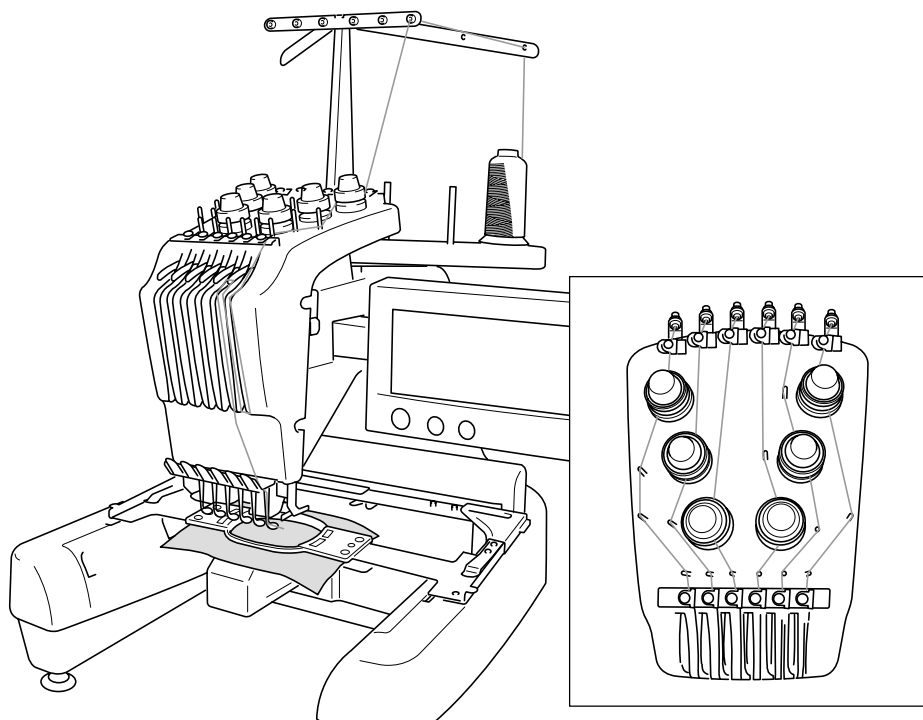
お願い

- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸 (den 120 x 2、# 50) を使用してください。

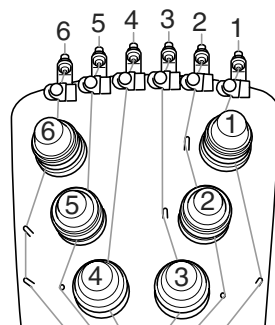
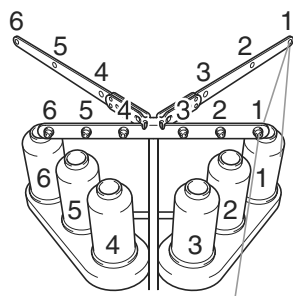


お知らせ

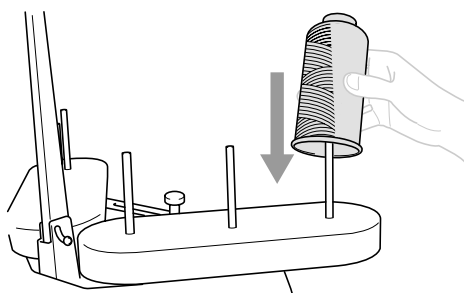
- 上糸を通す順番は、ミシン本体に線 (—) で示されています。そちらも併せてご覧ください。



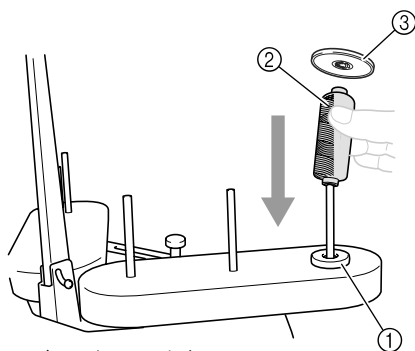
番号は、その針棒番号の糸が通る場所を示しています。まちがえないように注意して糸をかけてください。



1 1 番針棒に指定された糸色、キミドリ の糸こまを、1 番の糸立棒に立てます。

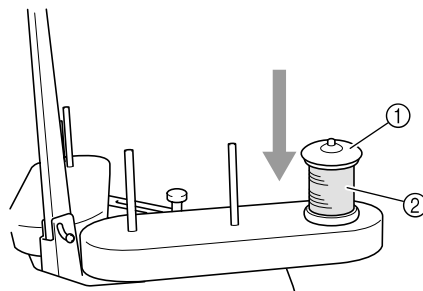


- 糸立棒がV字になっていることを確認してください。
- 小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てる前に、糸立棒に付属の糸こまフェルトを取り付けてください。
- 糸立棒より低い糸こまを使用する場合、付属の糸こま押えを取り付けてください。



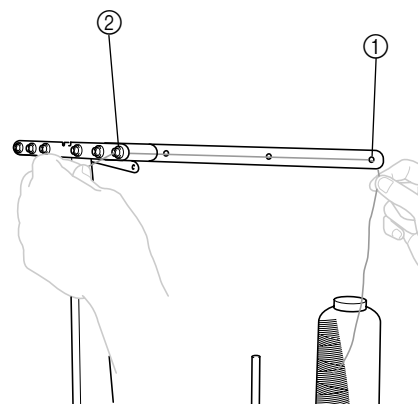
- ① 糸こまフェルト
- ② 小さい糸こま
- ③ 糸こま押え

- 両つば付きの糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てた後に、糸こまの上から糸立棒に付属の糸こま押えを取り付けてください。

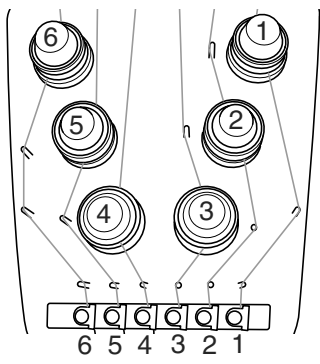


- ① 糸こま押え
- ② 両つば付きの糸こま

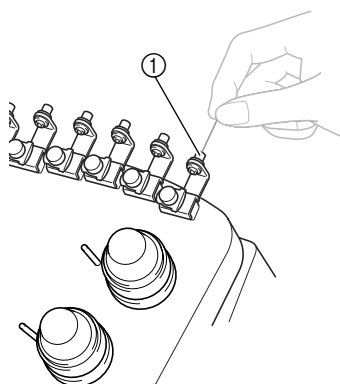
2 糸こまの真上の糸案内の1 番の穴に通し、手前の糸案内の1 番の穴に通します。



- ① 真上の糸案内の1 番の穴
- ② 手前の糸案内の1 番の穴

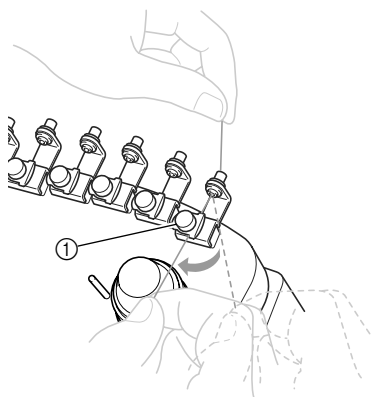


- 3** 1 番の糸道上の穴に通します。
糸案内側から手前に糸を通します。

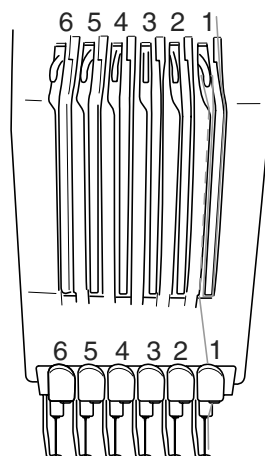


① 糸道上の穴

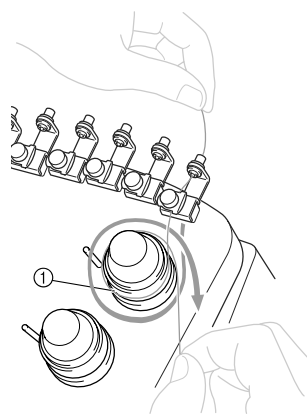
- 4** 1 番の糸道上に通します。
糸を両手で持ち、右から金具の下側に糸を通します。



① 糸道上



- 5** 1 番の回転調子皿に右回りに 1 回巻きつけます。



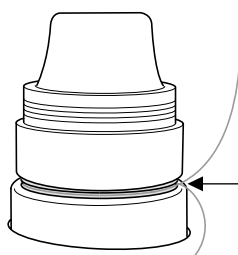
① 回転調子皿

- 糸が回転調子皿にきちんとかかっていることを確認してください。



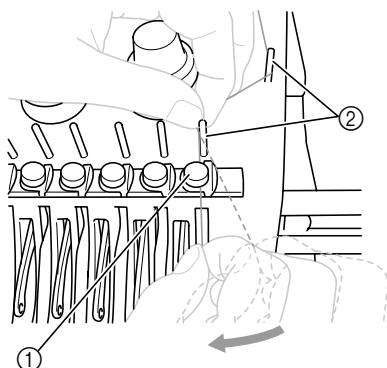
お願い

- 回転調子皿には、糸を時計回りに巻きつけてください。



ここを通っていること

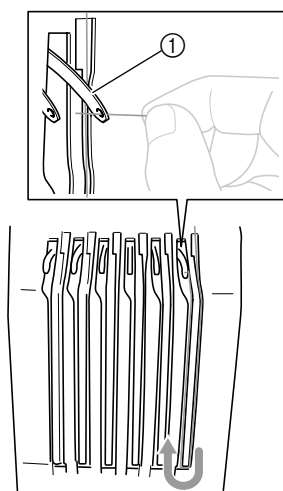
- 6** ミシン本体に示されている糸道に沿って糸を通し、1 番の糸道中に通します。



- ① 糸道中
② 糸案内ピン

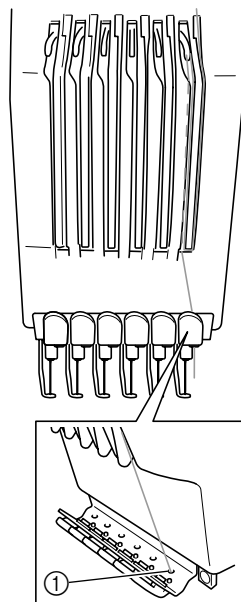
● 手順 4 から 6 の糸道上から回転調子皿に巻き付け、糸道中までの糸の通り道は番号によって違います。糸案内ピンの左右を通すことで、糸が絡まないように設計されています。図に従ってそれぞれの糸を通してください。

- 7** 1 番のミゾにそって糸を通し、1 番の天びんの穴へ右から通します。



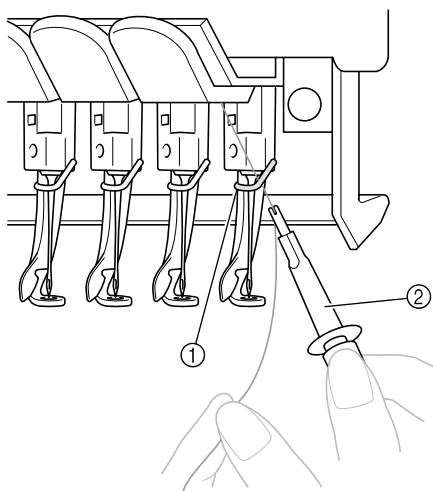
- ① 天びん

- 8** 糸案内ミゾに沿って糸を通し、1 番の糸道下の穴に糸を通します。



- ① 糸道下の穴

- 9** 付属の針交換ツールを使って、1 番の針棒糸かけに糸をかけます。



- ① 針棒糸かけ
② 針交換ツール

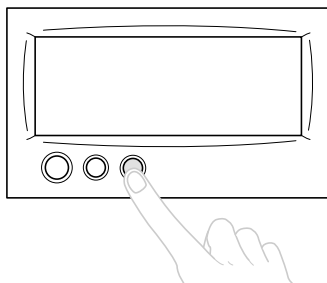
糸を針穴に通す

自動針穴糸通し装置を使って、糸を通します。



の順にキーを押すと、上糸かけの手順を動画で見ることができます。(P.155 参照)

1 自動針穴糸通しスイッチを押します。



▶ 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入ります。

！ 注意



- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが折れたり破損したときは、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 (フリーダイヤル0120-332-392) にご相談ください。
- 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入っているときは、絶対にプーリーを回さないでください。自動針穴糸通し装置が破損します。

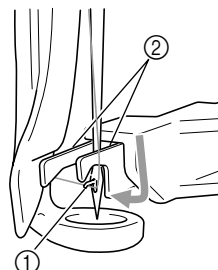


お願い

- 破損を避けるため、プーリーを回すと自動針穴糸通し装置が後ろに戻ることがあります。
- 自動針穴糸通し装置は、縫製位置にある針1本に糸を通すことができます。使用するときは、糸通しをする針棒が縫製位置にきていることを確認してください。縫製位置にきていないと自動針穴糸通し装置は使えません。その場合は、針棒を移動します。(P.46 参照)

2

糸を15cmほど引き出します。図のように、糸を右側から自動針穴糸通し装置のふたまた部を通して、針穴から出ているフックにひっかけます。



- ① フック
- ② ふたまた部

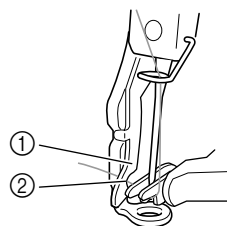


お願い

- フックにひっかけるときに、糸がたるまないよう注意してください。

3

押えの糸かけに糸をひっかけます。

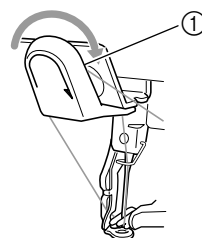


- ① 押えの糸かけ
- ② 押えの糸かけの溝

- 押えの糸かけの溝に、確実に糸がかかっていることを確認してください。

4

糸切り糸かけの溝にしっかりと糸を通し、糸を軽くひっぱって切ります。



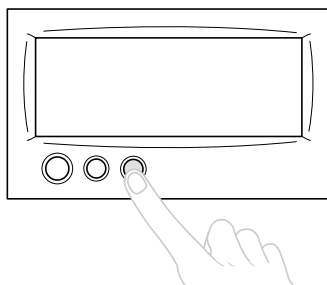
- ① 糸切り糸かけの溝



お願い

- 糸が、糸切り糸かけの溝を正しく通っていないと“ワイパーエラー”画面が表示され、針穴に糸を通すことができません。溝にしっかりと糸を通してください。
- 糸が十分に引き出されていないと、糸切り糸かけに引っかかりません。

5 自動針穴糸通しスイッチを押します。



- 糸通しが針から後ろへ下がります。針穴を糸が通り、糸通しが後ろで待機します。
- ワイパーが出て、針と糸通しの間の糸をつかみます。
- 糸通しが元の位置に戻ります。

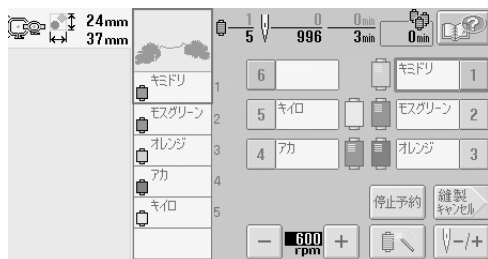
これで、1 番針棒の上糸がセットできました。

同様に、残りの針棒に上糸をセットします。ただし、糸通しをする針棒が縫製位置にきていないと、自動針穴糸通し装置で糸を通すことはできません。2 番針棒からは、次の手順で糸を針穴に通す前に、針棒を縫製位置に移動してください。

■ 糸通しをする針棒を縫製位置に移動する

1

針に糸を通したい針棒の番号を押します。



▶ 針棒が縫製位置に移動します。



お願い

- 糸だるみがあると、回転調子皿から糸が外れていることがあります。糸をかけ終わったら、回転調子皿にきちんと糸がかかっているか、再度確認してください。(P.43 手順 5 参照)

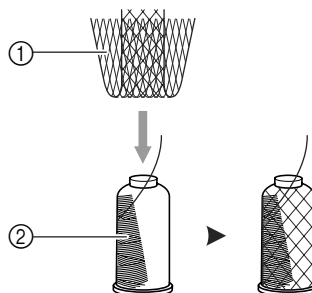


お知らせ

- 上糸の1色を変える場合、現在かかっている糸を糸こまと糸案内の間で切ると、簡単に糸をかけ直すことができます。糸立棒に新しい糸こまをセットし、新しい糸の端と前の糸の端を結びます。そして、針の方向に糸を引きます。(P.82 参照)

■ 糸こまネットを使う

金属製の糸やその他強い糸を使用する場合、ぬい始める前に、糸こまに付属の糸こまネットを取り付けてください。糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合わせて折り曲げてください。また、糸こまネットを使用するときは、糸調子を調整する必要がある場合があります。



- ① 糸こまネット
- ② 糸こま

11. 刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。

ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、ぬい始め・ぬい終わりの糸の処理や糸替えをしながら縫製し、ぬい終わると止まります。

！ 注意



- 安全のため、縫製中はミシンから離れないでください。
- 縫製中は、針の動きに十分注意してください。また、針、針棒ケース、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。

■ ミシンロック機構について

安全のため、このミシンはミシンロック機構が採用されています。

通常、ミシンはスタートできない（ロックされた）状態になっています。ロックを解除しないと、ミシンをスタートすることができません。ロック解除の状態は1回の操作につき約10秒間で、その間にミシンがスタートされなかった場合は自動的にロック状態に戻ります。

ロック状態かロック解除状態かは、スタート/ストップスイッチで見分けることができます。赤色の点灯はロック状態を、緑色の点滅はロック解除状態をそれぞれ示しています。

ミシンをスタートする



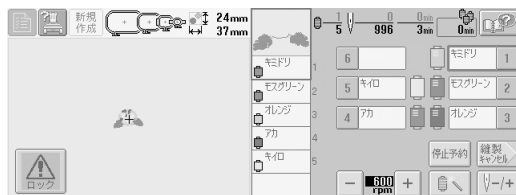
お願い

- 刺しゅう枠が動く範囲に、物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。

1



を押し、ミシンロックを解除します。

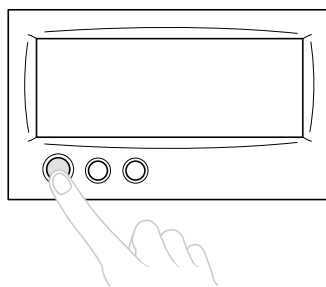


- ▶ スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンをスタートできる状態になります。
- ロック解除後、約10秒以内にスタート/ストップスイッチを押さないと、ミシンはロック状態に戻ります。

2

スタート/ストップスイッチを押します。

スタート/ストップスイッチが緑色に点滅している間に押します。赤色の点灯に戻ってしまった場合は、手順①からやり直してください。



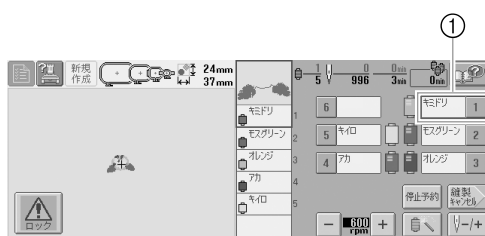
- ▶ スタート/ストップスイッチが緑色の点灯に変わり、1色目をぬい始めます。



お知らせ

- ぬい始めると、スタート/ストップスイッチは消灯します。

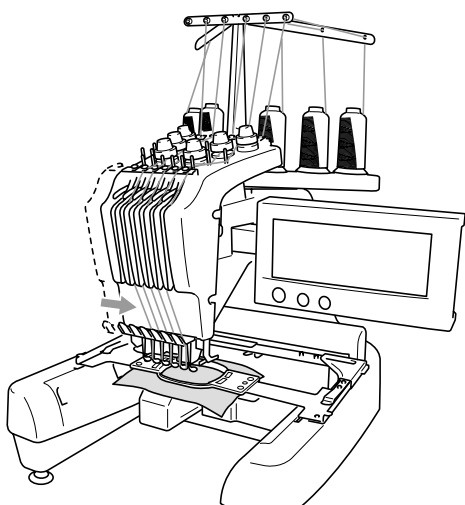
▶ 画面は、次のように表示されます。



① 糸情報が赤い枠で囲まれ、その針棒で縫製していることを示します。

● 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十マークが現在ぬっているぬい目を示します。また、針数、時間はカウントされています。

3 1色目がぬい終わると、自動的に止まって糸を切ります。針棒を移動して、2色目をぬい始めます。



▶ 画面のぬい順表示が2色目に進み、2番針棒の糸替表示が赤い枠で囲まれます。

4 同様に最後の色までぬい、ぬい終わると自動的に止まります。

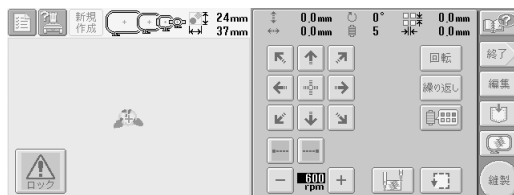
▶ 画面は、その模様をぬう前の縫製設定画面に戻ります。

▶ スタート/ストップスイッチは、赤色の点灯に変わります。

● ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必要ありません。

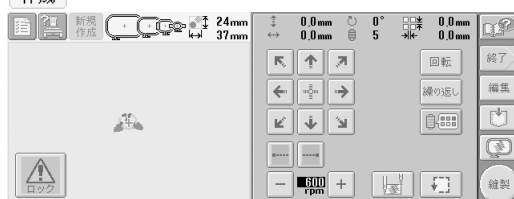
■ 続けて刺しゅうをするときは

もう1度同じ模様をぬいたい場合は、**縫製** を押します。



▶ 縫製画面が表示され、続けて同じ模様をぬうことができます。

新しい模様を選びたい場合は、**終了** または **新規作成** を押します。



▶ 模様選択画面が表示されます。

お願い

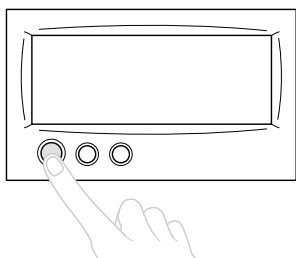
- 模様のぬい始めや色替え後のぬい始め、糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。(P.92「自動止めぬい設定」参照)
- ぬっている最中でも、縫製スピードを変えることができます。(P.95「縫製最高速度設定」参照)

途中でミシンをストップするには

縫製中にミシンをストップすることができます。

■ 一時停止する

1 スタート/ストップスイッチを押します。



▶ ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。

- 糸は切れていません。
- 続きをぬうときは、上糸がたるんでいないか確認をしてから、ロック解除キー、スタート/ストップスイッチを押します。

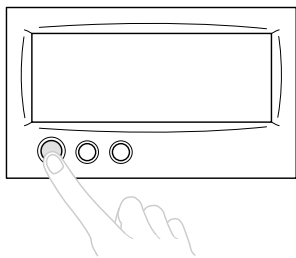


お知らせ

- 縫製中に模様表示エリアをさわっても、ミシンをストップさせることができます。
- 縫製中に次の色替え時停止キーを押すと、次の色をぬう直前でミシンを停止することができます。(P.96「次の糸替え時に停止する」参照)
- 縫製前に、色替え時に停止するように設定することもできます。(P.96「縫製前にポーズ位置を指定する」参照)

■ 一旦電源を切ってから続きをぬう

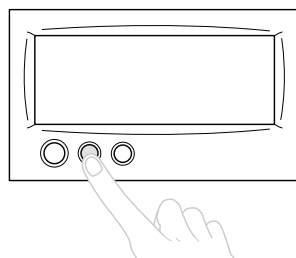
1 スタート/ストップスイッチを押します。



▶ ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。

- 糸は切れていません。
- 画面のロック解除キーを押し、ミシンロックを解除します。

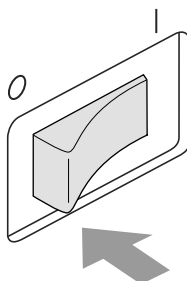
2 糸切りスイッチを押します。



▶ 上糸と下糸が切れます。

- 一旦電源スイッチを切る場合は、必ず糸を切ってください。

3 電源スイッチの“○”側を押します。



▶ 電源が切れ、画面表示とスタート/ストップスイッチの点灯が消えます。

- 次に電源スイッチを入れたとき、続きからぬうことができます。ただし、ぬい目を少し戻す必要があります。詳しくは、P.87「停止後、途中からぬうときは」を参照してください。



お知らせ

- 縫製中でもミシンはいつでも停止することはできますが、色替え時に停止すると次にぬい始めるときにぬい目を戻す必要はありません。色替え時にミシンを停止するように設定もできます。(P.96「縫製前にポーズ位置を指定する」参照)

■ 途中で糸が切れてしまったら

糸切れなど不具合状態が発生すると、ミシンは自動的に止まります。

切れた糸をセットし直し、ぬい目を戻し、続きをぬいます。詳しくは、P.83「途中で糸が切れた/下糸がなくなったときは」を参照してください。

12. 糸調子を確認する

正しい糸調子で仕上がっているか、刺しゅうを見てみましょう。糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなったり布地にしわがよったりします。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、下糸がぬい目の幅の3分の1程度見えるくらいです。



次のように仕上がっていたら、糸調子不良です。正しい糸調子に調整してください。



上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



糸調子ダイヤルを反時計回りに回し、弱くします。

(表)



(裏)



上糸が弱すぎて、上糸がたるみ糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができています。



糸調子ダイヤルを時計回りに回し、強くします。

糸調子の調整は、P.89「糸調子を調整する」を参照してください。



お願い

- このチュートリアルでは、ぬい上がった刺しゅうで糸調子を確認しましたが、通常は各針棒の最初にぬわれる色部分が100針ほどぬい上がった時点で、一時停止して確認してください。
- 布地の種類や厚さ、芯の種類などによっては、きれいに仕上がらないことがあります。本番の前に、ためしぬいをして確認してください。



お知らせ

- 内蔵ワンポイント模様の中に、糸調子確認用の模様があります。詳しくは、P.164「内蔵模様で糸調子を確認する」を参照してください。

13. 刺しゅう枠、布地を外す

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外し、布地を刺しゅう枠から外します。

刺しゅう枠の外し方

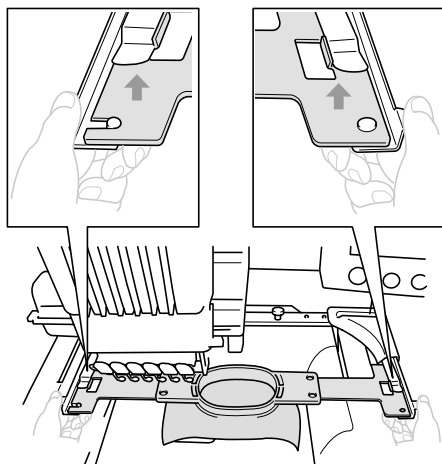
！ 注意



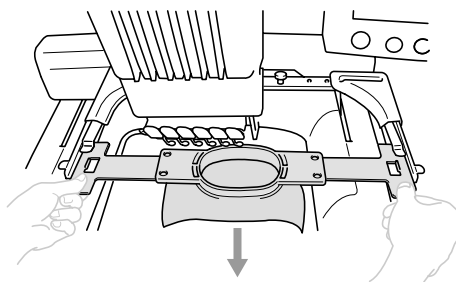
- 刺しゅう枠を外すときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、ケガの原因となります。
- 刺しゅう枠を外すときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。
- 台枠を無理に持ち上げないでください。破損の原因となります。

- 1 刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち上げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外します。

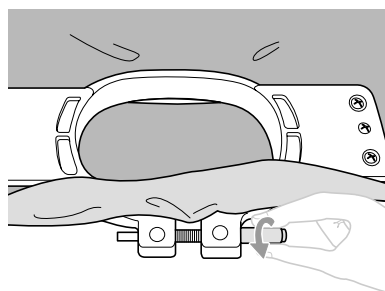


- 2 そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



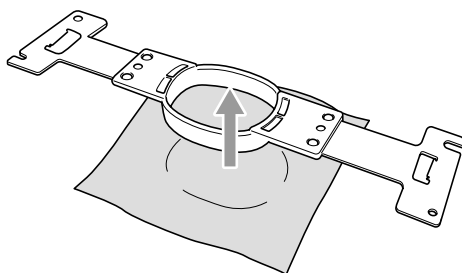
布地の外し方

- 1 調節ネジをゆるめます。



▶ 調節ネジをドライバーで締め付けた場合は、ドライバーでゆるめます。

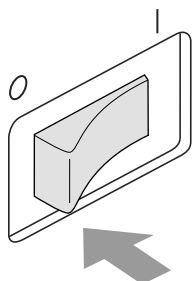
- 2 外枠を外し、布地を外します。



14. 電源を切って終了する

ミシンを使い終わったら、電源を切って作業を終了します。

1 電源スイッチの“○”側を押します。



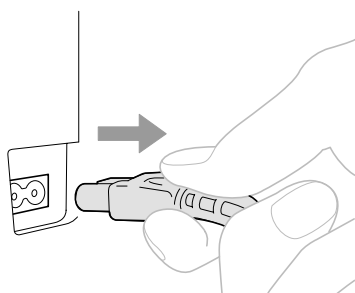
▶ 電源が切れ、画面表示とスタート/ストップスイッチの点灯が消えます。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグを持って抜いてください。

3 必要に応じて、電源コードをミシンから抜きます。

電源コードはなくさないように保管してください。

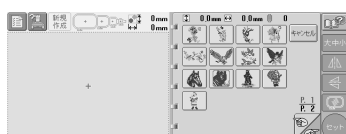


お願い

- 運転中に停電が発生したときは、電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。再度ミシンを動かす場合は、手順に従って正しく操作してください。(P.26「電源を入れる」参照)

お知らせ

- 模様を選択していない模様選択画面、模様一覧画面で電源を切った場合は、次に電源を入れたときは模様選択画面が表示されます。



電源 OFF
↓
電源 ON

模様一覧画面で選んでいた模様は、
[セット] を押して選択が確定されていないものは、電源を切ると取り消されます。

オープニング画面の後に

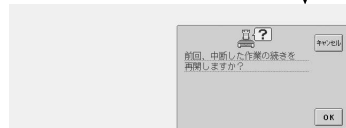


- 編集画面で電源を切った場合は、切る前の状態をミシンが記憶します。次に電源を入れたときは、その編集画面を表示することもできます。(P.66 参照)

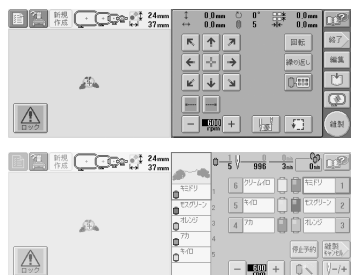


電源 OFF
↓
電源 ON

オープニング画面の後に

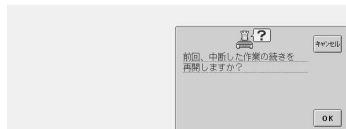


- 縫製設定画面で電源を切った場合は、切る前の模様の縫製設定画面をミシンが記憶します。次に電源を入れたときは、その縫製設定画面を表示することもできます。(P.66 参照)



縫製前または縫製後に電源 OFF
↓
電源 ON

オープニング画面の後に

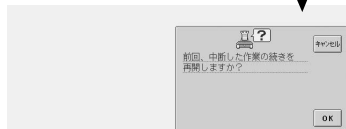


- 縫製画面で電源を切った場合は、次に電源を入れたときに続きからぬうことができます。(P.87 「停止後、途中からぬうときは」 参照)



縫製中に電源 OFF
↓
電源 ON

オープニング画面の後に



画面早見一覧

各画面の表示やキーの説明を一覧にしています。

キー表示について

キーの色は、次の意味を表しています。



(通常カラー表示) : 選ばれていません。(選ぶことができます。)



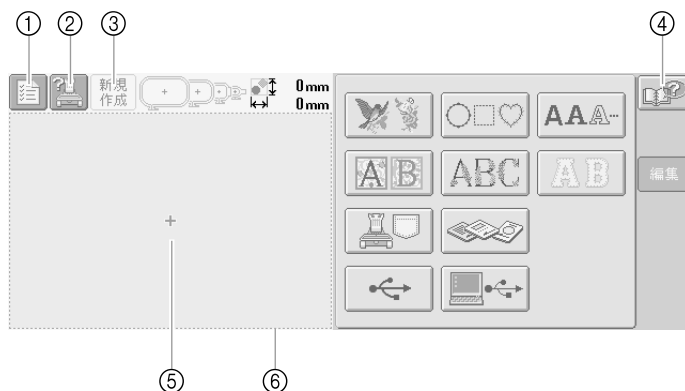
(濃いカラー表示) : このキーは選ばれています。



(グレー表示) : このキーは選ぶことができません。

各画面共通表示

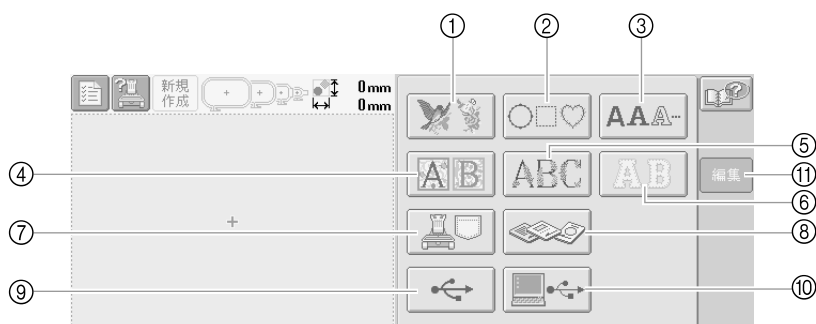
ここで説明する設定キー以外のキーは、各画面で表示され、いつでも使うことができます。設定キーは、縫製画面では使うことができません。



番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		設定キー	ミシンの設定を変更するときに押します。	P.144
②		ミシンの 使い方キー	使い方を確認するときに押します。	P.155
③		新規作成 キー	今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	
④		ヘルプキー	操作方法が分からないときなど、困ったときに押すと、解決方法を調べることができます。	P.157
⑤		模様表示 エリア	選択した模様が表示されます。⑥は特大枠の縫製範囲を示します。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他のディスプレイの設定はミシンの設定画面で設定できます。	P.147

模様選択画面の見方

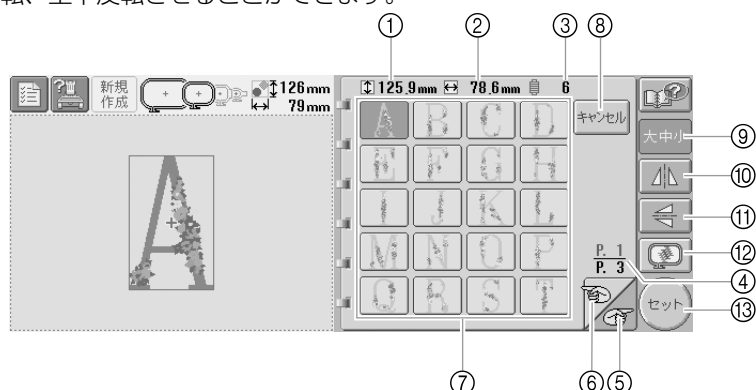
「模様選択画面」で、模様の種類を選びます。模様の種類は、内蔵模様(①～⑥)と外部から取り込む模様(⑦～⑩)があります。



番号	画面表示	名称	説明	参照ページ
①		ワンポイント 模様キー	内蔵されている絵柄の刺しゅう模様が選べます。	P.108
②		枠模様キー	○型や□型など 10 種類の枠型に 12 種類のステッチを組み合わせて選ぶことができます。	P.112
③		アルファ ベットキー	13 書体あり、大文字、小文字、数字、記号、欧文文字をそれぞれ大・中・小の大きさから選ぶことができます。	P.113
④		装飾アルファ ベットキー	1 辺 50mm の正方形にルネッサンス調にデザインしたアルファベット模様です。	P.109
⑤		花アルファ ベットキー	大文字は約タテ 130mm、ヨコ 80mm の大型アルファベット文字に花をあしらってデザインしたアルファベット模様です。	P.110
⑥		アプリケアル ファベットキー	アルファベットのアプリケ模様です。大・中・小の大きさから選ぶことができます。	P.111
⑦		ミシンに記憶した 刺しゅう模様キー	ミシンに記憶した模様を呼び出します。	P.115
⑧		刺しゅうカード キー	刺しゅうカードから模様を呼び出します。	P.116
⑨		USB メディアキー	USB メディアから模様を呼び出します。	P.121
⑩		パソコン (USB) キー	付属の USB ケーブルでパソコンとミシンを接続し、パソコンから模様をミシンに転送して呼び出します。	P.118
⑪		編集キー	模様を追加するために模様選択画面に戻ったときに、追加をやめる場合に押します。編集画面に進みます。模様を選んでいるときは、押すことはできません。	P.31

模様一覧画面の見方

「模様一覧画面」で、模様(模様データ)を選びます。模様によっては、模様表示エリアに表示したあとに大きさの変更、左右反転、上下反転させることができます。

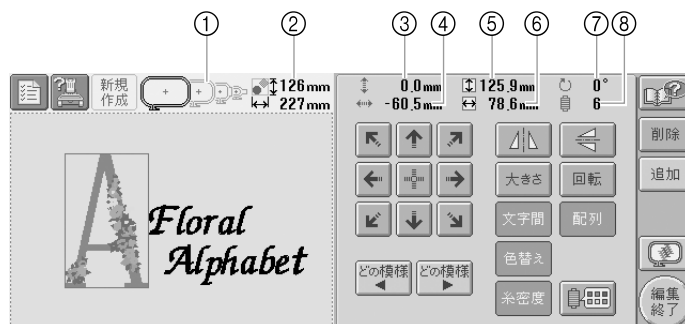


番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①	125.9mm	大きさ(縦)	模様キーを押して選んだ模様の縦の長さを示しています。	
②	78.6mm	大きさ(横)	模様キーを押して選んだ模様の横の長さを示しています。	
③	6	色替え数	模様キーを押して選んだ模様の色替え数を示します。	
④	P. 1 / P. 3	ページ	現在開いているページナンバーと総ページ数を示します。	
⑤		次のページ ヘキー	押すと、次のページが表示されます。最後のページの場合は、1 ページが表示されます。	P.106
⑥		前のページ ヘキー	押すと、前のページが表示されます。最初のページの場合は、最後のページが表示されます。	P.106
⑦		模様キー	模様の絵柄がキーに表示されます。このキーを押して、模様を選びます。	P.106
⑧		キャンセル キー	現在選んでいる模様のカテゴリーをやめて、他のカテゴリーを選び直す場合に押します。模様選択画面に戻ります。	P.106
⑨		大きさキー	模様キーを押して選んだ模様の大きさを選ぶことができます。	P.107
⑩		左右反転 キー	模様キーを押して選んだ模様を左右反転することができます。	P.107
⑪		上下反転 キー	模様キーを押して選んだ模様を上下反転することができます。	P.107
⑫		イメージ キー	模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P.33
⑬		セットキー	模様を選んだら押します。模様の選択を確定して、編集画面に進みます。	P.106

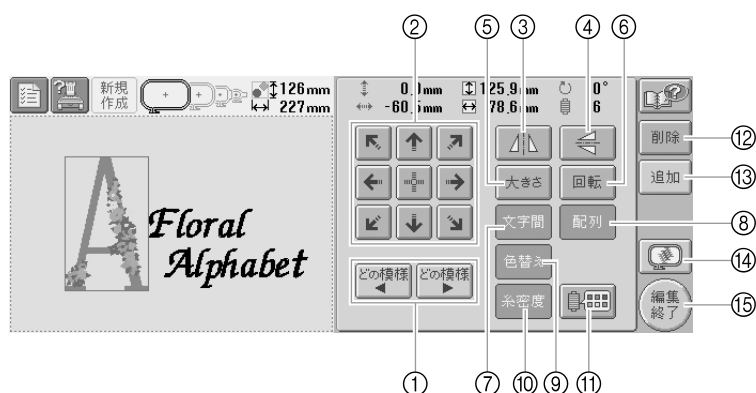
※ ⑨、⑩、⑪ は、模様によっては編集できるものとできないものがあります。

編集画面の見方

「編集画面」で、模様を個別に編集します。（ここでは模様全体を編集することはできません。）模様表示エリアに表示され、選択されている模様の配置、大きさの変更、左右回転、上下反転、文字間隔の変更、配列の調整、配色の変更等を編集することができます。また、複数の模様を選択して模様を組み合わせることができます。



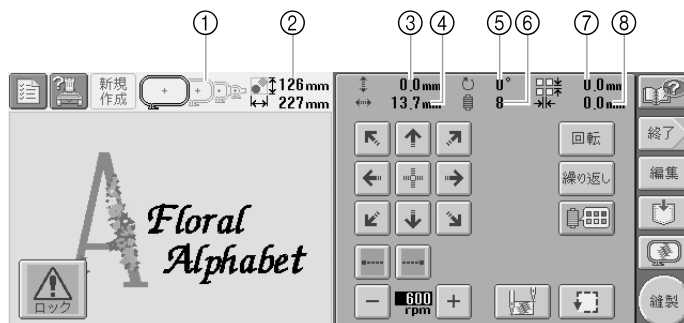
番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		使用可能枠表示	模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。	P.34
②		大きさ	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、全ての模様を含む全体の大きさを示しています。	
③		中心からの距離（縦）	編集対象となっている模様移動したときの縦の移動距離を示します。	P.124
④		中心からの距離（横）	編集対象となっている模様移動したときの横の移動距離を示します。	P.124
⑤		大きさ（縦）	編集対象となっている模様の縦の長さを示しています。	
⑥		大きさ（横）	編集対象となっている模様の横の長さを示しています。	
⑦		回転角度	編集対象となっている模様を回転したときの回転角度を示します。	P.126
⑧		色替え数	編集対象となっている模様の色替え数を示します。	



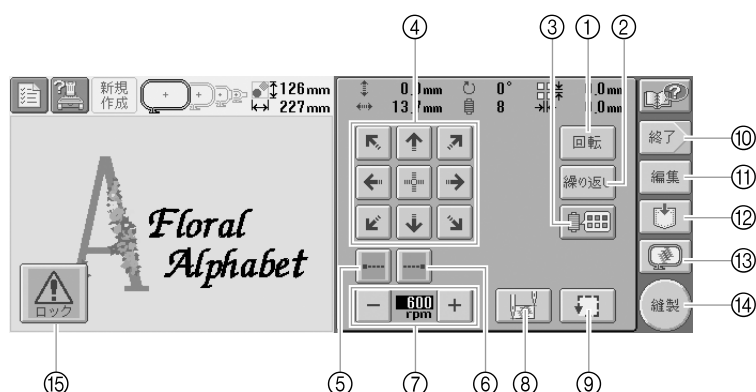
番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		模様選択キー	複数の模様を組み合わせている場合に、編集する模様の対象を変えることができます。	P.124
②		移動キー	矢印の方向に編集対象となっている模様のぬう位置を移動することができます。(を押すと、ぬう位置が刺しゅう範囲の中心に戻ります。)	P.124
③		左右反転キー	編集対象となっている模様を左右に反転することができます。	P.125
④		上下反転キー	編集対象となっている模様を上下に反転することができます。	P.125
⑤		大きさキー	編集対象となっている模様の大きさを変えることができます。	P.125
⑥		回転キー	編集対象となっている模様を回転することができます。	P.126
⑦		文字間キー	編集対象となっているアルファベット模様の間隔を変えることができます。	P.128
⑧		配列キー	編集対象となっているアルファベット模様の配列を変更することができます。	P.115,127
⑨		色替えキー	アルファベット模様を1文字ずつ色を変えることができます。アルファベット模様を選んでいる場合のみ使えます。	P.130
⑩		糸密度キー	編集対象となっている模様の密度を変えることができます。アルファベットと枠模様を選んでいる場合のみ使えます。	P.129
⑪		配色キー	模様の色を変えることができます。	P.131
⑫		削除キー	模様を削除します。押すと、編集対象となっている模様が削除されます。	P.132
⑬		追加キー	模様を追加します。押すと、模様選択画面が表示されます。	P.123
⑭		イメージキー	模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P.33
⑮		編集終了キー	編集が終了したら押します。次の縫製設定画面に進みます。	P.31

縫製設定画面の見方

「縫製設定画面」で、模様全体を編集します。（ここでは模様を個別に編集することはできません。）模様表示エリアに表示されている模様全体の配置、回転角度、刺しゅうするときの繰返し回数、配色の変更等を編集することができます。また、模様表示エリアに表示されているデザインを記憶することができます。



番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		使用可能枠表示	模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。	P.34
②		大きさ	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、全ての模様を含む全体の大きさを示しています。	
③		中心からの距離（縦）	枠移動したときの縦の移動距離を示します。	P.76
④		中心からの距離（横）	枠移動したときの横の移動距離を示します。	P.76
⑤		回転角度	模様全体を回転したときの回転角度を示します。	P.77, 133
⑥		色替え数	模様全体の色替え数を示します。	
⑦		繰返し間隔（縦）	模様の繰返しぬい設定をしたときに設定した、模様と模様の間の縦の大きさを示します。	P.135
⑧		繰返し間隔（横）	模様の繰返しぬい設定をしたときに設定した、模様と模様の間の横の大きさを示します。	P.135

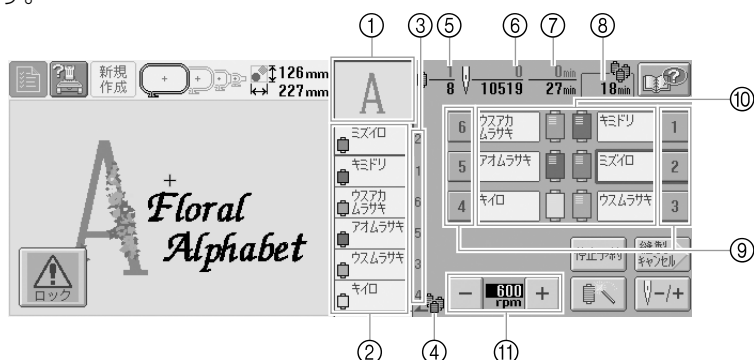


	番号	画面表示	名称	説明	参照ページ
編集機能	①		回転キー	複数の模様を組み合わせている場合は、模様全体を回転することができます。	P.77, 126
	②		繰り返しキー	模様を繰り返してぬうことができます。	P.134
	③		配色キー	模様の色を変えることができます。	P.131, 135
縫製設定	④		枠移動キー	ぬう位置を調整できます。押すと、矢印の方向に枠が移動します。(を押すと、枠の中心が模様の中心に戻ります。)	P.76
	⑤		止めぬい (ぬい始め)キー	模様のぬい始めと糸替え後のぬい始めに、自動止めぬいの設定ができます。	P.92
	⑥		止めぬい (ぬい終わり)キー	糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。	P.92
	⑦		縫製最高速度設定キー	縫製最高速度を設定することができます。	P.95
	⑧		ぬい始め/終わりの位置設定キー	ぬい始めとぬい終わりの針位置を設定することができます。	P.93
	⑨		ためしキー	押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。	P.38
	⑩		終了キー	今までの作業は取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	
	⑪		編集キー	押すと、編集画面に戻ります。	
	⑫		記憶キー	模様を記憶することができます。	P.140, 142
	⑬		イメージキー	押すと、模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P.33
	⑭		縫製キー	縫製設定画面での操作が終わったら、押します。次の縫製画面に進みます。	P.38
	⑮		ロック解除キー	約10秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。	P.47

※ ③ 配色キー、⑬ イメージキーは、編集画面、縫製設定画面の両方の画面にあり、どちらの画面でも機能・操作のしかたは同じです。

縫製画面の見方

「縫製画面」で、糸色や針数、ぬい順を確認します。また、一時的針棒設定や、ぬい目を戻す／進める設定をすることができます。

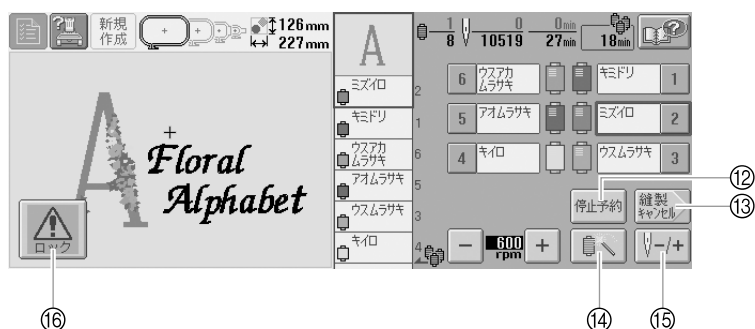


番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
①		部分表示	ぬい順表示の1番上の糸色でぬわれる部分の形が表示されます。	
②		ぬい順表示	糸色のぬい順を示します。縫製中はスクロールし、現在縫製している糸色が1番上に表示されます。	
③		針棒番号	左のぬい順表示の糸色が割り当てられている針棒番号を示します。	
④		糸こま交換マーク	糸こま交換の時期を示します。表示されている色と色の間で糸こま交換が必要です。	P.80
⑤		ぬい順数	下段は模様の総色替え数、上段は現在ぬっている糸色の順番を示します。	
⑥		針数	下段は模様の針数の総数、上段は現在ぬい終わった針数を示します。	
⑦		縫製時間	下段は模様をぬうのに必要な総所要時間、上段はぬい終わった時間を示します。(糸替えの時間は含みません。)	
⑧		糸こま交換時間	7色以上の模様するとき、次の糸こま交換までの時間を示します。	P.79
⑨		針棒キー	押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸を通すときに使います。	P.40
⑩		糸替え表示	隣の針棒キーの番号の針棒にセットする糸色、糸色名(糸番号)を示します。この表示に従って糸色をかけます。	P.39
⑪		縫製最高速度設定キー	縫製最高速度を設定することができます。	P.95

※ ⑪ 縫製最高速度設定キーは、縫製設定画面、縫製画面の両方の画面にあり、どちらの画面でも機能・操作のしかたは同じです。

お知らせ

- ぬい順表示と色替表示の糸番号は、色名や他のブランドの糸番号などに切り替えることができます。(P.149「糸色表示を切り替える」参照)



番号	画面表示	名 称	説 明	参照ページ
⑫		停止予約 キー	縫製中に、次の色をぬう直前でミシンを停止したいときに押します。	P.96, 98
⑬		縫製キャン セルキー	縫製を取り消して、縫製設定画面に戻りたいときに押します。	
⑭		一時的針棒 設定キー	一時的に針棒設定を手動で設定できます。	P.98
⑮		ぬい目戻る ／進むキー	ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。次のような場合に使います。 ・縫製の途中で糸が切れたり、なくなったとき ・始めからぬい直したいとき ・一旦電源を切ってから、続きをぬうとき	P.83, P.85, P.87
⑯		ロック解除 キー	約10秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。糸切り操作をするときに押して、ミシンロックを解除します。	P.47

わからないことがあるときの参考

専門用語

■ USB コネクタ (A タイプおよび B タイプ)

パソコンと周辺機器の通信方法の 1 つです。USB メディアをミシンの USB コネクタ (A タイプ) へ差し込んだり、ミシンの USB コネクタ (B タイプ) に付属の USB ケーブルを差し込んで、ミシンとパソコンを接続したりすることができます。(P.118「パソコン (USB)」、P.121「USB メディア (市販品)」参照)

■ DST

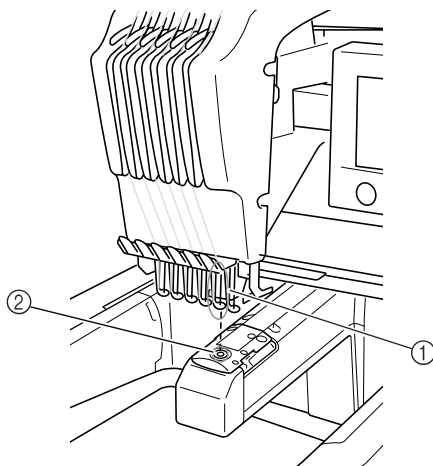
刺しゅう模様のフォーマットの 1 つ、タジマフォーマットファイルの拡張子 (*.dst) です。タジマフォーマットには色情報がないので、模様呼び出し時にミシンが自動的に色を割り当てます。(P.167 参照)

■ 針番号

針は右から左に番号が付いています。1 番右の針は 1 番針です。(P.vii 参照)

■ 「縫製位置」の針

針板の針穴上方にある針です。針棒ケースが移動し、次にぬう糸色の付いた針を「縫製位置」へ配置します。また、自動針穴糸通し装置を使用するときは、糸をかける針を「縫製位置」へ移動させてください。(P.46 参照)



- ① 針
- ② 針板の針穴

■ ワイパー

糸を引くための装置です。自動針穴糸通し装置を使用するときに、ワイパーが糸を引きます。また、ミシンが糸を切るときも、ワイパーが布から糸を引きます。これで、刺しゅう後の上糸処理が不要になります。(P.45 参照)

模様

ミシンでは次の模様を刺しゅうすることができます。

- *.pes、*.phc、*.dstフォーマットの刺しゅうデータ
USB メディアからデータをミシンへ転送します。
また、USB ケーブルでパソコンからミシンへデータ
を転送することもできます。
- 刺しゅうカード（別売）
- 刺しゅう PRO で作成した刺しゅう模様
- ミシンにより USB メディアに保存された模様

刺しゅう

■ 初期設定の色の替わりに、自分が刺しゅう したい色を設定する

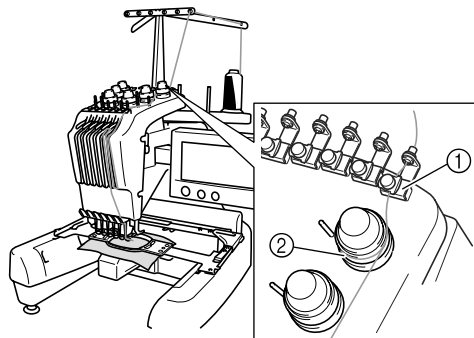
- 「編集」または「縫製設定」画面でキーを選択し、
「色替え」機能を使用します。詳細は P.131 を参
照してください。
- 「縫製」画面でキーを選択し、「一時的針棒設定
キー」機能を使用します。詳細は P.98 を参照し
てください。

■ 模様の途中で刺しゅうを中止して電源を切 り、後で刺しゅうを再開する

- ミシンは、電源を切った後でも模様と位置を記憶
します。そして、再び電源を入れると、ミシンは
刺しゅうを再開します。（P.66 参照）

■ 糸切れエラーが発生する

- 上糸が糸道を通っていることを確認します。
（P.43 参照）
- 上糸が回転調子皿のプーリーに 1 回巻きつ
ていることを確認します。（P.43 参照）



- ① 糸道
- ② 回転調子皿のプーリー

■ 糸調子が突然変わった

- 糸が、上糸こまの端の粗い部分に引っかか
った。
- 上糸が糸こまの下に引っかかった。
- 糸のちりや糸くすがボビンケースの調子バネ
の下にたまっている。

■ 枠がキャリッジからはずれる

ピンが刺しゅう枠の取付部の穴に入っているこ
とを確認します。（P.37 参照）

■ 縫製をリセットし、最初から始める

画面の左上の「新規作成」キーを選びます。模様
と全ての情報が消去されます。（P.54 参照）

3

その他の基本操作

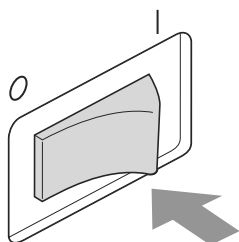
7色以上の模様をぬう場合など2章とは違う想定での操作や、針を交換したいときなど状況に応じた操作を、ケース別に説明します。

前回電源を切る前の操作の続きをするには	66
針を交換する	67
刺しゅう枠を上手に使うには	69
刺しゅう枠の種類と用途 / 69	
布地に接着芯を貼る	70
布地の張り方	71
特大枠、大枠の布地の張り方 / 71	
刺しゅうシートを使う / 72	
布地が大きい／小さいときは / 73	
刺しゅう枠の位置と動きについて	74
思い通りの位置にぬうには	76
角度を調整する / 77	
7色以上の模様をぬうときは	79
糸こま交換が必要かどうか確認するには / 79	
糸こま交換を指示されたときは	81
糸こま交換表示について / 81	
簡単な糸こま交換のしかた / 82	
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは	83
上糸が切れたとき / 83	
下糸が切れた／なくなったとき / 84	
始めまたは途中からぬいたいときは	85
停止後、途中からぬうときは	87
糸調子を調整する	89
下糸の調子を調整する / 89	
上糸の調子を調整する / 90	

前回電源を切る前の操作の続きをするには

電源スイッチを入れ、**OK** を押してから表示される画面は、前回電源を切ったときの終了の状態によって異なります。前回、操作の途中で電源を切った場合は、切る前の続きの操作をすることもできます。

- 1 電源スイッチの“I側”を押し、電源を入れます。



- 2 オープニング画面の後で次の画面が表示されたら、**OK** を押します。

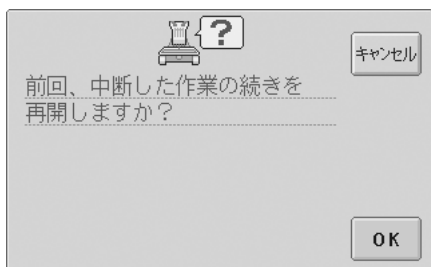


▶ 続きの操作をするか、新しく操作を始めるか、ミシンが尋ねてきます。

- 前回、操作の途中で電源を切っていない場合は、模様選択画面が表示されます。

■ 電源を切る前の続きの操作をする

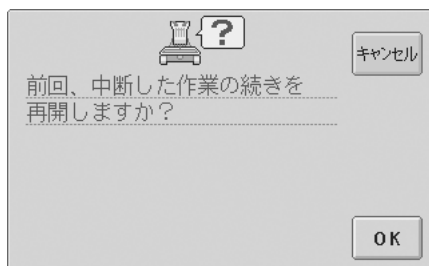
- 3 **OK** を押します。



▶ 前回電源を切ったときの画面によって、編集画面、縫製設定画面、または縫製画面が表示されます。

■ 模様を選んで新しく操作を始める

- 3 **キャンセル** を押します。



▶ 模様選択画面が表示されます。

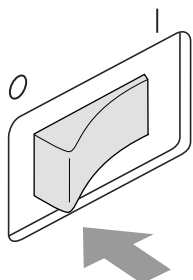
お知らせ

- 前回、模様一覧画面で **セット** を押して模様の選択を確定しないで電源を切った場合は、作業の再開はできません。
- 続きの操作をする場合は、前回電源を切ったときの画面によって表示される画面が違います。
編集画面で終了した場合:
 その編集画面が表示されます。
模様を選択している状態の模様選択画面、模様一覧画面で電源を切った場合:
 選択を確定している模様の編集画面が表示されます。
縫製設定画面で電源を切った場合:
 その模様の縫製設定画面が表示されます。
縫製画面で電源を切った場合:
 針位置が電源を切ったときのぬい目にある縫製画面が表示されます。

針を交換する

曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。P.17「正しい針の見分け方」で確認したこのミシン専用の針、付属の針交換ドライバーと針交換ツールを用意してください。

- 1 電源スイッチの“0 側”を押し、電源を切ります。

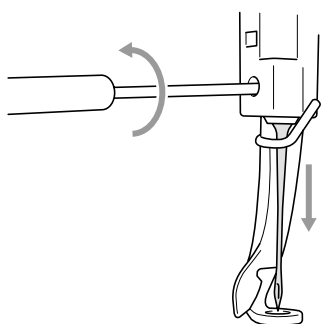


！ 注意

- 針の交換は、必ず電源スイッチを切ってください。万一、ミシンが作動すると、ケガの原因となります。

- 2 針の止めネジをゆるめ、針を抜きます。

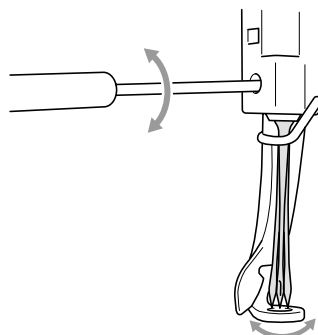
左手で針を持ちながら、右手で針交換ドライバーを左に回します。



お願い

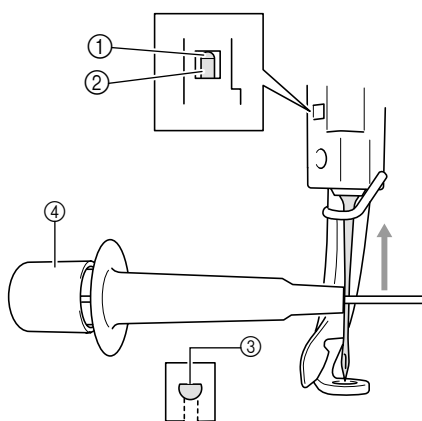
- 針を交換するときは、必ず付属の針交換ドライバーを使ってください。他の工具を使うと、針に余分な力が加わり、故障の原因となります。

- 止めネジをゆるめたりしめたりするときに、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因となります。



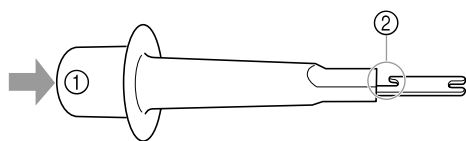
- 3 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、針棒のストッパーにあたるまで差し込みます。

押えの穴の下から針を通し、針交換ツールを使って持ち上げます。



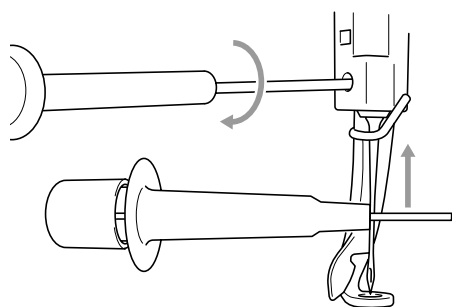
- ① 針棒のストッパー
- ② 針
- ③ 平らな面
- ④ 針交換ツール

針交換ツールは、図のように①を押すと針つかみ金具②が出ます。金具を針に引っ掛け押ししていた部分を離すと、針をつかみます。針を離すときは、再度①を押します。



4 針を針交換ツールで押さえたまま、止めネジをしめます。

針交換ドライバーを右に回します。



！ 注意



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、止めネジを針交換ドライバーで確実にしめてください。針が十分に差し込まれていなかったり、ネジの締め方がゆるいと、針折れや故障の原因となります。
- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。

刺しゅう枠を上手に使うには

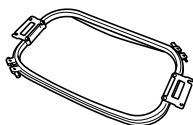
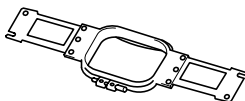
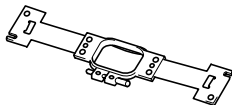
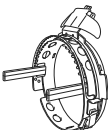
刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。このマシンでは、付属の刺しゅう枠の他に、帽子枠（別売）も使うことができます。

！ 注意



- 必ず画面に表示された使用可能な刺しゅう枠を使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

刺しゅう枠の種類と用途

特大枠	大枠	中枠	小枠
			
刺しゅうのできる範囲 ヨコ300mm×タテ200mm	刺しゅうのできる範囲 ヨコ180mm×タテ130mm	刺しゅうのできる範囲 ヨコ100mm×タテ100mm	刺しゅうのできる範囲 ヨコ60mm×タテ40mm
文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。	ヨコ180mm×タテ130mm以下の大きさの刺しゅうをするときに使います。	標準サイズの模様をぬうときに使います。	ネーム入れなど小さな刺しゅうをするときに使います。
(P.71「布地の張り方」参照)		(P.34「刺しゅう枠に布地を張る」参照)	
帽子枠（別売）		お願い - ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠が全て使用可能として表示されますが、できるだけ大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。 お知らせ - これらの刺しゅう枠のほかに、ネーム枠(別売)もあります。ネーム枠の詳細は、ネームワク取扱説明書を参照してください。	
			
刺しゅうのできる範囲 ヨコ130mm×タテ50mm			
帽子に刺しゅうをするときに使います。 この枠で刺しゅうできる帽子は、野球（ゴルフ）帽、チューリップハット、バケツ帽です。 サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽子の正面の高さが50mm以下のものには使えません。また、ヒサシが80mmより大きい帽子にも使えません。 (使い方は、P.173「帽子枠（別売）を使う」参照)			



お願い

- ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠が全て使用可能として表示されますが、できるだけ大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。



お知らせ

- これらの刺しゅう枠のほかに、ネーム枠（別売）もあります。ネーム枠の詳細は、ネームワク取扱説明書を参照してください。

布地に接着芯を貼る

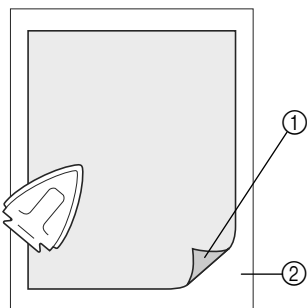
ぬい縮みや模様くずれをふせぐために、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。

！ 注意



- 薄地や伸びる布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地に刺しゅうをする場合は、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。

1 布地の裏側にスチームアイロンをかけて貼ります。

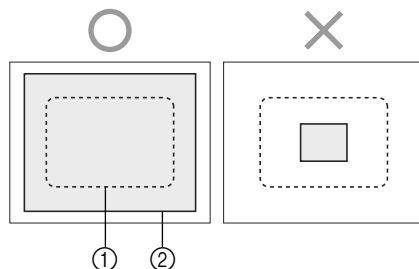


- ① 接着芯の接着面
② 布地（裏面）

- アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。

！ お願い

- 刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくしてください。枠に張るときは、布地のたるみを防ぐため、芯全体をはさみ付けるようにしてください。



- ① 刺しゅう枠の大きさ
② 接着芯

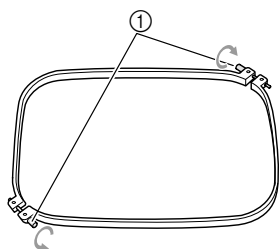
！ お知らせ

- オーガンジーやローンなど薄手の素材に刺しゅうをするときは、水で溶ける水溶性シートをお使いください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。
- タオル、コーデュロイなど起毛している布地に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の上に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。
- その他の刺しゅう芯の使い方については、P.169「接着芯」を参照してください。

布地の張り方

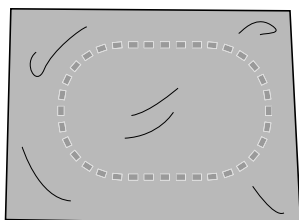
特大枠、大枠の布地の張り方

- 1 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



① 調節ネジ

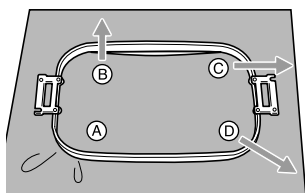
- 2 外枠の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。



- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

- 3 内枠ではさみます。

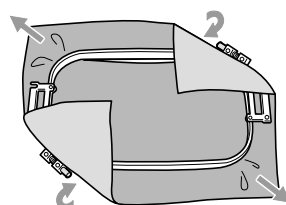
調節ネジのある角④、その両隣の角⑤、⑥、対角の角⑦の順で挟み込んでいきます。



まず、④調節ネジのある角を合わせ、内枠を押し込みます。次に、⑤の矢印の方向に布地を軽く引っ張りながらたるみが出ないようにして、⑥の角に押し込みます。同様に、⑦の矢印の方向に引っ張りながら⑧の角に、⑨の矢印の方向に引っ張りながら⑩の角に押し込みます。

- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

- 4 さらに布地を引っ張りながら、調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのない状態にします。

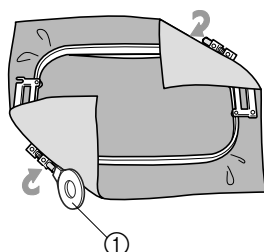


- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。
- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように、しっかりとはめてください。



- ① 外枠
- ② 内枠
- ③ 布地の表
- ④ ほぼ同じ高さになる

- 調節ネジは針板ドライバーで、しっかりと締め付けることもできます。



① 針板ドライバー

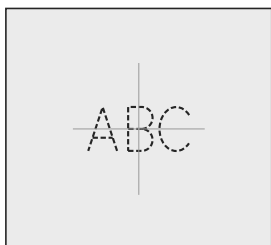
お知らせ

- 確実にきれいに布地を刺しゅう枠に張るために、枠張り台を使うことをお勧めします。

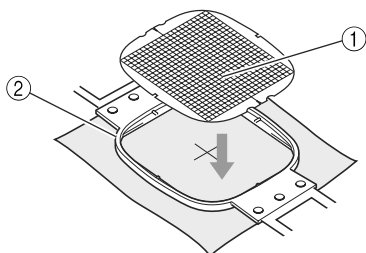
刺しゅうシートを使う

布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を刺しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線を目安にして張ると便利です。

- 1 チャコペンで刺しゅうしたい範囲にしるしを付けます。

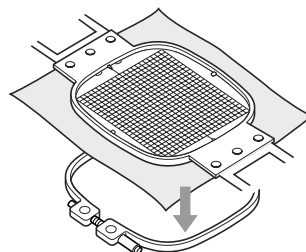


- 2 内枠に刺しゅうシートを置きます。布に付けたしるしと刺しゅうシートのガイドラインを揃えます。

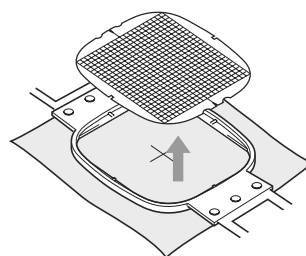


- ① ガイドライン
- ② 内枠

- 3 折り目やしわがなくなるように丁寧に布を伸ばし、内枠ではさみます。



- 4 刺しゅうシートを外します。

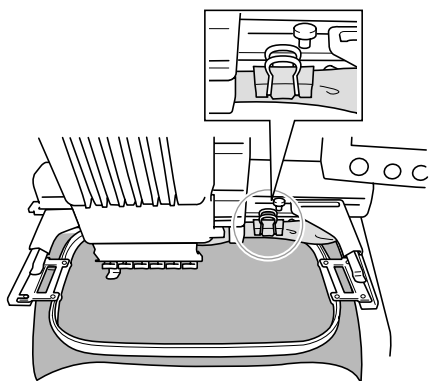


布地が大きい／小さいときは

枠に対して布地が大きかったり、小さかったりしたときの対処のしかたについて説明します。

■ 大きな布地や重い衣類の場合

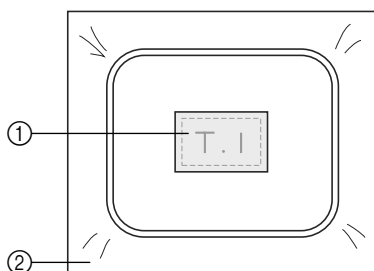
大きな布地やジャンパーなどの重い衣類をぬうときは、クリップで刺しゅう枠に留めるなどして、刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態でぬうと、刺しゅう枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。



- クリップなどで刺しゅう枠に留めます。

■ 小さい布地の場合

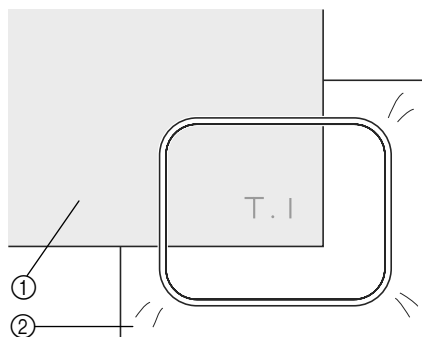
布用スプレーのりを使って、刺しゅう枠に張った芯に小さい布地を貼ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



- ① 布地
- ② 芯

■ 布地の隅にぬう場合

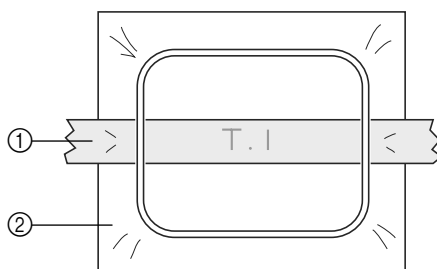
布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



- ① 布地
- ② 芯

■ リボンテープのような細いものにぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、テープの両端を芯といっしょに刺しゅう枠に張ります。



- ① リボン
- ② 芯

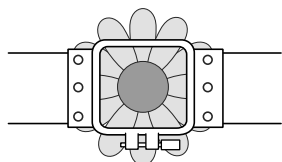
刺しゅう枠の位置と動きについて

ミシンを操作する上で、刺しゅう枠について知っておいていただきたいことを説明します。

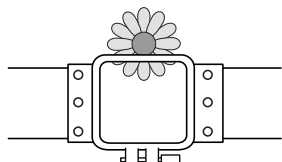
■ 縫製できない刺しゅう枠

P.34で説明したとおり、画面左上の使用可能刺しゅう枠で表示されている刺しゅう枠が、現在選んでいる模様をぬうことができる枠です。ぬいたい模様より小さい縫製範囲の刺しゅう枠は、使用できません。模様の大きさが縫製範囲より小さい場合でも、縫製位置がその枠の縫製範囲から外れているときもその枠は使うことはできません。

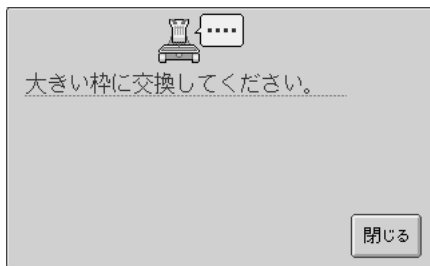
模様より小さい縫製範囲の枠



模様がその枠の縫製範囲から外れている



このような場合は、ミシンは刺しゅう枠を交換するようにメッセージで知らせてくれます。



ミシンは、台枠の左アームの位置でどの枠がセットされているか感知します。したがって、実際刺しゅう枠がセットされていない状態でも、左アームの位置で判断します。また、台枠がセットされていない状態では、帽子枠（別売）がセットされていると判断します。

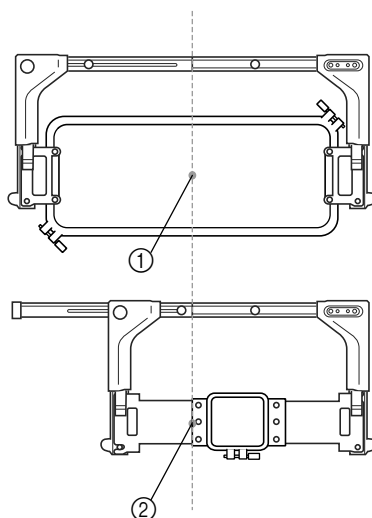
刺しゅう枠をセットしていない状態でも、枠の交換が指示されることがあります。

■ スタート位置への移動

縫製前の針位置は刺しゅう模様のぬい始め点(スタート位置)にあります。

刺しゅう枠を交換すると次にセットした枠はスタート位置にありません。

例えば、スタート位置が特大枠の中心であり、小枠に交換した場合は次のようになります。



- ① 特大枠の中心に針位置
- ② 刺しゅう枠を交換したときの針位置

スタート位置のズレがある場合には、次のときに刺しゅう枠を自動的にスタート位置に移動します。

- 1) 縫製設定画面に進んだとき
- 2) 縫製設定画面でのボタンを押したとき

- ・ 縫製設定画面、縫製画面で刺しゅう枠を交換し、縫製範囲の確認・枠移動・縫製開始の各キーを押したとき

必ず動きます。

正位置に移動して一旦止まりますので、もう一度目的のキーを押してください。

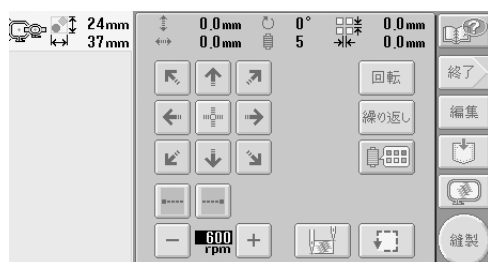
移動後、模様がその枠の縫製範囲から外れている場合は、枠交換メッセージが表示されます。枠を交換するか、編集画面に戻ってサイズや縫製位置を調整してください。

思い通りの位置にぬうには

購入時は、模様の中心からぬい始めるように設定されています。したがって、縫製位置にある針の針落ち位置に模様の中心がくるように、枠を移動してぬい位置を調整します。また、刺しゅう枠に対して布地を平行に張ることができず、布地に対して模様が傾いてしまう場合は、模様全体の角度を調整します。

- 1 縫製設定画面の を押します。

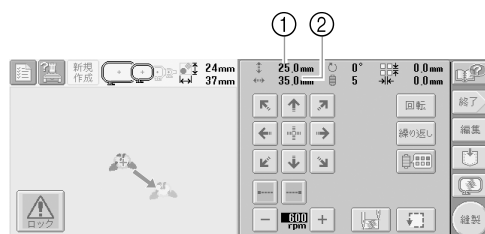
針落ち位置に刺しゅうをぬいたい位置の中心がくるように、刺しゅう枠を移動します。



- ▶ 矢印の方向に模様表示エリアの模様が移動します。

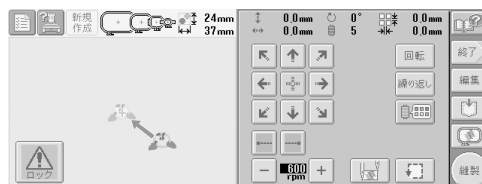
お願い

- 刺しゅう枠は矢印の逆方向に移動しますので、注意してください。



- ① 移動したときの縦の移動距離を示します。
② 移動したときの横の移動距離を示します。

- を押すと、正位置（縫製位置にある針の下に刺しゅう枠の中心がある状態）に戻ります。



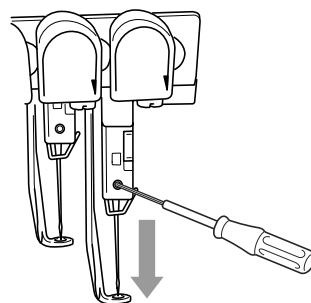
■ 位置を合わせるコツ

針棒をロック（針と押えを下げた状態で固定）すると、針落ち位置を確認しやすくなります。

- 1 図のように、針交換ドライバーを針留めの四角い穴の中に差し込み、針棒が止まってロック位置でカチッと音がするまでゆっくりと下げます。

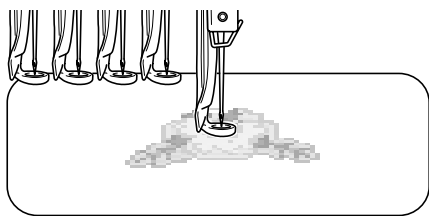
お願い

- 針はカチッと音のする位置よりも下へ下げないでください。



- ▶ 針と押えが下がった状態で固定されます。

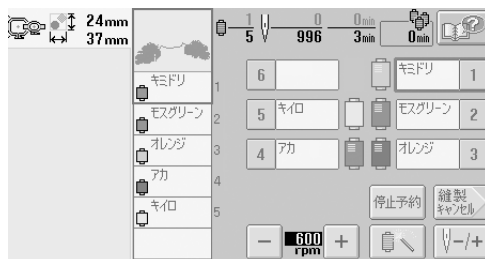
- 2 縫製設定画面の矢印キーを押して、針落ち位置に刺しゅうをぬきたい位置の中心がくるように、刺しゅう枠を移動します。



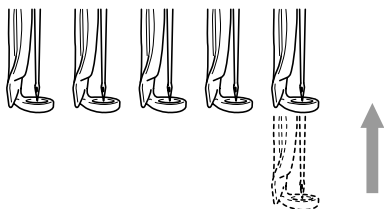
- ぬい始め／終わり位置を設定している場合は、指定したぬい始め位置に、針落ち位置を合わせます。(ぬい始め／終わり位置設定については、P.93を参照してください。)

■ 針棒ロックを解除するには

- 1 縫製画面を表示し、ロックした針棒以外の針棒キーを押します。



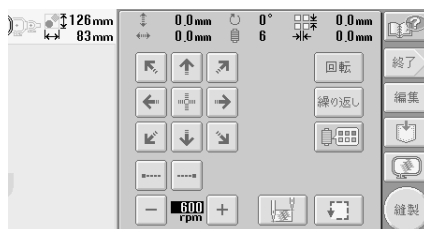
- ▶ 針棒ロックが解除されます。



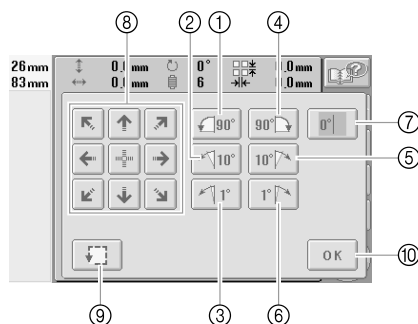
角度を調整する

布地によっては、刺しゅう枠に思い通りの角度で布地を張ることができない場合があります。このような場合は、布地に合わせて模様の角度を調整します。

- 1 回転 を押します。



- ▶ 次の画面が表示されます。



例／0度

- ① 左に90度ずつ回転

- ② 左に10度ずつ回転

- ③ 左に1度ずつ回転

- ④ 右に90度ずつ回転

- ⑤ 右に10度ずつ回転

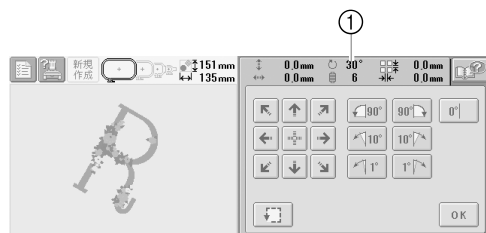
- ⑥ 右に1度ずつ回転

- ⑦ 押すと、0度に戻ります。
⑧ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑨ 縫製範囲の確認ができます。
⑩ 押すと、この画面を閉じます。



2 各キーを押して、布地に合わせて模様の角度を調整します。

キーを押すごとに、模様が回転します。



① キーを押すごとに、変更後の回転角度を示します。

● 元の角度（0 度）に戻したい場合は、 を押して にします。

3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P.76 を参照してください。

4 必要に応じて、 を押して縫製範囲の確認をします。

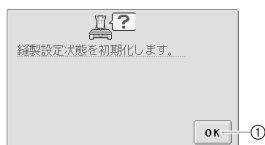
操作のしかたは、P.38 を参照してください。

5 変更し終わったら、 を押します。

▶ 縫製設定画面に戻ります。

お知らせ

- 全て回転を設定してから を押して編集画面に戻ると、全て回転を設定する前の状態に戻りますが、その設定は解除されていません。再度縫製設定画面に進むと、回転された状態になります。ただし、編集画面でサイズを大きくしすぎて回転すると縫製範囲からはみ出してしまうなど、エラー状態になってしまう場合は、次のエラーメッセージが表示されます。



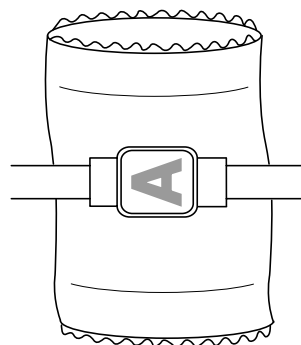
① 編集画面に戻って、模様を編集し直す場合に押します。

お知らせ

- この機能で微妙な角度調整をすることができますが、袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合にもこの機能を使うと便利です。

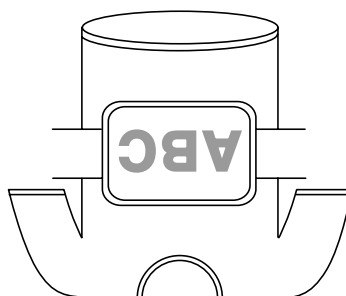
例：ピロケースにぬう場合

模様を左に 90 度回転してぬいます。



例：Tシャツにぬう場合

模様を 180 度回転します。Tシャツの襟割り側ではなく胴側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動による襟割りの伸びを防ぎます。



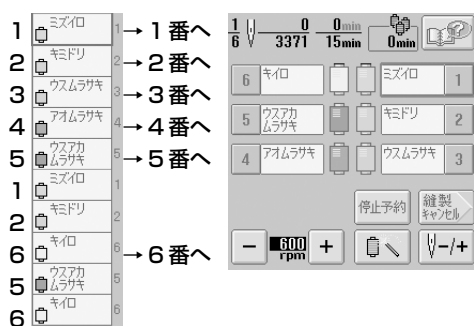
7色以上の模様をぬうときは

7色以上の糸色を使う模様の場合は、糸こまの交換が必要になります。交換時は、ミシンが停止し糸こまを交換するよう指示が表示されます。

■ 針棒への糸色の割り当てのしくみ

糸色は、ぬわれる順の早い順に 1 番針棒から 6 番針棒へ、ミシンが自動的に割り当てます。(ただし、新しくぬう模様の前回ぬった模様と同じ糸色がある場合は、ぬい順に関係なく前回と同じ針棒に割り当てられます。)

例えば、色数6色、糸替え数 10 回の模様の場合には次のようになります。



7色以上の模様の場合は、7色目が必要になったときに糸こま情報が更新されます。

それ以降の糸こま交換が最小限ですむように、ミシンが糸色を割り当て直します。

例えば、色数 10 色、糸替え数 13 回の模様の場合には次のようになります。



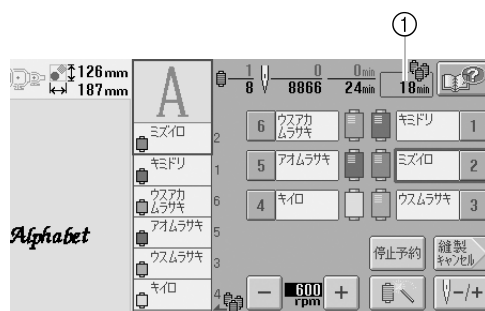
2番、3番は糸こま替え以降も使われるので交換しないで、その他の番号の針棒が割り当て直されます。

糸こま交換が必要かどうかを確認するには

模様を選ぶときに糸替回数は確認できますが、何色の糸色の模様であるかは確認できません。糸こま交換は必要かどうか、必要な場合はいつ必要か、次の表示で確認できます。

■ 糸こま交換時間

糸こま交換時間は、次の糸こま交換までの時間を示します。縫製画面に進んだとき、ここに時間が表示されたら、最低 1 回は糸こま交換が必要です。

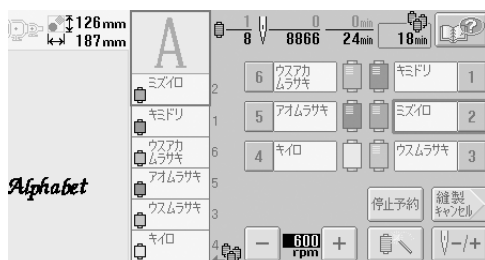


① 糸こま交換時間

■ 糸こま交換マーク (糸こま)

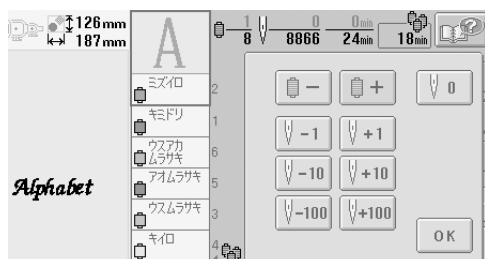
交換回数・時期は、ぬい目戻る／進む画面の糸こま交換マークで確認できます。

1 縫製画面で を押します。



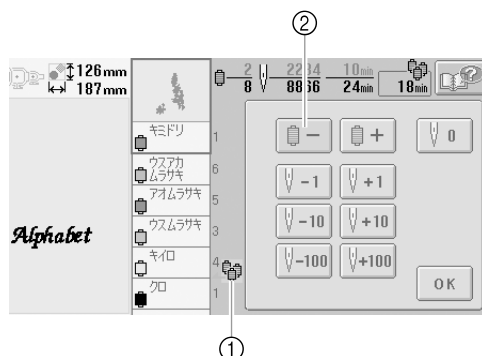
▶ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

2 を押します。



▶ 1回押すごとに1色ずつ次の色へ、色替表示がスクロールします。最後の色が色替表示の1番上にきたら止まります。

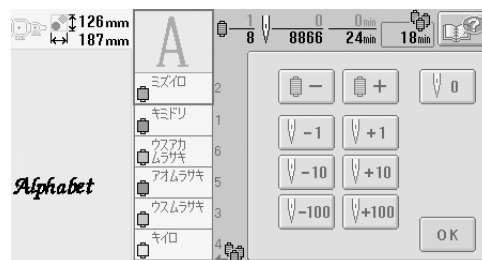
3 の位置を確認します。



①  は糸こま交換時期を示します。表示されている色と色の間で、表示回数分交換が必要です。

② 色替表示を戻すときは、 を押します。1回押すごとに1色ずつ前の色へ、色替表示がスクロールします。1色目の色が色替表示の1番上にきたら止まります。

4 確認し終わったら、 または を押して最初の色に戻り、 を押します。



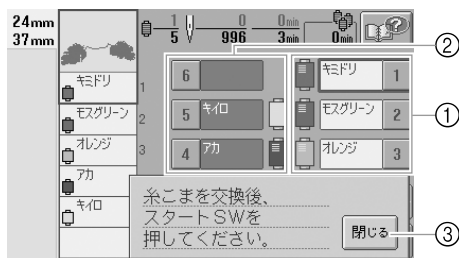
▶ 縫製画面に戻ります。

糸こま交換を指示されたときは

糸こま交換表示の見方と簡単な糸こま交換のしかたについて説明します。

糸こま交換表示について

7色以上の模様をぬう場合糸こま交換が必要なときは、ミシンは自動的に止まり、次の画面が表示されます。この他、新しい模様をぬう場合に糸こま交換が必要なときも表示されます。新しい割り当てに従って、糸こまを交換してください。



- ① 糸こま交換が必要な針棒は、カラーで表示されます。
- ② 糸こま交換が必要ない針棒は、グレーで表示されます。
- ③ 押すと、現在の糸色の割り当てをミシンが記憶します。



お願い

- 縫製画面が表示されたら、現在の糸色の割り当てがミシンに記憶されます。次の糸こま交換時に同じ糸色がある場合は、前回と同じ針棒に割り当てられます。



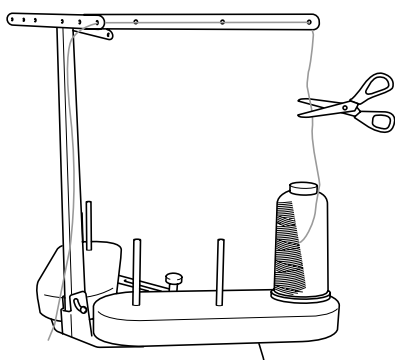
お知らせ

- 使用中の糸色で代用してしまいたい場合は、縫製中に一時停止して設定を変えることができます。(P.98「一時停止針棒設定」参照)
- 糸こま交換の手間を減らすため、よく使う糸色を特定の針棒に決めることもできます。(P.100「手動針棒設定」参照)

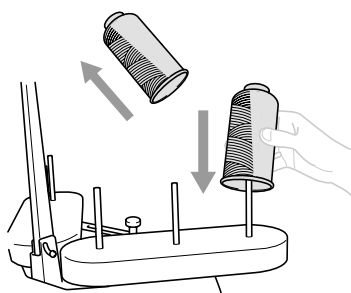
簡単な糸こま交換のしかた

糸こまを交換するときは上糸のかけ直しが必要になります。糸が正しくかけられている糸こまを交換する場合は、簡単に交換できる方法があります。

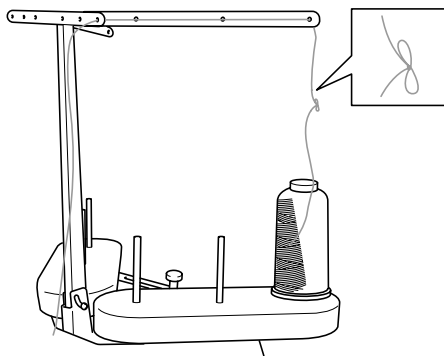
1 糸こまと糸案内の間で糸を切ります。



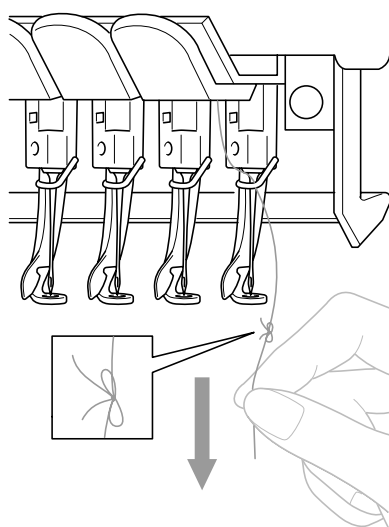
2 糸こまを交換します。



3 糸の端に、交換後の糸こまの糸を結び付けます。



4 糸道下の穴の下と針棒糸かけの間で、糸を引っ張ります。



糸の結び目に来るまで、引っ張ります。結び目を切ります。

5 糸を針棒糸かけに通し、自動針穴糸通し装置を使って針に通します。(P.45 参照)

▶ これで糸こま交換が完了しました。

！ 注意



- 糸を引くときに、針穴に通した先では引かないでください。結び目が針穴を通ると、針が損傷するおそれがあります。

途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは

縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空ぬいがされてしまいますので、ぬわれている部分と少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬいます。



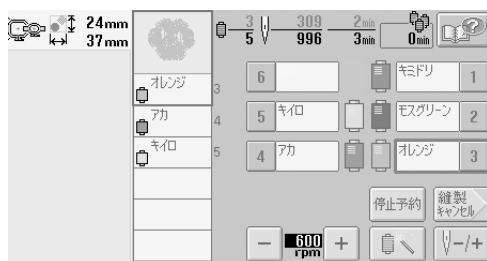
お願い

- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

上糸が切れたとき

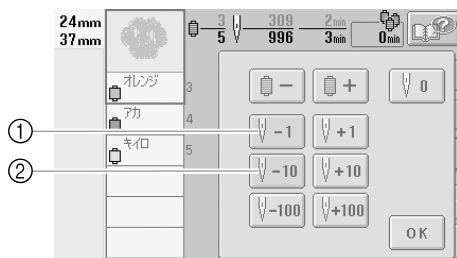
1 上糸をかけ直します。(P.41 参照)

2 を押します。



▶ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

3 を押して、確実にぬわれている部分と少し重なるところまでぬい目を戻します。

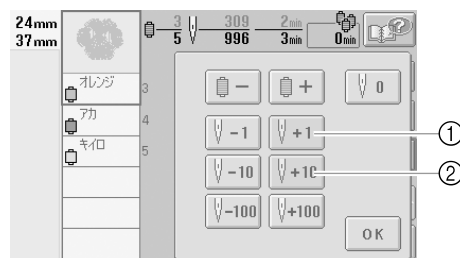


- ① 1 回押すごとに 1 針ずつ戻ります。
- ② 1 回押すごとに 10 針ずつ戻ります。

枠が移動します。ぬわれている部分と少し重なったところに針落ち位置がくるように、調整します。

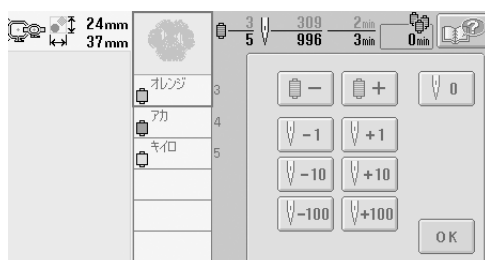


戻しすぎてしまったときは、 を押して、ぬい目を進めます。



- ① 1 回押すごとに 1 針ずつ進みます。
- ② 1 回押すごとに 10 針ずつ進みます。

4 を押します。

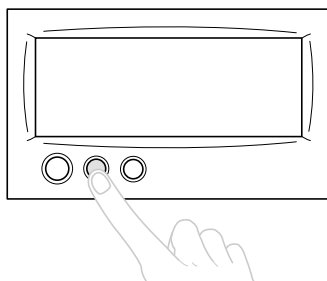


▶ 縫製画面に戻ります。

5 (ロック解除キー)、スタート／ストップスイッチを押して、続きをぬいます。

下糸が切れた／なくなったとき

- 1** 画面の  を押し、ミシンロックを解除したあとに、糸切りスイッチを押します。

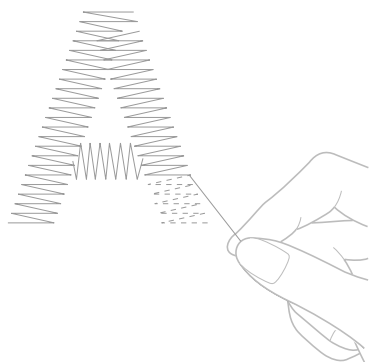


▶ 上糸が切れます。

- 下糸が切れた、またはなくなったときは、一旦上糸も切ってください。

- 2** 空ぬいされている上糸を取り除きます。

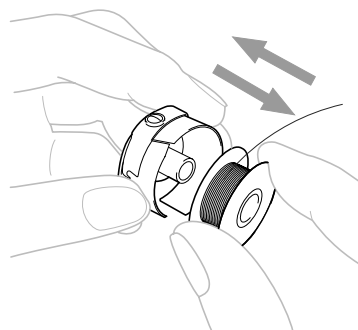
上糸の切れ端を引っ張ります。



- きれいに取り除けない場合は、はさみで切ってください。

■ 下糸がなくなった場合は、ここでボビンを交換します。

- 3** 下糸が巻かれたボビンと交換します。(P.25 参照)



- 下糸の巻き方は、P.22「下糸を巻く」を参照してください。
- 釜力バーを開けることができれば、刺しゅう枠を外さずにボビンを交換できます。
- 袋状の布地などでミシンベッドをおおっており、釜力バーを開けることができない場合は、ここで一旦刺しゅう枠を外します。(P.51 参照) ボビンを交換した後、刺しゅう枠をセットします。(P.36 参照)

お願い

縫製の途中で刺しゅう枠を外す場合は、次のことに注意してください。模様くずれの原因となります。

- 張られている布地に無理な力をかけて布地をたるませない。
- 刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際は、キャリッジや押えに当たらないようにする。キャリッジに当たってキャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直してください。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。
- 刺しゅう枠をセットしたときは、台枠の左右のアームのピンが刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認する。

- 4** P.83の「上糸が切れたとき」の手順 **2** からと同様にぬい目を戻して、続きをぬいます。

始めまたは途中からぬきたいときは

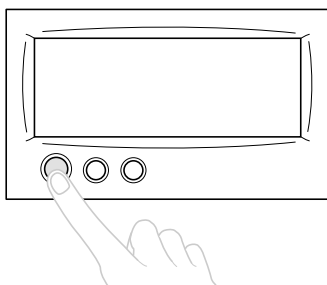
ぬってみて糸調子があっていなかったり、糸色をまちがえてしまったりしたときなど、始めからぬい直したいときはぬい目を戻してから新たにぬい直します。また、糸色・ぬい目を進めたり、戻したりすると、ぬい始めたい糸色のぬい目からぬうこともできます。



お願い

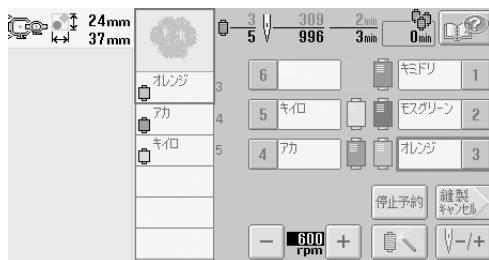
- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

- 1 スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。



- 必要に応じて、布地を張り替えたり、ぬった刺しゅう部分をはさみで取り除いたりします。

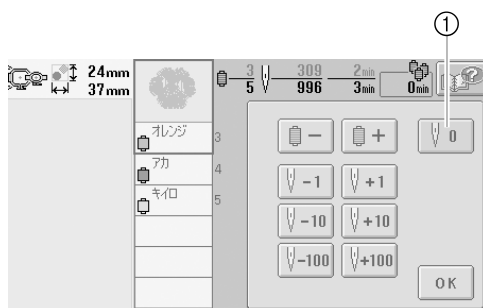
- 2 を押します。



- ▶ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

■ 始めからぬきたいとき

- 3 を押します。

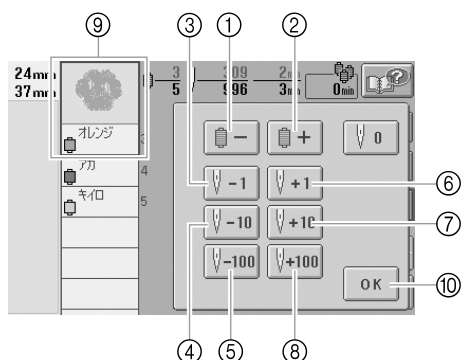


- ① 1 色目の部分のぬい始めに戻ります。

- ▶ 刺しゅう枠が動いて、ぬい始めの位置に戻ります。

■ めい始めのめい目を指定したいとき

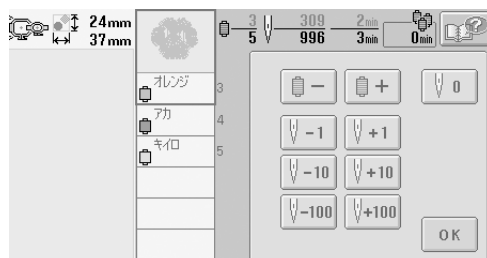
- 3**   を押して糸替え順の糸色部分を、      を押してめい目を指定します。



- ① 1回押すと、そのときぬっていた色部分のめい始めに戻ります。2回目から、1回押すごとに1色ずつ前の色部分のめい始め位置に戻ります。
- ② 1回押すごとに次の色部分のめい始め位置に進みます。
- ③ 1回押すごとに1針ずつ戻ります。
- ④ 1回押すごとに10針ずつ戻ります。
- ⑤ 1回押すごとに100針ずつ戻ります。
- ⑥ 1回押すごとに1針ずつ進みます。
- ⑦ 1回押すごとに10針ずつ進みます。
- ⑧ 1回押すごとに100針ずつ進みます。
- ⑨ 色替表示の1番上に表示されている糸色が現在選ばれている色部分です。
- ⑩ 押すと、この画面を閉じます。

- ▶ 刺しゅう枠が動いて現在の針位置を示します。
- ▶ ③と⑥を押した場合は、針棒ケースも動いて現在の針棒が縫製位置に移動します。

- 4** めい始めのめい目が指定できたら、 を押します。



▶ 縫製画面に戻ります。

- 5**  (ロック解除キー)、スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。

▶ 指定したところからめい始めます。

停止後、途中からぬうときは

次のようなときは、ぬい終わったところまでのぬい目をミシンが記憶しています。

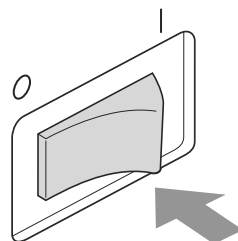
- ・ **縫製の途中で一旦電源スイッチを切った後で続きをぬうとき**
電源を入れキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、糸が引っ張られたり、引っかかったりしないよう、電源を切る前に糸を切っておきます。
- ・ **縫製中に停電などで電源が切れたとき**
次に電源を入れたときに続きからぬうことができますが、ぬい目を少し戻してからぬい始めます。



お願い

- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

- 1 電源スイッチの“I”側を押し、電源を入れます。

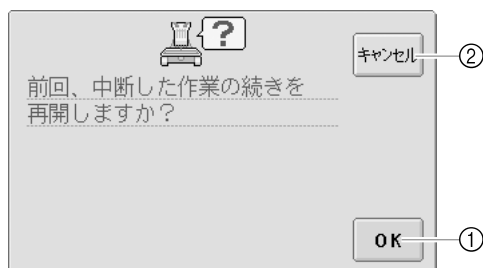


- 2 オープニング画面の後、次の画面が表示されたら、**OK** を押します。



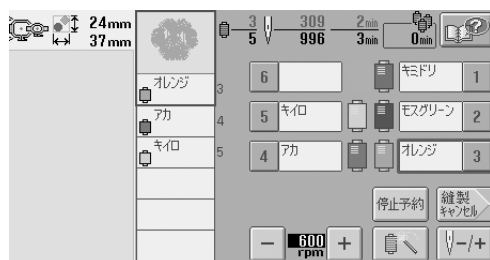
- ▶ 続きをぬうか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。

3 OK を押します。

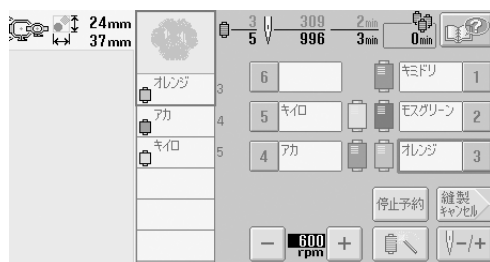


- ① 続きをぬうときに押します。
- ② 押すと、縫製をキャンセルして、新しい模様を選ぶ画面が表示されます。

▶ 前回電源を切ったときの縫製画面が表示されます。

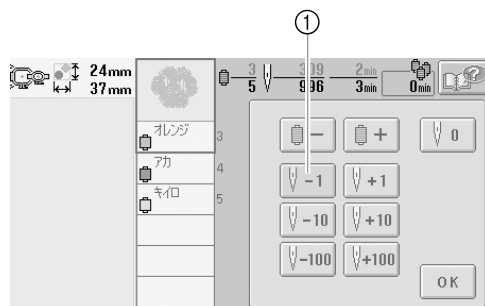


4 V-/++ を押します。



▶ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

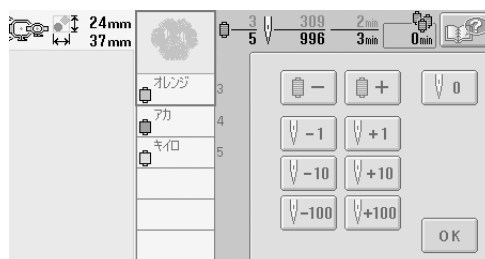
5 V-1 を2～3回押して、2～3針ぬい目を戻します。



- ① 1回押すごとに1針ずつ戻ります。

● 針落ち位置がぬわれている部分と少し重なったところになっているか、確認してください。

6 OK を押します。



▶ 縫製画面に戻ります。

7 ロック (ロック解除キー)、スタート/ストップスイッチを押して、続きをぬいます。

お知らせ

- 縫製中でもミシンはいつでも停止することはできますが、糸替え時に停止すると次にぬい始めるときにぬい目を戻す必要はありません。糸替え時にミシンを停止するよう設定もできます。(P.96「糸替え時停止設定」参照)

糸調子を調整する

P.50で説明したように正しい糸調子になっていない場合の、糸調子の調整のしかたを説明します。まず下糸の糸調子を調整してから、各針棒の上糸の糸調子を調整します。

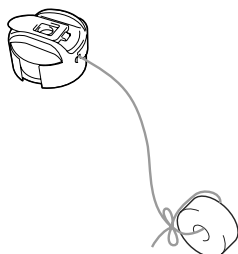


お願い

- ボビンを交換したあとは、必ず下糸の糸調子を確認してください。
下糸の糸調子は、下糸やボビンの種類によって異なります。例えば、使い捨てボビンと同種のボビンと交換したときなども、下糸の糸調子を確認し、必要に応じて糸調子を調整してください。
- 必ず下糸の糸調子を調整してから、上糸の糸調子を調整してください。

下糸の調子を調整する

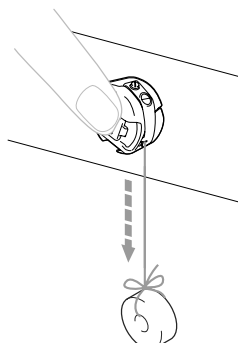
- 1 ボビンケースから出ている下糸の端に付属の下糸おもりを結び付けます。



お願い

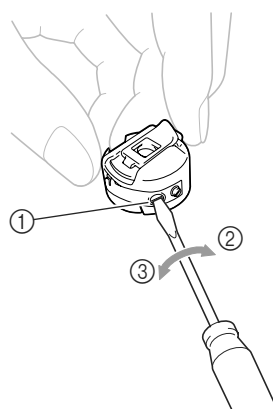
- 紙ボビンと金属ボビンでは、調整するときに使用する下糸おもりが異なります。
紙ボビンの場合：下糸おもり(L タイプ)のみ
金属ボビンの場合：
下糸おもり(L タイプ)+下糸おもり(S タイプ)

- 2 図のように、ボビンケースを滑らかな垂直面に押し当てます。



- 下糸おもりの重さで下糸が、ゆっくりと繰り出されれば正しい糸調子です。

- 3 糸調子ネジを付属の小型ドライバーで回して、調整します。



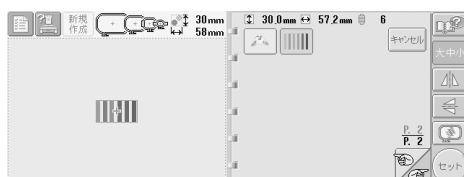
- ① 糸調子ネジ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

- 4 調整ができれば、全ての針棒でためしぬいをして、糸調子を確認します。



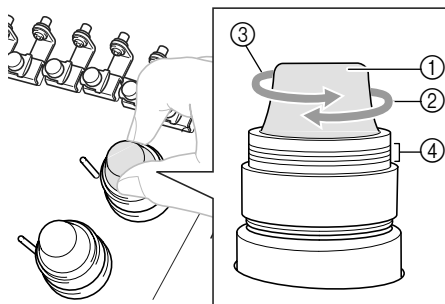
お知らせ

- 内蔵ワンポイント模様の中に、糸調子確認用の模様があります。この模様をぬって糸調子を確認すると便利です。詳しくは、P.164を参照してください。



上糸の調子を調整する

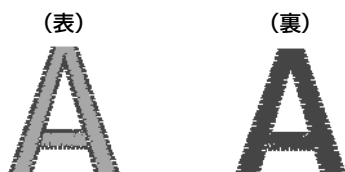
1 糸調子つまみを手で回します。



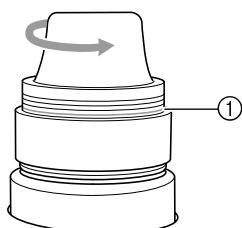
- ① 糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。
- ④ 印

■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



矢印の方向に回して、弱くします。



- ① 赤い線が見えたら、これ以上弱くできません。下糸の糸調子を強くしてください。詳しくは、P.89「下糸の調子を調整する」を参照してください。

■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて、上糸がたるみ糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができています。



矢印の方向に回して、強くします。



お願い

- 赤い線よりも糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れることがあります。

4

縫製設定

縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

自動止めぬい設定	92
ぬい始め／終わり位置設定	93
斜めに繰り返しぬいをする / 94	
縫製最高速度設定	95
糸替え時停止設定	96
次の糸替え時に停止する / 96	
縫製前にポーズ位置を指定する / 96	
一時的針棒設定	98
手動針棒設定	100

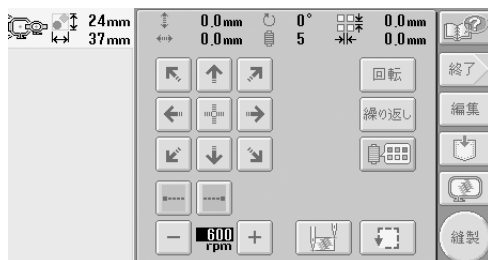
自動止めぬい設定

模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、糸切り前に、ほつれ止めのための止めぬいを自動でするように設定できます。

購入時は、模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、糸切り前ともに、自動止めぬいをするように設定されています。

■ 模様のぬい始めと糸切り後のぬい始めに止めぬいをする

- 1  を押して、 にします。
 (または ) を押して、設定します。



- キーを1回押すごとに、切り替わります。

 ⇌ 
 自動止めぬいをする 自動止めぬい解除

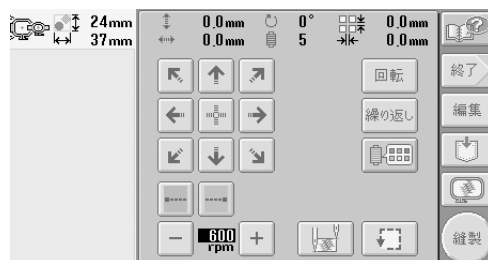


お知らせ

- ぬい始めの長さが0.8 mmより短いと、止めぬいが不要となるため、自動止めぬいはされません。
- 設定画面で渡り糸切りをOFFに設定した場合は、自動止めぬいはされません。(P.153「渡り糸切り／DST 設定」参照)

■ 糸切り前に止めぬいをする

- 1  を押して、 にします。
 (または ) を押して、設定します。



- キーを1回押すごとに、切り替わります。

 ⇌ 
 自動止めぬいをする 自動止めぬい解除



お知らせ

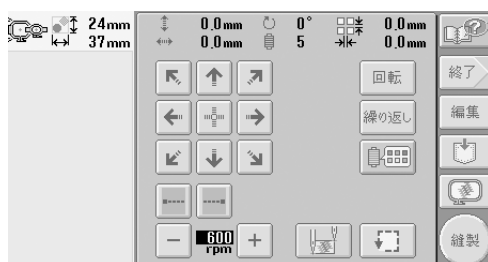
- 自動止めぬい設定は、キーを押して解除するまで解除されません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。
- 設定画面で渡り糸切りをOFFに設定した場合は、自動止めぬいはされません。(P.153「渡り糸切り／DST 設定」参照)

ぬい始め／終わり位置設定

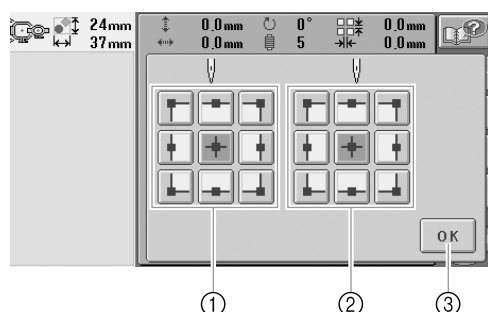
刺しゅう模様のぬい始めとぬい終わりの針位置を、模様の左上、左中央、左下、上中央、中心、下中央、右上、右中央、右下の9点のいずれかにそれぞれ設定できます。
この機能を使うと斜めの繰り返しぬいができます。

縫製設定画面で設定します。
購入時は、ぬい始め／終わりとも中心に設定されています。

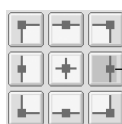
1 を押します。



▶ ぬい始め／終わり位置設定画面が表示されます。



- ① ぬい始め位置を指定します。
 - ② ぬい終わり位置を指定します。
- 反転されたキーは現在選択されている設定です。
- 例



このキーが選ばれています。

- ③ 押すと、この画面を閉じます。

■ ぬい始め位置を指定する

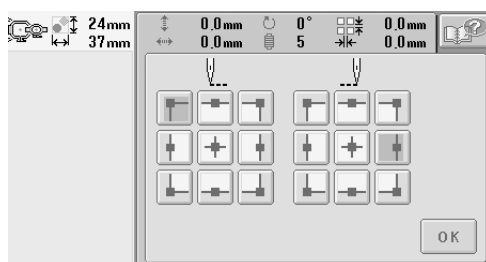
2 希望のぬい始め位置のキーを押します。

- ▶ ぬい始め位置を指定すると、自動的にぬい終わり位置も同じ位置に指定されます。
- ▶ 刺しゅう枠がぬい始め位置に移動します。

■ ぬい終わり位置を指定する

3 希望のぬい終わり位置のキーを押します。

4 指定し終わったら、 を押します。



▶ 縫製設定画面に戻ります。

お知らせ

- ぬい始め／終わり位置設定は、キーを押して変更するまで設定は変わりません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。

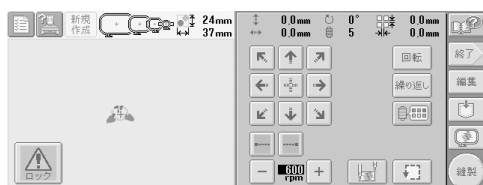
斜めに繰り返しぬいをする

例



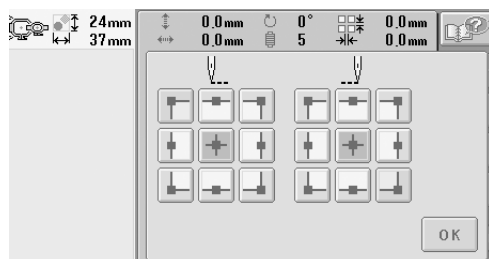
1 ぬい始めを左上、ぬい終わりを右下に指定します。

縫製設定画面で  を押して、ぬい始め／終わり位置設定画面を表示します。



ぬい始めの  を押して、 にします。

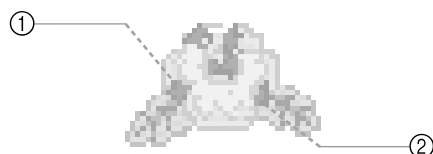
ぬい終わりの  を押して、 にします。



 を押して、ぬい始め／終わり位置設定画面を閉じます。

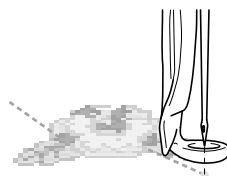
2 1つ目の刺しゅうをぬいます。

 を押して縫製画面に進み、 (ロック解除キー)、スタート／ストップスイッチを押します。



- ① ぬい始め位置
② ぬい終わり位置

3 ぬい終わると、ミシンは模様の左下の角で止まります。



4 手順②と手順③を3回繰り返します。

お知らせ

- 一定方向だけでなく、途中でぬい始め／終わり位置の設定を変えると、バリエーションが広がります。



縫製最高速度設定

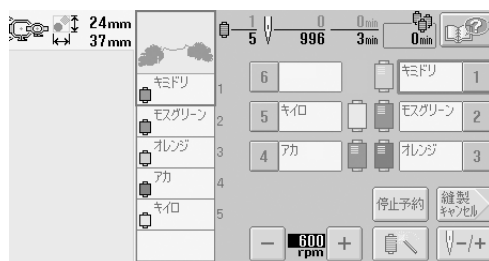
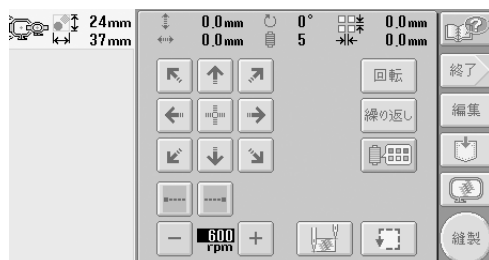
縫製最高速度を、1 分間に 600 ～ 1000 回転の間の 100 回転ごと 5 段階から設定できます。帽子枠を使用時は 400 ～ 600 回転の間の 50 回転ごと 5 段階から設定できます。

縫製最高速度表

刺しゅう枠		帽子枠	
1	1000	1	600
2	900	2	550
3	800	3	500
4	700	4	450
5	600	5	400

縫製設定画面または縫製画面で設定します。
購入時は、600 回転に設定されています（帽子枠は 400 回転）。

1 速くしたいときは **+**、遅くしたいときは **-** を押します。



▶ **-** と **+** 間の数字が変わります。

お知らせ

- 薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度に設定してください。また速度を遅くするほど、縫製音は静かになります。
- 縫製の途中でも、設定を変更することができます。
- 縫製最高速度設定は、設定を変更するまで変わりません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。
- 金属製の糸のように弱い糸をお使いの場合は、縫製速度を 600 回転に設定してください。

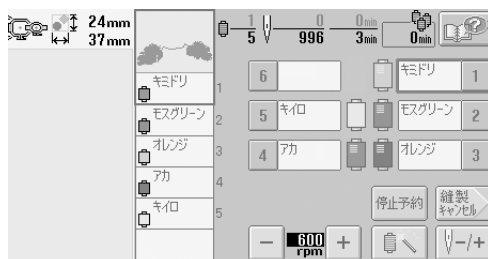
糸替え時停止設定

ミシンはいつでも止めることができますが、縫製の途中で止めると次のぬい始めは、ぬい目を少し戻さなくてはなりません。糸替え時に止めるとぬい目の調整をしなくて済みます。

次の糸替え時に停止する

次の色をぬう前でミシンを停止することができます。

- 1 ミシンを停止したい糸替え時の前の色部分をぬっているときに **停止予約** を押して、**停止予約** にします。



- 2 現在ぬっている色の部分をぬい終わると、次の針棒に移動し、ぬい始める前にミシンが止まります。

▶ **停止予約** は **停止予約** に戻ります。

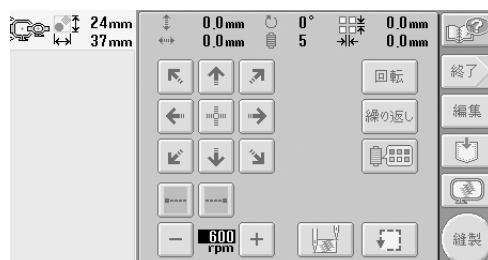
- ここで一旦電源を切って続きをぬう場合は、次に電源を入れたときにミシンが続きをぬうか、新しく模様を選ぶか尋ねてきます。

OK を選ぶと、続きからぬうことができます。(P.87「停止後、途中からぬうときは」参照)

縫製前にポーズ位置を指定する

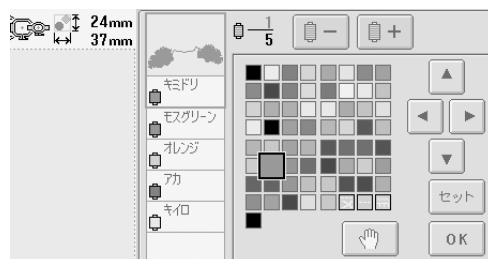
 を押して表示される糸色編集画面で設定できます。

- 1 編集画面または縫製設定画面で  を押します。

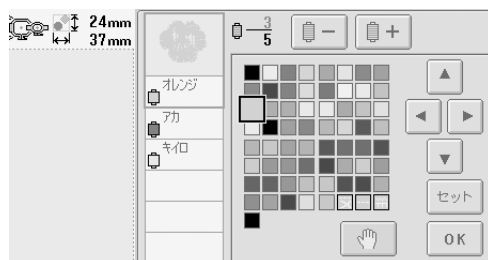


▶ 糸色編集画面が表示されます。

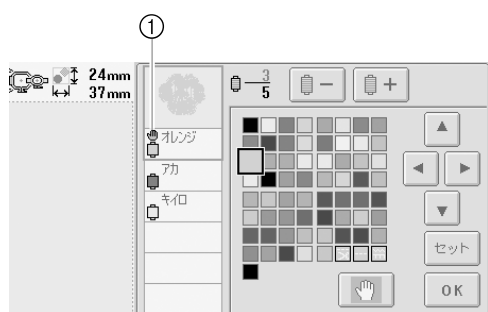
- 2   を押して、色替表示の1番上にその色部分をぬう前に停止させたい色を表示させます。



3 を押して にします。



▶ マークが表示され、ここで停止することを示します。

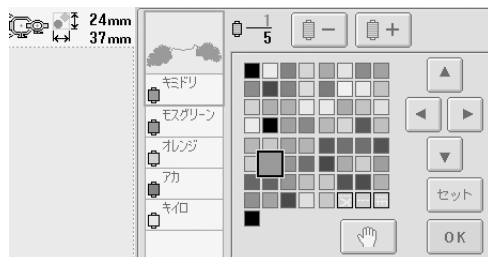


① マーク

4 停止したい回数分、手順②～③を繰り返して設定します。

- 停止設定は何回でもできます。

5 設定し終わったら、を押します。



▶ を押す前の画面に戻ります。

- 縫製後、設定したところで停止したとき、一旦電源を切って続きをぬう場合は、次に電源を入れたときにミシンが続きをぬうか、新しく模様を選ぶか尋ねてきます。

を選ぶと、続きからぬうことができます。(P.87「停止後、途中からぬうときは」参照)

お知らせ

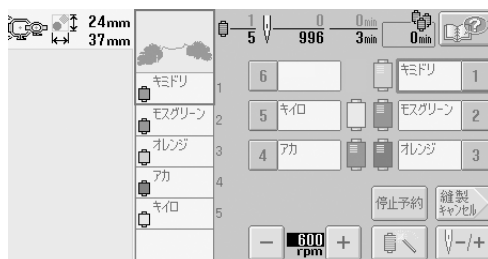
- 一色目にポーズ位置を指定することはできません。
- 一旦電源を切っても、続きをぬう場合は電源を切る前に設定した糸替え時停止設定は解除されません。新しく同じ模様を選んだ場合は、解除されません。
- 糸替え時停止設定をした模様を記憶すると、糸替え時停止設定も記憶されます。

一時的針棒設定

縫製開始後、糸替え時で停止して、次でぬう色部分を現在糸がかけられている別の針棒に変えてぬうことができます。

糸残量が少なくなった場合など現在かけられている上糸を代用し、糸こま交換を省きたいときにこの機能を使うと便利です。

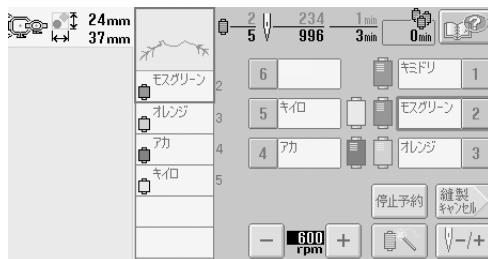
- 1** 変更したい色部分の前の色部分をぬっているときに、**停止予約**を押して**停止予約**にします。



▶ 現在ぬっている色部分をぬい終わると、糸を切ってミシンが止まります。

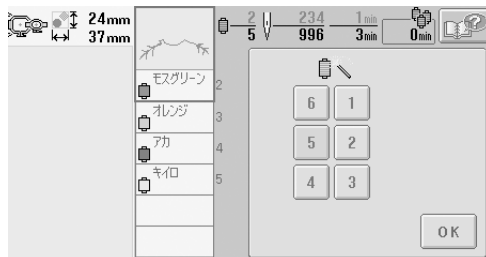
- 糸替時にスタート/ストップスイッチを押して止めることもできますが、この場合糸を切った後で止めてください。

- 2** **針棒**を押します。

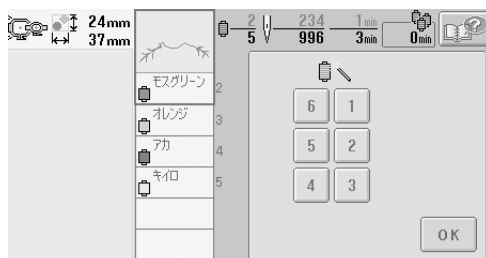


▶ 一時的針棒設定画面が表示されます。

- 3** 縫製したい糸がかかっている針棒の番号キーを押します。

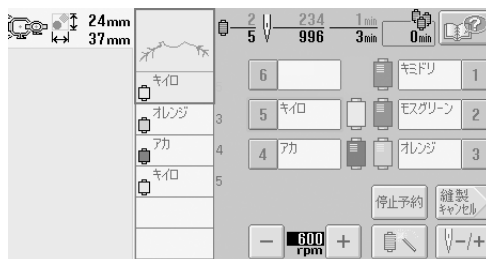


- 4** **OK**を押します。



▶ 縫製画面に戻ります。

- 5** **ロック解除キー**（ロック解除キー）、スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。



▶ 指定した針棒でぬわれます。



お知らせ

- この機能での糸色（針棒）変更は、指定したときの色部分についてのみ有効になります。その模様の次の同じ色でぬう部分や、次回同じ模様をぬうときは、オリジナルの色でぬわれます。
- 糸こま交換、ポーズ設定で停止したときも、一時的針棒設定で糸色（針棒）変更することができます。
- 色部分をぬっている途中で、スタート／ストップスイッチを押してミシンを止めたときは、一時的針棒設定は使えません。色部分の途中からの糸色（針棒）変更はできません。

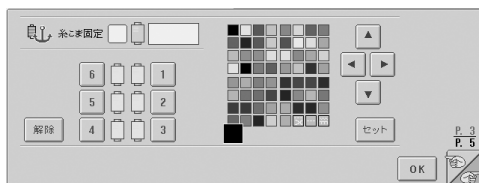
手動針棒設定

通常、糸色の割り当てはミシンが自動的に行いますが、特定の針棒に任意の糸色を自分で設定することができます。設定を行うと、その針棒はミシンの自動割り当ての対象から外れ、常に設定した糸色が割り当てられます。

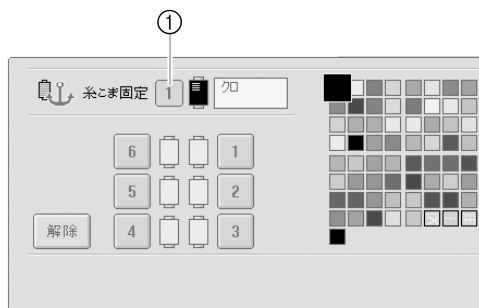
よく使う糸色を設定しておく、糸こま交換の手間を省くことができ便利です。

1 度設定すると、解除するまで有効です。
設定画面の 3 ページで設定します。

- 1** を押し、 または を押し、設定画面の 3 ページを表示します。



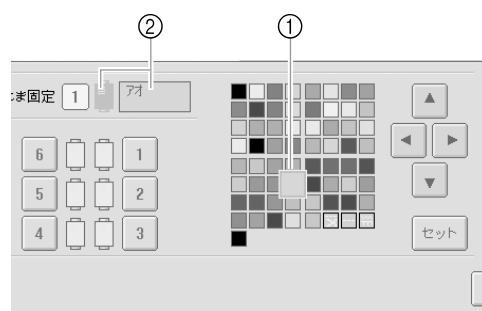
- 2** 設定したい針棒の番号の を押します。



- ① 選択した針棒番号が表示されます。

- 3** 割り当てる色を選びます。

を押して、色パレットの設定したい色の□を大きく表示させます。

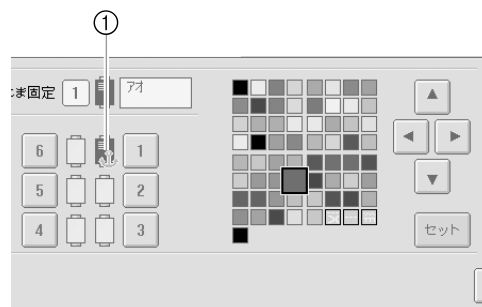


- ① 大きく表示されている□が選ばれている色です。

- ② 選択した糸色と糸色名が表示されます。

▶ 矢印の方向に選ばれている□が動きます。

- 4** を押します。



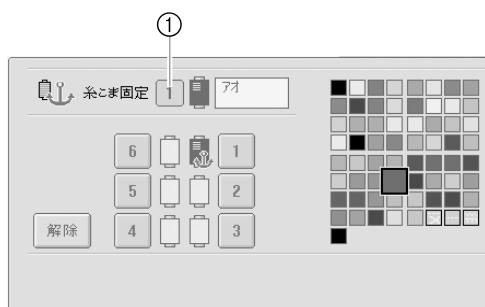
▶ 手順 ③ で選んだ糸色が設定されます。

- ① 糸こまに糸色・錠マークが表示されます。

■ 設定を解除したいときは

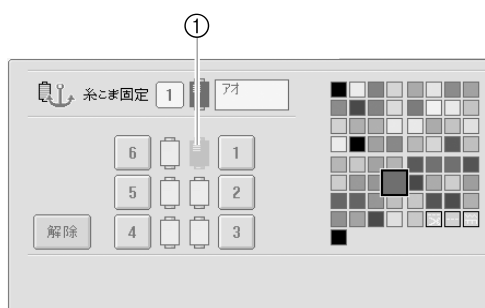
設定し直したいときも、一旦解除してから設定し直してください。

- 1** 解除したい針棒の番号の 1 2 3 4
5 6 を押します。



① 選択した針棒番号が表示されます。

- 2** 解除 を押します。



① 碇マークが消えます。

▶ これで針棒設定が解除されました。

5

模様の選択／編集／記憶

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

刺しゅうデータに関する注意	104
刺しゅう模様を選ぶ	106
基本的な模様の選び方 / 106	ワンポイント / 108
装飾アルファベット / 109	花アルファベット / 110
アップリケアルファベット / 111	枠模様 / 112
アルファベット / 113	ミシンに記憶した刺しゅう模様 / 115
刺しゅうカード（別売） / 116	パソコン（USB） / 118
USBメディア（市販品） / 121	
刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）	123
模様を組み合わせる / 123	編集する模様を選ぶ / 124
位置を移動する / 124	左右反転する / 125
上下反転する / 125	大きさを変える / 125
回転する / 126	文字の配列を変更する / 127
文字間隔を変更する / 128	
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ） / 129	
1文字ずつ色を変える / 130	模様の色を変える / 131
模様を削除する / 132	
刺しゅう模様全体を編集する（縫製設定画面）	133
全て回転する / 133	繰り返し模様をつくる / 134
模様の色を変える / 135	
組み合わせの編集	136
刺しゅう模様を記憶する	140
ミシンに記憶する / 140	記憶できないときは / 140
USBメディア（市販品） / 142	

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

！ 注意



- 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります。糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータを修正してご使用ください。

使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pes、.phc、.dst ファイルのみです。当社正規のデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

使用可能な USB メディアの種類（USB コネクタ（A タイプ）経由）

- 模様データをUSBメディアへ記憶したり、USBメディアへ記憶した模様データを呼び出したりすることができます。使用できる USB メディアの種類は次のとおりです。

USB フロッピーディスクドライブ

USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリ）

USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ（呼び出しのみ）



お知らせ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブを使用して、模様データを保存することはできません。
- USB メディアは、ミシンの USB コネクタ（A タイプ）に接続して使用します。USB コネクタ（B タイプ）はパソコン用です。

また、USB メモリカードリーダー／ライターで、次の種類のメディアを使用することもできます。

SD カード

コンパクトフラッシュ

メモリースティック

スマートメディア

マルチメディアカード（MMC）

xD ピクチャーカード



お願い

- USB メディアの種類によっては、このミシンで使えないことがあります。使用可能なUSBメディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ（<http://www.brother.co.jp>）でご確認ください。
- USB ハブを USB コネクタ（A タイプ）に接続して使用しないでください。上記のUSBメディアを正しく認識できないことがあります。
- USB メディアを差し込むと、アクセスランプが点滅します。認識するまでに5～6秒かかります。（USBメディアの種類によって、認識するまでの時間は異なります。）
- USBメディアは、必ず  またはUSBメディアの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。
- この他、お買い求めのUSBメディアに付属の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

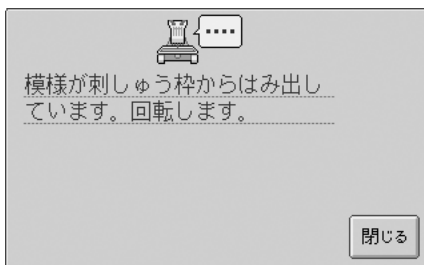
- フォルダを作成する場合は、パソコンを使用してください。
- フォルダ名、および模様データのファイル名には、英数字、またはダッシュ (-)、アンダーバー (_) を使用することができます。フォルダ名の長さが8文字以下の場合は、フォルダ名全体が画面に表示されます。9文字以上の場合は、始めの6文字の後が「～」と数字に変わります。

使用可能なパソコンの種類とOS

- 接続するパソコンが、以下の動作環境を満たしていることを確認してください。
対応機種： USB ポート標準装備のIBM-PC またはその互換機
対応OS： Microsoft Windows Me/2000/XP
Windows 98をお使いの方は、ドライバが必要です。ドライバは、ブラザー工業のホームページ (<http://www.brother.co.jp>) よりダウンロードしてください。

パソコンで作成するときの注意

- フォルダ名、および模様データのファイル名には、特殊記号やコンマ (,), ピリオド (.) を使用しないでください。フォルダ、または模様データを正しく識別できないおそれがあります。フォルダ名およびファイル名には、英数字、またはダッシュ (-)、アンダーバー (_) のみを使用してください。
- ヨコ300mm×タテ200mmより大きな刺しゅうデータを選べると、右のエラーメッセージが表示され、90度回転するか、ミシンが尋ねてきます。
90度回転してもヨコ300mm×タテ200mmより大きな刺しゅうデータは扱うことができません。(デザインは全て、デザイン領域ヨコ300mm×タテ200mm内にしてください。) 詳しくは、P.117を参照してください。
- 針数、色数の制限を越えて記憶した.pesファイルは模様が表示されません。当社正規のデータ作成装置で、制限内(針数50万針、色替え500回、模様の組み合わせ100個まで)の模様に修正してご使用ください。
- リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内に刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。



タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータについて

- .dstデータは、模様一覧画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。) ファイル名は、8文字までのアルファベット・数字で表示されます。
- .dstデータのファイル名に全角文字を使用すると、ミシンが模様データを正しく認識できないおそれがあります。
- タジマフォーマット (.dst) には、模様の色情報がないので、どの模様を選択しても当社指定の糸色順で表示されます。画面上で、でき上がりを確認しながら、糸色変更で好みの色に変更してください。詳しくは、P.167を参照してください。



お知らせ

- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能なUSBメディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ (<http://www.brother.co.jp>) でご確認ください。

刺しゅう模様を選ぶ

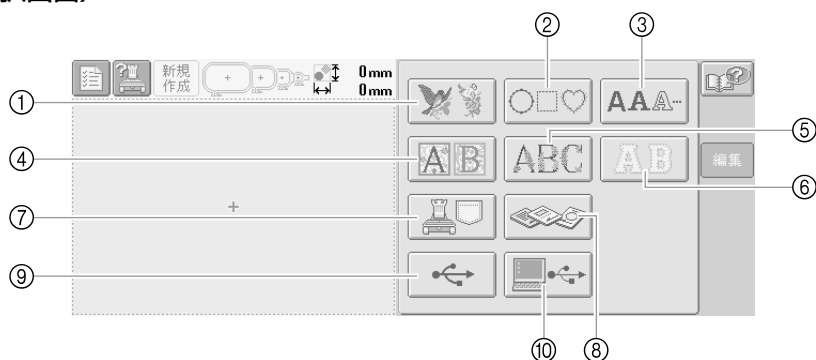
このミシンには、刺しゅう模様が内蔵されています。それらの模様の他、刺しゅうカード（別売）やUSBメディア（市販品）、パソコンから模様を呼び出すことができます。

基本的な模様の選び方

模様の種類によって多少違いがありますが、基本的には次の手順で選びます。

1 模様選択画面で希望するカテゴリーキーを押します。

〈模様選択画面〉

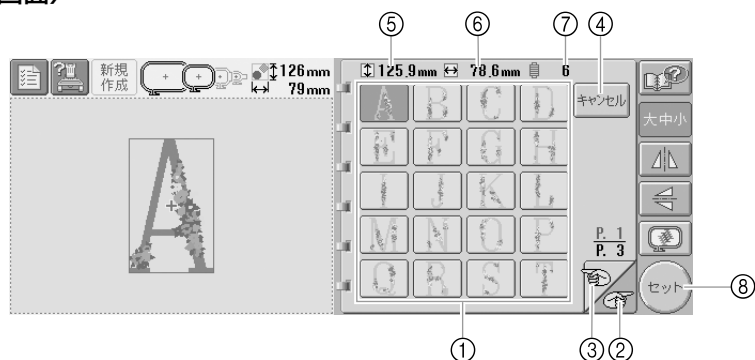


- ① ワンポイント
- ② 枠模様
- ③ アルファベット
- ④ 装飾アルファベット
- ⑤ 花アルファベット
- ⑥ アップリケアルファベット
- ⑦ ミシンに記憶した刺しゅう模様

- ⑧ 刺しゅうカード
- ⑨ USBメディア
- ⑩ パソコン(USB)

2 次に表示される模様一覧画面で模様キーを押して、模様を選びます。

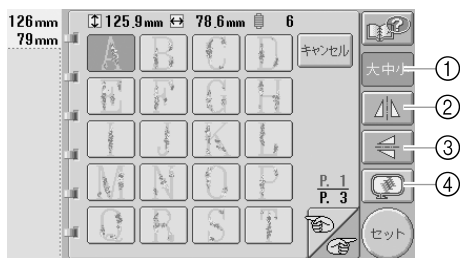
〈模様一覧画面〉



- ① 模様キー
 - ・ 模様キーを押すと、その模様の情報が表示されます。
- ⑤ 模様の縦の長さ
- ⑥ 模様の横の長さ
- ⑦ 色替え回数
 - ・ 複数のページがあるときは、② 、③ を押して目的のページを表示します。

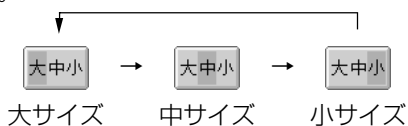
- ・ カテゴリーを選び直したいときは、④ を押します。模様選択画面に戻ります。
- ・ 模様を選んだら、⑧ を押します。選択が確定され、編集画面に進みます。

- ・模様キーを押して、画面の右側に次のキーが表示されたら、ここで模様を編集することができます。



① 大きさを選択できます。

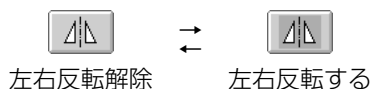
- ・キーを1回押すごとに、次のように切り替わります。



- ・**大中小** のときは、大きさを選ぶことはできません。

② 左右反転ができます。

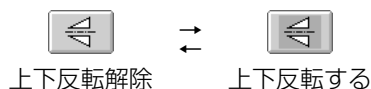
- ・キーを1回押すごとに、切り替わります。



- ・**左右反転解除** のときは、左右反転できません。

③ 上下反転ができます。

- ・キーを1回押すごとに、切り替わります。



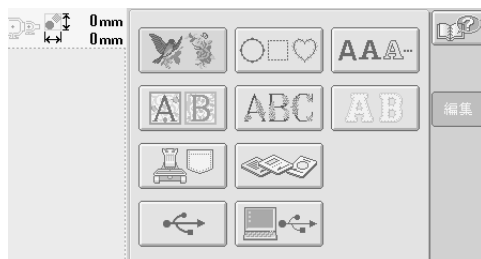
- ・**上下反転解除** のときは、上下反転できません。

④ 仕上がりイメージを見ることができます。

- ・希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたときのイメージで確認するときに押します。(P.33 参照)

ワンポイント

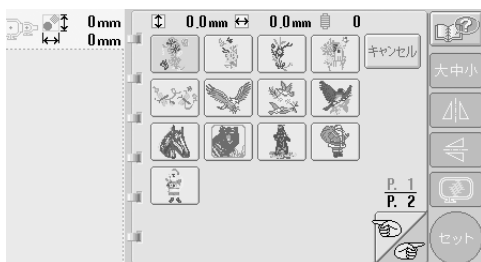
1 を押します。



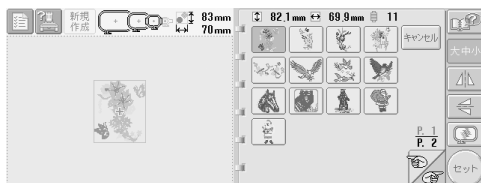
▶ ワンポイント模様一覧が表示されます。

2 模様を選びます。

選みたい模様キーを押します。



▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選みたい模様キーを押し直します。

3 必要に応じて、模様を編集します。



- ① 左右反転できます。
- ② 上下反転できます。
- ③ 仕上がりイメージを見ることができます。

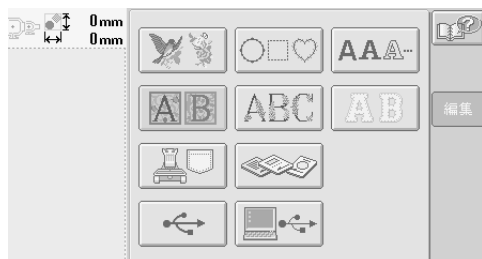
4 セットを押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

装飾アルファベット

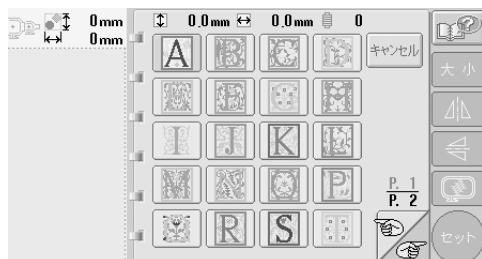
1 を押します。



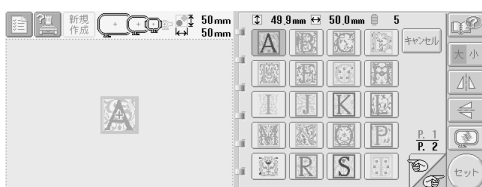
▶ 装飾アルファベット模様一覧が表示されます。

2 模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。

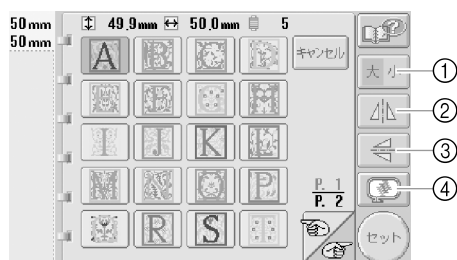


▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

3 必要に応じて、模様を編集します。



- ① 押すと、サイズを変更できます。
- ② 左右反転できます。
- ③ 上下反転できます。
- ④ 仕上がりイメージを見ることができます。

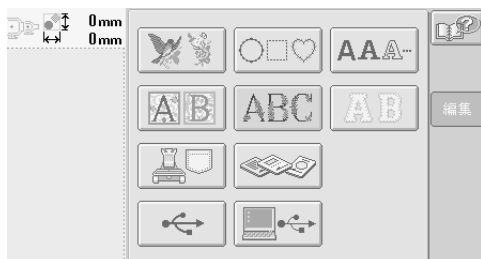
4 を押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

花アルファベット

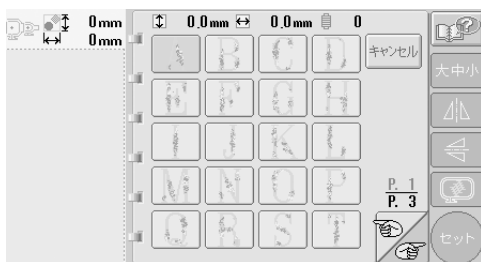
1 ABC を押します。



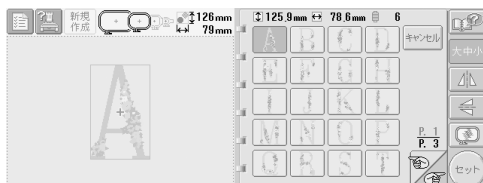
▶ 花アルファベット模様一覧が表示されます。

2 模様を選びます。

選みたい模様キーを押します。

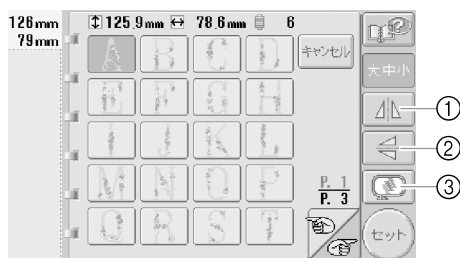


▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選みたい模様キーを押し直します。

3 必要に応じて、模様を編集します。



- ① 左右反転できます。
- ② 上下反転できます。
- ③ 仕上がりイメージを見ることができます。

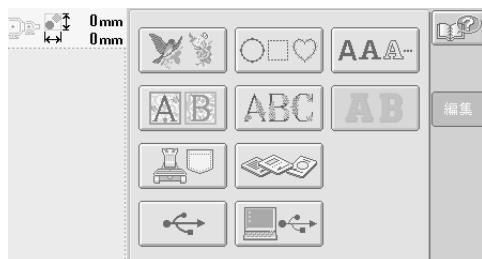
4 セットを押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

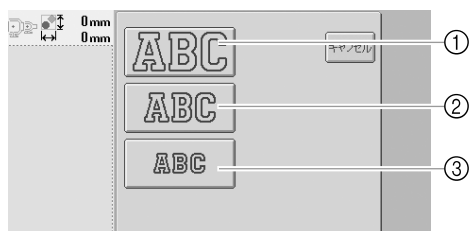
アップリケアルファベット

1 を押します。



▶ サイズ選択画面が表示されます。

2 大きさを選びます。 希望の大きさのキーを押します。

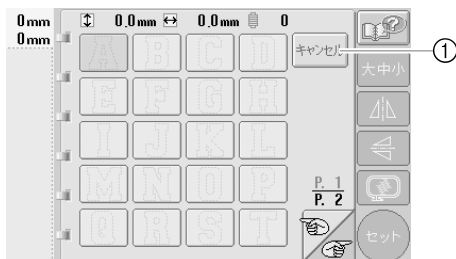


- 文字の縦の長さは、次の大きさのアップリケアルファベット模様を選ぶことができます。

- ① 大：122mm
- ② 中：68mm
- ③ 小：49mm

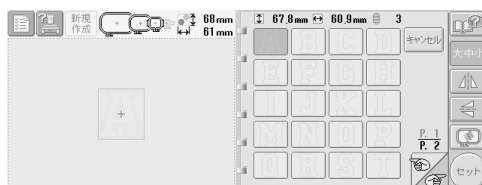
▶ アップリケアルファベット模様一覧が表示されます。

3 下段で + 模様を選びます。 選みたい模様キーを押します。



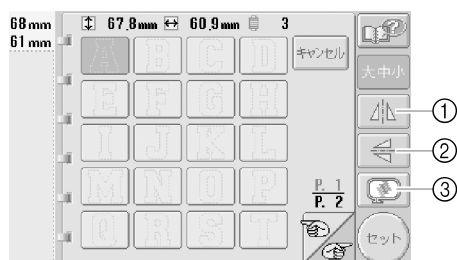
- ① 大きさを選び直すときに押します。

▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選みたい模様キーを押し直します。

4 必要に応じて、模様を編集します。



- ① 左右反転できます。
- ② 上下反転できます。
- ③ 仕上がりイメージを見ることができます。

5 を押します。

これで模様の選択が確定されます。

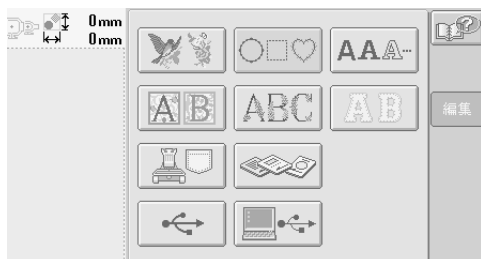
▶ 編集画面が表示されます。

お知らせ

- めい方については、P.160「アップリケ模様のめい方」を参照してください。

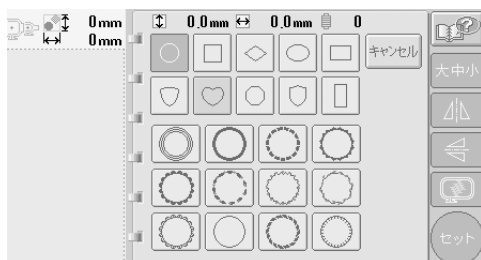
枠模様

1  を押します。



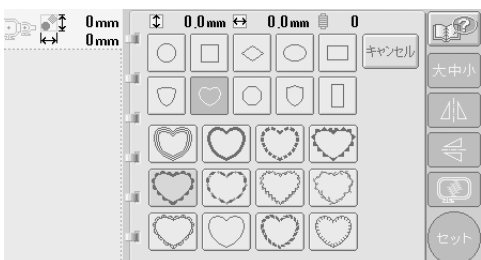
▶ 枠模様一覧が表示されます。

2 上段で枠の形を選びます。
選みたい枠キーを押します。

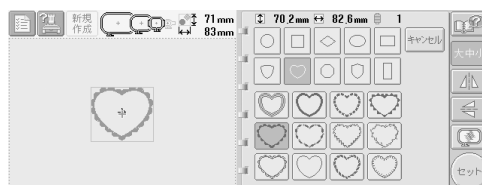


▶ 下段に枠の模様が表示されます。

3 下段で枠模様を選びます。
選みたい模様キーを押します。

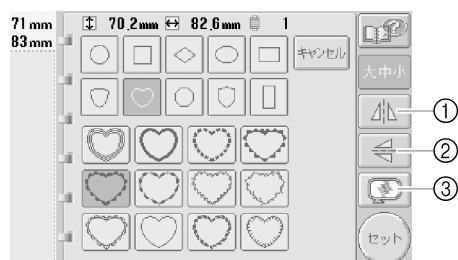


▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



● まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選みたい模様キーを押し直します。

4 必要に応じて、模様を編集します。



- ① 左右反転できます。
- ② 上下反転できます。
- ③ 仕上がりイメージを見ることができます。

5  を押します。

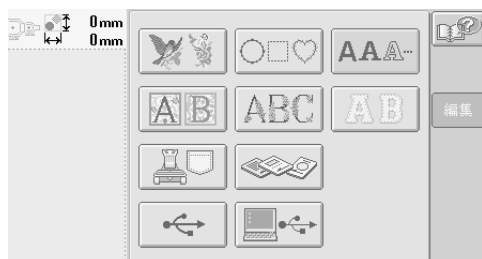
これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

アルファベット

13 書体、内蔵されています。

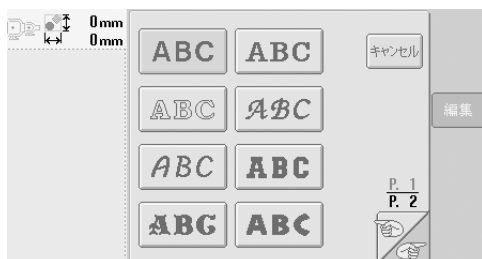
1 AAA... を押します。



▶ 書体選択画面が表示されます。

2 書体を選びます。

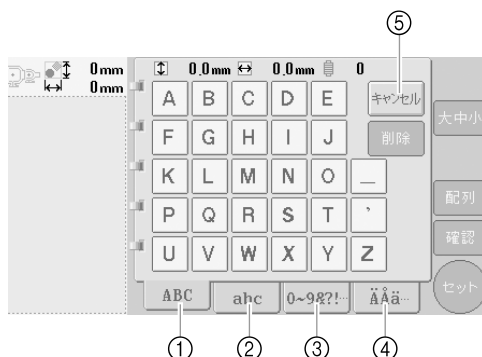
選みたい書体キーを押します。



● 次のページを見るときは  または  を押します。

▶ 文字入力画面が表示されます。

3 選みたい文字キーが表示されていないときは、選みたい文字のタブを押します。



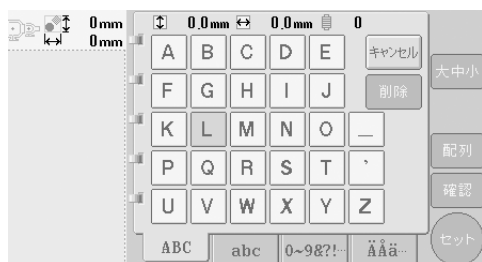
- ① 大文字
- ② 小文字
- ③ 数字・記号
- ④ 欧州特殊文字
- ⑤ 書体を選び直すときに押します。

▶ タブキーに示されている文字の文字入力画面が表示されます。

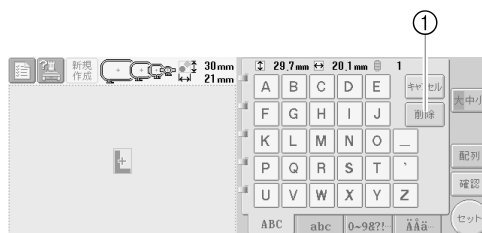
● 書体を選び直したいときは、 を押します。書体選択画面に戻ります。

4 文字を選びます。

選みたい文字キーを押します。



▶ 模様表示エリアに、文字が入力されます。



- ① まちがえて文字を入力したときや文字を入力し直したいときは、 を押して文字を取り消してから入力し直します。

5 1文字入力したところで、必要に応じて、文字の大きさを変更します。



① 押すと、大きさを変更できます。

■ 大きさを変更する

1文字目を選んでから **大中小** を押し、希望の大きさにします。

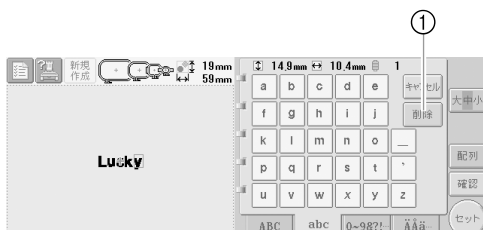
- 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大きさになります。
- 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。(編集画面で大きさを変更することはできます。)

お願い

- **ABCDE** および **ABCDE** の小さいフォントは、大きさを変更することができません。

6 複数の文字を入力したい場合は、手順③～④を繰り返して入力します。

▶ 模様表示エリアに、文字が入力されます。



- ① まちがえて文字を入力したときや文字を入力し直したいときは、**削除** を押して文字を取り消してから入力し直します。
削除 を押すと、文字列の最後の文字から1文字ずつ取り消されます。

- 文字が小さくて画面表示が見にくいときは、**確認** を押すと文字の確認ができます。



- ① 押すと、文字チェック画面が表示されます。



確認ができれば、**閉じる** を押して文字入力画面に戻ります。

7 必要に応じて、配列を変更します。

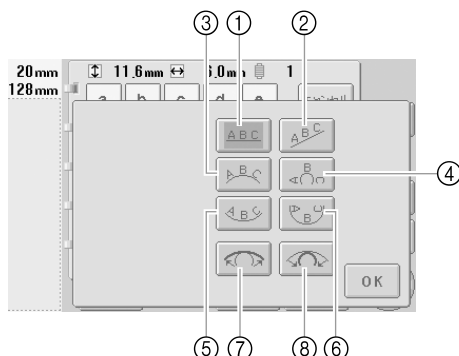


- ① 押すと、配列を変更できます。

■ 配列を変更する

配列 を押すと、次の画面が表示されます。希望の配列のキーを押します。

配列が決まったら、**OK** を押します。文字入力画面に戻ります。



- ① 直線に配列します。
 - ② 斜線に配列します。
 - ③ ゆるい曲線の外側に配列します。
 - ④ 急な曲線の外側に配列します。
 - ⑤ ゆるい曲線の内側に配列します。
 - ⑥ 急な曲線の内側に配列します。
 - ⑦ 曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを弱く（ゆるく）できます。
 - ⑧ 曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを強く（急に）できます。
- この画面で配列を変更すると、より多くの文字を入力することができます。

8 入力し終わったら、**セット** を押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

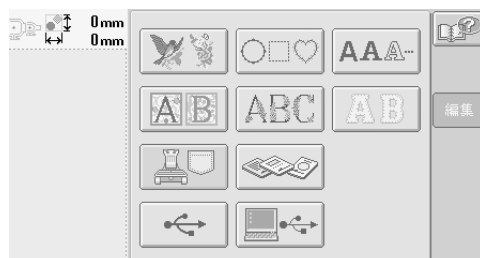
お知らせ

- 文字の色は黒に設定されています。色を変えたいときは、P.130「1文字ずつ色を変える」、P.131「模様の色を変える」を参照してください。

ミシンに記憶した刺しゅう模様

ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出します。記憶のしかたは、P.140「刺しゅう模様を記憶する」を参照してください。

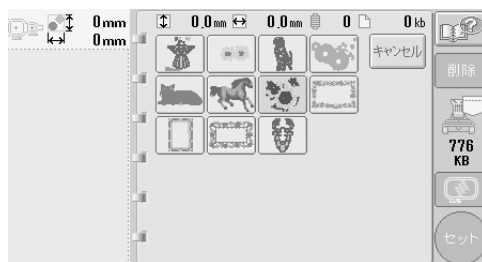
1 を押します。



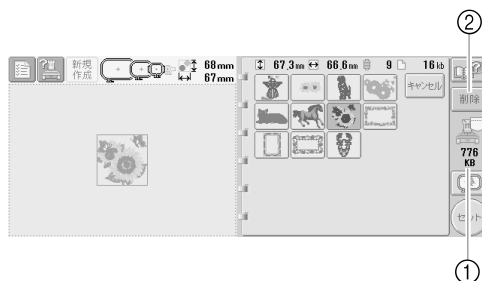
▶ 模様一覧が表示されます。

2 模様を選びます。

選みたい模様キーを押します。



▶ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- ① ミシンの空き容量を示します。
- ② 押すと、選んだ模様を削除します。

- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選みたい模様キーを押し直します。

3 を押します。

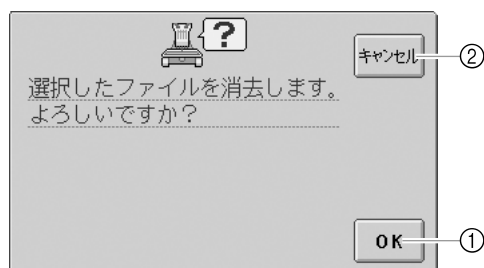
これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

■ 刺しゅうデータを削除するときは

ミシンに記憶した刺しゅうデータを整理するために不要データを削除することができます。

P.140の手順②で、削除したい模様を模様表示エリアに表示させてから、 を押すと、次の画面が表示されます。

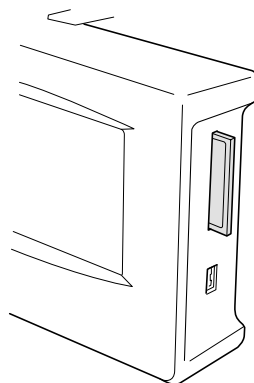


- ① データを削除して、模様は何も選ばれていない状態に戻ります。
- ② データの削除をキャンセルして、 を押す前の状態に戻ります。

刺しゅうカード (別売)

1 刺しゅうカードをミシンにセットします。

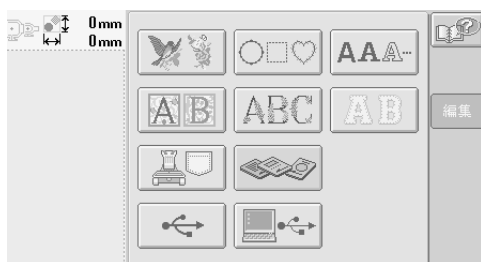
刺しゅうカードの矢印を手前にして、操作パネル右側にある刺しゅうカード差し込み口にまっすぐいっぱいまで入れます。



お願い

- 刺しゅうカードは、必ず  または刺しゅうカードの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。
- 刺しゅうカードを矢印の方向以外の向きに入れたり、無理やり入れたりしないでください。また、カード以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードを使用してください。
- 外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。
- 使用可能な刺しゅうカードは、P.6「別売オプション」を参照してください。

2 を押します。

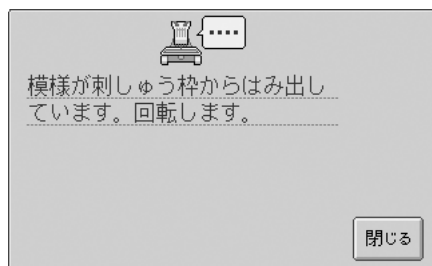


▶ 刺しゅうカード模様一覧が表示されます。

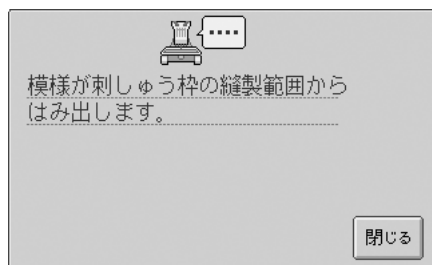
3 模様の選び方は、P.106～115と同じです。

■ ヨコ 300mm × タテ 200mm より大きい模様の場合

ヨコ 300mm × タテ 200mm より大きい模様を読み込んだ場合は、次のメッセージが表示されます。



閉じる を押すと、90 度回転して読み込みます。回転してもヨコ 300mm × タテ 200mm より大きい場合は、次のメッセージが表示されます。



閉じる を押して、模様一覧画面に戻ります。

お知らせ

- パソコン、USBメディアからヨコ300mm×タテ200mmより大きい模様を選んだ場合も、同様の手順で操作してください。

パソコン (USB)

付属のUSBケーブルを使って、お手持ちのパソコンとミシンを接続し、パソコンに保存されている刺しゅう模様をミシンに転送して一時的に呼び出し、扱うことができます。



お願い

接続するパソコンが、以下の動作環境を満たしていることを確認してください。

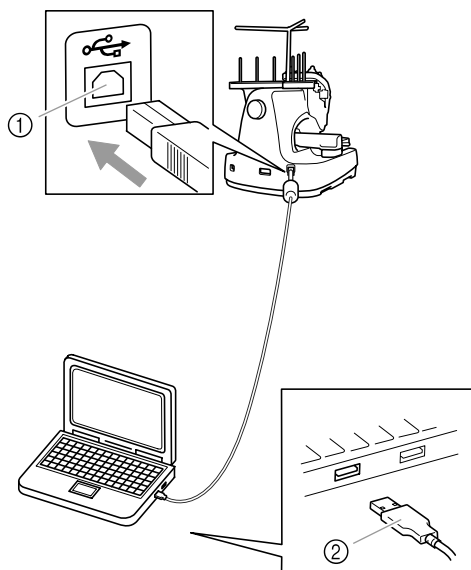
- 対応機種：USBポート標準装備のIBM-PCまたはその互換機

- 対応OS：Microsoft® Windows® Me/2000/XP

※ Windows® 98をお使いの方は、ドライバが必要です。ドライバは、ブラザー工業のホームページ (<http://www.brother.co.jp>)よりダウンロードしてください。

■ 接続のしかた

- 1 付属のUSBケーブルを、パソコンのUSBコネクタおよびミシンのUSBコネクタ (Bタイプ) に差し込みます。



① USBコネクタ (Bタイプ)

② USBケーブル

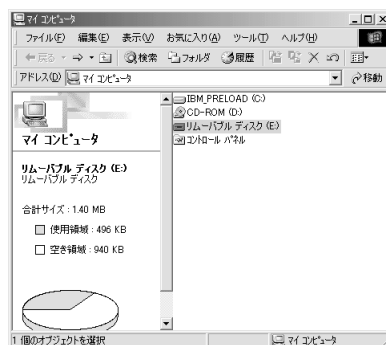
- パソコン・ミシンへのUSBコネクタの差し込みは、パソコン・ミシンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



お願い

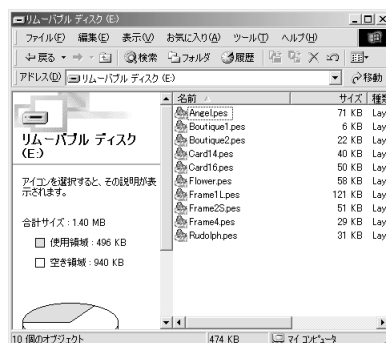
- 必ず付属のUSBケーブルを使用してください。
- USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
- パソコン (またはUSBハブ) のUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- USBハブに接続する場合、ご利用の環境によっては、USBハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

- 2 パソコンの「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」が表示されたら、接続は完了です。



■ 呼び出し方

- 1 「リムーバブルディスク」に、ミシンで呼び出したい模様データをコピーします。



- ▶ 「リムーバブルディスク」に入れた模様データが、ミシンへ書き込まれます。

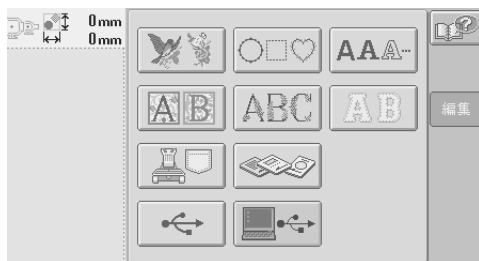


お願い

- 書き込みの最中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- 「リムーバブルディスク」内にフォルダを作らないでください。フォルダは表示できません。フォルダ内の模様データは呼び出せません。
- 縫製中は「リムーバブルディスク」にデータを書き込んだり、「リムーバブルディスク」のデータを削除したりしないでください。
- 模様データのファイル名には、全角文字を使用しないでください。ミシンが模様データを正しく認識できないおそれがあります。

2

 を押します。



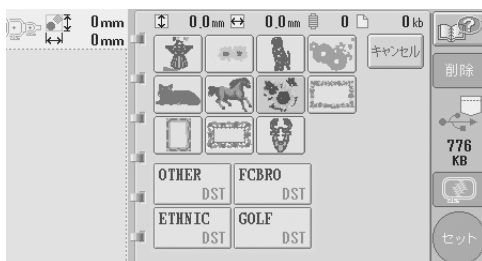
▶ 模様一覧が表示されます。

3

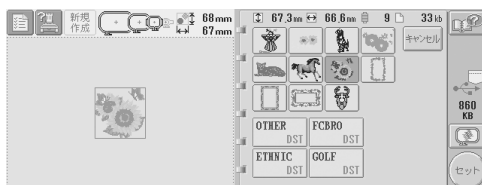
模様を選びます。

選ばれる模様キーを押します。

- 模様を呼び出さないときは、 を押します。



▶ 模様表示エリアに、模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選ばれる模様キーを押し直します。

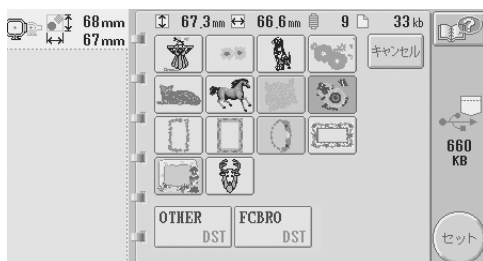


お知らせ

- 大型分割模様についての詳細は、刺しゅう PRO の取扱説明書を参照してください。

- パソコンから模様を追加したいときは、手順 ① を繰り返します。

▶ 書き込み中の画面が表示され、書き込みが終了すると、その模様キーが表示されます。



4

 を押します。

これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

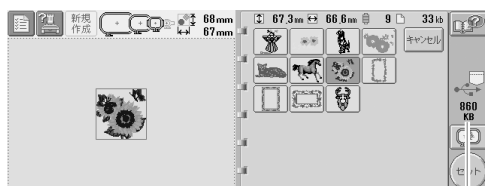


お願い

- パソコンから呼び出した模様は、ミシンに一時的に書き込まれているだけで、電源を切るとミシンから削除されます。削除したくない場合は、ミシンに記憶してください。(P.140「刺しゅう模様を記憶する」参照)

■ 呼び出したい模様を呼び出せないときは

パソコンからの模様データの呼び出しは、パソコンから直接データを引っ張るのではなく、模様データをマシンに一時的に書き込み、その書き込まれた模様データを呼び出しています。マシンへの書き込みできるデータ量には限度があり、そのデータ量を超えると模様データは呼び出すことはできません。



①

- ① マシンのUSBエリアの空き容量を示します。その範囲の容量の模様データを追加して呼び出す（一時的に書き込む）ことができます。

空き容量より大きい容量の模様を呼び出したいときは、現在書き込んでいる模様を削除してから呼び出したい模様をフォルダに入れます。

1 パソコンの「リムーバブルディスク」中の不要な模様データを削除します。

模様データを選んでゴミ箱に入れるか、右クリックをして削除を選びます。



2 「リムーバブルディスク」に呼び出したい模様をコピーします。

- ▶ マシンへの書き込みが終了すると、マシンの画面にその模様キーが表示されます。

3 目的の模様を書き込めない場合は、手順①～②を繰り返します。

！ 注意

- USB ケーブルを外すときは：
USB ケーブルを外す前に、Windows® Me/2000の場合はタスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンを、Windows® XPの場合はタスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてください。リムーバブルディスクが安全に取り消すことができる状態になったら、USB ケーブルをパソコン・マシンから抜いてください。



また、Windows 98SEの場合は、アクセスランプが点滅していないことを確認してから、USBケーブルをパソコン・マシンから抜いてください。

！ お願い

- 必ず上記の手順を踏んでから、USB ケーブルをパソコン・マシンから抜いてください。パソコンが誤動作し、データが正しく書き込まれなかったり、データやマシンのデータ書き込みエリアが破壊されたりする恐れがあります。

USB メディア（市販品）

USB メディアに記憶した刺しゅう模様を呼び出します。記憶のしかたは、P.140「刺しゅう模様を記憶する」を参照してください。

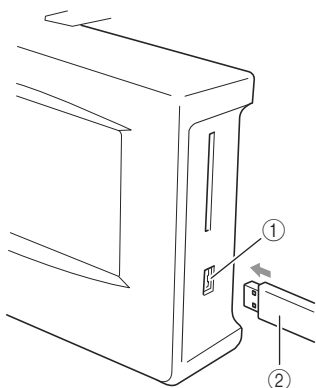


お願い

- USB メディアと呼び出し／書き込み装置は、電機店またはコンピュータ小売店で購入できます。
- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能な USB メディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ（<http://www.brother.co.jp>）でご確認ください。

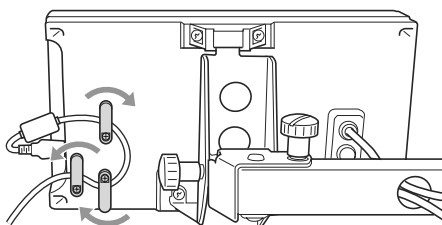
1 USBメディアをミシンのUSBコネクタ（A タイプ）に差し込みます。

使用するUSBメディアの種類によって、操作パネル右側のUSBコネクタ（Aタイプ）に、USBメディアを直接差し込むかUSBメディアのケーブルを接続してください。



- ① USB コネクタ（A タイプ）
- ② USB メディア

USBメディアのケーブルをUSBコネクタ（Aタイプ）に接続する場合は、必ずケーブルをパネル背面の3つのフックにかけて固定してください。ケーブルを固定しないと、刺しゅう枠が動いたときにケーブルに当たり、模様くずれの原因となります。



お願い

- USB メディアは、必ず  または USB メディアの交換を指示するメッセージが画面に表示されている状態、または電源を切った状態で、抜き差ししてください。
- USB メディア以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。



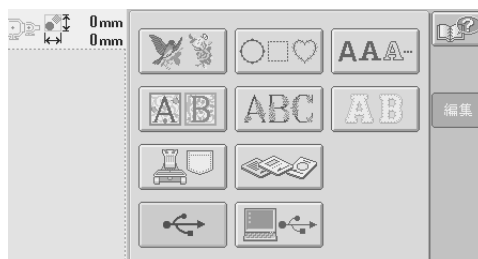
お願い

- フォルダ名、および模様データのファイル名には、全角文字を使用しないでください。ミシンがフォルダ、または模様データを正しく認識できないおそれがあります。

2



を押します。



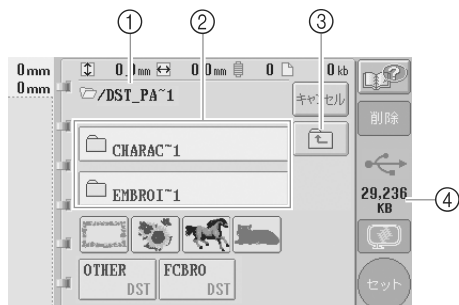
▶ 最上位階層内のフォルダ、模様一覧が表示されます。

- 通常、模様一覧は数秒で表示されますが、模様数が多いと多少時間がかかる場合があります。読み込みの最中は、模様が表示されるまでUSBメディアを抜かないでお待ちください。
- 一旦USBメディアからの呼び出しを終了して、USBメディアを抜かずに次に同じUSBメディアから呼び出すときは、前回選択した模様の入っているフォルダ内の模様一覧が表示されます。

3 下位フォルダに模様がある場合は、フォルダを選びます。



▶ 選んだフォルダ内のフォルダ、模様の順で一覧が表示されます。

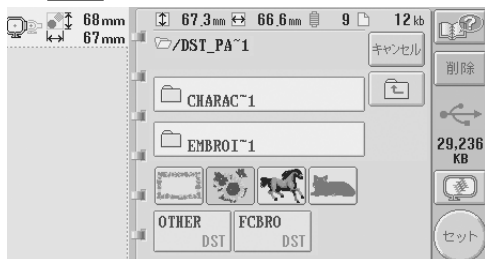


- ① 現在のフォルダ名を示します。
- ② 現在のフォルダ内にあるフォルダを示します。
フォルダ名が9文字以上の場合、始めの6文字の後が「～」と数字に変わります。
- ③ 上位フォルダに戻るときに押します。
- ④ USBメディアの空き容量を示します。

4 模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。

- **キャンセル**を押すと、元の画面に戻ります。



▶ 模様表示エリアに、模様が表示されます。



① 押すと、選んだ模様を削除します。

- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

5 **セット**を押します。

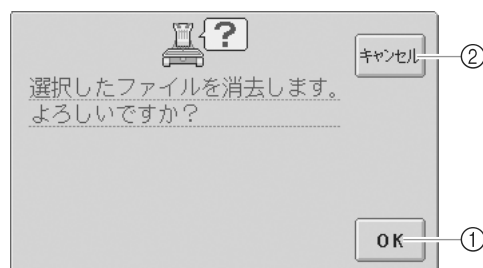
これで模様の選択が確定されます。

▶ 編集画面が表示されます。

■ 模様を削除するときは

USBメディアの刺しゅうデータを整理するために不要データを削除することができます。

手順④で、削除したい模様を模様表示エリアに表示させてから、**削除**を押すと、次の画面が表示されます。



- ① データを削除して、模様が何も選ばれていない状態に戻ります。
- ② データの削除をキャンセルして、**削除**を押す前の状態に戻ります。

❗ お願い

- USBメディアの模様データを削除するときは、ミシンから削除してください。ミシンから削除しないと完全に削除されません。

刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）

「編集画面」では個々の模様の編集を行います。編集結果は模様表示エリアで確認できます。

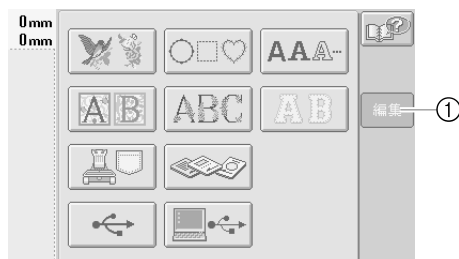
模様を組み合わせる

ワンポイントと枠模様、内蔵の文字と別売の刺しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

1 追加を押します。



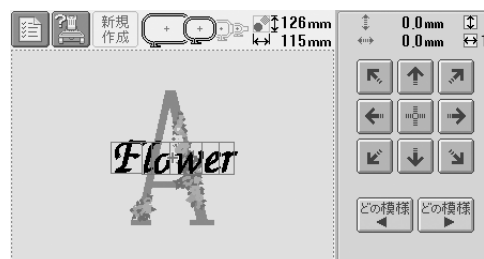
▶ 模様選択画面に戻ります。



① 組み合わせをやめるときに押します。編集画面に移行します。

2 模様を選びます。

P.106 ~ 122の手順で模様を選び、追加します。



● 模様を選ばと、常に模様表示エリアの中心に配置されます。

3 組み合わせたい模様分、手順①～②を繰り返して、模様を選びます。

お願い

- 模様の組み合わせは100個までです。それ以上組み合わせることはできません。また、ミシンのメモリ容量を超えた場合や、使用色制限数(500色)を超えた場合は、その時点で組み合わせができなくなります。

お知らせ

- 個々の模様の位置の調整や編集は、編集画面でできます。模様を選ぶごとに表示される編集画面でも、組み合わせをしたい全ての模様を選び終わってから表示される編集画面でも、同じようにできます。

編集する模様を選ぶ

複数の模様を選んである場合は、編集をする前にどの模様を編集するか、模様を選びます。

- 1 どの模様 ← または → どの模様 を押します。

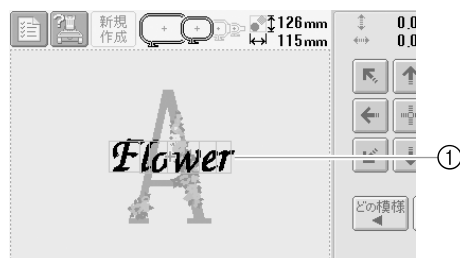
赤い枠で囲まれている模様が編集対象となる模様です。

編集したい模様が赤枠で囲まれるまで、

- どの模様 ← または → どの模様 を押します。



- ▶ 模様を選んだ順または逆順で、模様が選ばれていきます。



- ① 編集対象を示す赤い枠

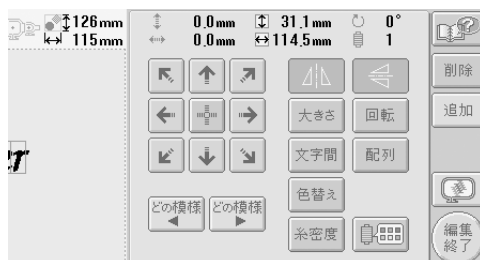
お知らせ

- 編集画面では、複数の模様を選んである場合は、① 編集する対象となる模様を選んで、② その模様を編集する、が編集の基本手順になります。

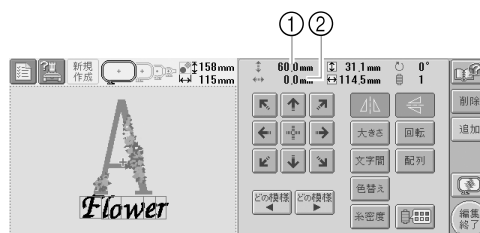
位置を移動する

刺しゅう枠のどの位置に縫製するか決めます。模様を組み合わせている場合は、個々の模様を移動してレイアウトします。

- 1 移動させたい方向の矢印キーを押します。



- ▶ 矢印の方向に模様が移動します。



- ① 移動したときの縦の移動距離を示します。
② 移動したときの横の移動距離を示します。

- 移動する前の位置（刺しゅう枠の中心）に戻りたいときは、 を押します。



お知らせ

- 各編集キーを押して表示される画面の矢印キーでも、移動できます。
- 縫製設定画面の矢印キーは、枠を移動して縫製位置を決めるために使います。

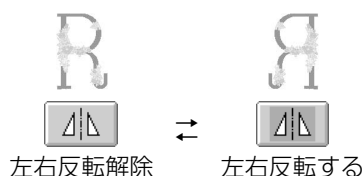
左右反転する

- 1  を押して、 にします。



▶ 模様が左右反転します。

● キーを1回押すごとに、切り替わります。



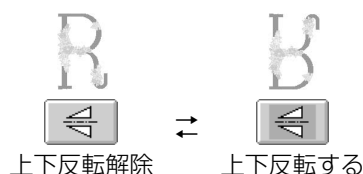
上下反転する

- 1  を押して、 にします。



▶ 模様が上下反転します。

● キーを1回押すごとに、切り替わります。



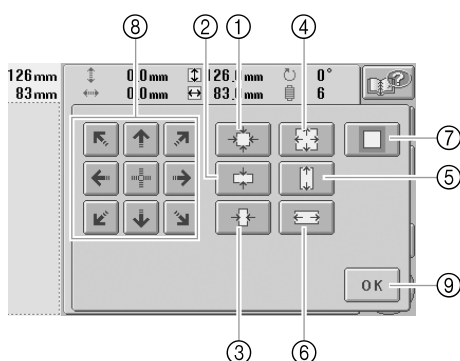
大きさを変える

縮小／拡大率90～120%の間で、大きさを変更できます。

- 1  を押します。



▶ 次の画面が表示されます。



例／元の大きさ

① 縦横の比を変えずに縮小

② 縦方向のみ縮小

③ 横方向のみ縮小

④ 縦横の比を変えずに拡大

⑤ 縦方向のみ拡大

⑥ 横方向のみ拡大

⑦ 押すと、元の大きさに戻ります。

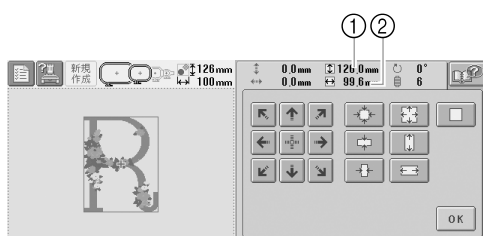
⑧ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。

⑨ 押すと、この画面を閉じます。



2 各キーを押して、希望の大きさにします。

キーを押すごとに、模様が少しずつ拡大または縮小します。



キーを押すごとに、変更後の大きさを示します。

① 縦の長さ

② 横の長さ

- 文字や模様によって、拡大できる大きさが異なります。
- 文字や模様によっては90度回転させると、さらに拡大できます。
- 模様を回転した場合は、縦・横の方向が逆になることがありますので注意してください。
- 元の大きさに戻したい場合は、 を押して  にします。

3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P.124を参照してください。

4 変更し終わったら、 を押します。

▶ 編集画面に戻ります。

！ 注意



- 模様の大きさを変えたときは、使用できる枠の表示を確認して使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

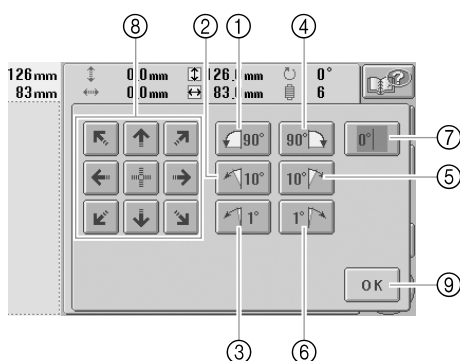
回転する

1～359度、左右両方向に回転することができます。

1 を押します。



▶ 次の画面が表示されます。



例／0度

① 左に90度ずつ回転

② 左に10度ずつ回転

③ 左に1度ずつ回転

④ 右に90度ずつ回転

⑤ 右に10度ずつ回転

⑥ 右に1度ずつ回転

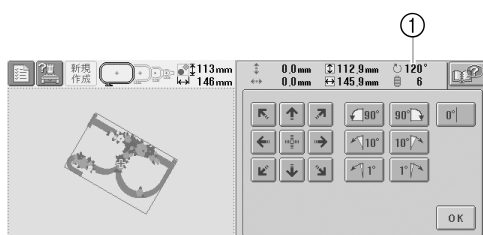
⑦ 押すと、0度に戻ります。

⑧ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。

⑨ 押すと、この画面を閉じます。



- 2 各キーを押して、希望の角度にします。
キーを押すごとに、模様が回転します。



① キーを押すごとに、変更後の回転角度を示します。

- 元の角度（0 度）に戻したい場合は、
0° を押して 0° にします。

- 3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P.124を参照してください。

- 4 変更し終わったら、OK を押します。

▶ 編集画面に戻ります。

！ 注意

- 模様の角度を変えたときは、
使用できる枠の表示を確認して
使用してください。表示さ
れる枠以外の刺しゅう枠を使
用すると枠が押えに当たり、
ケガの原因となります。

お知らせ

- 縫製設定画面の 回転 を使うと、組み合わせた
模様全体の回転ができます。（P.133「全て回転
する」参照）
- 大きな模様や、縫製範囲の端にレイアウトされて
いる模様などで、回転すると縫製範囲からはみ出
る場合は、キーを押しても希望の角度に回転でき
ないことがあります。

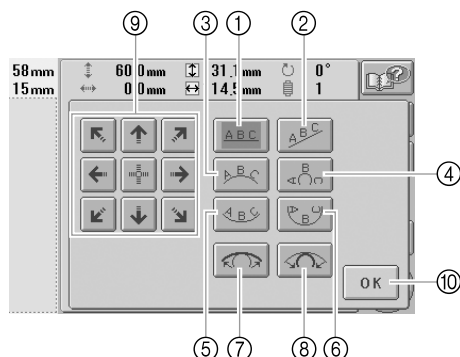
文字の配列を変更する

文字を水平、斜め、円弧に配列することができます。

- 1 配列 を押します。



▶ 次の画面が表示されます。



- ① 直線に配列します。
- ② 斜線に配列します。
- ③ ゆるい円弧の外側に配列します。
- ④ 急な円弧の外側に配列します。
- ⑤ ゆるい円弧の内側に配列します。
- ⑥ 急な円弧の内側に配列します。
- ⑦ 曲線の配列を選んだ後に押すと、押すご
とに曲線の度合い弱く（ゆるく）なります。
- ⑧ 曲線の配列を選んだ後に押すと、押すご
とに曲線の度合い強く（急に）なります。
- ⑨ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
- ⑩ 押すと、この画面を閉じます。

- 2 希望の配列キーを押します。

- 3 曲線の配列を選んだ場合は、曲線の度合
いを調整できます。必要に応じて、

を押し調整します。

4 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P.124 を参照してください。

5 変更し終わったら、**OK** を押します。

▶ 編集画面に戻ります。



お知らせ

- P.127 の文字を選ぶときに設定した配列は、ここで変更することができます。

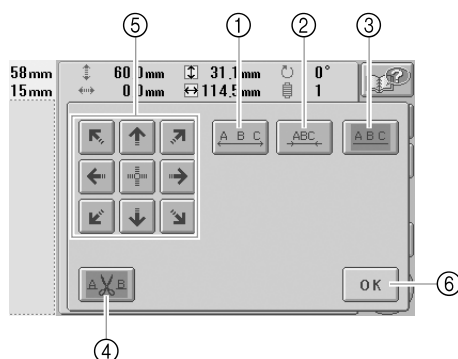
文字間隔を変更する

文字間隔を広げたり、狭くしたりできます。

1 **文字間** を押します。



▶ 次の画面が表示されます。



- ① 文字間隔を広くします。
- ② 文字間隔をせまくします。
- ③ 標準の文字間隔（元の文字間隔）を選択します。
- ④ 文字間糸切り設定をします。
- ⑤ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
- ⑥ 押すと、この画面を閉じます。

2 各キーを押して、希望の文字間隔にします。

キーを押すごとに、文字間隔が少しずつ広くまたはせまくなります。

- 元の文字間隔に戻りたい場合は、**A B C** を押して **A B C** にします。

■ 文字間で糸を切る

文字間糸切りを設定すると、文字間の渡り糸がなくなり、縫製後の渡り糸の処理を省くことができます。ただし、文字ごとに糸切りを行うので縫製時間が長くなります。

3 必要に応じて、文字間で糸を切るように設定します。

 を押して  にします。

● キーを1回押すごとに、切り替わります。

 ⇄ 
糸を切らない 糸を切る

4 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P.124を参照してください。

5 変更し終わったら、 を押します。

▶ 編集画面に戻ります。

糸密度を変える(文字・枠模様の一部のみ)

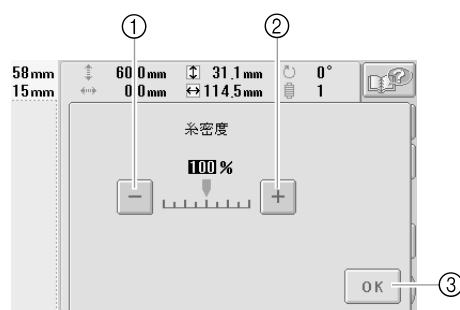
文字・枠模様の一部のみ糸密度を変えることができます。

80～120%の間で5%ごとに設定できます。

1 を押します。

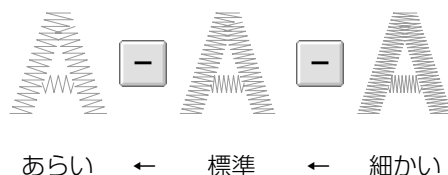


▶ 次の画面が表示されます。

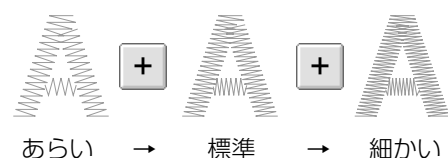


- ① 糸密度をあらくします。
- ② 糸密度を細かくします。
- ③ 押すと、この画面を閉じます。

■ 糸密度をあらくする



■ 糸密度を細かくする



2 各キーを押して、希望の糸密度にします。

キーを押すごとに、少しずつあらかまたは細くなります。

- 元の糸密度（標準）に戻したい場合は、100%にします。

3 変更し終わったら、**OK** を押します。

▶ 編集画面に戻ります。

1 文字ずつ色を変える

P.113のアルファベットで選択した文字は、黒色に設定されています。文字の色を変えたいときは、配色キーで変更しますが、1文字ずつ色を変えたいときは、色替えキーをONにしてから1文字ずつ色を設定します。

1 **色替え** を押して **色替え** にします。



- キーを1回押すごとに、切り替わります。




 色替え OFF 色替え ON

- 色の変更は、P.131「模様の色を変える」を参照してください。

模様の色を変える

模様の色を変えて、画面で確認することができます。色を変えると、同じ模様でも雰囲気が変わり楽しむことができます。

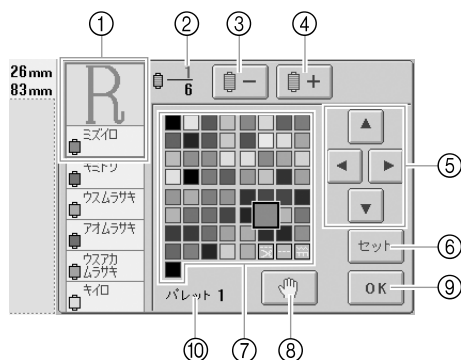
お手持ちの糸色を色パレットに登録し、そのパレットを使って模様の色を変更すると、お手持ちの糸色のみで糸こまが割り当てられ、また、画面ではより実際の仕上がりに近い色で表示されます。

この機能のみ、編集の対象になっている模様だけでなくすべての模様の色を変更することができます。

1 [色替] を押します。

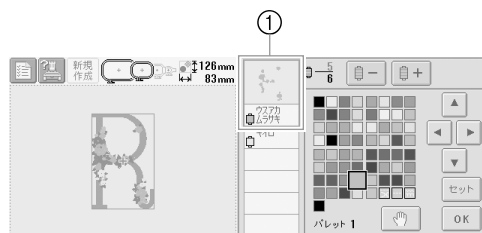


▶ 糸色編集画面が表示されます。



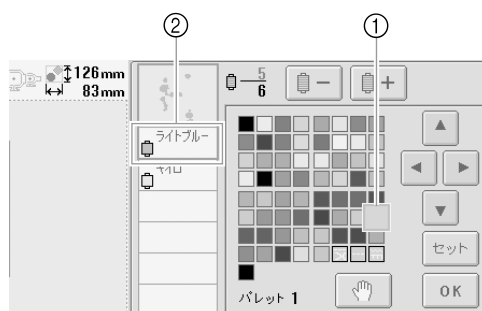
- ① 色替表示の1番上の色の部分が色を変える対象となります。
- ② 色替回数を示します。上段は色替表示の1番上の色の部分の順番、下段が総色替数を示します。
- ③ 色替表示を戻します。
- ④ 色替表示を進めます。
- ⑤ 色パレットの色を選ぶときに使います。
- ⑥ 色の変更を確定します。
- ⑦ 色パレット
この中から色を選びます。
- ⑧ ポーズ設定をします。(P.96「縫製前にポーズ位置を指定する」参照)
- ⑨ 押すと、この画面を閉じます。
- ⑩ パレット名

2 [色替] - [色替] を押して、色替表示の1番上に変えたい色を表示させます。

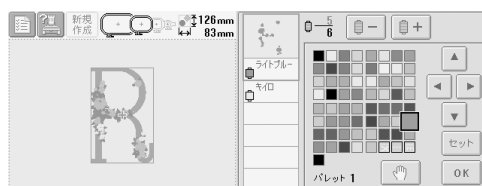


- ① 1番上に表示される部分の糸色が変更されます。

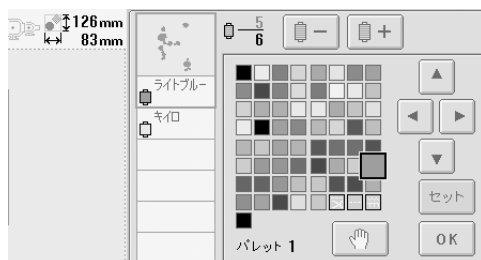
3 [上] [左] [右] [下] を押して、色パレットの中から新しい色を選びます。



- ① 大きく表示されている□が選ばれている色です。
 - ② 選んだ色の糸名が表示されます。
- ▶ 模様表示エリアの模様の変更した部分の色が変わります。



4 **セット** を押します。



▶ 色の変更が確定されます。

- 新しい糸色を設定するときは **セット** を押してください。 **セット** を押さないと糸色は変わりません。
- まちがえて糸色を設定してしまったり、色を選び直したい場合は、もう1度色を選んでから **セット** を押してください。

5 手順 2 ～ 4 を繰り返して、その他の変更したい部分の色を変えます。

6 変更し終わったら、**OK** を押します。

▶ 編集画面に戻ります。

お知らせ

-  を押すと、ポーズ設定ができます。詳しくは、P.96「縫製前にポーズ位置を指定する」を参照してください。
- 色パレットは、お手持ちの糸色などを自由に組み合わせで自分で作るユーザーパレットに変更することができます。(P.151「ユーザーパレットを設定する」参照)

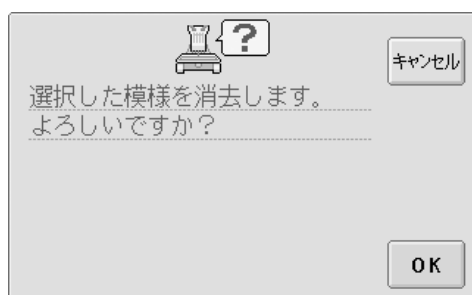
模様を削除する

1 **削除** を押します。



▶ 次の画面が表示されます。

2 **OK** を押します。



▶ 模様が削除されます。

- 削除をやめる場合は、**キャンセル** を押します。

刺しゅう模様全体を編集する（縫製設定画面）

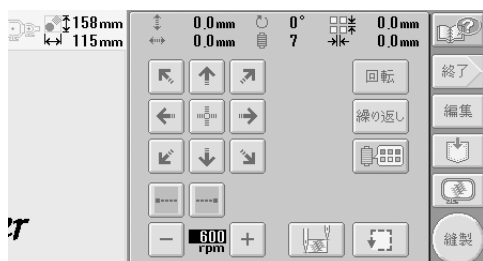
縫製設定画面では、編集画面で組み合わせをしなかった場合は1つの模様に対して、組み合わせをした場合は模様全体を1つの模様として編集します。

また矢印キーは、編集画面では模様を移動するために使いましたが、縫製設定画面では枠を移動するために使います。キーを押すと、枠が動きますので注意してください。

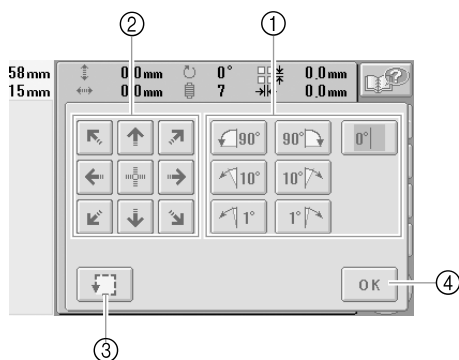
全て回転する

模様全体を回転します。

1 回転を押します。



▶ 次の画面が表示されます。



- ① 回転することができます。
- ② 枠を移動することができます。
- ③ 縫製範囲の確認ができます。
- ④ 押すと、この画面を閉じます。

2 各キーを押して、希望の角度にします。

操作のしかたは、P.126を参照してください。

3 必要に応じて、矢印キーを押して枠の位置を調整します。

操作のしかたは、P.76を参照してください。

4 必要に応じて、を押して縫製範囲の確認をします。

操作のしかたは、P.38を参照してください。

5 変更し終わったら、OKを押します。

▶ 縫製設定画面に戻ります。

お知らせ

- 全て回転を設定してから  を押して編集画面に戻ると、全て回転を設定する前の状態に戻りますが、その設定は解除されていません。再度縫製設定画面に進むと、回転された状態になります。ただし、編集画面でサイズを大きくしすぎて回転すると縫製範囲からはみ出てしまうなど、エラー状態になってしまう場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

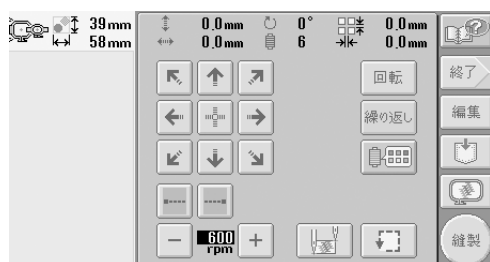


- ① 編集画面に戻って、模様を編集し直す場合に押します。

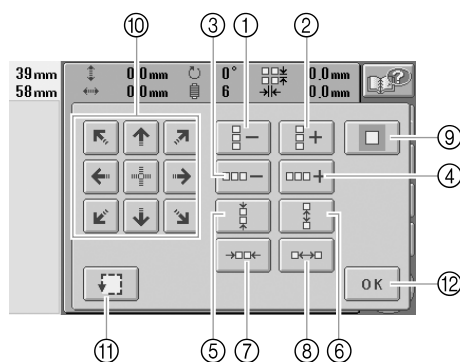
繰り返し模様をつくる

指定した回数分繰り返して、模様全体をコピーします。繰り返しのできる数は縦方向、横方向とも縫製エリア内で最大 20 回までです。

1 繰り返しを押します。

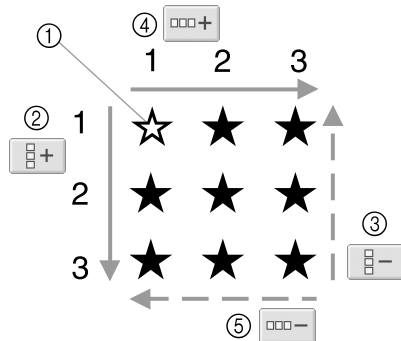


▶ 次の画面が表示されます。



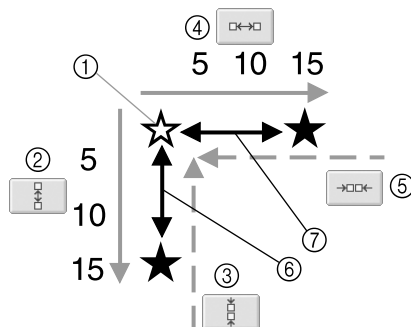
- ① 行方向に 1 回ずつ減らします。
- ② 行方向に 1 回ずつ増やします。
- ③ 列方向に 1 回ずつ減らします。
- ④ 列方向に 1 回ずつ増やします。
- ⑤ 行方向の模様と模様の間隔をつめます。
- ⑥ 行方向の模様と模様の間隔を広げます。
- ⑦ 列方向の模様と模様の間隔をつめます。
- ⑧ 列方向の模様と模様の間隔を広げます。
- 間隔設定は、1 回押すごとに 5mm ずつ加減されます。
- ⑨ 繰り返し設定をリセットします。模様は、繰り返し設定をする前の 1 つの状態に戻ります。
- ⑩ 矢印の方向に枠を移動できます。
- ⑪ 縫製範囲の確認ができます。
- ⑫ 押すと、この画面を閉じます。

2 ④+ ④+ ④- ④- を押して、コピーする回数を決めます。1 回押すごとに、それぞれの方向に 1 回ずつ加減されます。



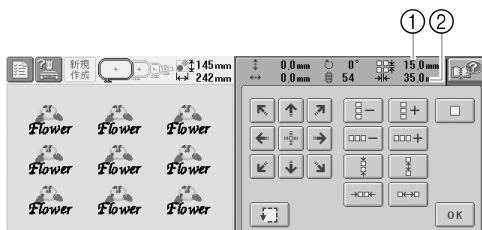
- ① オリジナル模様
- ② 1 行ずつ増えます。
- ③ 1 行ずつ減ります。
- ④ 1 列ずつ増えます。
- ⑤ 1 列ずつ減ります。

3 ④+ ④+ ④- ④- を押して、模様と模様の間隔を決めます。1 回押すごとに、それぞれの方向に 5mm ずつ加減されます。



- ① オリジナル模様
- ② 行間が 5mm ずつ広くなります。
- ③ 行間が 5mm ずつ狭くなります。
- ④ 列間が 5mm ずつ広くなります。
- ⑤ 列間が 5mm ずつ狭くなります。
- ⑥ 行間隔
- ⑦ 列間隔

キーを押すごとに、変更後の大きさを示します。



① 行間隔の長さ

② 列間隔の長さ

● 繰り返しを取り止めて元の状態に戻したい場合は、を押してにします。

4 必要に応じて、矢印キーを押して枠の位置を調整します。

操作のしかたは、P.76 を参照してください。

5 必要に応じて、を押して縫製範囲の確認をします。

操作のしかたは、P.38 を参照してください。

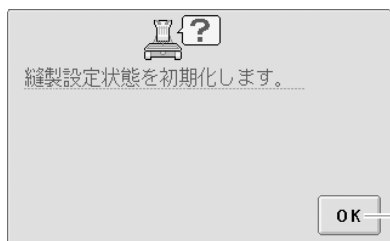
6 繰り返しを設定し終わったら、を押します。

▶ 縫製設定画面に戻ります。



お知らせ

- 繰り返しを設定してから  を押して編集画面に戻ると、繰り返しを設定する前の状態に戻りますが、その設定は解除されていません。再度縫製設定画面に進むと、繰り返しが設定された状態になります。ただし、編集画面でサイズを大きくしすぎて繰り返しの設定をすると縫製範囲からはみ出てしまうなど、エラー状態になってしまう場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

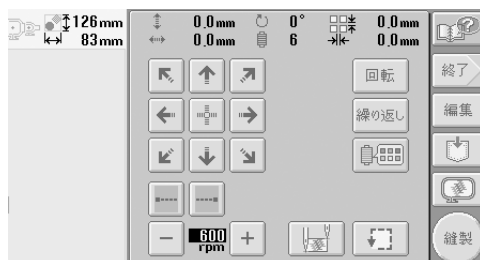


- ① 編集画面に戻って、模様を編集し直す場合に押します。

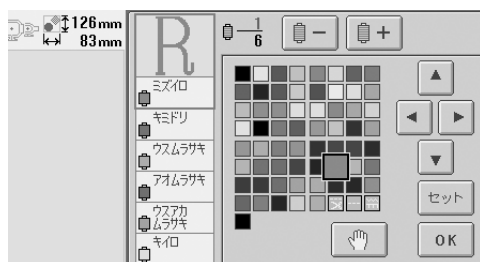
模様の色を変える

模様の色を変えて、画面で確認することができます。機能、操作のしかたは編集画面の配色キーと同じです。

1 を押します。



▶ 糸色編集画面が表示されます。



2 色の変更のしかたは、P.131を参照してください。



お知らせ

- 色の変更を設定してから  を押して編集画面に戻っても、その設定は解除されません。

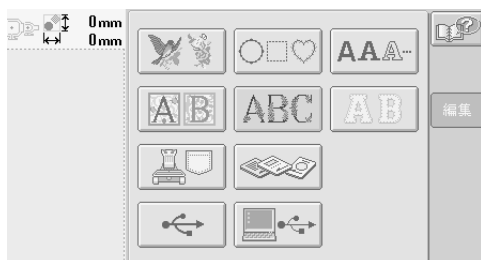
組み合わせの編集

例)

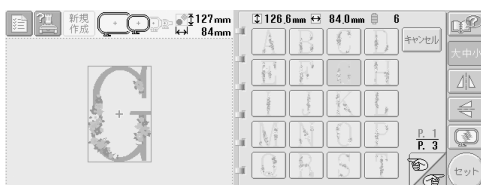


花アルファベット模様に文字を組み合わせせてを編集してみましょう。

1 **ABC** を押します。

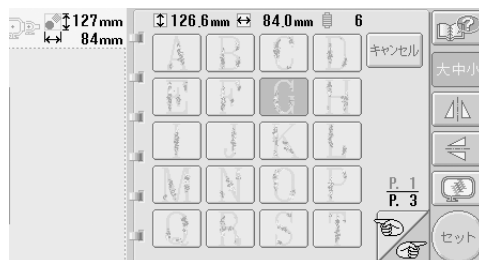


2 **花** を選びます。



▶ 模様は刺しゅう範囲の中心にレイアウトされます。

3 模様を選んだら、**セット** を押します。



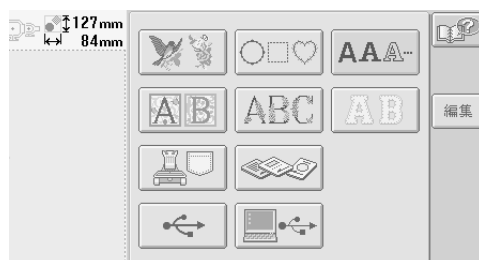
▶ 編集画面が表示されます。

4 **追加** を押します。

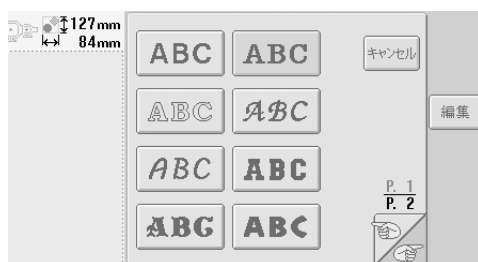


▶ 模様選択画面が表示されます。

5 **AAA...** を押します。

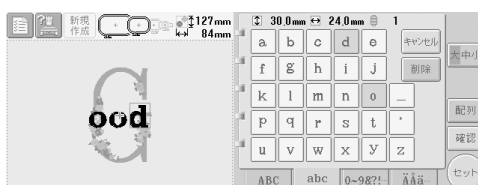


6 「ABC」を押します。



7 「ood」を入力します。

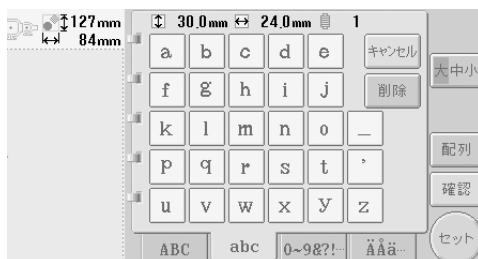
小文字タブキーを押して小文字入力画面を表示させてから、[o]、[o]、[d]を押します。



▶ 選んだ文字は、刺しゅう範囲の中心に表示されます。

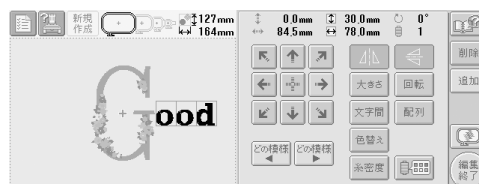
- 大きさを変えたい場合は、[o] を選んでから **大中小** を押して大きさを選択してください。
- 配列を変えたい場合は、**配列** を押して変更してください。

8 文字を選んだら、**セット**を押します。



▶ 編集画面が表示されます。

9 **→**を押して、文字の位置を調節します。

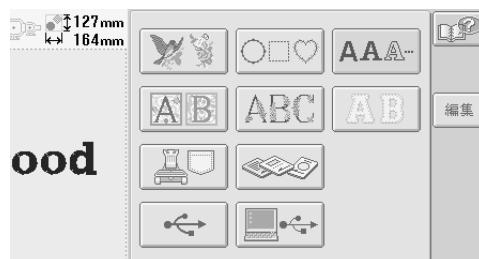


10 **追加**を押します。



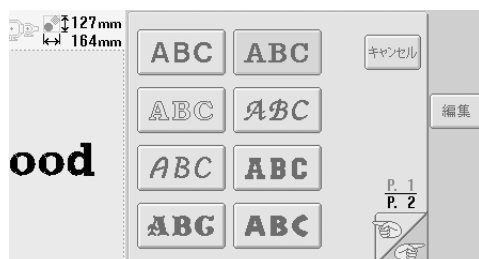
▶ 模様選択画面に戻ります。

11 同様に、**AAA**を押します。

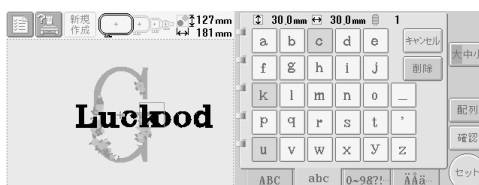


- 12 同じ書体 **ABC** を押してから、「Luck」を入力します。

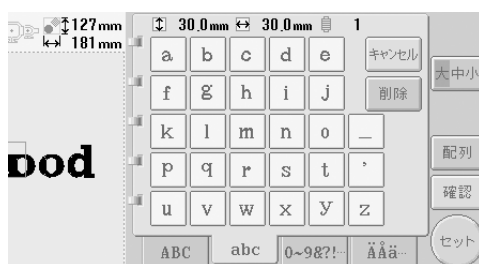
[L] を押した後、小文字タブキーを押して小文字入力画面を表示させてから、[u]、[c]、[k]を押します。



▶ 選んだ文字は、刺しゅう範囲の中心に表示されます。



- 13 文字を選んだら、**セット**を押します。



▶ 編集画面が表示されます。

- 14 **↓** **↘** **→** を押して、バランスよく文字が入るように文字の位置を調節します。



- 15 全体のバランスを見て、編集し直したいときは **どの模様** **どの模様** を押すと、編集できる模様の対象を変えることができます。



例)  のサイズを小さくしたいとき

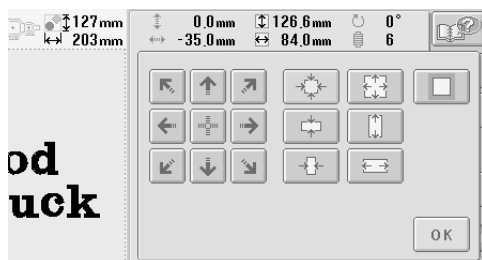
- 16 **どの模様** **どの模様** を押して、赤い枠を  に移します。



- 17 **大きさ** を押します。



- 18  を押して、サイズを小さくします。



- 19 サイズを小さくしたら  を押して、編集画面に戻ります。

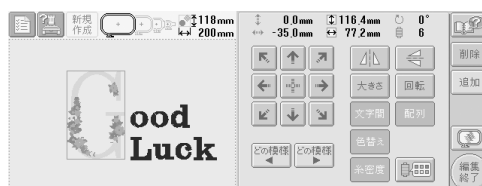


- 続けて他の模様を修正したいときは、再度   を押して修正します。

- 文字や全体が分かりにくいときは  を押し、 を押して確認してください。 を押すと、元の画面に戻ります。



- 20 すべての編集が終わったら、 を押します。



▶ 縫製設定画面が表示されます。



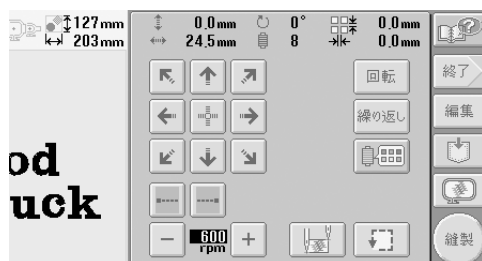
-  を押すと編集画面に戻り、編集をし直すことができます。

刺しゅう模様を記憶する

ミシンに記憶する

編集した模様をミシンに記憶しておくことができます。また、よく使う模様などもミシンに記憶しておく、すぐに見つけることができ便利です。

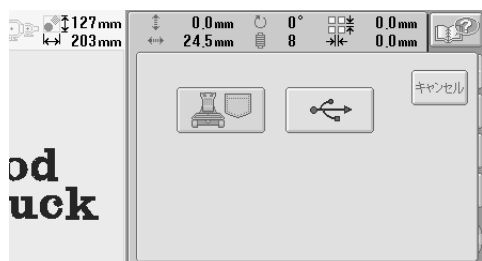
- 1 記憶したい模様を表示した状態で、縫製設定画面で  を押します。



▶ 次の画面が表示されます。

- 2  を押します。

- 記憶をやめる場合は、 を押します。



▶ 記憶されると、自動的に縫製設定画面に戻ります。

- 記憶するのに約 10 秒間かかります。

お願い

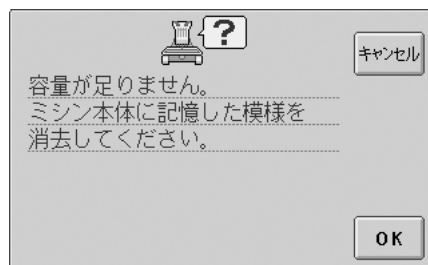
- “記憶中”の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

- 記憶した模様の呼び出しは、P.115「ミシンに記憶した刺しゅう模様」を参照してください。

記憶できないときは

次の画面が表示されたときは、記憶することができません。すでに模様がたくさん記憶されており、記憶したい模様のデータ容量が記憶できる容量を越えています。記憶されている模様を削除すると、記憶することができます。



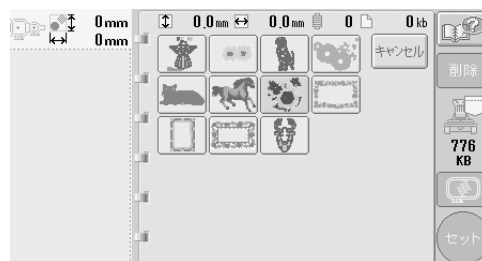
- ここで記憶をやめる場合は、 を押します。

記憶されている模様の削除のしかた

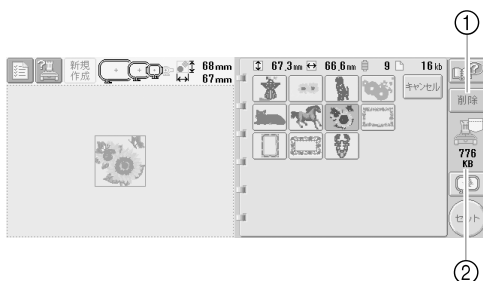
- 1  を押します。

▶ 記憶されている模様の一覧が表示されます。

- 2 削除する模様を選びます。
模様キーを押します。



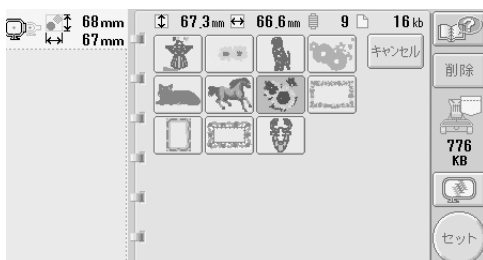
▶ 模様表示エリアに選択した模様が表示されます。



- ① 押すと、選んだ模様を削除します。
- ② ミシンのメモリの空き容量を示します。

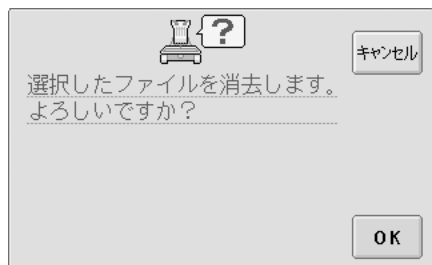
- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

3 削除 を押します。



▶ 次の画面が表示されます。

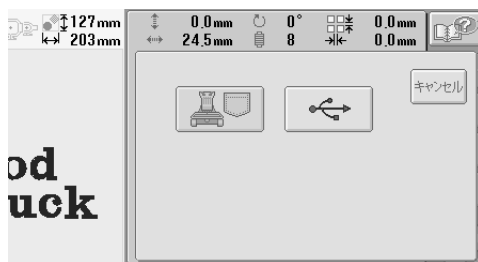
4 削除する場合は、OK を押します。



- 削除をやめる場合は、キャンセル を押します。

▶ 模様が削除され、次の画面が表示されます。

5 再度 を押します。



▶ 記憶されると、自動的に縫製設定画面に戻ります。

6 データ容量が足りないときは、さらに記憶されている模様を削除してください。

- 記憶をするのに約 10 秒間かかります。

お願い

- “記憶中” の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

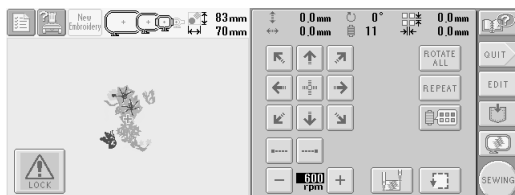
USB メディア（市販品）

刺しゅう模様を USB メディアに記憶します。

お知らせ

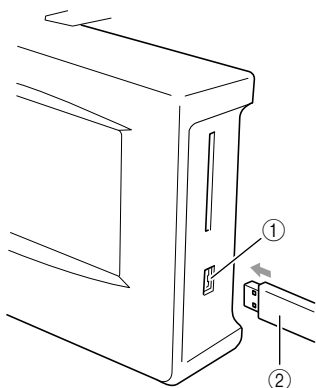
- USB メディアと呼び出し／書き込み装置は、電機店またはコンピュータ小売店で購入できます。
- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能な USB メディアについての詳細は、ブラザー工業のホームページ (<http://www.brother.co.jp>) でご確認ください。

- 1 記憶したい模様を表示した状態で、縫製設定画面で  を押します。



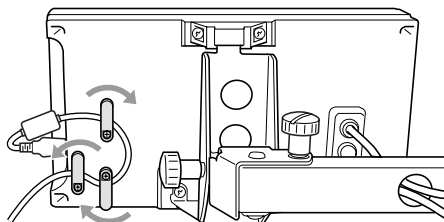
- 2 USB メディアをミシンの USB コネクタ (A タイプ) に差し込みます。

使用する USB メディアの種類によって、操作パネル右側の USB コネクタ (A タイプ) に、USB メディアを直接差し込むか USB メディアのケーブルを接続してください。



- ① USB コネクタ (A タイプ)
- ② USB メディア

USB メディアのケーブルを USB コネクタ (A タイプ) に接続する場合は、必ずケーブルをパネル背面の 3 つのフックにかけて固定してください。ケーブルを固定しないと、刺しゅう枠が動いたときにケーブルに当たり、模様くずれの原因となります。

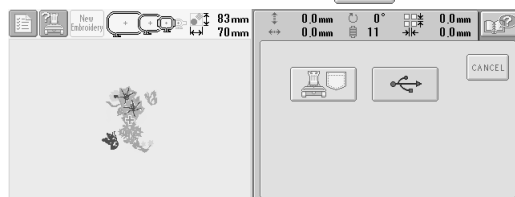


お知らせ

- USB メディア以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3  を押します。

- 記憶をやめる場合は、 を押します。



- ▶ 記憶されると、自動的に縫製設定画面に戻ります。

お願い

- “記憶中” の画面が表示されているときは、絶対に USB メディアを抜かないでください。USB メディアが破損するおそれがあります。また、記憶されている模様データが消えることがあります。

お知らせ

- 記憶した模様の呼び出しは、P.121「USB メディア（市販品）」を参照してください。

6

基本設定とヘルプ機能

P.27で紹介したミシンの設定キー、使い方キー、ヘルプキーの使い方を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面で操作のしかたなどを調べたりします。

設定キーの使い方	144
設定画面の見方 / 144	
ブザー音を設定する / 146	
長さの単位を切り替える / 147	
糸色表示を切り替える / 149	
ユーザーパレットを設定する / 151	
小ピッチのステッチを削除する / 154	
画面の明るさを調整する / 146	
言語を切り替える / 147	
ガイド表示を切り替える / 147	
糸色の詳細を表示する / 150	
渡り糸切り / DST 設定 / 153	
糸残り量を設定する / 154	
ミシンの使い方キーの使い方	155
ヘルプキーの使い方	157

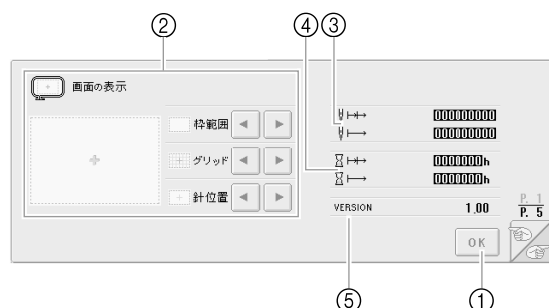
設定キーの使い方

 (設定)キーを押すと、いろいろなミシン本体の基本設定を変えることができます。

設定画面の見方

設定画面は5ページあります。右下の 、 を押して、目的のページを表示します。**OK** (ok キー) は全ページで表示されます。

■ 1 ページ

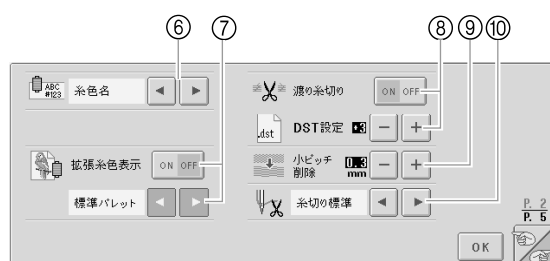


- ① 設定し終わったら押します。設定を確定して、設定キーを押す前の画面に戻ります。
- ② 模様表示エリアのガイド（刺しゅう枠の範囲、グリッド、針位置）表示を設定できます。
- ③  は総針数を、 は前回のメンテナンス後に縫製した針数を示します。
- ④  は総稼動時間を、 は前回のメンテナンス後に稼動した時間を示します。
- ③、④は、定期的なお手入れやメンテナンスを受けられる際の目安として利用してください。
- ⑤ **VERSION**
ミシンにインストールされているプログラムのバージョンを示します。

お願い

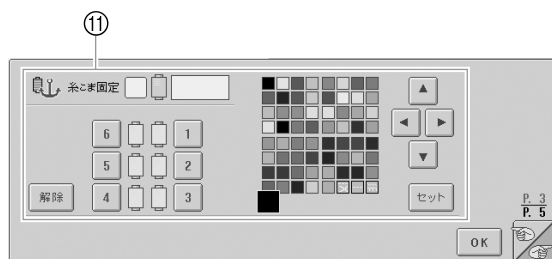
- ご利用可能なアップデートについての詳細は、お買い上げの販売店、またはブラザー工業のホームページ (<http://www.brother.co.jp>) でご確認ください。

■ 2 ページ



- ⑥ **糸色表示**
色替表示と針棒の糸情報の糸色表示を、糸色名、糸番号やぬい時間に変更できます。(P.149 参照)
- ⑦ **拡張糸色表示**
ぬい順表示や針棒の色替表示に表示される糸色表示を、専用色（ミシン内蔵の色パレットの色）で表示するか、他社糸メーカーの糸色を含めた色や刺しゅう PRO ver 5.0 で作ったオリジナル色チャートを使った独自の色情報で表示するか、選ぶことができます。
ONに設定した場合、糸色編集画面の色パレットを次の3つから選びます。(P.150 参照)
標準パレット
ユーザーパレット1
ユーザーパレット2
- ⑧ **渡り糸切り／DST 設定**
渡り糸の糸切りする／しないを設定できます。タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータを使う場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りする／しないを設定できます。(P.153 参照)
- ⑨ **小ピッチ削除**
小ピッチのステッチを削除するときの、ピッチの長さを設定できます。(P.154 参照)
- ⑩ **糸残り量の設定**
糸切り後に針穴に残る（針穴から出ている）上糸の長さを設定できます。(P.154 参照)

■ 3 ページ



⑪ 糸こま固定

特定の針棒に任意の糸色を設定できます。ここで設定された針棒は、解除するまで設定された糸色が割り当てられます。設定のしかたは、P.100「手動針棒設定」を参照してください。

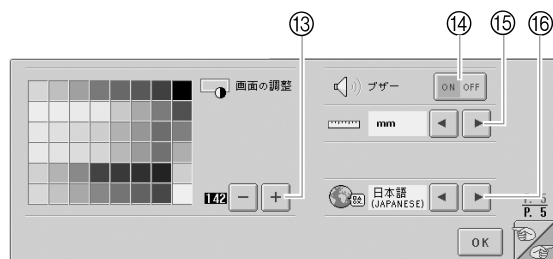
■ 4 ページ



⑫ ユーザーパレット

ここで、ユーザーパレットを作ります。ユーザーパレットの使い方は、P.151「ユーザーパレットを設定する」を参照してください。

■ 5 ページ



⑬ 画面の調整

画面の濃度調整ができます。

⑭ ブザー

ブザーの ON / OFF 切り替えができます。

⑮ 単位

画面に表示される長さの単位を設定できます。

⑯ 言語

言語の切り替えができます。指定した言語でキーやメッセージが表示されます。

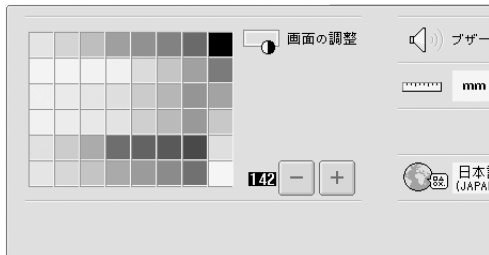
次の項から、各設定の説明をします。設定をし終わったら、**OK** を押して、設定画面を開く前の画面に戻ってください。

画面の明るさを調整する

設定画面の 5 ページで調整します。

- 1 画面の調整表示がきれいに見えるように **+** **-** を押して、画面の濃さを調整します。

淡くしたいときは **-** を、濃くしたいときは **+** を押します。



- **-** の横の **■** は、明度を示します。調整の目安にしてください。工場出荷時は、最適値に調整されています。通常は“142”に設定されています。



お願い

- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったりしますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。(P.208「画面が見にくいときは」参照)
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性によるもので、故障ではありません。約10分で通常の明るさになります。
- 画面を正面以外から見ると、色が変わったり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。(P.10「操作パネルの位置を調節する」参照)

ブザー音を設定する

ON に設定すると、操作パネルのスイッチや画面のキーが確実に押されたかどうか音で確認しながら操作できます。またエラー時には、ブザー音が鳴りエラーをお知らせします。

ON：ブザー音が鳴る

OFF：ブザー音が鳴らない

購入時は、ON に設定されています。

設定画面の 5 ページで設定します。

- 1 **ON OFF** (または **ON OFF**) を押して、設定します。

ONは **ON OFF**、OFFは **ON OFF** にします。



- 1 回押すごとに、ON / OFF が切り替わります。

言語を切り替える

言語は、次の8ヶ国語から選ぶことができます。
日本語、THAI、ENGLISH、GERMAN、FRENCH、
ITALIAN、DUTCH、SPANISH、PORTUGUESE
購入時は、「日本語」に設定されています。
設定画面の5ページで設定します。

1 ◀ ▶ を押して、言語を選びます。

希望の言語を表示させます。



長さの単位を切り替える

長さの単位を、mm、inchから選ぶことができます。
購入時は、「mm」に設定されています。
設定画面の5ページで設定します。

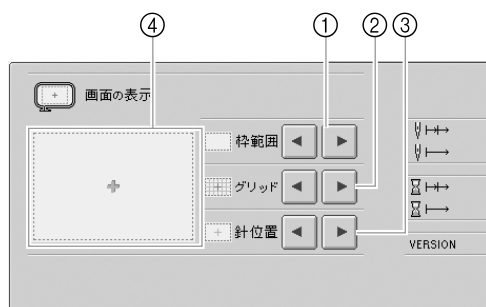
1 ◀ ▶ を押して、単位を選びます。

希望の単位を表示させます。



ガイド表示を切り替える

模様表示エリアのガイドは、刺しゅう枠の大きさ、
中心表示・グリッドの表示／非表示、カーソルの表
示／非表示をそれぞれ選んで設定します。
設定画面の1ページで設定します。



- 1 **枠範囲**
模様選択画面、模様一覧画面、編集画面で、ガイドとして表示する刺しゅう枠の大きさを設定します。
実際にセットしている刺しゅう枠の大きさのガイドが表示されます。
- 2 **グリッド**
中心表示・グリッドの表示／非表示を設定します。
- 3 **針位置**
針位置の大きさと表示／非表示を設定します。
- 4 設定するガイドがどのように表示されるか、ここで確認します。

■ 枠範囲

購入時は、「特大枠」に設定されています。

1 ◀ ▶ を押して、刺しゅう枠を選びます。

希望の刺しゅう枠の縫製範囲を表示させます。



特大枠の縫製範囲



大枠の縫製範囲



中枠の縫製範囲



小枠の縫製範囲



帽子枠の縫製範囲



■ 中心表示・グリッド

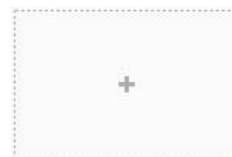
中心表示は、赤色の+マークで表示されます。
グリッド間隔の実寸は、10mm です。
購入時は、「中心表示のみ」に設定されています。

- 1 を押して、中心表示・グリッドの表示／非表示を選びます。

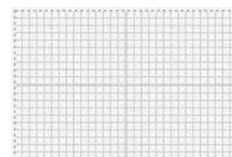
希望の表示状態を表示させます。



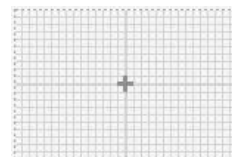
中心表示のみ



グリッド表示のみ



中心表示と
グリッド表示



非表示



■ 針位置

針位置は、縫製画面で現在の針落ち位置を示します。緑色の+マークで表示されます。

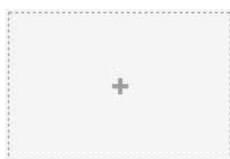
購入時は、「小さく表示」に設定されています。

- 1   を押して、小さく表示／大きく表示／非表示を選びます。

希望の表示状態を表示させます。



小さく表示



大きく表示



非表示



糸色表示を切り替える

ぬい順表示や針棒の色替表示に表示される糸色表示を、次の8種類の表示から選ぶことができます。

「糸番号 (Embroidery)」、
「糸番号 (Country)」、
「糸番号 (Madeira Poly)」、
「糸番号 (Madeira Rayon)」、
「糸番号 (Sulky)」、
「糸番号 (Robison-Anton)」、
「時間」、
「糸色名」
購入時は、「糸色名」に設定されています。
設定画面の2ページで設定します。

- 1   を押して、糸色表示を選びます。

希望の糸色表示を表示させます。



■ 表示例

糸色名

	モスグリーン
	オレンジ
	アカ
	キイロ

糸番号
(Embroidery)

	515 EMBROIDERY
	208 EMBROIDERY
	800 EMBROIDERY
	205 EMBROIDERY

糸番号
(Country)

	446 COUNTRY
	335 COUNTRY
	149 COUNTRY
	043 COUNTRY

糸番号
(Madeira Poly)

	1770 MA POLY
	1951 MA POLY
	1637 MA POLY
	1980 MA POLY

糸番号
(Madeira Rayon)

	1369 MA RAYON
	1137 MA RAYON
	1037 MA RAYON
	1068 MA RAYON

糸番号
(Sulky)

	1176 SULKY
	1024 SULKY
	1037 SULKY
	1187 SULKY

糸番号
(Robison-Anton)

	9091 R.A
	5694 R.A
	5678 R.A
	5860 R.A

時間

	0 MIN 56 SEC
	4 MIN 39 SEC
	1 MIN 45 SEC
	1 MIN 52 SEC

糸色の詳細を表示する

ぬい順表示や針棒の色替表示に表示される糸色表示を、専用色で表示するか、その他の糸色情報も含めた色で表示するか、選ぶことができます。

ON : 刺しゅうPROの「ユーザーチャート」、またはミシンの各パレットで設定した糸色と糸番号で表示する

OFF : 専用色 (ミシン内蔵の色パレットの色) で表示する

OFF に設定した場合の糸名・糸番号は、「糸色表示を切り替える」で設定した表示になります。

ON に設定した場合は、糸色編集画面で表示する色パレットを次の3つから選びます。

標準パレット

ミシンが内蔵している色を表示します。

ユーザーパレット 1

ミシンで設定したユーザーパレット 1 の色パレットを表示します。

ユーザーパレット 2

ミシンで設定したユーザーパレット 2 の色パレットを表示します。

色パレットと色表示についての詳細は、P.167 を参照してください。

購入時は、OFF に設定されています。
設定画面の 2 ページで設定します。



お知らせ

- 通常、ぬい順表示や模様表示エリアの模様の糸色は、専用色 (ミシン内蔵の色パレットの色) で表示されます。ぬい順表示や色替表示の糸番号は、その色に一番近い、ここで設定したブランドの色番号が表示されます。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。

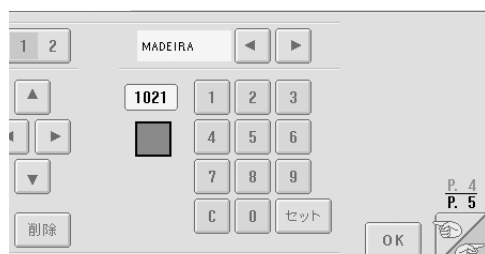
3 糸番号の種類を選びます。

◀ ▶ を押して、希望の糸番号の種類（ブランド名）を表示させます。



4 糸番号を入力します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
を押して、希望の糸番号を入力します。



まちがえて入力してしまったときは、**C** を押します。



▶ 入力した数字が取り消されます。

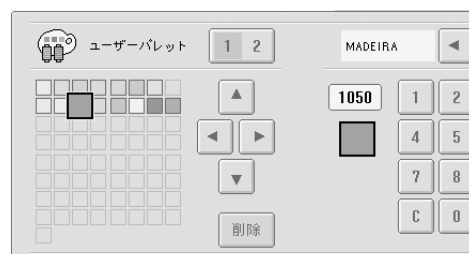
5 セット を押します。



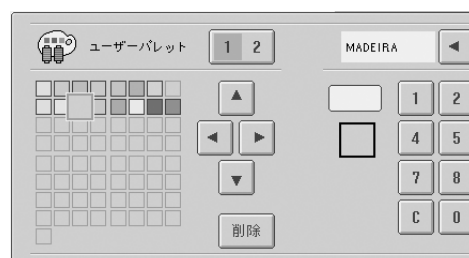
▶ 入力した色・数字が、手順②で選んだ□に設定されます。



設定を取り消したいときは、**削除** を押します。



▶ パレットからその色が削除され、空白の□に戻ります。



6 手順②～⑤を繰り返して、他の□を設定します。

- 設定されている□を選んで再設定をする
と、前の設定は取り消され、新しい設定に
書き換えられます。

■ 色パレットを切り替える

糸色の詳細を表示するを「ON」に設定し、色パ
レットを選びます。P.150を参照してくださ
い。

渡り糸切り／DST設定

渡り糸の糸切りする／しないを設定できます。タジ
マフォーマット(.dst)の刺しゅうデータを使う場合
は、ジャンプコード数の指定により糸切りする／し
ないを設定できます。

ON：次のラインで指定された数に基づいて、
糸切りコードに変換する

OFF：糸切りコードに変換しない

購入時は、ON、ジャンプコード回数3に設定され
ています。

設定画面の2ページで設定します。

- 1  (または ) を押して、設定します。
ONは  、OFFは  にします。



- 1回押すごとにON／OFFが切り替わります。

お知らせ

- アルファベットの文字模様は、渡り糸切りを設定
することはできません。(P.129「文字間で糸を
切る」参照)
- タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータ以
外のデータでは、ジャンプコード回数を指定する
ことはできません。

■ タジマフォーマット(.dst)の刺しゅうデータを使用する場合

2 ONに設定したときは **+** **-** を押して、フィード回数を選びます。

希望の数値を表示させます。



- 指定できる範囲は1～8です。
例えば、3が指定されると、連続した3つのジャンプコードが糸切りコードに変換されます。しかし、連続した2つのジャンプコードは糸切りコードに変換されず、渡り(ジャンプ)ぬいのようにぬわれます。



お願い

- 特定のタジマフォーマットを作成した時に使用した番号と、同じジャンプコード番号を設定してください。ジャンプコード番号が合わないと、糸切りされないはずのところでされる、糸切りされるはずのところでされない、ということがあります。

小ピッチのステッチを削除する

当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用すると、ピッチが細かすぎる場合があります、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。このようなことを防ぐために、あらかじめ細かいピッチのステッチを削除するように設定することができます。ここで設定したピッチ以下のステッチが削除されます。購入時は0.3mmに設定されています。設定画面の2ページで設定します。

1 **+** **-** を押して、ピッチの大きさを選びます。

希望の大きさを表示させます。



- 指定できる範囲は、長さの単位がmmの場合は0～1mm、インチの場合は0～0.04インチです。

糸残りを設定する

糸切り後に針穴に残る(針穴から出ている)上糸の長さを、「標準」、「長く」から選ぶことができます。購入時は、「標準」に設定されています。設定画面の2ページで設定します。

1 **◀** **▶** を押して、選びます。

希望の長さを表示させます。



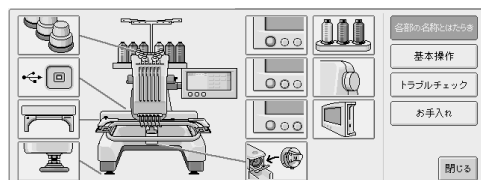
- 糸切り後の糸残りが短く、次にうまく縫えない場合は、「長い」に設定してください。
- 金糸、銀糸を使う場合は、「長い」に設定してください。

ミシンの使い方キーの使い方

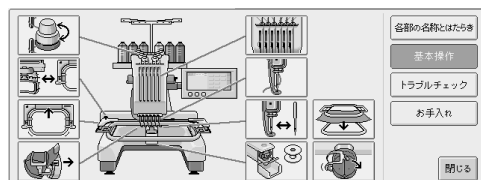
このミシンには、ミシンの基本操作など取扱説明書に準じた内容が記憶されています。 (ミシンの使い方)キーを押して画面に表示される4つの項目を選ぶと、その内容を確認することができます。

■ 各項目の内容

各部の名前とはたらき



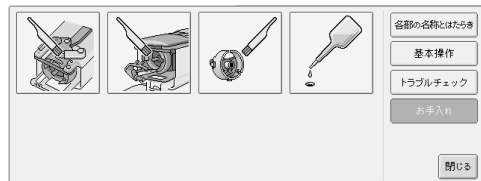
基本操作



トラブルチェック

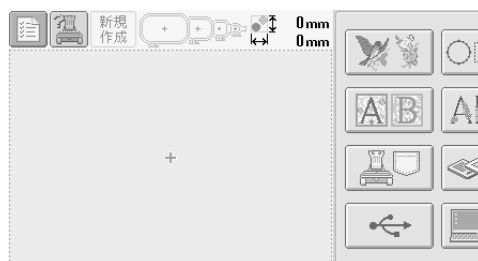


お手入れ



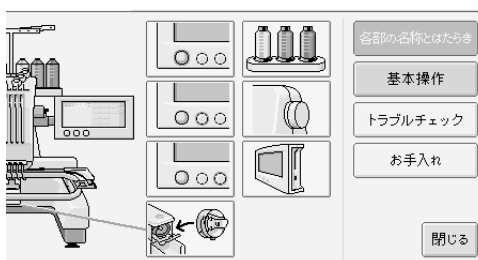
例) 上糸の通し方を知りたいとき

1  を押します。



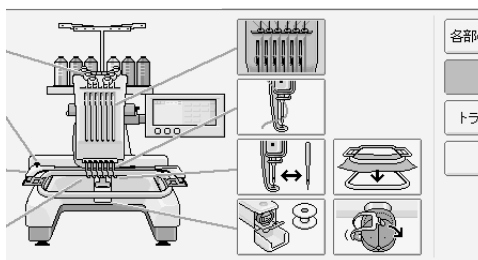
▶ ミシンの使い方画面が表示されます。

2  を押します。



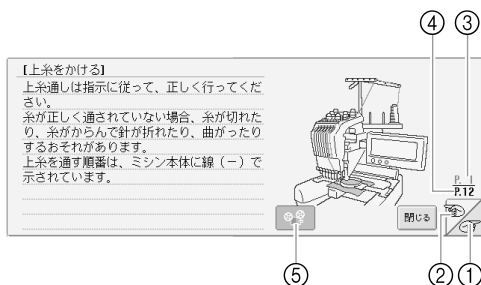
▶ 基本操作の一覧が表示されます。

3  を押します。

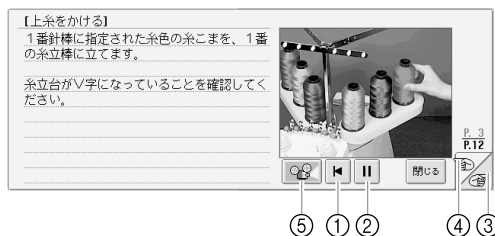


▶ 上糸通しの手順が表示されます。

- 4  を押すと、次のページが表示されます。

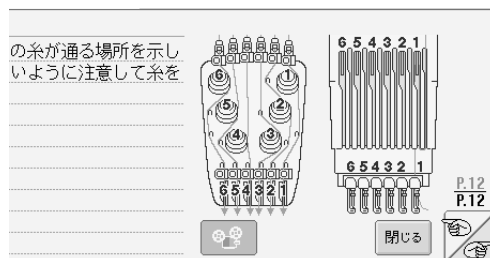


- ① 次のページへキーを押すと、次のページが表示されます。
- ② 前のページへキーを押すと、前のページが表示されます。
- ③ 現在開いているページナンバー
- ④ 総ページ数
- ⑤ 動画キー
上糸通し、針穴糸通し、台枠と帽子枠ドライバーの交換、帽子枠の帽子の張り方を選んだ場合のみ表示されます。手順を動画で見ることができます。
 が  に変わったら、押します。
動画を表示中は  に変わります。

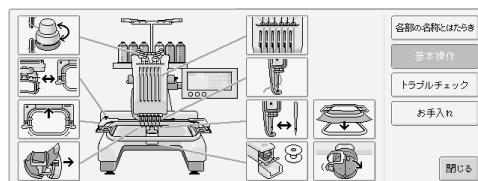


- ① 押すと、現在開いているページの最初から動画が表示されます。
- ② 押すと、動画を一時停止します。一時停止中は  に変わります。  を押すと、一時停止を解除し続きの動画が表示されます。
- ③ 押すと、次のページの動画に飛びます。
- ④ 押すと、前のページの動画に飛びます。
- ⑤ 押すと、動画を中止しイラスト表示に戻ります。

- 5 手順を確認し終わったら、 を押します。



- 6  を押します。



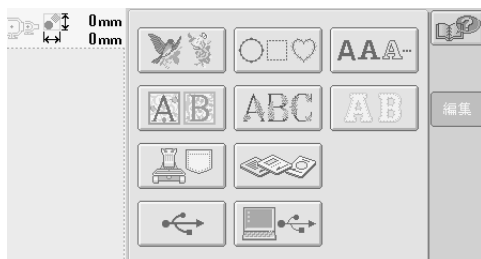
- ▶  を押す前の状態に戻ります。

ヘルプキーの使い方

困ったときは  (ヘルプ)キーを押しましょう。操作のしかたやキーの機能を調べることができます。

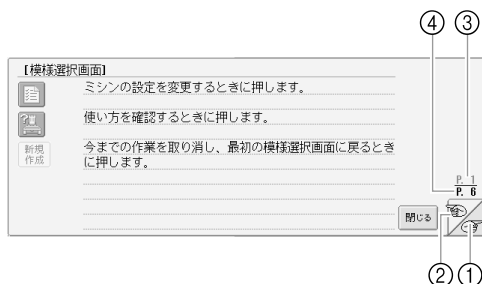
■ 例：模様選択画面のキー機能を調べる

1 模様選択画面の を押します。



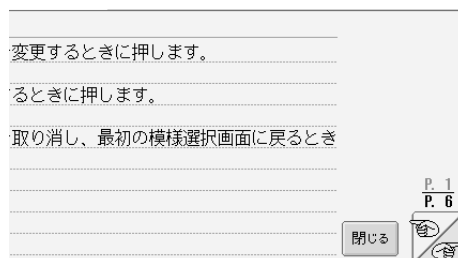
▶ ヘルプ画面が表示されます。

2 を押して、調べたいキーを探します。



- ① 次のページへキー
押すと、次のページが表示されます。最後のページの場合は、1 ページが表示されます。
- ② 前のページへキー
押すと、前のページが表示されます。最初のページの場合は、最後のページが表示されます。
- ③ 現在開いているページナンバー
- ④ 総ページ数

3 調べたいキーを確認し終わったら、 を押します。



▶  を押す前の状態に戻ります。

応用ぬいのテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。

アップリケぬい	160
アップリケ模様のぬい方 / 160	
枠模様を使ってアップリケをするには (1) / 161	
枠模様を使ってアップリケをするには (2) / 162	
豆知識	164
内蔵模様で糸調子を確認する / 164	
布地のラインに合わせて模様をぬう / 165	
色パレットについて / 167	
タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータの色について / 167	
きれいな刺しゅうに仕上げるために	168
糸 / 168	
枠張りのテクニック / 170	
接着芯 / 169	
布／接着芯の適合表 / 171	
工業用枠（別売）をセットするには	172
帽子枠（別売）を使う	173
帽子枠と付属品 / 173	
布地に関する注意 / 174	
帽子枠のセットのしかた / 180	
刺しゅうデータ作成上の注意 / 186	
帽子の種類 / 174	
帽子枠を使うための準備 / 175	
台枠の取り付け方 / 184	
お手入れ	187
画面の汚れの掃除 / 187	
釜の掃除 / 187	
ボビンケースの掃除 / 189	
本体表面の掃除 / 187	
針板まわりの掃除 / 188	
ミシンに注油する / 190	
困ったとき	193
トラブルチェック機構 / 193	
エラーメッセージ / 202	
キーを押しても反応しないときは / 208	
トラブルチェック / 194	
画面が見にくいときは / 208	
仕様	210
本体仕様 / 210	
索引	211

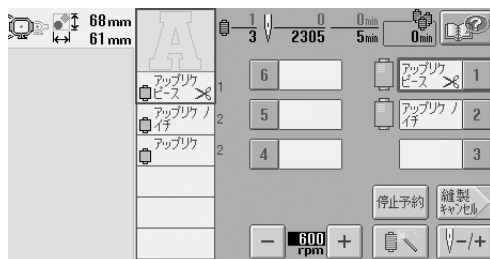
アップリケぬい

アップリケのぬい方を説明します。

アップリケ模様のぬい方

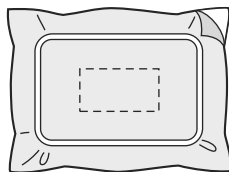
刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があります。色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、以下の手順でアップリケをします。

※ 糸色表示設定によって、、、または  のように表示されることがあります。

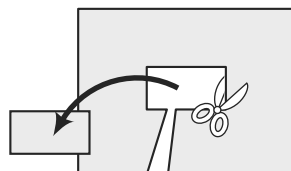


■ アップリケの手順

- 1 アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。
- 2 手順①のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、「アップリケピース」をぬいます。アップリケピースの切り取り線をぬってミシンは止まります。

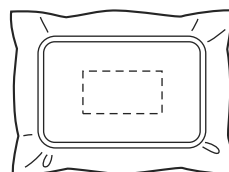


- 3 刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

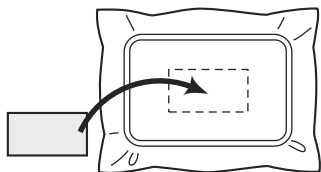


- このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに取り除いてください。

- 4 アップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、「アップリケノイチ」をぬいます。アップリケの位置をぬって、ミシンは止まります。

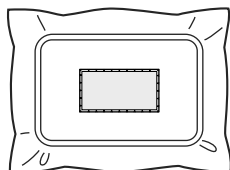


- 5 切り取ったアップリケピースの裏側にのりまたは、スプレーのりを薄く付け、手順④の「アップリケノイチ」に合わせて貼り付けます。



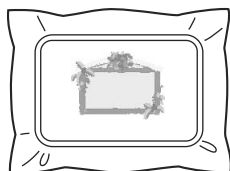
- 可溶性の布を使いアップリケピースを土台布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠から外さずにアイロンをかけてください。

- 6 アップリケピースを貼り付けたら、「アップリケ」をぬいます。アップリケができます。



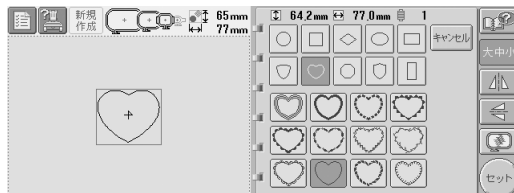
- 模様によっては、「アップリケ」が表示されないものがあります。この場合、「アップリケ」ぬいは、刺しゅうの1部分として色糸で表示され、その色糸でぬわれます。

- 7 残りの刺しゅうをぬいます。

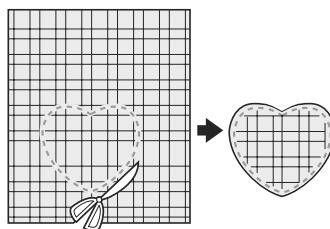


枠模様を使ってアップリケするには(1)

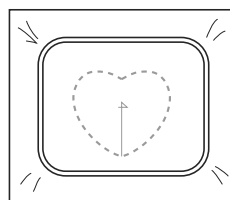
同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使って、アップリケをします。



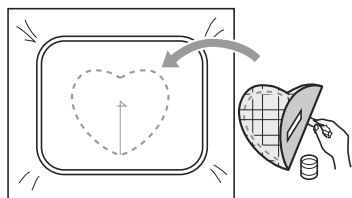
- 1 直線ぬいの枠模様を選び、アップリケ布に刺しゅうをします。ぬい目の外側をていねいに切り取ります。



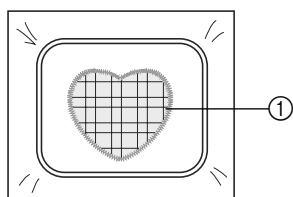
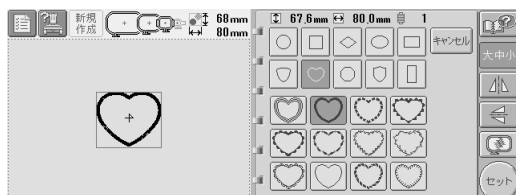
- 2 土台布にも同じように刺しゅうをします。



- 3** 手順①で切り取ったアップリケ布の裏側に薄くのりまたは、布用スプレーのりを付け、土台布のぬい目にあわせて貼り付けます。



- 4** 同じ形のサテンぬいの枠模様を選び、手順③の布に刺しゅうをするとアップリケができます。



① アップリケ

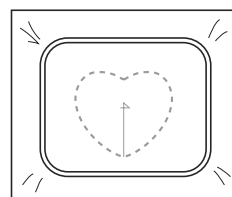
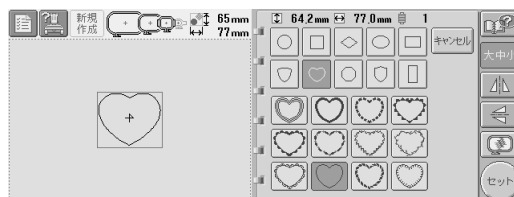
お願い

- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬい位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

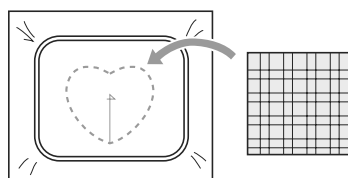
枠模様を使ってアップリケするには (2)

もう1つのアップリケの方法です。この方法では布地は張り替える必要がありません。同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。

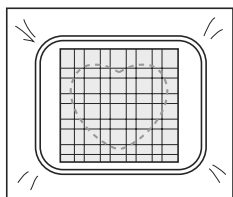
- 1** 直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうをします。



- 2** 手順①の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。とき、ぬい目がアップリケ布からはみ出ないようにしてください。

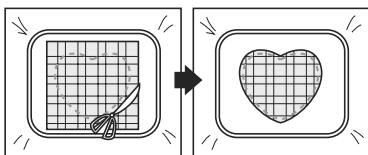


- 3 アププリケ布の上からもう1度、同じ枠模様を刺しゅうします。



- 中心の十字をぬう前に、ミシンを止めてください。

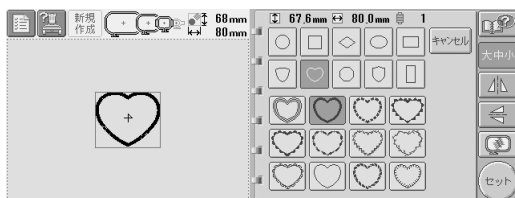
- 4 刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。



お願い

- 布地は刺しゅう枠にはめたまま、切ってください。また、張られている布地に無理な力をかけると、布地がたるんでしまうので注意してください。

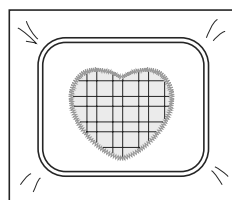
- 5 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。



お願い

- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬう位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

- 6 手順4の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうをするとアププリケができます。



豆知識

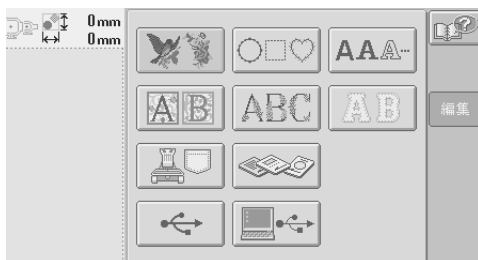
さらにこのマシンを使いこなしていただくための操作を紹介します。

内蔵模様で糸調子を確認する

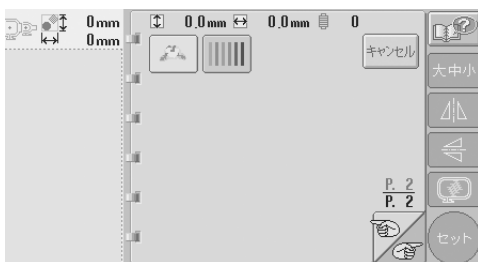
内蔵ワンポイント模様の最終ページに、糸調子確認用の模様があります。この模様をぬって糸調子を確認しましょう。



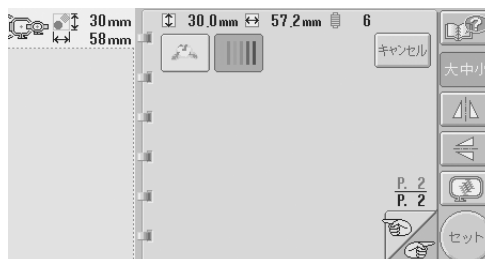
1  を押します。



2  を1回押して、 を押します。



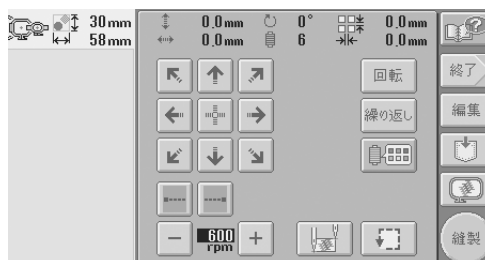
3  を押します。



4  を押します。



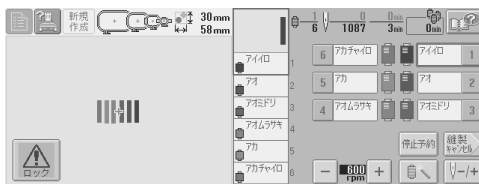
5  を押します。



6

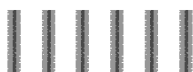


(ロック解除キー)、スタート／ストップスイッチを押して、ぬいます。



7

糸調子を修正します。下糸は、布の裏側からぬい幅の約3分の1になるようにします。



お願い

- 調整が必要な場合は、P.50、89、90の説明を参照してください。

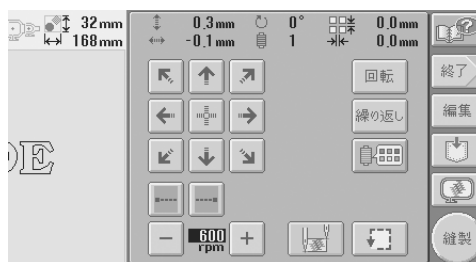
布地のラインに合わせて模様をぬう

ぬい始め／終わり位置設定で模様の細かな位置を確認することができます。

例えば、布地の柄のラインに沿って文字模様をぬうときに、ぬい始め／終わり設定のぬい始めを左下に設定して位置を確かめてから、再度ぬい始めを設定し直します。今度は右下に設定して位置を確かめます。最初の点と次の点を結ぶ直線が文字のベースラインになります。そのラインが文字を沿わせようとしている布地の柄とずれていたら、位置の調整が必要です。

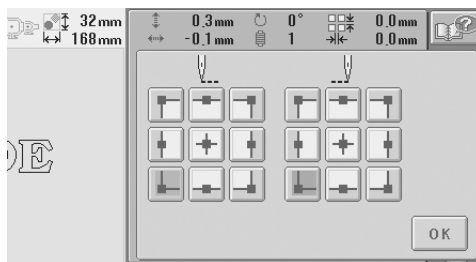
1

縫製設定画面で、を押します。



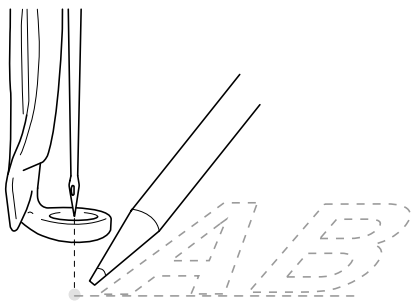
2

ぬい始めを左下に設定します。

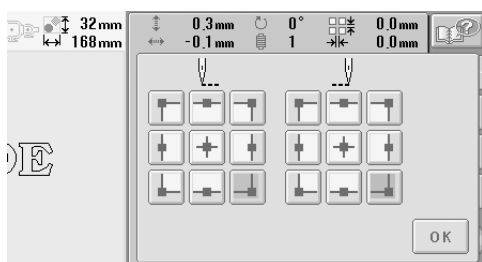


- ▶ 枠が移動して、ぬい始めの位置が針落ち位置になります。

- 3 チャコペンなどで、その位置に印を付けます。

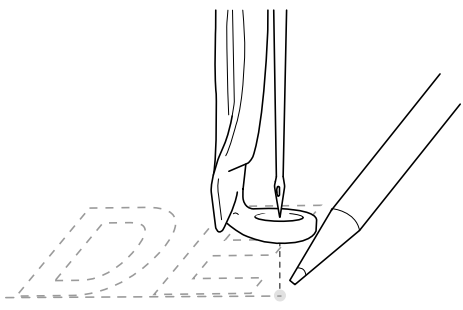


- 4 めい始めを右下に設定します。



- ▶ 枠が移動して、めい始めの位置が針落ち位置になります。

- 5 チャコペンなどで、その位置に印を付けます。



- 6 刺しゅう枠をミシンから外して、最初の点と最後の点を結んで確認します。



- すれていたり、交差していたら、布地の張り直しか、模様的位置調整が必要です。

色パレットについて

ミシン内蔵の色パレットとユーザーパレットについて補足説明します。

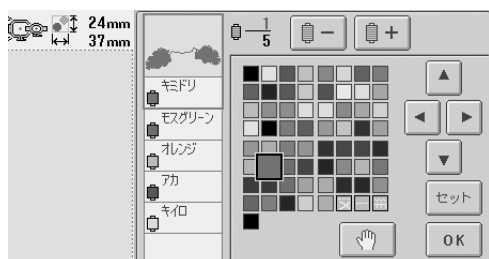
通常、ぬい順表示の糸こまや色替表示の糸こま、模様表示エリアの模様の糸色は、専用色（ミシン内蔵の色パレットの色）で表示されます。そしてぬい順表示や色替表示の糸番号は、その色に一番近い、設定画面の2ページで設定したブランドの色番号が表示されています。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。

それに対し、設定画面の4ページで設定するユーザーパレットは、ミシンに内蔵されている色ライブラリーから1色ずつブランド名とその糸番号で糸色を指定してつくる色パレットですので、その糸色オリジナルの色で表示されます。

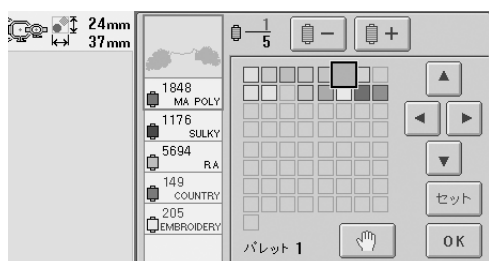
ユーザーパレットを設定し、拡張糸色表示を選んでから、そのユーザーパレットを使って模様の色を変更すると、より仕上がりに近い色で模様を確認できます。

お手持ちの糸色を登録し、是非、ご活用ください。

通常色替表示



ユーザーパレット使用時の色替表示



タジマフォーマット (.dst) の 刺しゅうデータの色について

タジマフォーマット (.dst) には、模様の色情報がありません。形だけの部分の集合で作られています。例えば、次の刺しゅうデータは、



タジマフォーマット (.dst) では、



となっています。

そこで、模様の部分を分かりやすくするため、このミシンでタジマフォーマットデータを扱うときは、自動的に当社指定の糸色順で色がつけられ表示されます。この糸色は、模様のデザインに関係なく、適当な色が部分のぬい順に従ってつけられていますので、例えば、果物のオレンジの色が青になっていたり、模様のデザインによっては違和感のある色付けになってしまうこともあります。

タジマフォーマットデータを扱うときは、画面上ででき上がりイメージを確認しながら、糸色編集画面で色を変更してお使いください。

きれいな刺しゅうに仕上げるために

よりきれいな刺しゅうに仕上げるために、糸、刺しゅう枠、接着芯について、注意していただきたいことを説明します。

糸

刺しゅう糸は高価なものですので、取り扱いには万全の注意を払ってください。どんなに良い糸でも、きちんと縫製するためには正しく保管する必要があります。特に、糸がお客様のもとへ届いてから実際にミシンでご使用になるまでの期間は注意してください。刺しゅう糸は、過度の熱や光、または湿気のように、損傷を与えるようなものがない環境で保管してください。

刺しゅう糸は、できるだけ清潔でほこりのない場所に保管してください。また、煙や蒸気、ガスが出る場所も避けてください。ガスヒーターのような家庭用の器具、またはディーゼルエンジンから出るガスによって、糸が黄色くなることがあります。

直射日光は、刺しゅう糸にとって有害となります。糸の入った箱は、開けたままにして直射日光にさらされないようにしてください。直射日光に長期間さらしておくと、刺しゅう糸が色あせするおそれがあります。

温度や湿度もまた、刺しゅう糸にとって有害となることがあります。温度は15～25℃、湿度は40～60%が理想的な保存条件です。カビを防ぐために、これらの条件をできるだけ一定に保つようにしてください。高温すぎる場所に保存すると、糸が弱くなり最終的には糸が切れるおそれがあります。湿気が多いと、糸の品質に悪影響を及ぼすことがあります。確実に糸が痛まないよう保管するには、保存している未使用の糸を頻繁にチェックして、保存状態・条件が良好かどうかを確認してください。

保存状態の良い糸を使用すると、制作時間を向上させることができます。(糸の強度、密度や重量は、縫製のしやすさと縫製中の糸切れ回数、ならびに作品の仕上がりにも影響します。)

糸切れの回数は、生産量に影響します。糸が切れてから通し直す時間が約20秒かかると仮定すると、糸切れ1回につき1日(7.5時間)最低でも0.07%の生産減になります。1日につき糸切れ回数を14回削減すると、生産を1%以上向上させることができます。

接着芯

接着芯は、刺しゅうする布を固定させるために使用します。誤った種類の接着芯を使用すると、布が刺しゅう枠内で動いてしまい、刺しゅうがずれるおそれがあります。接着芯は、タオルやコーデュロイ、ピケニットのような毛羽のある布を刺しゅうするときには、必ず使用してください。縫製する布の種類に応じて、種類別の接着芯を使用します。

刺しゅうに使える接着芯は、切るタイプ、はがすタイプ、溶けるタイプ、粘着タイプの4種類があります。この4種類は、それぞれ重さとサイズ、生地が異なります。特定の布に使用する接着芯を選ぶときは、デザインのぬい目数、ぬい方とサイズを考慮してください。

また、接着芯が伸びないことを確認してください。種類によっては、垂直方向や水平方向には伸びなくても、対角線方向に伸びるものがあります。このような種類の接着芯は使用しないでください。縫製中に伸びて、デザインがずれることがあります。

1. ポリエステル製メッシュの切るタイプの接着芯：

接着芯がぬった表面に透けないため、薄い色の布に使用します。仕上がったものを軽くてやわらかいタッチで安定させたい場合、例えば、赤ちゃんの衣服などにこの種類の接着芯が適しています。

2. 切るタイプの接着芯：

普通～重いニットに適しており、織物にも使用できます。ぬい目数が多くても耐えることができます。2～3枚重ねて使用することで、さらに膨大なぬい目数にも耐えることができます。また、衣服の内側を外側と同じように見栄え良くしたい場合は、切るタイプの黒い接着芯が適しています。黒い接着芯は、白い接着芯に比べて透けにくいので、あわい色や薄い色の衣服に使用することをお勧めします。

3. 粘着タイプ（はがして貼る）の接着芯：

曲げにくい（固め）の布に使用します。この接着芯は粘着面を上にして枠の下側に付け、縫製する部分の外側の表面に布を接着できるようにします。刺しゅうが終わったら、布を外し余分な部分は捨ててください。これを繰り返します。

4. はがすタイプの接着芯：

キャンバス地やポプリン、デニムのような普通の重さの織物と、頑丈な布に使用します。この接着芯は、2枚以上重ねて使用することで、多くのぬい目数に耐えることができます。この種類の接着芯は織り込まれていないので、縫製が終わったあとに、刺しゅうデザインの端から簡単にはがすことができます。はがすタイプの接着芯にも黒色があります。

5. 水に溶けるタイプの接着芯：

タオルのような素材を刺しゅうするときに、毛羽が縫製のじゃまにならないようにするために使用します。毛羽のあるタイプで刺しゅうできる布は、タオル地やコーデュロイ、ベルベット、フェイクファー等があります。これらの布は、毛羽の繊維が刺しゅうデザインのぬい目からはみ出て、仕上がりが悪く見えることがあります。それを防ぐために、水に溶けるタイプの接着芯を使うことによって、表のぬい目をきれいに仕上げます。このタイプの接着芯は、レースや他のモチーフを刺しゅうするときに、仕上がり部分のみの接着芯として使用することもできます。刺しゅうが完成したあとに簡単に布からはがして取ることができ、残った部分も水に溶かしてなくすることができます。

枠張りのテクニック

「よい仕事にはよい道具を使いなさい」というのは、私たちが常に耳にする言葉です。これは、刺しゅう業界にも言えることです。間違った種類の刺しゅう枠を使用すると、縫製時にデザインが揃わなかったり、制作したものが完全に破損したりすることがあります。完璧なデザインでも、それに合うように設計された枠のサイズや種類や手法を誤って使ったために、結果が台なしになることがあります。

■ 枠の基本

筒枠 - この種類の枠を使用すると、筒状の布や筒状に縫製した衣類を刺しゅうすることができます。布の裏側まで糸を通すことなく、布の表面に刺しゅうすることができます。

帽子枠 - これらは、帽子を固定するための特別な刺しゅう枠です。帽子に刺しゅうする場合は、この刺しゅう枠を使用してください。(P.173 参照)

刺しゅう枠と接着芯 - 刺しゅう枠に張った布と接着芯は、完全に平らで、しわやすき間が入らないように注意してください。しわやすき間を取り除くときは、布と接着芯を一緒に伸ばしてください。布と接着芯を伸ばすときに、強くひっぱりすぎないように注意してください。伸ばしすぎると、枠を取り外したときに、完成したデザインにしわが入ることがあります。また、デザインとデザインの間に割れ目ができることがあります。

内枠と外枠の調節 - 外枠は調節ネジで調節することができます。布を張ったあと、内枠をはめたときにたるみを感じたら、調節ネジを締めてください。ただし、きつく締めすぎると布にしわが入ったり、調節ネジのネジ山がすり減ったりするおそれがありますので、注意してください。

布／接着芯の適合表

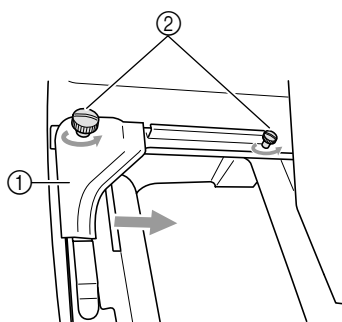
布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数	詳細
タオル地	はがすタイプ 1枚	水に溶けるタイプ 1枚	密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模様や小さな文字は、毛羽の輪に引っかかりやすくなります。
サテンのジャケット	厚い裏地 なし 薄い裏地 または裏地 なし はがすタイプ 1枚	なし	布が枠の中で滑るとまっすぐぬえなくなりますので、マスキングテープや布のバイアステープを内枠に巻いてください。こうすると表面が粗くなり布をつかみやすく、また、枠が焼けるのを最小限にすることもできます。
綿の敷布	はがすタイプ 1枚	なし	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚ではなく、薄い裏張りを2枚使ってください。
デニム	はがすタイプ 1枚	なし	針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度を遅くしてください。
帽子	任意	任意	バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすいので、通常よりも頻繁に針を交換するようにしてください。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表張りを使ってください。
ドレスシャツ (織物)	はがすタイプ 1枚	なし	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚ではなく、薄い裏張りを2枚使ってください。
ゴルフシャツ	切るタイプ 1枚	任意	細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケニットには表張りを使用してください。
カントンフリース	はがすタイプ 1枚	任意	かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には表張りを使用してください。
キャンバス地	はがすタイプ 1枚	なし	枠をきつく取り付けてください。
コーデュロイ	はがすタイプ 1枚	水に溶けるタイプ 1枚	ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてください。
肌着やシルク	はがすタイプ(軽) 1枚または2枚	任意	縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてください。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。織り目の細かい布には細い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端に狭い縦ぬいを避け、ぬい幅を広げるか、さやぬいをしてください。布からやさしく裏張りとは表張りを取り除いてください。(無理に引きはがさないでください。)
ニット	切るタイプまたは粘着性のはがすタイプ 1枚	水に溶けるタイプ 1枚	かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合った、織り目の詰まったオーガンジーまたはカーテンの布を使ってください。
スウェットシャツ	切るタイプまたは粘着性のはがすタイプ 1枚	任意	細かいデザインには切るタイプ(軽)の接着芯を2枚重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの付いた布には表張りを使ってください。
Tシャツ	切るタイプ(軽) または粘着性のはがすタイプ 1枚	任意	細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。糸調子が弱すぎます。ぬい目の密度が濃いデザインは避けてください。

工業用杵（別売）をセットするには

工業用杵をセットするための台杵の準備を説明します。
工業用杵をセットするときは、台杵の左右両方のアームを移動します。

1 刺しゅう杵を外します。（P.51 参照）

2 台杵の2本のつまみボルトをゆるめます。

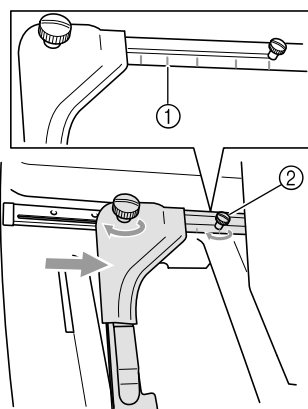


- ① 左アーム
- ② つまみボルト

▶ 台杵の左アームが移動できるようになります。

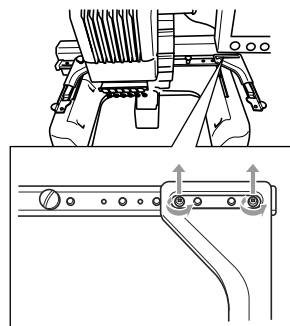
- つまみボルトは、2～3回、回してゆるめるだけで、外さないでください。

3 左アームを移動し、工業用杵のマークを右のネジに合わせ、つまみボルトを締めます。

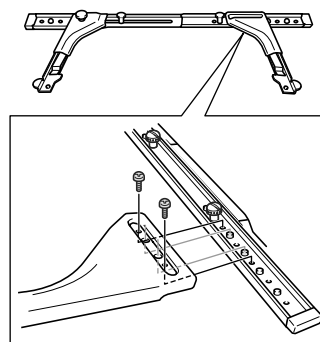


- ① 工業用杵のマーク
- ② つまみボルトをマークに合わせます。

4 プラスドライバーで2本のネジをゆるめ、外します。



5 右アームを外し、図のように台杵のピンとアームの穴を合わせ、手順4で外したネジで締め付けます。



▶ これで台杵の準備ができました。付属の刺しゅう杵と同様に、工業用杵をセットします。（P.36 参照）

お願い

- 工業用杵を使用時は、ミシンは縫製範囲を認識することができません。必ず、ためしキーで縫製範囲の確認をしてください。（P.38 参照）

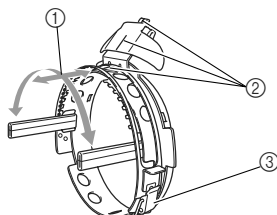
帽子枠（別売）を使う

別売の帽子枠を使うと、帽子に刺しゅうをすることができます。帽子枠の使い方を説明します。

帽子枠と付属品

以下の帽子枠、帽子枠ドライバー、ゲージと付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

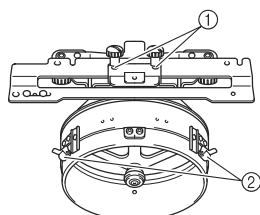
帽子枠



- ① 刺しゅう範囲（ヨコ130mm×タテ50mm）
- ② 刺しゅう範囲の中心を示すマーク
- ③ パチン錠

帽子枠ドライバー／つまみボルト4本

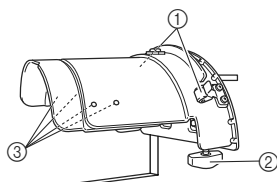
キャリッジに帽子枠をセットするために、台枠を外してこの帽子枠ドライバーを取り付けます。



- ① この穴をつまみボルトで締め付けると可動部を固定できます。帽子枠ドライバーを保管するときに使います。
- ② 留具
帽子枠を2つの留具で固定します。

ゲージ

帽子枠に帽子をセットするときに使用します。



- ① 留具
帽子枠を2つの留具で固定します。
- ② 取付金具
つまみボルトを締め付けて、机などに取り付けます。
- ③ 調節ネジ
帽子のタイプに合わせてゲージのサイズを切り替えます。

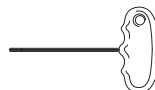
調整シート



T型六角レンチ(3mm)



T型六角レンチ(2.5mm)



※ 帽子枠ドライバーのリングとL型取付金具の高さを調整するときに使用します。（P.177 参照）

工業用枠（別売）をセットするには／帽子枠（別売）を使う

付録



お願い

- 帽子枠を取り付ける前に、必ず帽子枠ドライバーのリングとL型取付金具の高さを調整してください。（同じミシンを使用する場合は、初回以降の調整は不要です。）
- 帽子枠ドライバーのリングとL型取付金具の高さを調整したあと、別のミシンで使用する場合は、再度調整し直してください。ミシンによって高さが異なります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



お知らせ

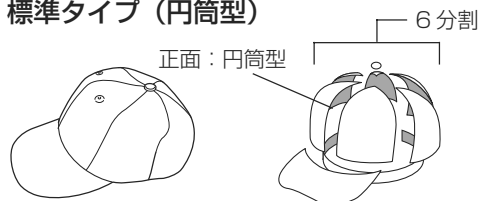
- ミシンに帽子枠をセットすると、使用可能刺しゅう枠表示は次のように表示されます。



帽子の種類

このミシンで刺しゅうする帽子は、次の種類の帽子をお勧めします。

■ 標準タイプ（円筒型）



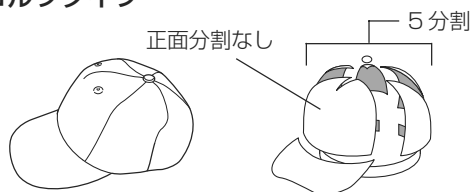
オットー社型番（例）	OTT027-007	
裏側のメッシュの有無 （硬い／やわらかい）	あり 硬い	なし やわらかい
張り方の難易度	容易（推奨）	やや容易
使用芯数	1～2枚	2～3枚

■ ロープタイプ（球面型）



オットー社型番（例）	OTT023-225	OTT018-203
裏側のメッシュの有無 （硬い／やわらかい）	あり 硬い	なし やわらかい
張り方の難易度	難しい 布地が硬く、 張りにくい	やや容易
使用芯数	1～2枚	2～3枚

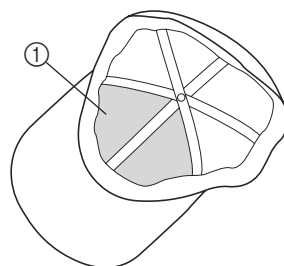
■ ゴルフタイプ



オットー社型番（例）	OTT037-024
裏側のメッシュの有無 （硬い／やわらかい）	あり 硬い
張り方の難易度	やや容易
使用芯数	1～2枚

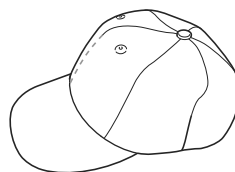
お知らせ

- メッシュの有無は、①の部分を確認してください。（下図はメッシュ有）



お願い

- ゴルフタイプの場合、帽子枠に張るときに目印となる、帽子の中心線がありません。張る前に、チャコペンなどで中心に目印を付けてください。



■ 刺しゅうできない帽子

- ・ サンバイザーなど、帽子の正面の高さが50mm以下の帽子
- ・ 子供用帽子
- ・ ヒサシの長さが80mmより大きい帽子

布地に関する注意

■ 推奨布地

- ・ 木綿 35%、ポリエステル 65%
- ・ 木綿 100%
- ・ ウール 80%、ナイロン 20%
- ・ ウール 15%、アクリル 85%

■ 推奨できない布地

枠に張りにくく、しわや布縮みが起きやすく、柄がずれやすい布地

- ・ ポリエステルフォーム
- ・ 伸び縮みのする布地
- ・ メルトンウール
- ・ ナイロン 100%
- ・ スエード

帽子枠を使うための準備

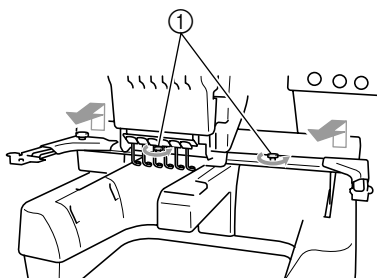
■ 帽子枠ドライバーを取り付ける



→ の順にキーを押すと、帽子枠ドライバーの取り付け、取り外し手順を動画で見ることができます。(P.155 参照)

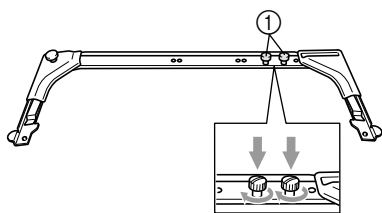
キャリッジから台枠を外して、帽子枠ドライバーを取り付けます。台枠を外す前に、刺しゅう枠を外しておいてください。(P.51「刺しゅう枠の外し方」参照)

1 2本のつまみボルトをゆるめ、台枠とつまみボルトを取り外します。



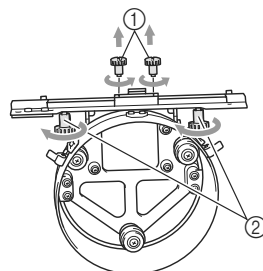
① つまみボルト

- 取り外したつまみボルトは、台枠に取り付けておきます。



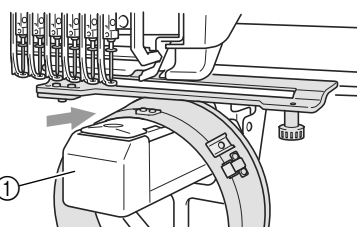
① 2本のつまみボルトはなくさないように付けておきます。

2 帽子枠ドライバーの上の2本のつまみボルトを外し、下の2本のつまみボルトをゆるめます。



① 上のつまみボルト
② 下のつまみボルト

3 帽子枠ドライバーのリング内にミシンベッドを通します。



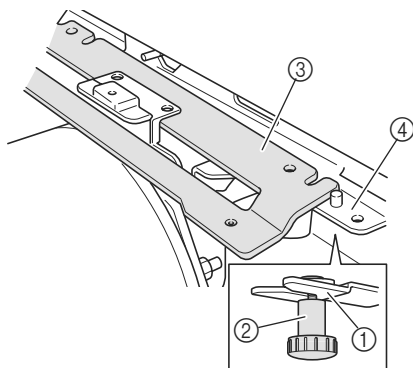
① ミシンベッド

お願い

- 帽子枠ドライバーが押えなど周りの部品に当たらないよう、注意してください。

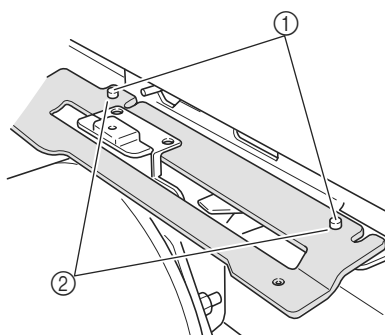
次の手順 ④ ~ ⑦ で、帽子枠ドライバーをキャリッジにセットします。

- 4** 帽子枠ドライバーの下をつまみボルト2本が、キャリッジの切り欠きにはさみ込まれるようにして、帽子枠ドライバーの取付プレートをXキャリッジの上に重ねます。



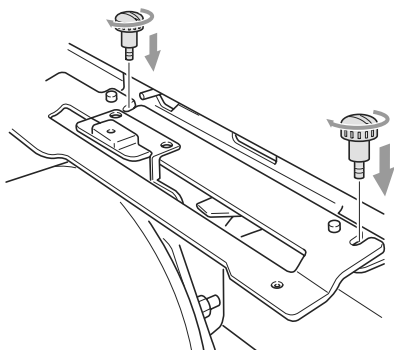
- ① キャリッジの切り欠き
- ② 帽子枠ドライバーのつまみボルト
- ③ 帽子枠ドライバーの取付プレート
- ④ Xキャリッジ

- 5** Xキャリッジのピンに、帽子枠ドライバーの取付プレートの穴を差し込みます。

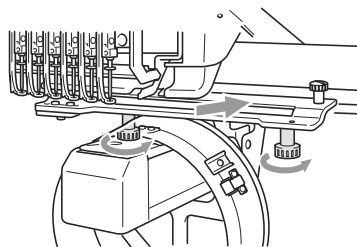


- ① Xキャリッジのピン
- ② 帽子枠ドライバーの取付プレートの穴

- 6** 手順②で外した2本のつまみボルトを締めます。

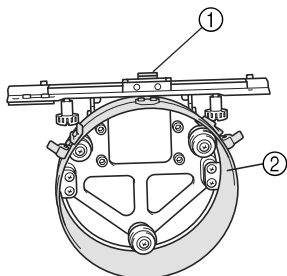


- 7** 帽子枠ドライバーが奥までしっかり入るように押さえながら、下の2本のつまみボルトを締め、帽子枠ドライバーを固定します。



- ▶ これで帽子枠ドライバーがセットできました。

■ 帽子枠ドライバーを調整する



- ① L型取付金具
- ② リング



お知らせ

- 帽子枠ドライバーの調整は、同じミシンを使用する場合、初回以降の調整は不要です。

1

ミシンの電源スイッチの“I”側を押し、電源を入れます。キャリッジが初期設定の位置に移動したら、電源を切ります。

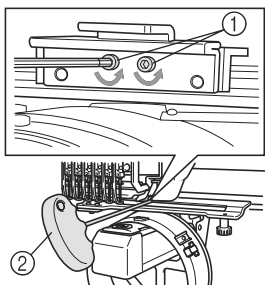


お願い

- 帽子枠ドライバーは、必ず初期設定の位置で調整してください。

2

2本の六角ネジを、付属のT型六角レンチ(2.5mm)で1回、矢印の方向に回してゆるめます。



- ① 六角ネジ
- ② 付属のT型六角レンチ(2.5mm)

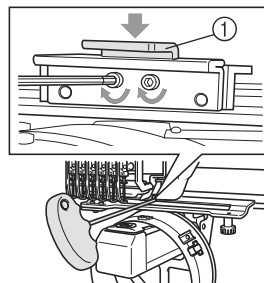


お願い

- 六角ネジは、完全に外さないでください。

3

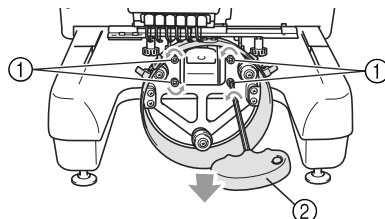
L型取付金具がミシン台にあたるように調整したあと、2本の六角ネジをT型六角レンチ(2.5mm)でしっかりと締め付けます。



- ① L型取付金具

4

リング内側の4本の六角ネジを、付属のT型六角レンチ(3mm)で1回、矢印の方向に回してゆるめます。



- ① 六角ネジ
- ② 付属のT型六角レンチ(3mm)

▶ 六角ネジがゆるむと、リングが下へ下がります。

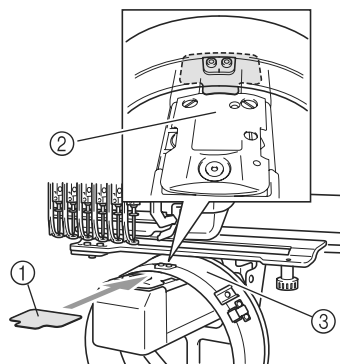


お願い

- 六角ネジは、完全に外さないでください。

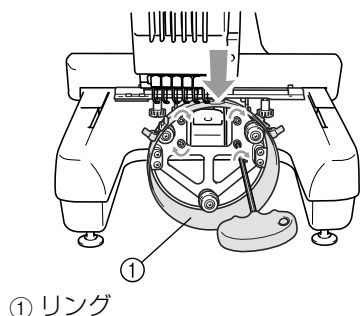
5

調整シートを、ミシン台と帽子枠ドライバーのリングの間に差し込みます。



- ① 調整シート
- ② ミシン台
- ③ 帽子枠ドライバーのリング

- 6** リングを軽く押し下げたあと、リング内側の4本の六角ネジを、T型六角レンチ(3mm)でしっかりと締め付けます。

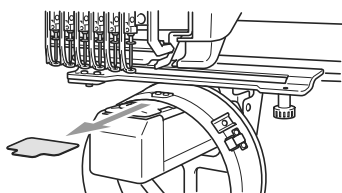


！ 注意



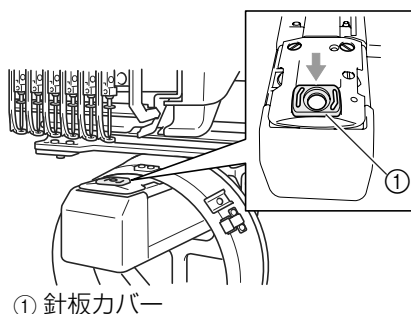
- 六角ネジはしっかりと締め付けてください。ネジがしっかりと締め付けられていないと、帽子枠ドライバーの破損の原因となります。

- 7** 手順⑤で差し込んだ、調整シートを取り外します。



■ 針板カバーを取り付ける

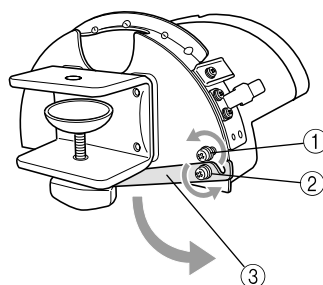
針板に針板カバーを取り付けます。



■ ゲージを準備する

ストッパーを下げ、ゲージを机などに取り付けます。

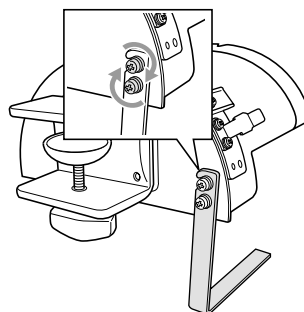
- 1** プラスドライバーで2本のネジをゆるめ、ストッパーを矢印の方向へ下げます。



- ① ストッパーのミゾが挟めるように、ネジ頭が浮くまでゆるめます。
- ② ストッパーが動くまでゆるめます。
- ③ ストッパー

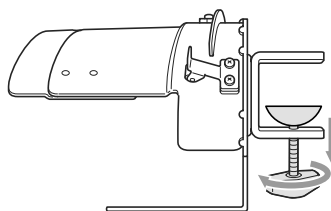
- 2** 2本のネジを締め付けます。

- ストッパーのミゾがいっぱいまで挟み込まれていることを確認してください。



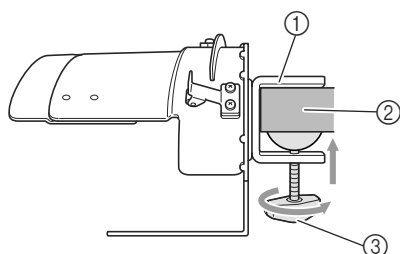
ゲージを机のような安定した取付面に付けます。

- 3** ゲージのつまみボルトをゆるめ、取付箇所厚みより大きめに取付金具を開きます。



- 取付金具は厚さ9mm～38mmまで取付可能です。

4 取付金具を取付箇所にはめ込んで、つまみボルトを締めます。



- ① 取付金具
- ② 取付プレート（作業台、机など）
- ③ つまみボルトを締めます。

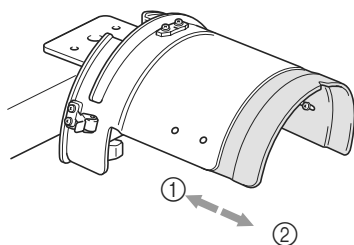
5 ガタつきがないか、確認します。 ガタつくときは、取り付け直します。



お願い

- 取付金具は十分にはめ込み、つまみボルトをしっかり締め付け、確実に取り付けてください。
- 強度の弱い箇所（しなる、曲がる、反る）には、取り付けしないでください。
- ゲージを外すときは、落下に注意してください。

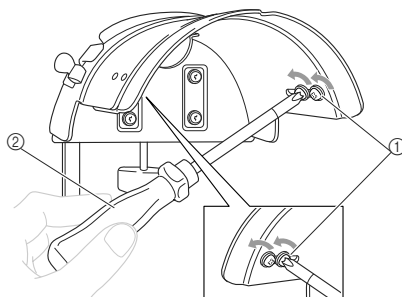
6 帽子のタイプに合わせてゲージのサイズを切り替えます。



- ① ロープタイプ(球面型)
- ② 標準タイプ(円筒型)

■ 標準タイプの場合

- ゲージ内側の調節ネジ4本(左右とも)を、プラスドライバーで1回、回してゆるめます。

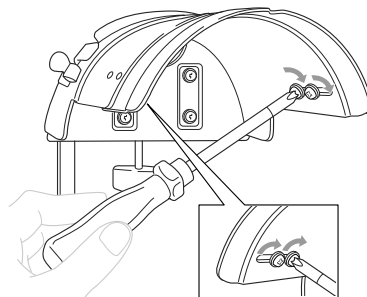


- ① 調節ネジ
- ② プラスドライバー



お願い

- 調節ネジ4本(左右とも)は、完全に外さないでください。紛失するおそれがあります。少しゆるめる程度に回してください。
- ゲージを手前に引き、調節ネジ4本(左右とも)をプラスドライバーで締めます。



▶ ゲージの準備ができました。

帽子枠のセットのしかた

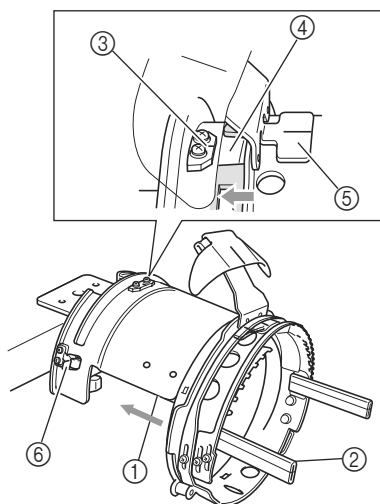
基本操作 → (4ページへ) → の順にキーを押すと、帽子枠への帽子の張り方、帽子枠のセットの手順を動画で見ることができます。(P.156 参照)

ゲージにセットした帽子枠に帽子をセットし、ゲージから帽子枠を外します。そして、帽子枠を帽子枠ドライバーに取り付けます。

■ 帽子枠をゲージにセットし、帽子を帽子枠にセットする

1 ゲージに帽子枠をセットします。

ゲージの端面と帽子枠の支柱を合わせ、帽子枠を押し込みます。



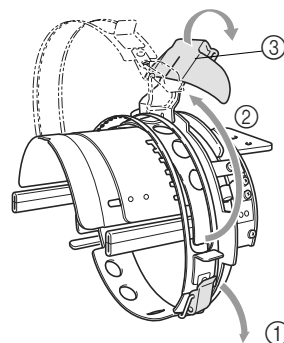
- ① ゲージの端面
- ② 帽子枠の支柱

● 押し込むときに、ゲージの台形金具と帽子枠の切り欠きを合わせます。

- ③ ゲージの台形金具
- ④ 帽子枠の切り欠き
- ⑤ アセトリ留め
- ⑥ 留具

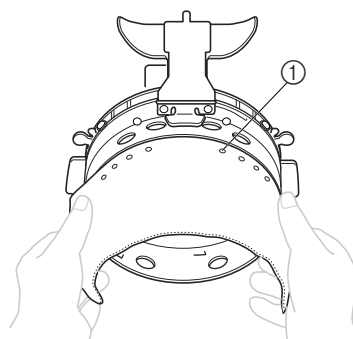
▶ 2つの留具で帽子枠が固定されます。

2 帽子枠のパチン錠を外し、フタ枠を開きます。ヒサシ押えも開きます。



- ① パチン錠を外します。
- ② フタ枠を開きます。
- ③ ヒサシ押え

3 帽子枠のツメに接着芯を固定します。

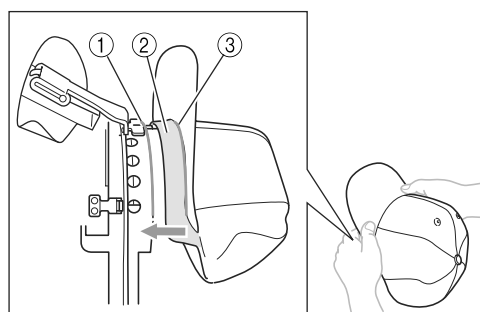


- ① ツメ

● 接着芯からツメが出るように、しっかりと固定してください。

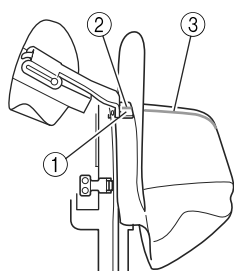
4 帽子内側のアセトリを立て、帽子を帽子枠にかけます。

帽子の両サイドを両手で持ち、下枠の奥のヘリとヒサシの付け根を合わせます。



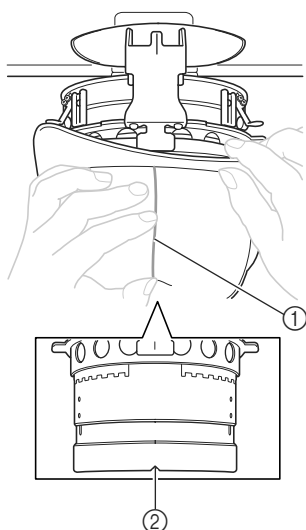
- ① 下枠の奥のヘリ
- ② アセトリ
- ③ ヒサシの付け根

このとき、帽子の中心線と帽子枠のアセトリ留めの中心線を合わせながら、アセトリをアセトリ留めの下側にもぐりこませます。



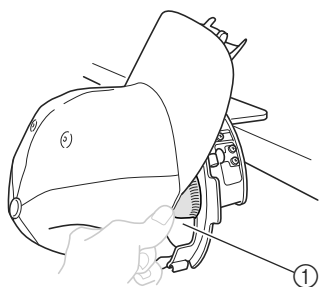
- ① アセトリ留め
- ② アセトリ留めの中心線
- ③ 帽子の中心線

5 帽子の中心線とゲージの凹みを合わせます。



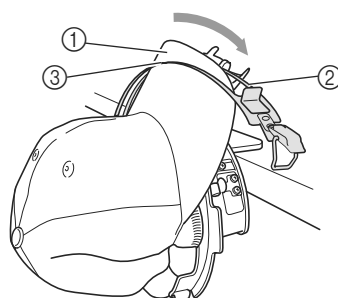
- ① 帽子の中心線
- ② ゲージの凹み

6 帽子のアセトリを帽子枠の切り欠き部の内側に入れます。



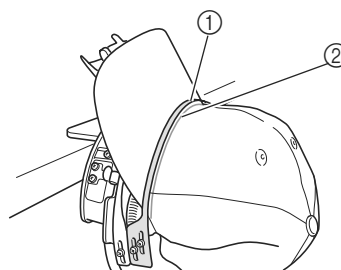
- ① 帽子枠の切り欠き部

7 帽子のヒサシを、内側のフタ枠と外側のフタ枠の間に挟むようにして、フタ枠を閉じます。



- ① ヒサシ
- ② 内側のフタ枠
- ③ 外側のフタ枠

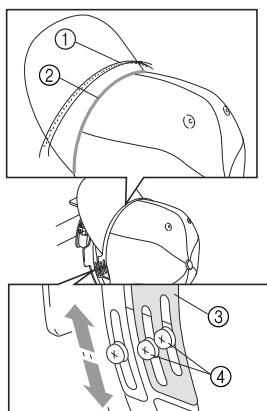
8 フタ枠の歯と帽子のヒサシの付け根をきれいに合わせます。



- ① フタ枠の歯
- ② ヒサシの付け根

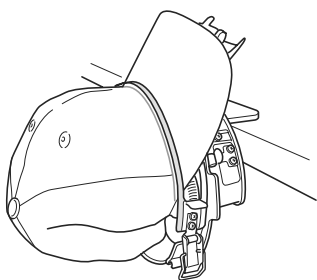
お知らせ

- 帽子の形状に合わせて、フタ枠の歯が帽子のヒサシの付け根にぴったり合うように、外側のネジ2本をゆるめて外側のフタ枠の位置を調整することができます。

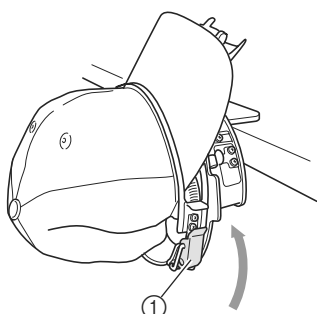


- ① フタ枠の歯
- ② ヒサシの付け根
- ③ 外側のフタ枠
- ④ 外側のネジ

9 反対側も同様に合わせます。



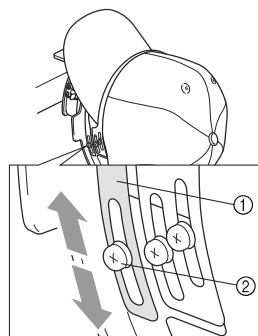
10 パチン錠の留金具を留めます。



- ① パチン錠の留金具

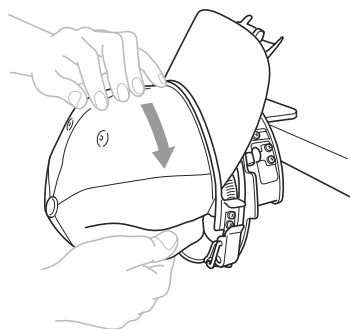
お知らせ

- 帽子の布地が厚くてフタ枠が閉まらない場合や、布地が薄くてフタ枠の閉まりがゆるい場合は、内側のネジをゆるめて内側のフタ枠を調整することができます。

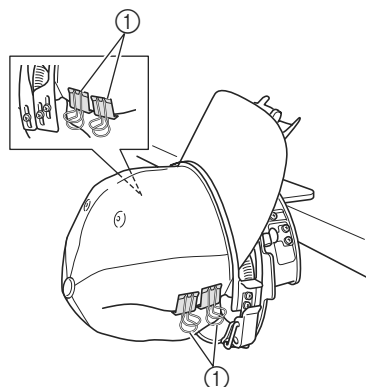


- ① 内側のフタ枠
- ② 内側のネジ

11 帽子の中央から端に向かってたるみを取り除きます。



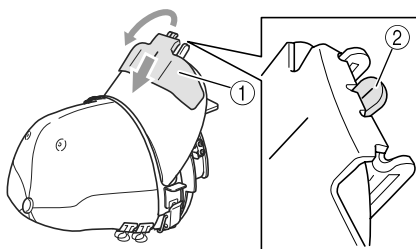
12 クリップで帽子を固定します。



- ① クリップ

- 反対側も手順 11 ~ 12 と同様に、たるみを取り除き、クリップで固定します。

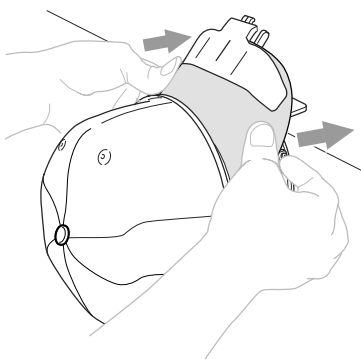
- 13** ヒサシ押えをいっぱいまで持ち上げて、ヒサシにかぶせます。ヒサシがヒサシ押えにもぐり込んだら、ヒサシ押えを下げます。



- ① ヒサシ押え
② ヒサシ押えの中心線

● ヒサシ押えの中心線が見えるまで、ヒサシ押えはしっかりと下げてください。

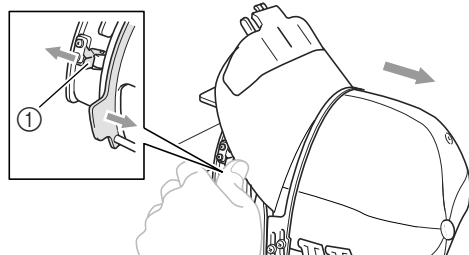
- 14** 図のように、ヒサシがふくらまないように、両手で形を整えます。



▶ これで帽子が帽子枠にセットできました。

- 15** 帽子枠をゲージから取り外します。

図のように、ゲージの2つの留具を両手の親指で押え、刺しゅう枠を引き抜きます。



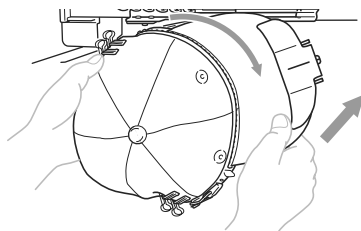
- ① 留具

■ 帽子枠をミシンにセットする

帽子枠をミシンにセットするには、帽子枠ドライバーが必要です。帽子枠をミシンにセットする前に、キャリッジに帽子枠ドライバーを取り付けてください。(P.175「帽子枠ドライバーを取り付ける」参照)

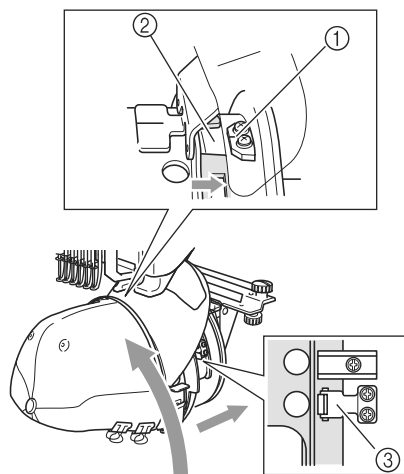
- 1** 帽子枠ドライバーに帽子枠をセットします。

帽子のヒサシがミシンに当たらないように、図のように縫製面を横にして入れます。



● 帽子枠が押えなど周りの部品に当たらないよう、注意してください。

刺しゅう面が上になるよう帽子枠を起こした後、帽子枠ドライバーの輪と帽子枠の輪を合わせます。左右にずらしながら、帽子枠ドライバーの台形金具と帽子枠の切り欠きを合わせ、帽子枠を押し込みます。



- ① 帽子枠ドライバーの台形金具
② 帽子枠の切り欠き
③ 留具

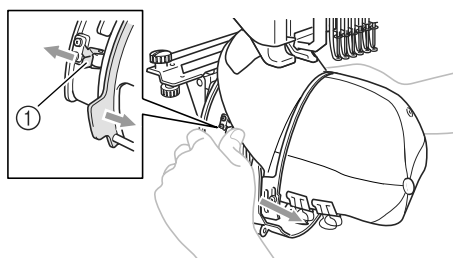
▶ 2つの留具で帽子枠が固定され、帽子枠がセットできました。これで、刺しゅうをぬうことができます。

■ 帽子枠の外し方

ぬい上がったら、帽子枠を取り外し、帽子を外します。

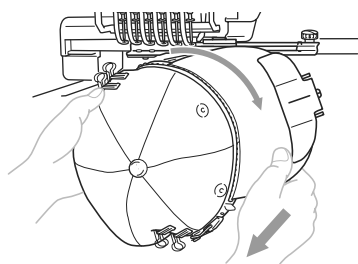
1 帽子枠を帽子枠ドライバーから取り外します。

図のように、帽子枠ベースの2つの留具を両手の親指で押え、刺しゅう枠を引き抜きます。



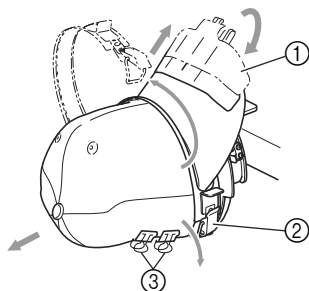
① 留具

帽子のヒサシがミシンに当たらないように、図のように縫製面を横にして取り外します。



● 帽子枠が押えなど周りの部品に当たらないよう、注意してください。

2 ヒサシ押えを外した後、帽子枠のパチン錠を外し、最後にクリップを外して帽子を外します。

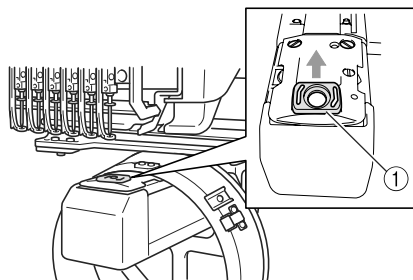


① ヒサシ押え
② パチン錠
③ クリップ

台枠の取り付け方

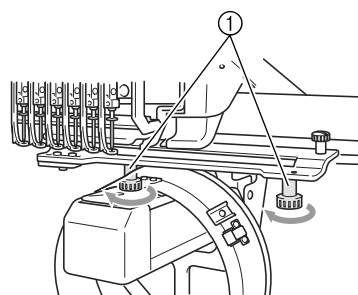
帽子枠を使い終わったら、針板カバーと帽子枠ドライバーを外し、台枠を取り付けます。

1 針板カバーを取り外します。



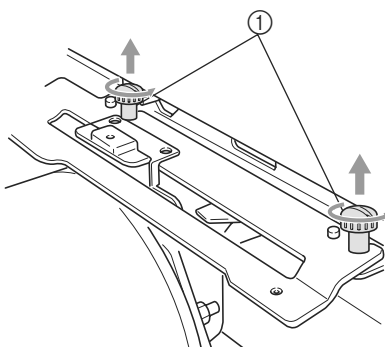
① 針板カバー

2 下の2本のつまみボルトをゆるめます。



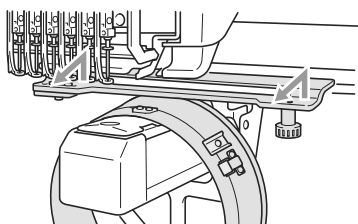
① つまみボルト

3 上の2本のつまみボルトを外します。



① つまみボルト

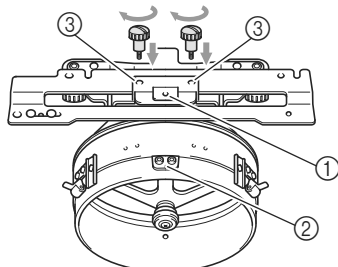
4 帽子枠ドライバーを取り外します。



お願い

- 帽子枠ドライバーが押えなど周りの部品に当たらないよう、注意してください。

5 帽子枠ドライバーのアセトリ留めの穴と台形金具の中心線の位置を合わせ、天面の穴に、手順③で外した2本のつまみボルトを締め付けます。

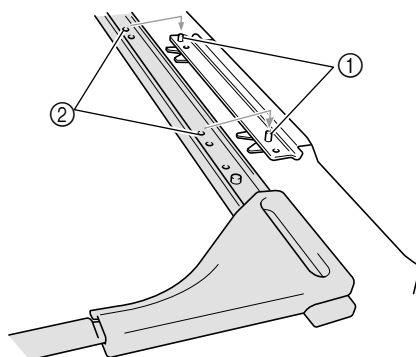


- ① アセトリ留めの穴
- ② 台形金具の中心線
- ③ 天面の穴

- つまみボルトが元々付いていた帽子枠ドライバーの穴（P.175 手順②で外した穴）に締め付けます。

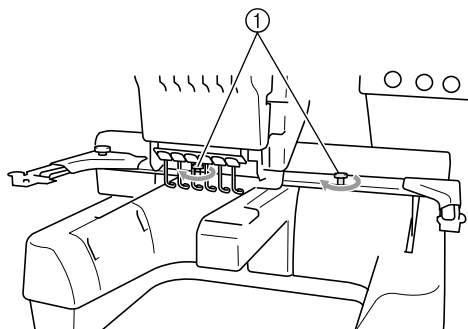
▶ 帽子枠ドライバーの可動部が固定されます。

6 Xキャリッジのピンと台枠の穴を合わせ、2本のつまみボルトで留めます。



- ① Xキャリッジのピン
- ② 台枠の穴

7 刺しゅう枠ホルダーを2本のつまみボルトで固定します。



- ① ミシン付属のつまみボルト（P.175 手順①で外したつまみボルト）を使います。



注意

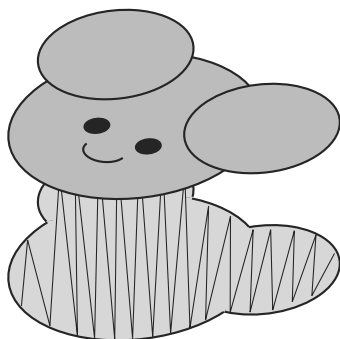


- つまみボルトは、付属の針板ドライバーで確実に締めてください。

刺しゅうデータ作成上の注意

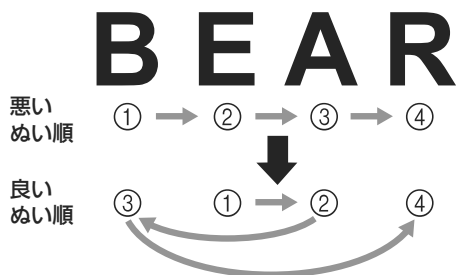
布じわや布縮みによる柄ずれを防ぐため、帽子用の刺しゅう模様データを作成するときに、次の点に注意してください。

1 必ず、地ぬい(下打ち)を入れます。



2 中心から左右両サイドに向かってぬわれるよう、ぬい順、ぬい方向を指定します。

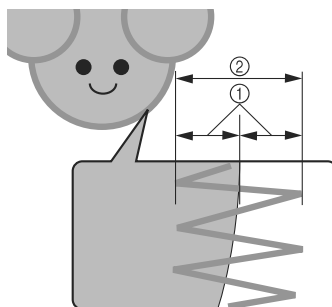
このミシンでは、模様の組み合わせ時に模様を選んだ順が、ぬい順となります。下記の例の場合は、「E」→「A」→「B」→「R」の順で模様を選び、「BEAR」と配置してください。



お願い

- 端から端への単方向でぬわないでください。布じわや布縮みの原因となります。

3 模様の輪郭をフチぬいするときは、模様 に1mm以上重なるよう、サテンぬいの ぬい幅を2mm以上に指定してくださ い。また、1模様(文字)ごとにフチぬいを 行い、渡り糸の処理をすると、より確実 に仕上がります。

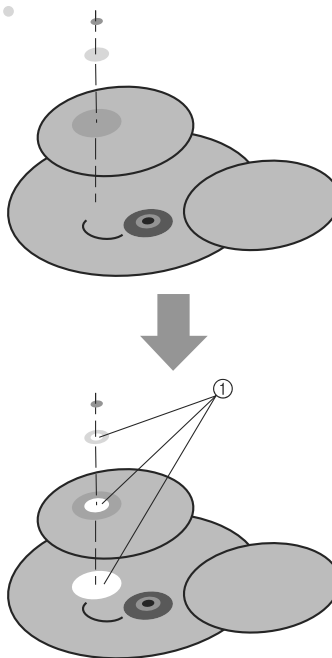


- ① 1mm以上
- ② 2mm以上

! 注意



- 4回以上の重ねぬいはしないでください。



- ① 重なっている部分をぬわないよう、データ作成時に注意してください。

お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の原因となる場合がありますので、いつも清潔にしておきましょう。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふき取ってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

本体表面の掃除

軽い汚れは、やわらかい乾いた布でふき取ります。ひどい汚れは、中性洗剤を薄めて布に浸して固くしぼり、ふき取ります。洗剤でふいたあとは、乾いた布でふき取ります。

！ 注意



- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。



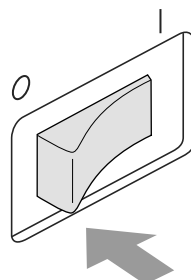
お願い

- ベンジン、シンナーなどは絶対に使わないでください。

釜の掃除

釜には糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良になる場合があります。定期的に掃除してください。付属のミシンブラシを用意します。

- 1 電源スイッチの“O”側を押し、電源を切ります。

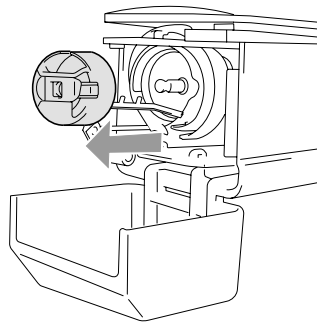


！ 注意

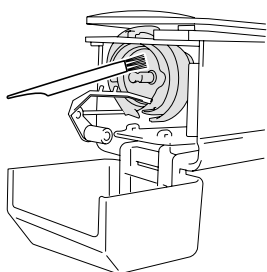


- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

- 2 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。(P.20 参照)



- 3 付属のミシンブラシで、釜周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

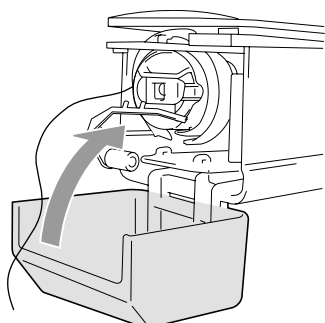


！ 注意



- 釜に傷が付いているときは、お買い上げの販売店で買い求めください。

- 4 掃除が終わったら、ポビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P.25 参照)

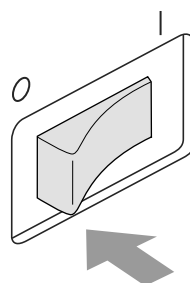


針板まわりの掃除

移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に糸くずやほこりがたまると、糸切り不良が発生したり、部品が破損するおそれがあります。月に1回は掃除してください。

Z型ドライバー、付属のミシンブラシを用意します。

- 1 電源スイッチの“O”側を押し、電源を切ります。



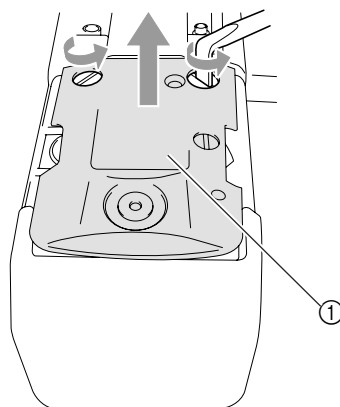
！ 注意



- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

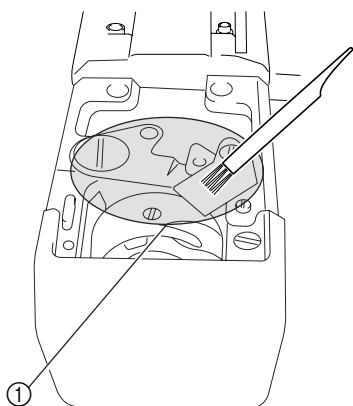
- 2 針板を外します。

Z型ドライバーでネジをゆるめ、針板を外します。



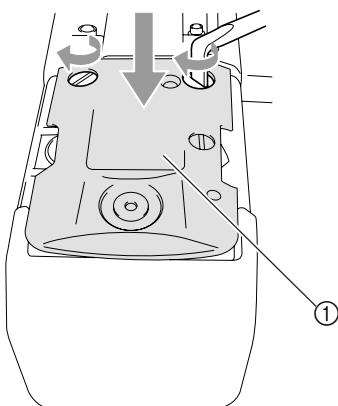
① 針板

- 3** 付属のミシンブラシで、移動刃、固定刃、糸保持板の周囲糸くずやほこりを取り除きます。



① このまわりの糸くずを除去します。

- 4** 掃除が終わったら、手順②と逆の手順で針板を取り付けます。



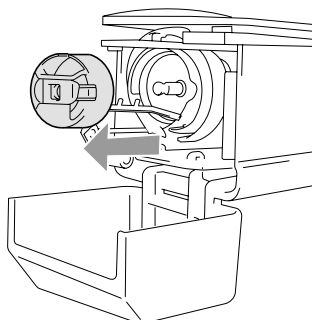
① 針板

ボビンケースの掃除

ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸のワックスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原因となります。そのため、ボビンを交換するときは毎回掃除してください。

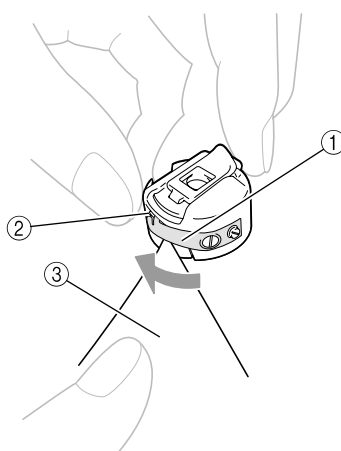
名刺と同等の厚さの紙を用意します。

- 1** 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出し、ボビンを取り出します。(P.20 参照)



- 2** 調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをかき出します。

糸穴の周辺は、紙の角でこするようにしてゴミをかき出します。



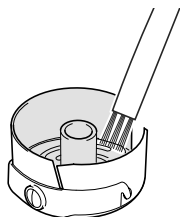
- ① 調子バネ
- ② 糸穴
- ③ 紙



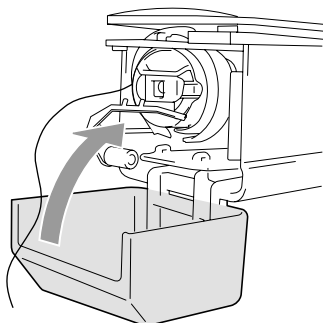
お願い

- 調子バネを曲げないように注意してください。また、厚紙や、定規など紙以外のものでも掃除をしないでください。

- 3** 付属のミシンブラシで、ボビンケース内側の糸くずやほこりを取り除きます。



- 4** 掃除が終わったら、ボビンケースを入れ、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P.25 参照)



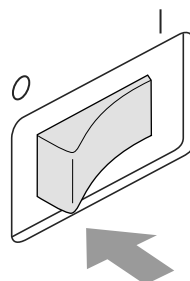
ミシンに注油する

機械部品の寿命を延ばし、正常に動作するために注油が必要です。初めて使うときは、その前に必ず注油してください。

その後は、毎日ミシンをご使用になる前に、釜のレース部に一滴注油してください。

■ レース部に注油する

- 1** 電源スイッチの“O”側を押し、電源を切ります。

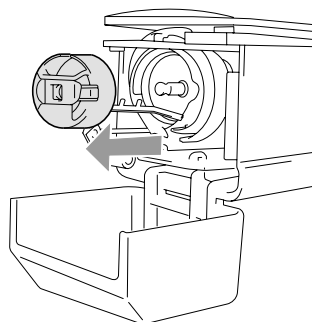


! 注意

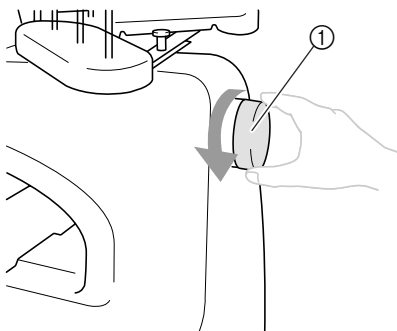


- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

- 2** 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。(P.20 参照)



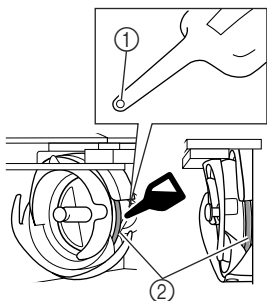
- 3** プーリーを回し（約50度）、釜のレース部を注油しやすい位置にします。



① プーリー

● プーリーは反時計回りに回してください。

- 4** 釜のレース部に、1 滴注油します。

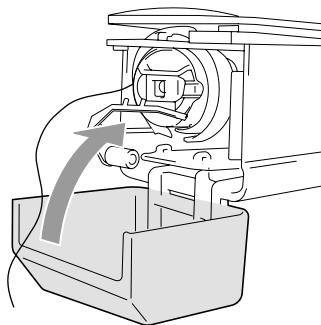


① 小さい穴を開けます。

② この部分に注油します。

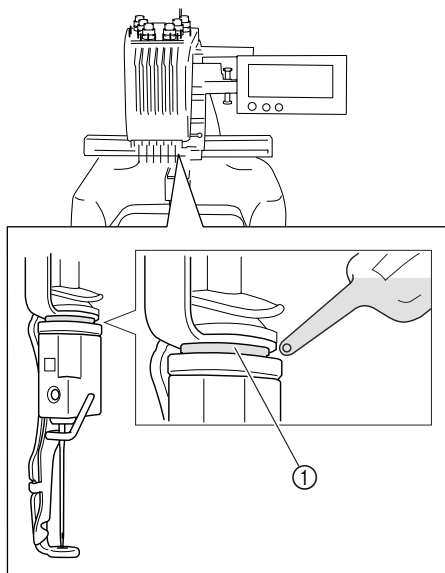
● 付属の油差しの先に、小さい穴を開けてから注油してください。

- 5** 注油し終わったら、ポビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。（P.25 参照）



■ 針棒に注油する

縫製画面で、針棒を1本ずつ選び、ロック位置まで下げます。(P.76 参照) 図のように、針棒のフェルト部に一滴注油してください。



① フェルト部



お願い

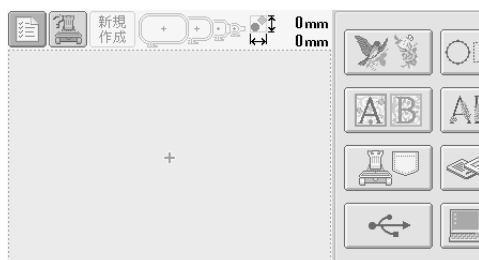
- 毎日、釜のレース部に一滴注油してください。
- ミシンを40～50時間ご使用すごとに、針棒のフェルト部に一滴注油してください。
- 注油にはミシン用油を使用してください。その他の油を使用すると、故障の原因となります。
- 油をさしすぎると、生地や糸の汚れの原因となりますので注意してください。油をさしすぎた場合は、布地等でふき取ってください。
- 縫製時に糸切れ不良が発生したり、釜の動作音が増大したりしたら、釜のレース部に注油してください。

困ったとき

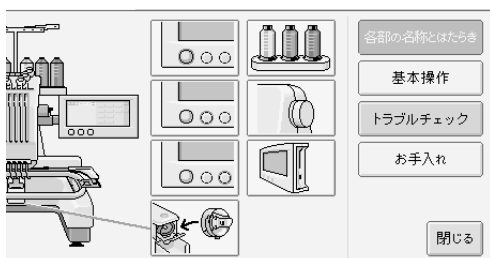
トラブルチェック機構

このミシンには、ぬっていて困ったときのために簡単なトラブルチェック機構がついています。あてはまる項目を押して、原因を確かめてください。

1 を押します。



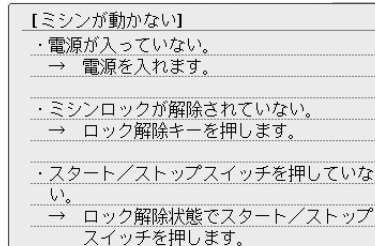
2 **トラブルチェック** を押します。



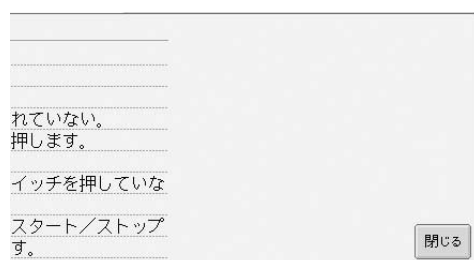
3 **トラブルの内容に当てはまる項目を選びます。**



4 表示されたチェック項目を点検してください。



5 確認し終わったら、**閉じる** を押します。



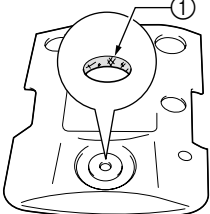
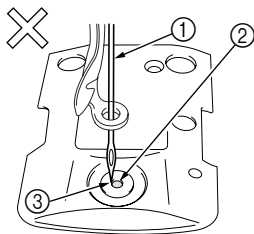
6 **閉じる** を押します。

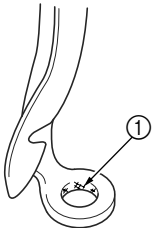
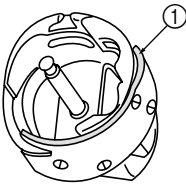


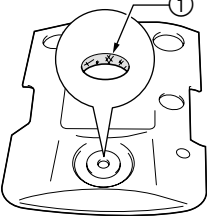
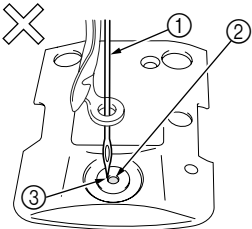
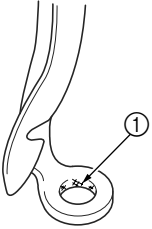
▶  を押す前の状態に戻ります。

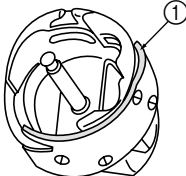
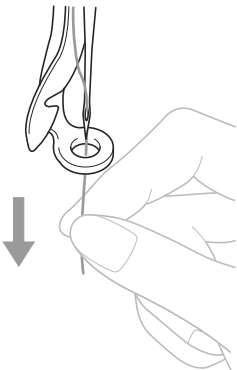
トラブルチェック

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に以下の項目を確認してください。
それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはお客様 Sew^相 談室(フリーダイヤル0120-332-392)にご相談ください。

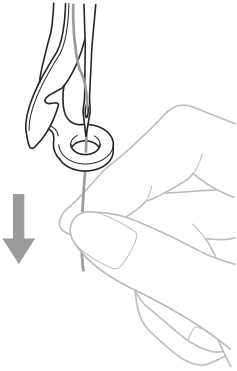
こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
ミシンが動かない	電源が入っていない。	電源を入れます。	P.26
	ミシンロックが解除されていない。	ロック解除キーを押します。	P.47
	スタート/ストップスイッチを押していない。	ロック解除状態でスタート/ストップスイッチを押します。	P.47
針が折れる	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	P.67
	針の止めネジがゆるんでいる。	針交換ドライバーを使って止めネジをしっかり締めます。	P.67
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	P.17, 67
	針板の穴の周辺に傷がある。 	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew ^相 談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。	
	針板の穴に針が接触している。 	針を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew ^相 談室 (フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。	
	押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew ^相 談室(フリーダイヤル 0120-332-392)にご相談ください。	

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
針が折れる	押えの穴の周辺に傷がある。  ① 傷	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室（フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	釜の糸すべり面に傷がある。  ① 糸すべり面	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室（フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	釜が正しくセットされていない。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	釜止めが正しくついていないため、内釜が回っている。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	上糸正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。	上糸を押えの下から手で引いて、スムーズに糸が出るか確認します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が針棒糸案内にかかっていることを確認します。	P.41 ~ 44
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P.90
	このミシン専用のボビンを使用していない。	このミシン専用のボビンを使用します。	P.17
	針と釜の出合が正しくない。	釜の調整が狂っています。お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	針棒ケースにガタ（前後・左右）つきがある。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[※] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。	当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正します。	P.104

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	P.67
	針の止めネジがゆるんでいる。	針交換ドライバーを使って止めネジをしっかりと締めます。	P.67
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	P.17, 67
	針板の穴の周辺に傷がある。 	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	針板の穴に針が接触している。 	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	押えの穴の周辺に傷がある。 	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	金属製の糸など、弱い糸を使用している。	縫製速度を遅くします。	P.95

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	釜の糸すべり面に傷がある。  ① 糸すべり面	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	糸がからまって、釜などに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。釜に詰まっていた場合は、掃除します。	P.187
	外釜と内釜の遊びが大きい。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	外釜がスムーズに回転していない。	糸くずを取り除いて掃除し、注油します。	P.187、 190
	釜止めと釜のすき間調整ができていない。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	上糸が正しくかけられていない。 	上糸を押えの下から手で引いて、スムーズに糸が出るか点検します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっています。上糸を正しくかけ直します。糸が糸案内の正しい位置を通っていることを確認します。	P.41 ~ 44
	上糸が糸道上または糸道中の糸案内を通っていない。	糸が正しく糸道上または糸道中の糸案内を通っていることを確認します。	P.42 ~ 43
	糸に結び目やこぶがある。	その部分を取り除きます。	
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P.90
	下糸調子が適当でない。 ボビンケースから糸がスムーズに出ていない。	正しい下糸調子にします。	P.89
	ボビンケースに傷がある。	新しいボビンケースと交換します。	P.17
	下糸が正しく巻かれていない。	ボビンの径に対して80%の巻き量で、糸が平均に巻かれているか点検します。正しく巻かれていない場合は、正しく巻かれているボビンと交換するか、糸を巻き直します。	P.17
	このミシン専用のボビンを使用していない。	このミシン専用のボビンを使用します。	P.17

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	自動針穴糸通し装置が破損している。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew^相 談室 (フリーダイヤル 0120-332-392) にご相談ください。	
	針に粘着剤などが付着している。	針を交換します。	P.67
	布地の張りが弱い。	たるみの無いようにしっかりと布地を 刺しゅう枠に張り直します。	P.34, 71
	糸の品質が悪い。	撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の 良い糸と交換します。	
	刺しゅうデータにゼロステッチが含まれている。	ゼロステッチを削除します。	P.154
	刺しゅうデータが非常に細かいぬい ピッチが連続して作られている。	小ピッチステッチを削除します。	P.154
	刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3 回以上の重ねぬいをしている。	当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PROなど）で、刺しゅうデータの糸密 度や重ねぬい設定を修正する。	P.104
下糸が切れる	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P.25
	ボビンに傷があり、回転がなめらか でない。	ボビンを交換します。	P.20
	ボビンケースに傷がある。	ボビンケースを交換します。	P.20
	糸がからまっている。	からんだ糸を取り除き、釜を掃除しま す。	P.187
	このミシン専用のボビンを使用してい ない。	このミシン専用のボビンを使用してく ださい。	P.17
ぬい目がとぶ	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を正しく通します。	P.41
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針と交換します。	P.17, 67
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	P.67
	針板の下や釜にほこりなどがたまって いる。	針板の下や釜を掃除します。	P.187, 188
	針と釜の出合が正しくない。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew^相 談室 (フリーダイヤル 0120-332-392) にご相談ください。	
	糸のねじれが強すぎる、またはゆる すぎる。	ねじれが適切で いと、正しいループ の形ができません。新しい糸こまを使 用します。	
刺しゅう模様が くずれる	糸がからまっている。	釜などにからんだ糸をピンセットなど で取り除きます。	
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られて いない。(布地の張り方がゆるいなど)	布地の張り方がゆるいと、模様くずれ やぬい縮みの原因となります。刺しゅう 枠に布地を正しく張ります。	P.34, 71
	刺しゅうのサイズに対して大きい刺 しゅう枠を使用している。	刺しゅうの大きさに合った刺しゅう枠 を使用します。	P.69

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
刺しゅう模様がくずれる	接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。 <帽子枠使用时> やわらかい素材の帽子の場合は固めの芯を使用します。	P.70
	刺しゅう枠が正しくキャリッジにセットされていない。	刺しゅう枠を正しくキャリッジにセットします。台枠の左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認します。	P.36
	キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつされると模様くずれの原因となります。刺しゅう枠が動く範囲には物を置かないようにします。	
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	
	刺しゅう枠を取り外している途中でキャリッジが動いた。	ぬっている途中で押えに物がぶつかったり、キャリッジが動いたりすると模様くずれの原因となります。 ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。 キャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直します。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。	
	デザインが正しく作成されていない。	伸縮性のある布や毛羽立った布を使用するときと同様に、デザインを伸ばして補正したり下張りを使用する必要があります。	
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）	上糸調子が弱い。 	押えの穴に上糸を通した後、手で糸を引いて糸調子を確認します。迷う場合は浮き目が発生していない他の針棒と比較してみましょう。	P.90

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）	糸調子つまみの締め込み量に見合った糸調子になっていない。	糸調子が出ていない場合は、糸調子つまみの前後にあるサブテンションの糸調子皿に、糸のワックスやゴミが入って糸調子皿が浮いている場合がありますので、掃除します。	
	糸の品質が悪い。	他の糸に替えてぬってみましょう。糸を替えて問題がなければ、糸の品質に原因あります。品質の良い糸と交換します。	
ぬっているときの音が高い ガタガタと音がする	釜の部分に糸くずが巻きこまれている。	釜の掃除をします。	P.187
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	P.41
	釜に傷がある。	釜を交換します。 お買い上げの販売店、または お客様 Sew 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
	注油が不足している。	注油します。	P.190
自動糸通しができない	針が正しい位置にない。	針棒移動キーを押して、糸通しをしたい針棒を縫製位置に移動します。	P.46
	このミシン専用の針を使っていない。	このミシン専用の針と交換します。	P.17, 67
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	P.17, 67
	自動針穴糸通し装置の糸通し用のフックが曲がっている。	お買い上げの販売店、または お客様 Sew 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。	
糸調子が合わない	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を調べて通し直します。	P.41
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P.25
	下糸の糸調子が合っていない。	下糸の糸調子を調節します。	P.89
刺しゅうを始めたとき、上糸が針からはずれる	糸切り後に針穴に残る上糸の長さが短い。	設定画面の2ページで、糸切り後に残る上糸の長さを「長い」に設定します。	P.154
刺しゅうを始めたとき、上糸が下糸に届かない	下糸がない、ボビンから下糸が送られない、または送られた糸が短すぎる。	ボビンを正しくセットします。	P.25
糸が切れていないのに、糸切れエラーになりミシンが停止する	回転調子皿にかかっている糸が外れ、回転調子皿にある糸切れセンサーが糸送りを感知できず、糸切れエラーが起きてミシンが停止した。	回転調子皿に正しく糸をかけます。再度糸をかけ直しても糸切れエラーが起きる場合は、センサーが破損している可能性があります。お買い上げの販売店、または お客様 Sew 談室 （フリーダイヤル 0120-332-392）にご連絡ください。	P.43

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
布に針による傷か穴がある	針がとがっていない。	針を交換します。針がとがっていないと布を押し下げ、布に傷がつきます。	P.17, 67
	布が弱すぎる。	弱い布は、針が通るだけで破損することがあります。布の表面に接着芯を使用します。	P.171
布にしわが寄っている	糸調子が強すぎる。	布の種類と使用する糸に応じて、糸調子を調節します。特にポリエステル製の糸は、糸調子を強くすると伸びやすくなります。縫製が終わると、糸が元に戻りぬいしわの原因となります。	P.89, 90
	枠の取り付け方が正しくない。	伸縮性のない織物などは、枠をきつめに取り付けます。取り付け方が弱いと布にこぶができることがあります。やわらかいニット地には、安定した裏張りを使ってしっかりと伸ばし、枠を取り付けます。布を伸ばしすぎると、枠を外したときにしわが入ることがあります。	P.171
	縦ぬいが長すぎる。	全体ぬい、または多数列の縦ぬいでデザインし直します。	
	針がとがっていない。	針を交換します。針がとがっていないと布を押し下げ、布に傷がつきます。	P.17, 67
	デザインが細かすぎる。	特定部分のぬい目が多くなりすぎると、布にしわが入ることがあります。5～10%程度ぬい目の数を減らします。	
液晶画面が見にくい	液晶コントラストが合っていない。	画面の調整をします。	P.146

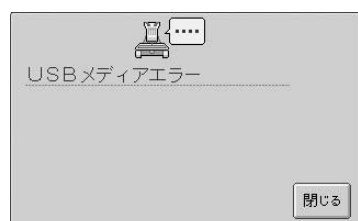
注意

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態で、ミシンロック解除後スタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。
- 運転中に停電が発生した場合
 - 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - 再度、運転する場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

エラーメッセージ

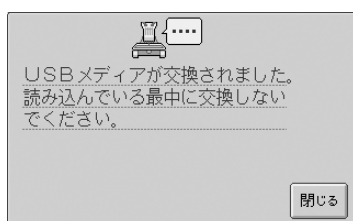
ミシンが正しく準備できていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、「閉じる」を押すか、正しい操作をしてから「閉じる」を押すと消えます。エラーメッセージが再発する場合は、お買い上げの販売店、または お客様 Sew 相談室（フリーダイヤル0120-332-392）にご相談ください。



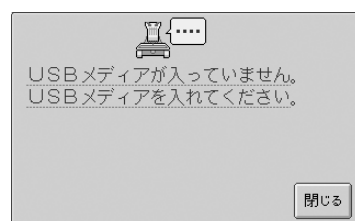
USB メディアエラー

「閉じる」を押して、もう一度操作してください。または、USBメディアが破損している可能性があります。



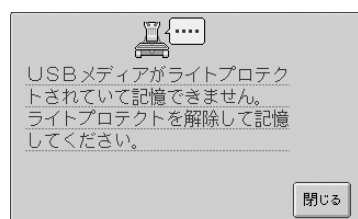
USB メディアの模様一覧画面を表示中に、USB メディアを抜いて、または入れ替えて模様を選んだ

元のUSBメディアを差し込んで模様を選ぶか、新しいUSBメディアの模様一覧画面を表示させて模様を選んでください。



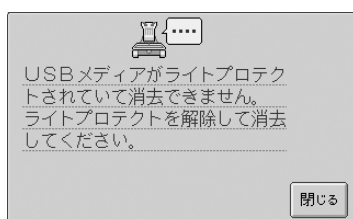
USB メディアが差し込まれていない状態で、「↔」を押した

USBメディアを差し込んでください。(P.121 参照)



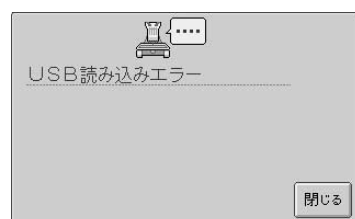
USB メディアがライトプロテクトされている状態で、模様を記憶しようとした

ライトプロテクトを解除して記憶してください。



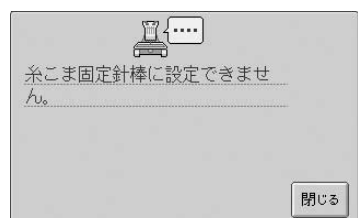
USB メディアがライトプロテクトされている状態で、模様を消去しようとした

ライトプロテクトを解除して消去してください。



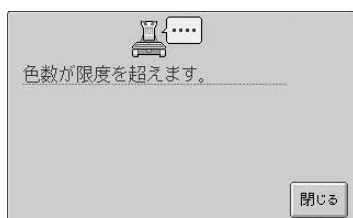
データ転送中にUSBケーブルが抜かれた

データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。(P.119 参照)



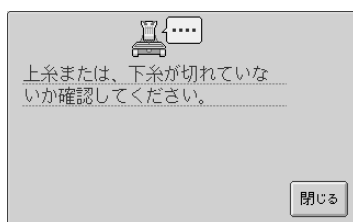
手動針棒設定で6本とも設定しようとした

設定できる針棒の数は5本までです。

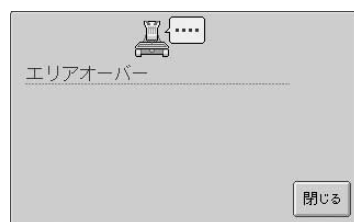


模様の色替えを501回以上しようとした

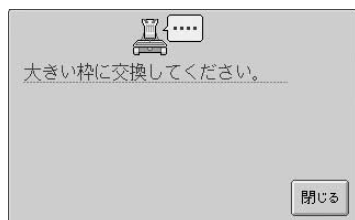
模様の色替えは500回までです。



上糸が切れたり、糸が糸調子つまみや糸案内から外れたりして、上糸が正しく通っていない状態になった糸が糸道と糸道中の糸案内を通過していることを確認し、上糸を正しくかけ直します。(P.41 参照)

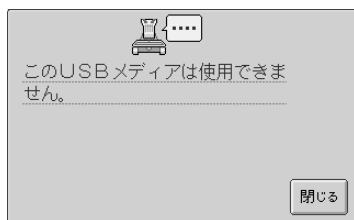


模様が 200mm(H) × 300mm(W) の縫製範囲をはみ出している模様を縫製範囲内に移動させてください。



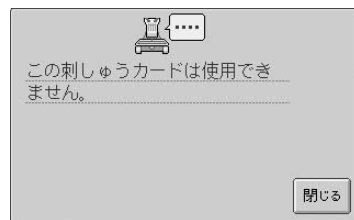
セットしている刺しゅう枠が小さい

使用可能な刺しゅう枠を確認して、大きい枠をセットし直してください。(P.34 参照)

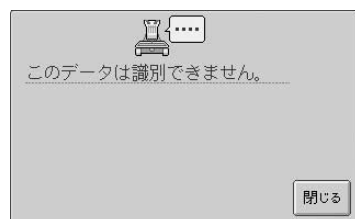


差し込んだ USB メディアは使用できない

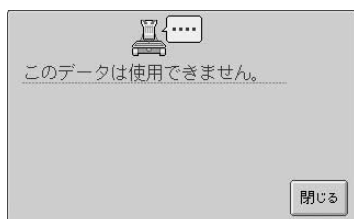
USB メディアを交換してください。



このマシンでは扱えない刺しゅうカードの模様を呼び出そうとした
著作権がある模様の刺しゅうカードの中には、扱えないものがあります。

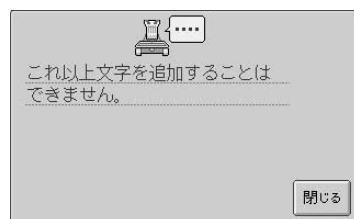


刺しゅうデータを認識できない
刺しゅうデータが破損している可能性があります。



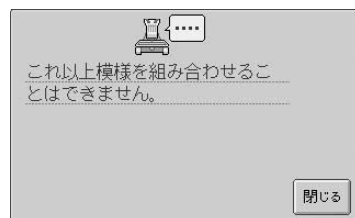
使用できないバージョンの刺しゅうデータを扱おうとした

刺しゅうデータが完全でなかったり、未知バージョンの刺しゅうデータは使用できません。



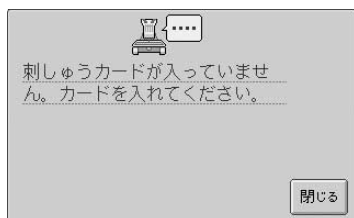
最大縫製エリアからはみ出る文字数を入力した

最大縫製エリア内に納まるよう、入力する文字数を少なくしてください。



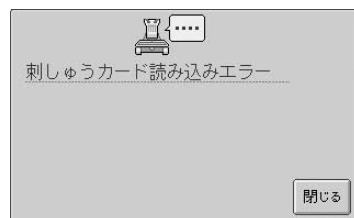
模様を 101 個以上組み合わせようとした

模様の組み合わせは 100 個までです。

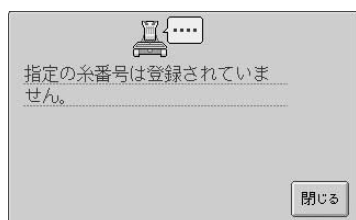


刺しゅうカードが差し込まれていない状態で、

 **を押した**
刺しゅうカードを差し込んでください。(P.116 参照)

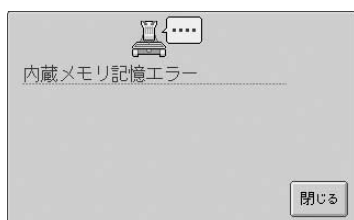


刺しゅうカードの模様が読めない
刺しゅうカードが破損している可能性があります。

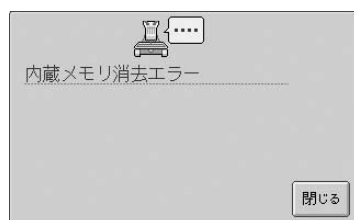


設定しようとした糸色番号が間違っている

ユーザーパレット設定で糸色を設定しようとして入力した番号の糸はありません。番号を確認して再入力してください。

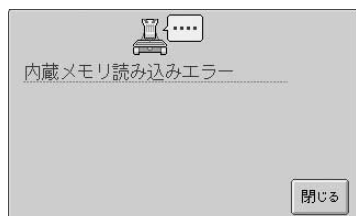


ミシンに模様を記憶できない
内蔵メモリが破損している可能性があります。お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室（フリーダイヤル0120-332-392）にご相談ください。



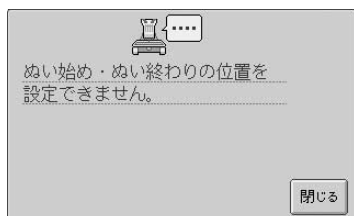
ミシンに記憶した模様が消去できない

内蔵メモリが破損している可能性があります。お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室（フリーダイヤル0120-332-392）にご相談ください。



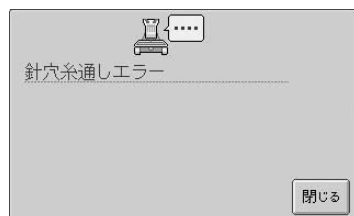
ミシンに記憶した模様呼び出せない

内蔵メモリが破損している可能性があります。お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室（フリーダイヤル0120-332-392）にご相談ください。



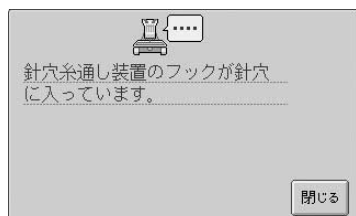
設定したぬい始め位置ではぬうことができない

ぬい始め位置を変更するか、枠を移動して縫製位置を変更してください。（P.93 参照）

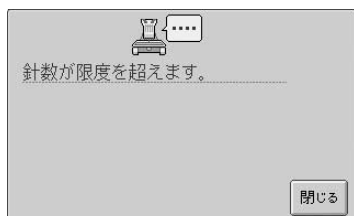


自動針穴糸通し装置が正常に動作しなかった

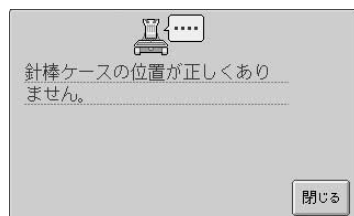
自動針穴糸通し装置に糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、**閉じる**を押します。



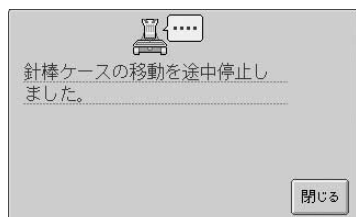
自動針穴糸通し装置で糸を通して途中、他の操作をした
糸通しボタンを押して糸通しを完了してから、次の作業を行ってください。（P.45 参照）



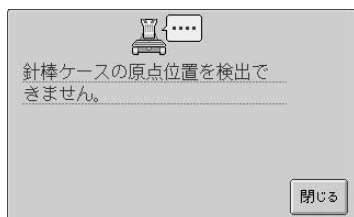
針数が多すぎて、扱えない
針数の制限（50万針）を超えているデータは表示できません。データ作成装置で針数を減らしてください。



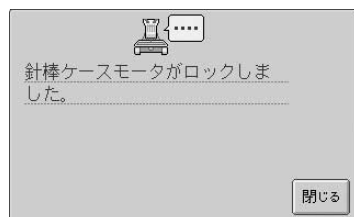
針棒ケース停止位置不良
閉じるを押すと、自動復帰します。



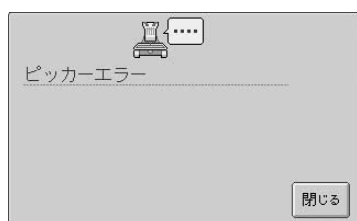
針棒ケースが移動中に、停止した
閉じるを押すと、自動復帰します。



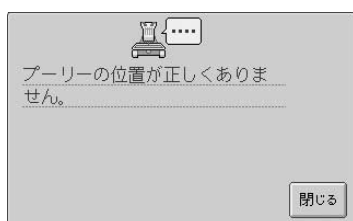
針棒ケースが開始位置に移動できなかった
閉じるを押すと、自動復帰します。



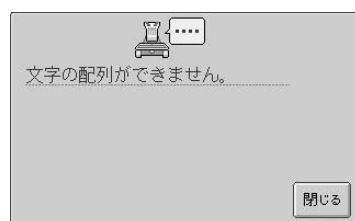
針棒ケースモータロック
閉じるを押すと、自動復帰します。



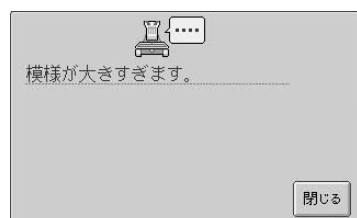
ピッカーが正常に動作しなかった
ピッカーに糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、**閉じる**を押します。



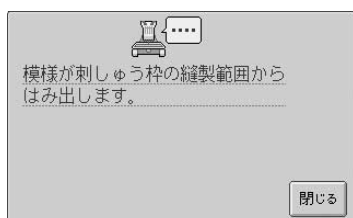
針停止位置不良
プーリーの印が真上にくるように回してから、**閉じる**を押します。



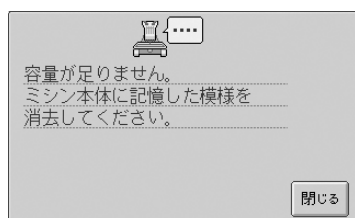
文字数が多くて曲線の配列ができない
文字数を少なくしてください。



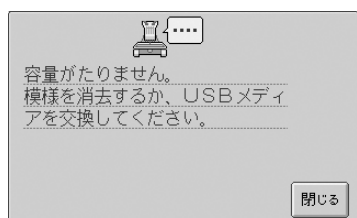
模様が大きすぎる
200mm (H) × 300mm (W) より大きい模様は扱えません。それ以下の大きさに縮小してください。



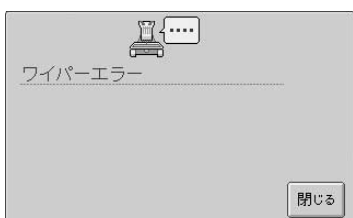
セットされている刺しゅう枠の縫製範囲より模様が大きい
模様より大きい縫製範囲の刺しゅう枠に変えてください。



内蔵メモリがいっぱいで模様が記憶できない
内蔵メモリに記憶されている模様を消去してください。

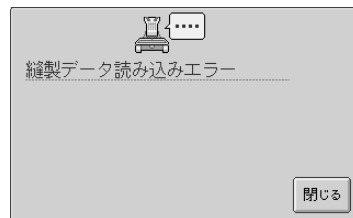
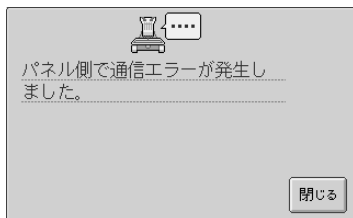
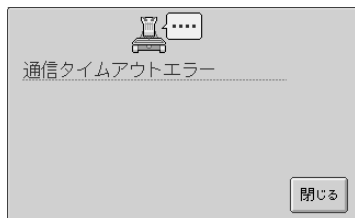
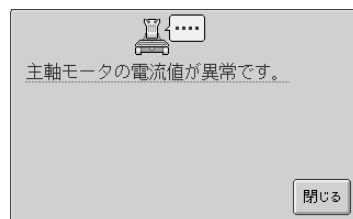
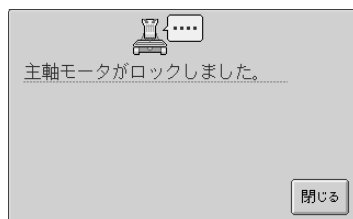
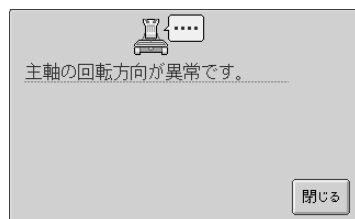
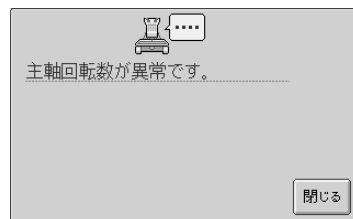
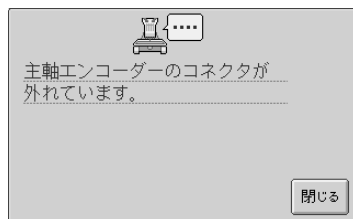
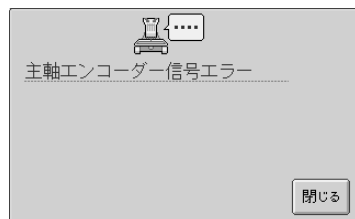
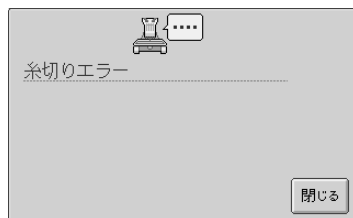
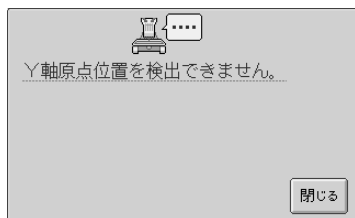
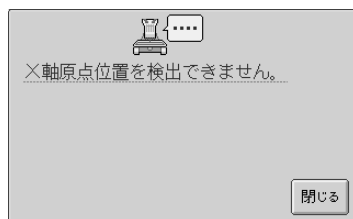
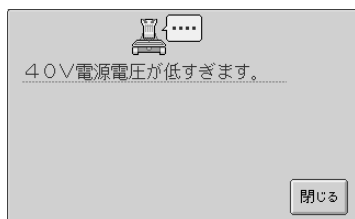
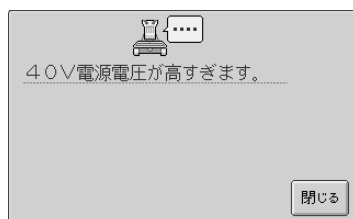
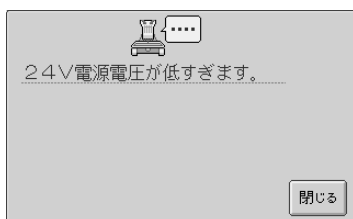
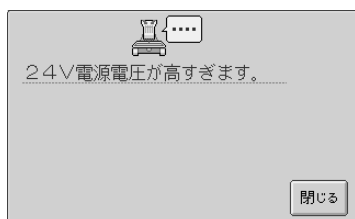


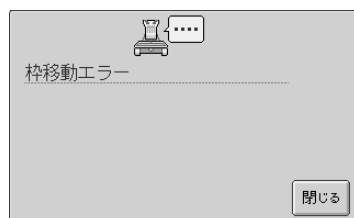
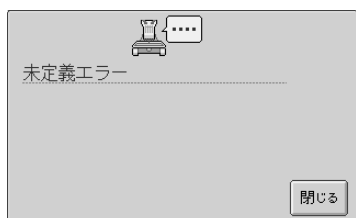
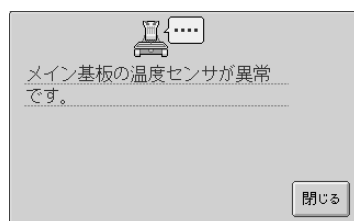
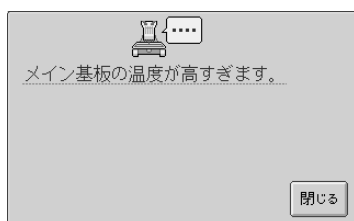
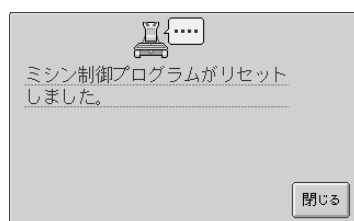
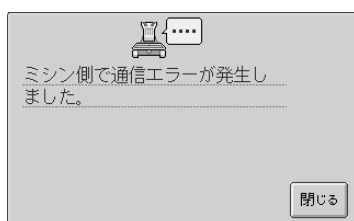
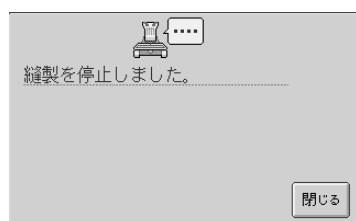
USB メディアのメモリがいっぱいで模様が記憶できない
模様を消去するか、USB メディアを交換してください。



ワイパーエラー
ワイパーに糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、**閉じる**を押します。

次の画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または お客様 Sew^相 談室（フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。

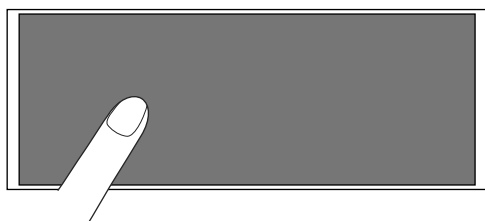




画面が見にくいときは

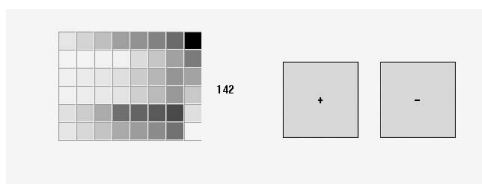
電源スイッチを入れたときに画面が見にくいときは、以下の手順に従って画面の調整を行ってください。

- 1 画面（どの部分でもよい）を押しながら、電源スイッチを入れ直します。



- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。
- スタート／ストップスイッチは点灯しません。

- 2 カラー調整用表示がきれいに見えるように **[-]** **[+]** を押して画面の濃さを調整します。

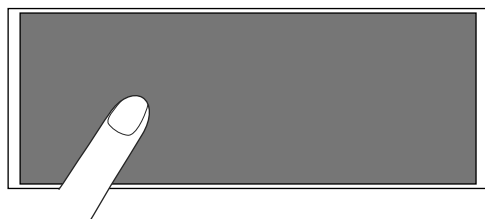


- 3 調整が終わったら、電源スイッチを入れ直します。

キーを押しても反応しないときは

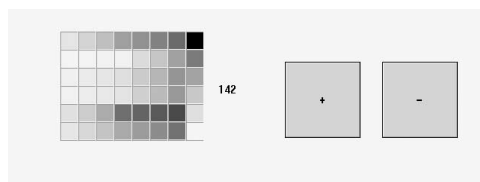
液晶画面のキーを押しても変化がない場合（キー入力ができない場合、またはキーがずれている場合）、以下の手順に従ってタッチパネル調整してください。

- 1 画面（どの部分でもよい）を押しながら、電源スイッチを入れ直します。

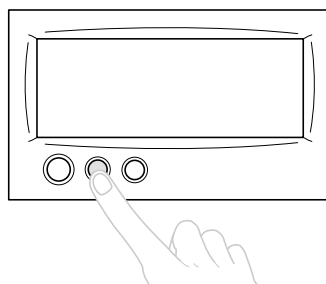


- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。
- スタート／ストップスイッチは点灯しません。

▶ 次の画面が表示されます。

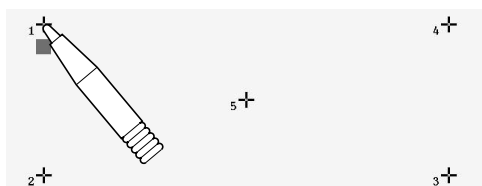


- 2 糸切りスイッチを押します。



▶ 調整の画面が表示されます。

- 3 付属のタッチペンを使って、画面に表示されている十字の中心を1から順に5まで軽く押します。



！ 注意

- 必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 4 1, 2, 3, 4, 5の順で押し、5の十字を押したときにブザーが1回鳴ったら入力終了です。
- 5の十字を押したときにブザーが2回鳴ったときは入力エラーです。もう1度、1から順に押し直してください。
- 5 タッチパネルの調整が終わったら、電源スイッチを入れ直してください。



お願い

- 調整をしてもキー入力ができない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店、または お客様 Sew[®] 談室（フリーダイヤル 0120-332-392）にご相談ください。

仕様

本体仕様

項目	仕様
製品質量	37kg
本体寸法	幅 512mm × 高さ 586mm × 奥行 589mm
ぬい速度	最大／筒：毎分 1000 針、帽子：毎分 600 針 速度／最大：毎分 1000 針、最小：毎分 400 針
釜型	垂直回転釜
釜寸法	標準サイズ
針	HA130EBBR／＃ 11
針数	6 本
糸調子	手動
帽子ぬい	(別売り) ヨコ 130mm × タテ 50mm
筒ぬい	(4 種類のフレームが使用できます) ヨコ 300mm × タテ 200mm ヨコ 180mm × タテ 130mm ヨコ 100mm × タテ 100mm ヨコ 60mm × タテ 40mm
糸切り	あり／上糸・下糸
糸切れセンサー	あり／上糸・下糸
自動針穴糸通し	あり
パソコン通信	USB ポート
使用可能メディア	刺しゅうカード、USB メディア

索引

記号

6本針ミシン	vii
DST 設定	144, 153
Tシャツ	171
USB コネクタ	3
USB メディア	121, 142
VERSION	144

ア

アプリケーションファベット	111
アプリケーション模様	160
アルファベット	113

イ

一時的針棒設定キー	62, 98
糸	168
上糸	39, 41
針穴	45
糸案内	2, 42
糸案内支持棒	2
糸案内ピン	2
糸色	135, 167
糸色表示	144, 149
移動キー	58, 124
糸替え表示	39, 61
糸切りスイッチ	3, 49
糸こま	42
糸こま交換	79, 81
糸こま交換時間	61, 79
糸こま交換マーク	61, 80
糸こま固定	145
糸立台	2, 12
糸調子	89, 164
糸調子ダイヤル	50
糸調子つまみ	2, 90
糸残り量	144, 154
糸番号	150
糸密度キー	58, 129
イメージキー	33, 56, 58, 60
色替えキー	58, 130
色替え数	56, 57, 59
色パレット	150, 167

ウ

上糸	18
上糸案内	2
上糸をセットする	39

エ

液晶画面（タッチパネル）	3, 18
エラーメッセージ	202
選ぶ	
刺しゅう模様	106
編集する模様	124

オ

大きさ	57, 59
大きさ（縦）	56, 57
大きさ（横）	56, 57
大きさキー	56, 58, 125
お手入れ	155, 187

カ

回転角度	57, 59
回転キー	58, 60, 77, 126, 133
回転調子皿	43
ガイド表示	147
拡張糸色表示	144, 150
確認する	
糸調子	50
仕上がりイメージ	33
針棒と糸色	39
各部の名前とはたらき	2, 155
釜カバー／釜	2
画面	18, 27, 54, 208
画面の明るさ	146
画面の濃さ	208
画面の調整	145
換気口	3
カントンプリース	171

キ

記憶キー	60, 140, 142
基本操作	155
基本手順	19
キャリッジ	2
キャンセルキー	56
キャンバス地	171
行間隔の長さ	135

ク

繰り返し間隔（縦）	59
繰り返し間隔（横）	59
繰り返しキー	60, 134
グリッド	148

ケ

ゲージ	178, 179
言語	145, 147

コ

コーデロイ	171
交換する	
糸こま	81
工業用枠	172
困ったとき	193
ゴルフシャツ	171

サ

削除キー	58, 113, 116, 122, 132
削除する	
記憶した刺しゅう模様	116, 122, 140
小ピッチのステッチ	154
模様	132
サテンのジャケット	171
左右反転キー	56, 58, 125

シ

刺しゅう位置	76
刺しゅうカード	116
刺しゅうカード差し込み口	3
刺しゅうする	
大きな布地や重い衣類	73
繰り返しぬい	94
繰り返し模様	134
小さい布地	73
布地の隅	73
リボンテープ	73
刺しゅうデータ	104
刺しゅう用糸	41
刺しゅう枠	
種類	34, 69
外す	51
張る	34
ミシンにセットする	36
刺しゅう枠表示	34
下糸案内	2
下糸巻き装置	5, 21
自動止めぬい	92
自動針穴糸通しスイッチ	3, 45
終了キー	60
手動針棒設定	100
仕様	210
使用可能枠表示	34, 57, 59
上下反転キー	56, 58, 125
小ピッチ削除	144, 154
新規作成キー	54

ス

スウェットシャツ	171
スタート/ストップスイッチ	3, 47

セ

設置のしかた	7
接着芯	70, 169, 171
設定キー	54, 144
セットキー	56
選択する	
模様	29

ソ

操作画面	28
操作パネル	2
掃除する	
釜	187
画面	187
針板まわり	188
ボビンケース	189
本体表面	187
装飾アルファベット	109

タ

台枠	
取り付ける	184
外す	175
タオル地	171
タジマフォーマット	105, 167
ためしキー	38, 60
単位	145, 147

チ

中心からの距離（縦）	57, 59
中心からの距離（横）	57, 59
中心表示	148
注油する	190
調整する	
糸調子	89
角度	77
画面	208
画面の明るさ	146
刺しゅう位置	76
操作パネル	10
調節する	
脚	9

ツ

追加キー	58, 123
次のページヘキー	56

テ

停止予約キー	62, 96, 98
デニム	171
電源コード	26, 52
電源コードジャック	3
電源スイッチ	3, 26, 52
電源プラグ	52

ト

特長	vii
止めぬいキー	60, 92
トラブルチェック	155
ドレスシャツ（織物）	171

ナ

中糸案内	2
------------	---

ニ

ニット	171
-----------	-----

ヌ

ぬい順数	61
ぬい順表示	61
ぬい始め／終わり位置設定キー	60, 93
ぬい目戻す／進むキー	62, 83, 85, 87
布地	18, 73

ハ

配色キー	58, 60, 96, 131, 135
配列キー	58, 115, 127
パソコン（USB）	118
肌着やシルク	171
花アルファベット	110
針	17
交換する	67
針板	188
針位置	149
針数	61
針棒	46
針棒キー	40, 61
針棒ケース	2
針棒番号	61
針棒をロックする	76
針もととライト	2

フ

フーリー	3
フザー	145, 146
付属品	4
部分表示	61

ヘ

ページ	56
別売オプション	6
ヘルプキー	54, 157
変更する	
糸密度	129
大きさ	114, 125
文字間隔	128
文字の配列	127
模様の色	131, 135
編集	31
編集画面	31, 57, 123
編集キー	60
編集終了キー	31, 58
編集する	123, 133
組み合わせ	136

ホ

帽子	171
帽子枠	173
帽子枠ドライバー	175, 177
縫製画面	39, 61
縫製キー	38, 60
縫製キャンセルキー	62
縫製最高速度設定キー	60, 61, 95
縫製時間	61
縫製設定画面	32, 59, 133
縫製速度	95
ボビン	17, 25
ボビンケース	25, 89, 189

マ

前のページへキー	56
----------------	----

ミ

ミシンの使い方キー	54, 155
-----------------	---------

メ

綿の敷布	171
------------	-----

モ

文字間キー	58, 128
模様一覧画面	29, 56
模様キー	56
模様選択画面	29, 55
模様選択キー	58, 124
模様表示エリア	54

ユ

ユーザーパレット	145, 151
----------------	----------

ヨ

呼び出す	
記憶した刺しゅう模様	115

リ

列間隔の長さ	135
レベル座	2

ロ

ロック解除キー	47, 60, 62
---------------	------------

ワ

枠移動キー	60, 76
枠模様	112
渡り糸切り	144, 153
ワンポイント	108

brother